

第2次健康日本21旭川計画

中間評価報告書

平成30年(2018年)3月

旭 川 市

はじめに

旭川市では、平成25年3月に市民の皆様の健康寿命の延伸と生活の質の向上を図ることを目的とした「第2次健康日本21旭川計画」を策定し、個人や家庭での健康づくりを社会全体で支援するため様々な取組を進めてまいりました。

この間、少子高齢化の更なる進展により、今後は1人の若者が1人の高齢者を支える厳しい社会が訪れることが予想されており、増大する社会保障費に対応するための仕組みづくりや、2020年に開催される東京オリンピックを前に、受動喫煙防止対策を開催先進国と同水準とするための動きなど、市民を取り巻く環境は大きく変わってきています。

こうした状況の中、本年度は計画策定から5年目となることから、平成34年度（2022年度）の目標達成に向け、効果的かつ効率的に施策を展開していくため、これまでの取組結果や社会情勢の変化等を踏まえた中間評価を実施いたしました。

これからも、豊かな自然と季節感にあふれたこのまちで、心身ともに健康でいきいきと暮らしていくためには、今まで以上に市民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識の下、より良い生活習慣の実践や改善などに取り組むことが大変重要となってきます。

そのため、この度の中間評価により明らかになった課題と今後の方向性について、多くの関係者が共有し、地域、学校、関係団体、企業・関係機関、行政等が連携して市民の健康づくりを支援する取組を一層推進してまいります。

最後に、この中間評価を実施するに当たり、旭川市保健所運営協議会及び同第2次健康日本21旭川計画中間評価部会の委員の皆様をはじめ、各種アンケート等で貴重な御意見や御協力いただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

平成30年（2018年）3月

旭川市長 西川 将人

【目次】

第1章 中間評価にあたって

1	第2次健康日本21旭川計画の趣旨	1
2	中間評価の目的	2
3	中間評価の方法	2

第2章 中間評価

1	中間評価のまとめ	6
2	各分野における達成状況と評価	
	(1)「栄養・食生活」の分野	7
	(2)「身体活動・運動」の分野	10
	(3)「休養・心の健康・アルコール」の分野	14
	(4)「歯の健康」の分野	18
	(5)「たばこ」の分野	21
	(6)「糖尿病・循環器病・がん」の分野	24
3	計画目標年度に向けた重点的な取組	28

《資料》

1	旭川市保健所運営協議会による中間評価	
	(1)旭川市保健所運営協議会への諮問及び答申	29
	(2)旭川市保健所運営協議会における審議経過等	37
2	各種データ	
	(1)健康日本21旭川計画アンケート調査結果	39
	(2)旭川市栄養調査結果	112
	(3)禁煙・分煙アンケート調査結果	116
3	第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧	118
4	第2次健康日本21旭川計画に係る団体等の取組一覧	158
5	健康日本21旭川計画庁内推進会議設置要綱	159
6	中間評価実施経過	161

1 第2次健康日本21旭川計画の趣旨

我が国における急速な高齢化の進行に伴い増加している「がん」や「循環器病」などの生活習慣病は、身体機能や生活の質を低下させることから、その予防が重要な課題となっており、生活習慣病の発症や進行には、食生活や運動などの生活習慣が深く関わっていることから、疾病の早期発見や治療に努めるとともに、疾病の発症を予防する「一次予防」としての健康づくりが重要である。

健康づくりを総合的かつ効果的に推進するために国が策定した「健康日本21」を踏まえ、本市においても、市民の健康づくりを支援するための具体的な目標と取組を進めていくための指針として、平成13年度に「健康日本21旭川計画（平成14年度～平成24年度）」（以下「前計画」という。）を策定した。

その後、国では「健康日本21（第2次）（平成25年度～平成34年度（2022年度））」を推進することとなり、本市でも、前計画における取組から見てきた課題や健康づくりを取り巻く環境の変化を踏まえ、「第2次健康日本21旭川計画（平成25年度～平成34年度（2022年度））」（以下「計画」という。）を策定し取組を行ってきた。

計画では、すべての市民が生涯を通じて健やかで心豊かな生活を送ることができるよう、健康寿命を延伸し、生活の質（QOL=Quality of life）の向上を図ることを最終的な目標とし、市民の健康づくりに資する取組を推進している。

また、本市のまちづくりの指針である「第8次旭川市総合計画（平成28年度～平成39年度（2027年度））」においても、基本政策「生涯を通じて健康に暮らせる保健・医療の推進」の中で、市民一人ひとりの「自分の健康は自分でつくる」という主体的な健康づくりのための取組の推進を掲げている。

計画サイクルイメージ



2 中間評価の目的

計画では、計画の目標達成に向けた適正な進行管理のため、計画開始年度から概ね5年後を目途に中間評価を実施し、目標の達成状況や社会情勢等の変化を踏まえた見直しを行うこととしており、今年度は、計画開始から5年目を迎えることから、課題や方向性を明らかにし、必要な見直し等を行うことで、計画の最終年度に向けた取組の推進を図るため中間評価を行った。

3 中間評価の方法

(1) 中間評価の体制

ア 委員会

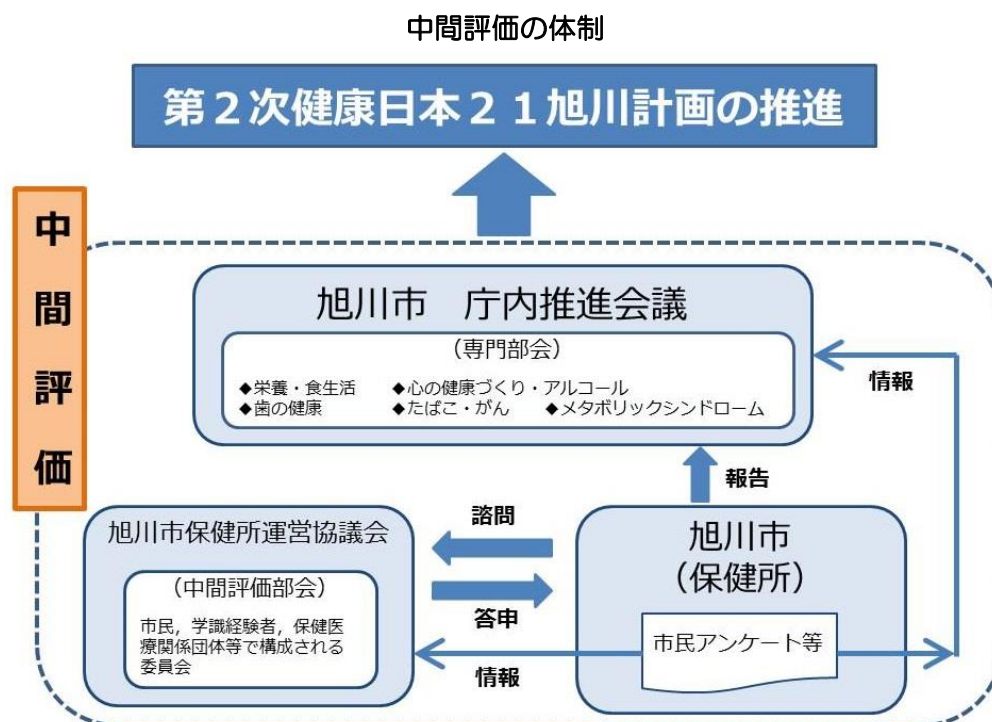
計画では、市民、学識経験者、保健医療関係団体等で構成される委員会を設置し、評価や見直し等の作業を行うこととしており、今回の中間評価に当たっては、旭川市保健所運営協議会に対し、市長から中間評価の実施に係る諮問を行い、旭川市保健所運営協議会に設置された「第2次健康日本21旭川計画中間評価部会」（構成委員10名）において、専門的な見地から調査審議を行った。

イ 健康日本21旭川計画庁内推進会議

庁内の関係課で構成する健康日本21旭川計画庁内推進会議（以下「庁内推進会議」という。）において、庁内関係部局の取組結果に対する評価や意見等の取りまとめを行い、計画の見直し等について協議した。また、計画で定める6つの取組分野については、庁内推進会議に設置する専門部会において、具体的な分析・評価等を行った。

ウ 市民アンケート調査等

健康日本21旭川計画アンケート調査（平成28年度実施）のほか、市民を対象に行った各種調査及び国や北海道の実績値等を基礎資料とした。



(2) 評価の方法

施策を推進する分野の取組目標ごとに定める健康指標の達成状況について、市民アンケート結果や各種調査、国や北海道が把握している数値等からの定量的な評価と、市や関係団体等が実施した取組の結果や課題などから、数値で表すことが難しい性質的な変化についての定性的な評価を踏まえ、総合的に評価を行った。

《取組目標、健康指標一覧》

「栄養・食生活」の分野
<p>取組目標：適正体重を維持する人を増やそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆適正体重を知っている人の増加 ◆適正体重を維持している人の増加 ◆低栄養傾向の高齢者の減少 <p>取組目標：栄養成分表示を参考にし、バランスのとれた食事をする人を増やそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆栄養成分表示の店の登録数の増加 ◆外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の増加 ◆家ではいつも「主食・主菜・副菜」を基本とした、栄養バランスのとれた食事を用意している人の増加 ◆食塩摂取量の減少 ◆野菜の摂取量の増加 ◆果物摂取量 100g 未満者の減少 <p>取組目標：朝食を摂る人を増やそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆朝食を摂らない人の減少 ◆朝食を毎日食べている児童生徒の増加 ◆朝食又は夕食を家族と一緒に週7回以上食べる人の増加
「身体活動・運動」の分野
<p>取組目標：意識して歩くなど身体活動を増やそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆意識的に体を動かすことを心がけている人の増加 ◆日常生活における歩数の増加 ◆15分程度続けて歩いている65歳以上の人の増加 ◆65歳以上で体力の衰えを心配する人の減少 ◆65歳以上で外出を控えている人のうち、足腰の痛みが理由の人の減少 <p>取組目標：運動を楽しみ積極的に身体を動かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆スポーツ活動を行っている子どもの増加 ◆1週間に2回以上運動する人の増加 ◆1回の運動時間が30分以上の人の増加 ◆ほとんど運動しない人の減少 ◆運動習慣者の増加

「休養・心の健康づくり・アルコール」の分野

取組目標：ストレスとの上手なつきあい方と解消法を身につけよう

- ◆ストレス解消法を知っている人の増加
- ◆心の健康について相談先を知っている人の増加
- ◆自殺予防ゲートキーパーの数の増加
- ◆自殺を考えるような強いストレスを感じた人の減少

取組目標：適切な休養を確保しよう

- ◆睡眠による休養を十分に取れていない人の減少
- ◆就業者で休養を十分に取れている人の増加
- ◆週労働時間40時間を超える雇用者の減少

取組目標：飲酒の適量を知ろう

- ◆節度ある適度な飲酒の知識の普及
- ◆生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少

取組目標：未成年者の飲酒をなくそう

- ◆未成年者の飲酒をなくす
- ◆妊娠中の飲酒をなくす

「歯の健康」の分野

取組目標：歯と口の状態に適したセルフケアと定期受診で歯の喪失を予防し、8020を目指そう

- ◆1日に2回以上歯を磨く人の増加
- ◆歯と歯の間を清掃する補助用具使用者の増加
- ◆定期的な歯石除去や歯面清掃で受診する人の増加
- ◆歯の喪失予防
- ◆口腔機能が維持されている人の増加

取組目標：歯や口の問題を放置せずに、かかりつけ歯科医に相談し、歯の健康維持のコツを身につけよう

- ◆喫煙が歯周病に及ぼす影響についての知識を持っている人の増加
- ◆30歳以上で歯や口に悩みや気になることがある人の減少
- ◆定期的な歯科検診の受診者の増加
- ◆歯周病を有する人の減少

取組目標：生活習慣の改善と歯質の強化で、子どものむし歯を予防しよう

- ◆フッ化物洗口を行う幼児の増加
- ◆間食として甘味食品、飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ幼児の減少
- ◆3歳までにフッ化物塗布を受けたことのある幼児の増加
- ◆むし歯のない幼児の増加
- ◆12歳児の一人平均むし歯数の減少

「たばこ」の分野

取組目標：喫煙が及ぼす健康への影響を減らそう

- ◆禁煙・完全分煙対策を実施する公共施設の増加
- ◆健康づくりに関する活動に取り組み、自発的に情報発信を行う施設の増加
- ◆成人の喫煙率の減少

取組目標：妊娠中及び産後の喫煙をなくそう

- ◆妊婦中の喫煙をなくす

取組目標：未成年者の喫煙をなくそう

- ◆未成年者の喫煙をなくす

「糖尿病・循環器病・がん」の分野

取組目標：自分の健康状態をチェックし、健康づくりに取り組もう

- ◆がん検診の受診率の向上
- ◆特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上
- ◆悪性新生物SMR（標準化死亡比）の低下

取組目標：循環器疾患の原因となる脂質異常症、高血圧などにつながる生活習慣を改善しよう

- ◆成人の喫煙率の減少《再》
- ◆食塩摂取量の減少《再》
- ◆脂質異常症の減少
- ◆高血圧の改善
- ◆メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少
- ◆脳血管疾患SMR・虚血性心疾患SMRの低下

取組目標：糖尿病につながる生活習慣を改善しよう

- ◆日常生活における歩数の増加《再》
- ◆メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少《再》
- ◆糖尿病有病者の増加の抑制
- ◆血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の減少
- ◆合併症の減少

1 中間評価のまとめ

前計画の評価においては、「栄養・食生活」、「休養・心の健康・アルコール」、「歯の健康」、「たばこ」、「糖尿病・循環器病・がん」の分野においては改善が見られ、一定の成果があるとされた一方、「身体活動・運動」の分野は、基準値より悪化した指標の割合が高く、より一層の取組を要する分野としており、計画では、栄養・食生活等6分野において18の取組目標と、目標を具体的で実効性のあるものとするため、62の健康指標（年齢、性別等の区分を含めると97の指標）を設定し取組を行ってきたが、今回の中間評価においても「身体活動・運動」の分野における健康指標の状況については、表1のとおり基準値より悪化したものの割合が高い結果となっている。

また、「糖尿病・循環器病・がん」の分野において、自身の健康状態のチェックとしてのがん検診の受診率について、基準値より悪化している状況となっている。

健康指標の達成状況を見ると、既に目標値を達成しているものもあるが、今回の中間評価では目標値の見直しは行わず、現状において進捗に遅れがあるものについては、計画の終期に向け一層取組を加速し、また、既に目標値を達成しているものについては、更なる取組の充実や推進を図ることとする。

今後は、計画の6つの分野ごとの今後の取組の方向性を踏まえ、計画の目的として掲げる「健康寿命の延伸」、「生活の質（QOL）の向上」を実現するため、市民一人ひとりが自らの健康は自らがつくるという考えの下、生活習慣の見直しや疾病予防、健診（検診）の受診、運動などの取組の実施と、そのための環境整備や支援の充実に向け、健康増進法、食育基本法などの関係法令や、現在、国、道で行っている「健康日本21」、「すこやか北海道21」の中間評価の動向等も見ながら、引き続き取組を推進する。

なお、健康寿命については、第8次旭川市総合計画（平成28年度～平成39年度（2027年度））において、日常的に介護を必要としないで、健康で自立した生活ができる期間の伸びを計る成果指標としており、目標値は「平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加」としている。基準年（平成25年）における本市の健康寿命は、男性78.59歳、女性82.90歳、平均寿命は、男性80.03歳、女性86.03歳であり、直近の平成27年では、健康寿命は、男性78.62歳、女性83.78歳、平均寿命は、男性79.97歳、女性87.02歳となっている。

表1 健康指標の状況

区分	判定区分	栄養 食生活	身体活動 運動	休養 心の健康 アルコール	歯の健康	たばこ	糖尿病 循環器病 がん	合計
◎	平成34年度の 目標値を達成し ているもの	2 (9.1%)	3 (13.6%)	3 (18.8%)	10 (52.6%)	0 (0.0%)	6 (18.8%)	24 (19.7%)
○	基準値から目標 値に近づいてい るもの	11 (50.0%)	3 (13.6%)	10 (62.5%)	3 (15.8%)	11 (100.0%)	9 (28.1%)	47 (38.5%)
×	基準値より悪く なっているもの	8 (36.4%)	12 (54.6%)	2 (12.5%)	5 (26.3%)	0 (0.0%)	15 (46.9%)	42 (34.4%)
—	基準値設定以降 のデータがない もの	1 (4.5%)	4 (18.2%)	1 (6.2%)	1 (5.3%)	0 (0.0%)	2 (6.2%)	9 (7.4%)
	合計	22 (100%)	22 (100%)	16 (100%)	19 (100%)	11 (100%)	32 (100%)	122 (100%)

※ 表の数値の上段は健康指標の数、下段は構成比（%）を示しています。

※ 再掲も含まれます。

※ 一部の構成比は、100%となるよう調整しています。

2 各分野における達成状況と評価

(1) 「栄養・食生活」の分野

ア 適正体重を維持する人を増やそう

◆健康指標

健康指標		基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■適正体重を知っている人の増加	1)				
男性		91.7%	90.4%	100%	×
女性		86.3%	84.7%	100%	×
■適正体重を維持している人の増加（肥満・やせの減少）					
小学5年生肥満傾向児	2)	1.1%	0.9%	減少傾向へ	◎
男性（20～60歳代）肥満	1)	29.6%	28.3%	26%以下	○
女性（40～60歳代）肥満	1)	18.5%	17.3%	15%以下	○
女性（20歳代）やせ	1)	18.9%	17.1%	15%以下	○
■低栄養傾向（BMI 20以下）の高齢者の減少	3)	19.2%	18.0%	24%以下	◎

※ 1) 健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 2) 旭川市学校保健会 学校保健研究録

※ 3) 日常生活圏域ニーズ調査

◆取組内容

- 各種教室や栄養指導等で食や健康に関する知識の普及を行った。
- 学校、児童福祉施設等の給食施設に対し、肥満及びやせに該当する者の割合の把握を行うよう、働きかけを行った。
- 地域における食生活改善の普及啓発活動を推進するため、食生活改善推進員を養成し、実践活動として調理実習や講話等を行った。
- 本市における食育の施策を総合的かつ計画的に推進するため、平成29年3月に第3次旭川市食育推進計画を策定した。

◆結果

- 男女とも肥満の割合は減少し、女性のやせも減少傾向にある。
- 小学5年生肥満傾向児の割合が減少した。

◆課題

- 適正体重を把握し、維持する市民を増加させるため、体重コントロールを実践する意欲向上を図り、具体的な実践方法について、広く情報提供を行うことが必要であり、また、高齢者のやせは、様々な病気の要因になるため、低栄養傾向の状況について配慮が必要である。

◆今後の方向性

- 肥満ややせと疾病の関係性など、適正体重に関する正しい知識の普及啓発や情報提供に努め、体重コントロールの実践に結びつける。
- 子どもの頃からの規則正しい食習慣を身につけ、適正体重を維持できるよう、関係機関や関係団体と連携し、食育の取組を一層推進する。
- また、給食施設における栄養評価を利用者に対する指導につなげる。

イ 栄養成分表示を参考にし、バランスのとれた食事をする人を増やそう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■栄養成分表示の店の登録数の増加	201件	207件	250件以上	○
■外食や食品を購入する時に栄養成分表示を参考にする人の増加				
男性	33.0%	33.2%	41%以上	○
女性	58.9%	60.2%	61%以上	○
■家ではいつも「主食・主菜・副菜」を基本とした、栄養バランスのとれた食事を用意している人の増加	64.3%	32.0%	80%以上	—
■食塩摂取量の減少（成人1人1日当たり）				
男性	11.9g	11.8g	9g未満	○
女性	9.8g	9.6g	7.5g未満	○
■野菜の摂取量（平均値）の増加（成人1人1日当たり）	237g	231g	350g以上	×
■果物摂取量100g未満者の減少（成人1人1日当たり）	54.2%	54.0%	30%以下	○

※ 1) 栄養成分表示の店登録件数

※ 2) 健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 3) 基準値：旭川市食育に関するアンケート調査，中間値：健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 4) 旭川市栄養調査

◆取組内容

- 食事バランスガイド等の媒体を用いて、幼児から高齢者まで各年代に応じた啓発を行った。
- 市民が食や健康に対する意識を高め、家庭における食育が広く実践されるよう、平成27年度から「あさひかわ食育推進月間」を定め、市や関係団体等が連携しながら食育の普及に取り組んだ。
- 飲食店等における栄養成分表示の普及や学校給食の充実のほか、地域での食生活改善を進めるため、食生活改善推進員の養成・再教育や活動支援を行った。
- 平成27年3月に食品の表示に関する包括的かつ一元的な制度が創設され、加工食品について栄養成分表示が義務化されたため、事業者に対して情報提供を行った。

◆結果

- 調理実習等を通じた実践的な取組によって、適正な栄養素の摂取や栄養バランスについて普及啓発を行った。
- 全ての年代において野菜摂取量が少ない。
- 関係団体等と連携した「あさひかわ食育推進月間」の取組により、市民への周知機会が増加した。
- 栄養成分表示の店の登録数が低調に推移している。

◆課題

- 栄養成分表示の店について、栄養成分表示への理解をより一層深め、登録数を増やす必要がある。
- 全体の栄養バランスがとれた食事についての啓発のほか、特に不足している栄養素について、重点的に取り組むことも必要である。

◆今後の方向性

- 栄養成分表示の店について、事業者や調理師会等の関係団体と連携し、登録店の増加に向けた取組を行う。
- 適切な栄養素の摂取や栄養バランスのとれた食生活を推進するため、市民に分かりやすい周知啓発方法を検討し、効果的な事業の推進を図る。

ウ 朝食を摂る人を増やそう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■朝食を摂らない人の減少 ¹⁾				
20歳代男性	34.9%	34.8%	17%以下	○
30歳代男性	32.9%	25.0%	20%以下	○
20歳代女性	15.3%	25.7%	15.3%以下	×
30歳代女性	17.9%	19.7%	9.4%以下	×
■朝食を毎日食べている児童生徒の増加 ²⁾				
小学生（5年生）	88.5%	86.2%	90%以上	×
中学生（2年生）	84.5%	81.3%	90%以上	×
■朝食又は夕食を家族と一緒に週7回以上食べる人の増加 ³⁾ （18歳未満の家族と同居している人）	73.3%	67.0%	85%以上	×

※ 1) 健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 2) 旭川市児童生徒の食生活調査

※ 3) 旭川市食育に関するアンケート調査

◆取組内容

- 各種イベントや健康相談、健康教育の機会など、様々な機会を通じて朝食の重要性についての普及啓発を行った。
- 学校における食に関する指導や給食だより等を通し、規則正しい食習慣や朝食の大切さについて、児童生徒や保護者に情報提供を行った。
- サークル、学校、地域など、様々な要望に応じた食育出前講座等を行った。

◆結果

- 男性の朝食欠食は改善傾向にあるが、女性及び児童生徒の欠食は改善が見られていない。

◆課題

- 朝食を無理なく摂取できる生活リズムや1日の食生活全体の工夫など、各家庭、個人の取組を支援し、朝食の重要性について啓発の充実を図る必要がある。
- 児童生徒の朝食摂取の状況が改善されていないことから、学校での取組状況の継続的な把握のほか、就学前の健康診査等においても指導・取組を行うことが必要である。
- 子育て世代、これから親になる世代への理解を一層深め、食生活を改善することが必要である。

◆今後の方向性

- 子どもの頃からの規則正しい食習慣の重要性について、関係機関や関係団体と連携し、引き続き普及啓発を行う。
- 各家庭や個人のライフスタイルに合った主体的な食育を支援するため、情報提供の充実や健康相談等の実施を行うほか、地域と連携、協力した取組を進める。

(2) 「身体活動・運動」の分野

ア 意識して歩くなど身体活動を増やそう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■意識的に体を動かすことを心がけている人の増加 1)				
男性	71.1%	68.4%	75%以上	×
女性	71.5%	65.8%	75%以上	×
■日常生活における歩数の増加 2)				
男性（20～69歳）	6,142歩	4,105歩	7,700歩以上	×
男性（70歳以上）	3,986歩	2,334歩	5,500歩以上	×
女性（20～69歳）	5,441歩	4,856歩	7,000歩以上	×
女性（70歳以上）	3,179歩	3,776歩	4,700歩以上	○
■15分程度続けて歩いている65歳以上の人の増加 3)				
男性	57.9%	65.0%	58%以上	—
女性	53.9%		54%以上	—
■65歳以上で体力の衰えを心配する人の減少 1)	52.7%	57.7%	53%以下	×
■65歳以上で外出を控えている人のうち、足腰の痛みが理由の人の減少 3)				
男性	54.2%	60.0%	48.8%以下	—
女性	65.2%		58.8%以下	—

※ 1) 健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 2) 国民健康・栄養調査（旭川市分）

※ 3) 日常生活圏域ニーズ調査（中間値は男女の計）

◆取組内容

- 幅広い年代の市民に身体活動や運動の楽しさを啓発するため、ウォーキングやサイクリングなどのスポーツイベントを実施した。
- 自宅や地域などの身近な場所で身体活動が行えるよう、各関係団体と連携を図り、健康づくり事業や介護予防事業を実施したほか情報提供を行った。

◆結果

- 意識的に体を動かすことを心がけている人の割合は男女ともに減少しており、年代別では60、70歳代では7割を超えている一方、男性の30～50歳代、女性の20～40歳代は5～6割である。
- 日常生活における歩数は70歳以上の女性以外は大幅に減少している。

◆課題

- 市民アンケートにおいて、男女とも身体活動量が低下しており、特に壮年期では、他の年代に比べ、意識的に体を動かしている人の割合が低いことから、運動の必要性に対する意識付け、動機付けを行い、身体活動量の向上を図ることが必要である。
- 身近な場所で身体活動が行えるよう、関係団体と連携の下、各種事業や情報提供などを行っているが、積極的に参加する市民がいる一方、市民全体の日常的な身体活動量の増加には結びついていないことから、学校施設スポーツ開放事業で活動している団体の活動状況など、市民が運動に関われる機会について、積極的に周知を行うことが必要である。

◆今後の方向性

- 身体活動量向上のため、身体を動かすことの意義や重要性についての普及を図るとともに、日常生活及び職場等で手軽に行える取組、公園やウォーキングコース等、身近で運動できる機会や場所などの情報提供を行う。
- 高齢者は、介護予防の観点からも身体的な生活活動能力の維持が重要であることから、仕事、ボランティア、趣味などの社会参加や仲間づくりを推進するほか、身近な環境で身体活動を継続するための普及啓発や情報提供を行う。

イ 運動を楽しみ、積極的に身体を動かそう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■スポーツ活動を行っている子どもの増加 ¹⁾				
小学生	65.8%	67.6%	66%以上	◎
中学生	71.4%	72.5%	71%以上	◎
高校生	46.7%	54.2%	47%以上	◎
■1週間に2回以上運動する人の増加 ²⁾				
(降雪期以外)	48.6%	40.9%	53%以上	×
(降雪期)	46.6%	36.3%	51%以上	×
■1回の運動時間が30分以上の人の増加 ²⁾				
(降雪期以外)	56.4%	59.2%	61%以上	○
(降雪期)	52.4%	56.7%	57%以上	○
■ほとんど運動しない人の減少 ²⁾				
(降雪期以外)	32.4%	32.8%	27%以下	×
(降雪期)	37.1%	42.1%	32%以下	×
■運動習慣者の増加 ²⁾				
男性	21.1%	18.5%	26%以上	×
女性	13.2%	12.1%	18%以上	×

※ 1) 第2次旭川市スポーツ振興計画（市民アンケート調査）

※ 2) 健康日本21旭川計画アンケート調査

◆取組内容

- 第2次旭川市スポーツ振興計画（平成29年3月改定）を策定し、子どものスポーツ振興や冬季のスポーツ振興等に取り組んだ。
- 身近な場所で気軽に運動に取り組めるよう、学校の体育館やグラウンドの開放、スポーツ施設や公園等の環境整備のほか、それらの利用促進のため情報提供を行った。
- 市民が冬季スポーツへの関心を高め、冬場の身体活動量の低下を予防できるよう、歩くスキーコースの整備やスケートリンクの開放、冬期のイベントや講習会を実施した。
- 幅広い年代の市民が運動の楽しさや心地よさを体験できるよう、ウォーキングやサイクリングのほか、クライミング、キッズバイク、フロアカーリング等のニュースポーツなど、多様なスポーツの普及啓発に取り組んだ。

◆結果

- スポーツ活動を行っている子どもの割合は小・中・高校生ともに増加しており、目標値を達成している。
- 1週間に2回以上運動する人の割合が減少しているとともに、ほとんど運動しない人の割合も増加しており、特に降雪期ではその傾向が顕著である。
- 運動を習慣的に行っている人の割合は男女ともに減少しており、年代、性別で見ると、特に女性の20代、30代が低くなっている。

◆課題

- 各種団体等との連携の下、様々なイベントや教室等が実施されているが、積極的に参加する市民がいる一方、市民全体の継続的な運動習慣には至っていない。
- 運動への動機付けと、降雪期にも身近な場所で安全に取り組むことができる運動の普及を図る必要がある。

◆今後の方向性

- 個人のライフスタイルや季節に応じた運動の実践を促進するため、関係団体等と連携し、スポーツの効果や楽しさについての啓発や取組を一層推進するほか、冬季間の運動施設やウィンタースポーツ等の情報を積極的に提供する。
- 子どもの体力の向上と運動習慣を身につけることができるよう、学校や地域団体等と連携を図りながら、幼児期から運動に親しみ、楽しさや喜びを味わう機会の提供や積極的な情報発信を行う。

(3) 「休養・心の健康づくり・アルコール」の分野

ア ストレスとの上手なつきあい方と解消法を身につけよう

◆健康指標

健康指標		基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■ストレス解消法を知っている人の増加	1)	80.5%	80.3%	100%	×
■心の健康について相談先を知っている人の増加	2)	90.5%	86.5%	100%	—
■自殺予防ゲートキーパーの数の増加	3)	102名	130名	1,000名以上	○
■自殺を考えるような強いストレスを感じた人の減少	1)	11.1%	8.6%	11%以下	◎

※ 1) 健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 2) 基準値：講演会参加者によるアンケート調査，中間値：健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 3) 道ゲートキーパー研修（市民受講者数） *H25以降は市民向けの研修は開催されていない。

◆取組内容

- ストレスや心の健康問題に対応するため，精神保健相談や訪問指導を実施した。
- 心の健康に関する普及啓発事業として，関係団体と保健所が連携し，講演会・研修会を開催した。
- 地域や職場等に出向き，心の健康に関する出前講座を行ったほか，若年者の自殺予防対策として，大学生・専門学校生を対象とした自殺予防研修会を実施した。
- 関係団体が実施する心の健康に関わる事業への支援を行った。

◆結果

- 不満・悩み・ストレスなどを解消できている方は，「十分できている」「なんとか解消」を合わせると，男女とも6割を超えている。
- 自殺を考えるような強いストレスを感じた人が減少している。
- 強いストレスを感じる要因として，男女ともに「職場に関すること」が最多となっており，「夫婦に関すること」の割合が増加している。

◆課題

- 複雑化する相談内容や心の健康に関する相談に対応できる関係相談窓口について，市民への周知を徹底する必要がある。
- 自殺対策基本法に基づく取組計画の策定や労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施を踏まえ，心の健康増進への取組の推進が必要である。

◆今後の方向性

- 心の健康に関する知識の普及啓発の充実を図るとともに，ストレスへの対応方法等について，各種媒体を活用した普及啓発に積極的に努める。
- 自殺対策については，家庭や職場などの様々な要因があることから，自殺予防効果の高い健康教育の拡充を図るとともに，地域や企業等への精神保健相談の周知を引き続き行う。
- 複雑多様化する相談内容に対応するため，地域と連携した相談体制の整備や相談支援者の技術向上に努める。

イ 適切な休養を確保しよう

◆健康指標

健康指標		基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■睡眠による休養を充分に取れていない人の減少	1)	18.0%	17.3%	15%以下	○
■就業者で休養を充分に取れている人の増加	1)	67.8%	68.0%	増加傾向へ	◎
■週労働時間40時間を超える雇用の減少	2)	18.5%	20.6%	16.5%以下	×

※ 1) 健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 2) 旭川市労働基本調査

◆取組内容

- 精神保健相談等を通じ、休養の効用など心の健康を保つための正しい知識の普及啓発を行った。
- 地域や職場等に対する出前講座を実施した。

◆結果

- 睡眠による休養を充分に取れていない人が減少し、20～40歳代で休養を充分に取れている人がわずかに増加した。

◆課題

- 適切な睡眠及び休養の重要性について啓発の充実を図る必要がある。
- 労働安全衛生法の改正により、労働者に医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するためのストレスチェックの実施が義務付けられたことを踏まえ、事業者と連携した取組の推進が必要である。

◆今後の方向性

- 睡眠及び休養は、QOLに影響を与える重要な要素であることから、様々な機会をとらえ、健康教育・普及啓発を推進する。

ウ 飲酒の適量を知ろう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■節度ある適度な飲酒の知識の普及 ¹⁾				
男性	49.6%	51.7%	60%以上	○
女性	45.6%	51.8%	55%以上	○
■生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合の減少 ¹⁾				
男性（2合以上）	22.3%	19.4%	20%以下	◎
女性（1合以上）	20.4%	18.1%	18%以下	○

※ 1)健康日本21旭川計画アンケート調査

◆取組内容

- 節度ある適度な飲酒やアルコール依存症についての正しい知識の普及啓発, 出前講座を実施した。
- アルコールに関する精神保健相談のほか, 関係団体と連携した酒害相談を実施した。
- 健康相談において, 過度な飲酒がもたらす生活習慣病の予防のための保健指導を実施した。

◆結果

- 節度ある適度な飲酒の知識の普及が図られ, 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人が減少している。

◆課題

- 飲酒に関する健康教育を実施する機会の増加及び効果的な普及啓発の実施が必要である。

◆今後の方向性

- 節度ある適度な飲酒の知識やアルコールと生活習慣病の関連性等について, 関係団体と連携しながら, より効果的に普及啓発及び指導を行う。
- アルコール健康障害対策基本法等のほか, 国や道の動向を踏まえ, 必要に応じ取組を検討する。

工 未成年者の飲酒をなくそう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■未成年者の飲酒をなくす ¹⁾				
中学3年男子	8.0%	1.3%	0%	○
中学3年女子	9.1%	1.2%	0%	○
高校3年男子	21.0%	5.1%	0%	○
高校3年女子	18.5%	5.9%	0%	○
【参考値】本市の数値は把握できないため、北海道の現状値、目標値を代用				
■妊娠中の飲酒をなくす ²⁾	8.7%	4.3%	0%	○
【参考値】本市の数値は把握できないため、国の現状値、目標値を代用				

※ 1) すこやか北海道21（北海道）

※ 2) 乳幼児身体発育調査（厚生労働省）

◆取組内容

○学習指導要領に基づき、未成年者の飲酒防止について、小中学校において指導を行った。

◆結果

○「妊娠中の飲酒をなくす」の国の現状値は減少傾向となっている。

○「健やか親子21（第2次）」に基づくアンケート調査では、旭川市の「妊娠中の妊婦の飲酒率」は全国よりも高くなっている。

◆課題

○年齢とともに飲酒率が上昇していることへの対応を含め、目標値の達成に向けた取組が必要である。

○飲酒防止については、妊娠中の女性の飲酒防止についても同様に取組が必要である。

◆今後の方向性

○未成年の飲酒防止は、保護者や関係教育機関との連携に努め、普及啓発を行う。

○飲酒が母体や胎児、乳幼児に及ぼす影響について、普及啓発を行う。

(4) 「歯の健康」の分野

ア 歯と口の状態に適したセルフケアと定期受診で歯の喪失を予防し、8020を目指そう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■ 1日に2回以上歯を磨く人の増加（20歳以上） ¹⁾	75.4%	82.4%	80%以上	◎
■ 歯と歯の間を清掃する補助用具（デンタルフロス、歯間ブラシ）使用者の増加 ¹⁾				
40歳（35～44歳）	42.9%	54.8%	50%以上	◎
50歳（45～54歳）	55.5%	56.1%	60%以上	○
■ 定期的な歯石除去や歯面清掃で受診する人の増加 ¹⁾				
60歳（55～64歳），過去1年間	34.3%	43.8%	38%以上	◎
■ 歯の喪失予防 ¹⁾				
40歳で喪失歯のない人の増加	42.0%	48.3%	56%以上	○
60歳で24歯以上有する人の増加	34.9%	44.8%	40%以上	◎
80歳で20歯以上有する人の増加	24.4%	37.7%	27%以上	◎
■ 口腔機能が維持されている人の増加（65～74歳） ²⁾	89.2%	90.4%	90%以上	—

※ 1) 健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 2) 日常生活圏域二エス調査 * 調査対象範囲の変更あり

◆取組内容

- 歯や口の健康づくりについて、歯と口の健康週間、北海道歯・口腔の健康づくり8020推進週間などに関連した啓発事業や、関係機関・団体と連携した講演会・研修会、各種情報提供等を実施した。
- 出前講座、歯みがき教室などの健康教育や健診、健康相談において、歯の喪失の二大原因であるむし歯と歯周病の予防に関する知識の普及を図った。

◆結果

- 1日に2回以上歯を磨く人や補助用具（デンタルフロス、歯間ブラシ）使用者が増加しており、定期的な歯石除去や歯面清掃で受診する人も増加している。
- 歯の健康に関する意識が高まっており、80歳で20歯以上有する人が増加した。

◆課題

- ライフステージに応じたセルフケアや定期的な歯科受診について、一層普及啓発を図ることが必要である。
- 歯と口の健康は、全身の健康にも影響を及ぼすとされている中、歯の健康と生活習慣病との関連性の面から積極的に情報提供を行うことが必要である。

◆今後の方向性

- 関係団体と連携しながら広く歯や口の健康に関する情報提供の充実を図り、ライフステージに応じた歯の健康づくりをより一層推進する。
- 歯や口の健康が及ぼす全身の健康への影響や生活習慣病との関連性について積極的に情報提供を行うとともに、セルフケアや定期的な歯科受診の重要性に係る普及啓発に継続的に取り組む。

イ 歯や口の問題を放置せずに、かかりつけ歯科医に相談し、歯の健康維持のコツを身につけよう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■喫煙が歯周病に及ぼす影響についての知識を持っている人の増加（20歳以上） ¹⁾	35.7%	41.1%	40%以上	◎
■30歳以上で歯や口に悩みや気になることがある人の減少 ※2つ以上問題を有する人 ¹⁾	41.2%	42.7%	40%以下	×
■定期的な歯科検診の受診者の増加 ¹⁾ 20歳以上，過去1年 60歳（55～64歳），過去1年	32.7%	40.8%	38%以上	◎
	36.1%	41.4%	40%以上	◎
■歯周病を有する人の減少 ¹⁾ 40歳代（35～44歳）で歯周病の自覚症状を有する人 60歳代（55～64歳）で歯周病の自覚症状を有する人	37.1%	37.4%	30%以下	×
	44.5%	44.8%	39%以下	×

※ 1)健康日本21旭川計画アンケート調査

◆取組内容

- 歯周疾患検診、歯科相談や歯科健康教育などを通じて、むし歯・歯周病の知識や歯周病が全身の健康に及ぼす影響などについての知識の普及やかかりつけ歯科医の重要性について啓発を行った。
- 歯周疾患検診の受診勧奨等を通じ、歯周病の重症化予防を推進するとともに、家族ぐるみの歯と口の健康づくり意識の啓発を行った。

◆結果

- 喫煙が歯周病に及ぼす影響についての知識を持っている人や定期的な歯科検診の受診者が増加している一方で、30歳以上で歯や口に悩みや気になることのある人、歯周病を有する人は減少していない。
- 歯や口の健康管理についての意識は高まっているが、口腔状態の改善には至っていない。

◆課題

- かかりつけ歯科医を活用したセルフケアの向上と、定期的なプロフェッショナルケアについて、一層意識付けを行うことが必要である。
- 歯と口の健康づくりにおいては、喫煙や食生活をはじめとする生活習慣の改善が重要であることについて、一層啓発を図ることが必要である。

◆今後の方向性

- 歯や口の健康づくりを支援するため、歯周病のセルフチェックや生活習慣改善に向けた情報提供の充実を図るとともに、かかりつけ歯科医の意義等の普及啓発に継続的に取り組む。

ウ 生活習慣の改善と歯質の強化で、子どものむし歯を予防しよう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■フッ化物洗口を行う幼児（4，5歳児）の増加 ¹⁾	47.3%	42.7%	50%以上	×
■間食として甘味食品，飲料を1日3回以上飲食する習慣を持つ幼児の減少 ²⁾	26.9%	26.4%	24%以下	○
■3歳までにフッ化物塗布を受けたことのある幼児の増加（3歳児） ²⁾	58.6%	73.1%	70%以上	◎
■むし歯のない幼児の増加（3歳児） ³⁾	82.5%	76.0%	85%以上	×
■12歳児（中学1年生）の一人平均むし歯数の減少 ⁴⁾	1.47歯	0.95歯	1.0歯未満	◎

※ 1) 幼児むし歯予防（フッ素洗口）事業実績報告書

※ 2) 旭川市乳幼児健診

※ 3) 旭川市乳幼児健診 *市の3歳児健康診査の対象年齢：平成26年度まで3歳0か月児 → 平成27年度から3歳6か月児

※ 4) 旭川市学校保健会 学校保健研究録

◆取組内容

- 乳幼児の健康診査や健康相談等での歯科保健指導，歯と口の健康づくりに関する健康教育などを実施した。
- 関係団体と連携し，歯の健康キャンペーンや親子のよい歯のコンクールなどの啓発事業を実施した。
- 旭川歯科医師会が実施する幼児むし歯予防（フッ素洗口）事業を推進するとともに，全市立小学校でフッ化物洗口を実施した。

◆結果

- むし歯のない幼児（3歳児）の割合が減少した。
- フッ化物洗口を行う幼児（4，5歳児）の割合については基準値より減少しているが，間食などの食生活やフッ化物塗布の利用，12歳児の一人平均むし歯数については改善の傾向が見られる。
- 旭川歯科医師会が実施する幼児むし歯予防（フッ素洗口）事業に加え，全市立小学校でフッ化物洗口が実施されており，児童生徒のむし歯は減少傾向にある。一方，保育所・幼稚園等におけるフッ化物洗口の実施施設数は横這いである。

◆課題

- 幼児期からのむし歯の発生を防ぐため，より良い生活習慣の形成を促進するとともに，妊娠期などの早期から，予防に係る知識の普及を図ることが必要である。
- フッ化物洗口の普及を推進するため，むし歯予防におけるフッ化物応用の重要性和正しい知識の普及を図ることが必要である。

◆今後の方向性

- 健康な歯と口を育むため，関係団体と連携しながら，よく噛むことを含む適切な食習慣，歯みがき習慣等について，正しい知識の普及啓発に継続的に取り組むとともに，フッ化物の応用によるむし歯予防対策をより一層推進する。

(5) 「たばこ」の分野

ア 喫煙が及ぼす健康への影響を減らそう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■禁煙・完全分煙対策を実施する公共施設の増加 ¹⁾ 医療機関（病院，診療所，歯科診療所） 官公庁 その他，多数の者が利用する施設	90.5% 89.2% 65.2%	98.7% 96.3% 72.4%	100% 100% 89%以上	○ ○ ○
■健康づくりに関する活動に取り組み，自発的に情報発信を行う施設の増加 ²⁾ おいしい空気の施設登録件数	261件	346件	400件以上	○
■成人の喫煙率の減少 ³⁾ 男性 女性	30.7% 16.2%	30.6% 14.7%	20%以下 10%以下	○ ○

※ 1) 禁煙・分煙アンケート調査

※ 2) おいしい空気の施設登録件数

※ 3) 健康日本21旭川計画アンケート調査

◆取組内容

- ポスターの掲示やリーフレットの配布，街頭放送の実施，イベントの実施等により，喫煙及び受動喫煙が健康に及ぼす影響等について，正しい知識の普及啓発を行った。
- 禁煙・分煙対策が適正に実施されている施設を「おいしい空気の施設」として登録するとともに公表し，受動喫煙防止対策を推進した。

◆結果

- 男女とも喫煙率はやや減少しており，女性の喫煙者においては，約半数がたばこを「やめたい」と思っている。
- 医療機関や官公庁などの施設のうち，禁煙・完全分煙対策を実施する割合が大きく増加した。

◆課題

- 男女とも30，40歳代の子育て世代の喫煙率が高く，特に女性の喫煙率が全国と比較して高い状況である。
- 非喫煙者の約4割が受動喫煙の影響を受けている状況を踏まえ，多数の市民が利用する施設等における禁煙・分煙対策の一層の推進が必要である。

◆今後の方向性

- 喫煙と受動喫煙が健康に及ぼす影響について，広く知識の普及啓発を行うとともに，喫煙者に対する禁煙への動機付けや禁煙支援に継続的に取り組む。
- 国や北海道の動向を注視しながら，禁煙・分煙対策に継続的に取り組み，受動喫煙防止に向けた取組を一層推進する。

イ 妊娠中及び産後の喫煙をなくそう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■妊婦中の喫煙をなくす ¹⁾	8.0%	6.1%	0%	○

※ 1) 基準値：妊娠とたばこアンケート，中間値：「健やか親子21（第2次）」に基づく調査

◆取組内容

- 喫煙及び受動喫煙が健康に及ぼす影響等について，ポスターの掲示やリーフレットの配布，街頭放送の実施，イベントの実施等により，正しい知識の普及・啓発を行った。
- 母子健康手帳交付の際に，喫煙が及ぼす母体や胎児への影響等を記載したリーフレットを配布するとともに，乳幼児健診を実施する会場に禁煙を促すポスターを掲示した。

◆結果

- 妊娠中の喫煙率は減少している。

◆課題

- 妊娠中の喫煙を一層減少させることが必要である。
- 妊娠中及び産後の喫煙は，不安やストレスが一因となっている場合もあるため，それらを踏まえた対策の検討が必要である。

◆今後の方向性

- 妊産婦の喫煙及び受動喫煙の健康への影響について，広く情報発信を行うとともに，様々な機会をとらえ，効果的に禁煙に対する動機付けを行う。
- 喫煙が及ぼす母体・胎児・新生児・乳幼児への影響について，様々な広報媒体を活用しながら正しい知識の普及啓発に継続的に取り組むとともに，育児等の不安を軽減させるため，各種相談窓口等について，情報提供の充実を図る。

ウ 未成年者の喫煙をなくそう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■未成年者の喫煙をなくす ¹⁾				
中学1年生 男子	1.6%	1.0%	0%	○
中学1年生 女子	0.9%	0.3%	0%	○
高校3年生 男子	8.6%	4.6%	0%	○
高校3年生 女子	3.8%	1.5%	0%	○
【参考値】本市の数値は把握できないため、国の現状値、目標値を代用				

※ 1) 厚生労働科学研究費補助金による研究班の調査

◆取組内容

- イベントの実施等により喫煙及び受動喫煙が健康に及ぼす影響等について、ポスターの掲示やリーフレットの配布、街頭放送の実施、正しい知識の普及・啓発を行った。
- 市内の小中学校等を対象に未成年者喫煙防止講座を実施し、喫煙による健康被害に関する講話や、たばこを勧められた時の断り方等のロールプレイングを実施した。
- 学習指導要領に基づき、喫煙が健康に及ぼす影響について、小中学校において指導を行った。

◆結果

- 未成年者の喫煙率は減少傾向にある。（注：国の動向）
- 年齢が上がるにつれ、喫煙率が上昇しており、特に男子の喫煙率が高い状況である。

◆課題

- 未成年者の喫煙を一層減少させることが必要である。

◆今後の方向性

- たばこについては、「最初の1本に手を出さない」ことが最も重要であると考えられるため、たばこが健康に及ぼす影響等についての情報提供の充実を図る。
- 学校等との連携を密にしながら、若い年代からの喫煙防止教育に継続的に取り組み、未成年者の喫煙防止対策をより一層推進する。

(6) 「糖尿病・循環器病・がん」の分野

ア 自分の健康状態をチェックし、健康づくりに取り組もう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■がん検診の受診率の向上 ¹⁾				
胃がん	8.3%	6.9%	10%以上	×
肺がん	9.8%	9.1%	11%以上	×
大腸がん	14.4%	11.8%	16%以上	×
子宮頸がん	23.5%	20.9%	26%以上	×
乳がん	29.1%	24.1%	32%以上	×
■特定健診受診率・特定保健指導実施率の向上 ²⁾				
特定健康診査の受診率	20.5%	21.9%	32%以上	○
特定保健指導の実施率	76.7%	50.9%	60%以上	×
■悪性新生物SMRの低下 ³⁾				
男性	104.6	105.9	道の現状値レベルまで低下	◎
女性	106.2	105.0	道の現状値レベルまで低下	◎

※ 1)旭川市保健所資料

※ 2)市国保特定健診法定報告値

※ 3)北海道健康づくり財団算出SMR

◆取組内容

- 健康状態の確認及び疾病の早期発見のため、特定健診やがん検診を実施するとともに、関係団体と連携しながら受診率向上に向けた啓発を実施した。
- 地域等に出向いての健康教育や、健診結果等に基づく生活習慣改善のための保健指導を実施し、市民の健康意識の向上及び主体的な健康づくりを推進した。
- 特定健診やがん検診について受診しやすい環境を確保するため、セット型健診や日曜健診を実施した。

◆結果

- 特定健診の受診率は低調ながら増加している一方、がん検診の受診率は基準値を下回っている。
- 悪性新生物のSMR（標準化死亡比）は、北海道の基準値（男性 107.7、女性 107.3）を下回っているが、国より高い状況である。

◆課題

- 自分自身の健康状態を客観的に確認するためにも、健（検）診の受診率向上のための取組の充実が必要である。
- 喫煙と関連性が深い、食道・大腸・肺がんのSMRが全国と比較して高い状況にあることから、禁煙・受動喫煙防止対策の充実を一層図ることが必要である。

◆今後の方向性

- 市民が主体的に行う健康づくりを支援するための各種健康情報などの情報発信を強化するとともに、健（検）診については、効果的な周知啓発や個別通知などの勧奨事業に取り組むほか、受診しやすい環境の整備を行うことで受診率の向上を図る。
- たばこが健康に及ぼす影響について、広く知識の普及啓発を図り、国や北海道の動向を踏まえた受動喫煙防止対策を一層推進する。

イ 循環器疾患の原因となる脂質異常症、高血圧などにつながる生活習慣を改善しよう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■成人の喫煙率の減少《再》 ¹⁾				
男性	30.7%	30.6%	20%以下	○
女性	16.2%	14.7%	10%以下	○
■食塩摂取量の減少《再》（成人1人1日当たり） ²⁾				
男性	11.9g	11.8g	9g未満	○
女性	9.8g	9.6g	7.5g未満	○
■脂質異常症の減少 ³⁾				
男性	9.4%	9.3%	7%以下	○
女性	13.3%	13.1%	10%以下	○
■高血圧の改善（収縮期血圧の平均値） ³⁾				
男性	130mmHg	131mmHg	126mmHg以下	×
女性	127mmHg	127mmHg	123mmHg以下	○
【参考値】拡張期血圧の平均値				
男性	77mmHg	77mmHg	—	—
女性	74mmHg	74mmHg	—	—
■メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少 ⁴⁾	25.4%	25.6%	24%以下	×
■脳血管疾患SMR・虚血性心疾患SMRの低下 ⁵⁾				
脳血管疾患SMR				
男性	92.0	91.8	減少傾向へ	◎
女性	87.3	82.4	減少傾向へ	◎
虚血性心疾患SMR				
男性	123.9	130.3	100以下	×
女性	108.9	113.2	100以下	×

※ 1) 健康日本21旭川計画アンケート調査

※ 2) 旭川市栄養調査

※ 3) 市国保特定健診

※ 4) 市国保特定健診法定報告値

※ 5) 北海道健康づくり財団算出SMR

◆取組内容

- 循環器疾患の予防のため、市民健康相談や健康教育を実施し、個人の生活習慣に合わせた個別の保健指導を行ったほか、地区住民組織や企業等への啓発を行った。
- 生活習慣病予防による健康寿命の延伸と医療費の伸びの抑制を目的とした「旭川市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）」を平成29年3月に策定した。

◆結果

- 成人の喫煙率、食塩摂取量、脂質異常症など、生活習慣に係る指標については改善が見られるものの、低調に推移している。
- 生活習慣を改善しようと思う人の割合は女性より男性が低く、特に壮年期の男性が低い状況である。
- 虚血性心疾患のSMRについて、男女ともに基準値より高くなっている。
- メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合は減少傾向である。

◆課題

- 虚血性心疾患のSMRが全国と比較して高い状況にあることから、健（検）診の受診から生活習慣の改善につなげるなど、脂質異常症、高血圧などの発症及び重症化予防に向けた取組の充実が必要である。

◆今後の方向性

- 国民健康保険におけるレセプトデータや特定健診結果等を活用し、治療が必要な未治療者に対する受診勧奨を行うほか、KDB（国保データベース）等によるデータ分析を進め、本市の健康課題をより明確にし、効果的な保健事業を推進する。

ウ 糖尿病につながる生活習慣を改善しよう

◆健康指標

健康指標	基準値	中間値	目標値	指標の達成状況
■日常生活における歩数の増加《再》 ¹⁾				
男性（20～69歳）	6,142歩	4,105歩	7,700歩以上	×
男性（70歳以上）	3,986歩	2,334歩	5,500歩以上	×
女性（20～69歳）	5,441歩	4,856歩	7,000歩以上	×
女性（70歳以上）	3,179歩	3,776歩	4,700歩以上	○
■メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少《再》 ²⁾	25.4%	24.8%	24%以下	○
■糖尿病有病者の増加の抑制 ³⁾	3,391人	3,499人	3,800人以下	◎
■血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の減少 ⁴⁾	0.7%	0.5%	0.6%以下	◎
■合併症（更生医療で人工透析を受けている人のうち、原傷名が糖尿病腎症・糖尿病等による人）の減少 ⁵⁾	349人	490人	430人以下	×

※ 1) 国民健康・栄養調査（旭川市分）

※ 2) 市国保特定健診法定報告値

※ 3) 市国保疾病統計（5月）

※ 4) 市国保特定健診

※ 5) 市障害福祉課提供資料（6月末）

◆取組内容

- 特定健診の事後指導において、血糖値が保健指導判定値及び受診勧奨判定値に該当する者について、優先的に個人の生活習慣に合わせた保健指導を実施した。
- 地区住民組織や企業等に出向き、食生活や運動、肥満などについての健康教育を行い、生活習慣病予防に関する啓発を行った。

◆結果

- 糖尿病の有病者数の増加は低く抑えられている。
- 糖尿病に起因する人工透析導入者が増加している。

◆課題

- 糖尿病の発症につながる肥満や不適切な生活習慣の改善に向けた啓発事業の継続的な取組とともに、糖尿病に起因する人工透析の新規導入者を抑制するための取組が必要である。

◆今後の方向性

- 糖尿病の発症予防に向けた啓発を行うとともに、重症化予防として、生活習慣の改善や受診勧奨を目的とした個別の保健指導などの支援を行う。また、旭川市国民健康保険保健事業実施計画に基づき策定した糖尿病性腎症重症化予防プログラムに即し、医療機関や関係団体との連携体制の構築に向けた取組を推進する。

3 計画目標年度に向けた重点的な取組

(1) 基本的な考え方

第2次健康日本21旭川計画では、疾病や障害の有無に関わらず、すべての市民が生涯を通じて健やかで心豊かな生活を送ることができるよう、健康寿命を延伸し生活の質の向上を図ることを最終的な目標とし、

○より効果的な施策展開や新たな事業の構築を通じ、健康づくりにおける基盤づくりをすること
○個人の主体的な取組を、行政をはじめとした関係機関・団体が連携し、社会全体で支援すること

○市民が自らの意思で積極的に一次予防、二次予防の取組を実践するための対策を推進すること
○子どもの頃からの生活習慣づくりや高齢期における運動機能の維持など、ライフステージに応じた健康づくりに取り組むこと

○個人の健康は、家庭、学校、職場、地域等の社会環境が影響するため、これらを取り巻く健康づくりに取り組みやすい環境の整備と情報提供を行うこと

などの基本的な方針の下、様々な取組を進めてきた。

今後は、この方針及び中間評価の結果を踏まえ、各分野に共通する次の重点的な取組を中心に計画に掲げた目標の達成に努めていく。

(2) 重点的な取組

① 市民自らの健康づくり

高齢化により生活習慣病に関するリスクの一層の増加が見込まれる中、計画において重視する「一次予防」である生活習慣の改善として、健康増進の基本となる「栄養・食生活」「身体活動・運動」「休養・心の健康づくり・アルコール」「歯の健康」「たばこ」の5分野の取組を引き続き推進し、健康指標の状況から「身体活動・運動」の分野については、特に重点を置いた取組を推進する。

② 市民自らの健康チェック

一予防のための継続的な取組に加え、二次予防として、生活習慣病の重症化予防も重要な要素であることから、「糖尿病・循環器病・がん」の分野の取組において、市民自らの健康チェックとして疾病の早期発見のほか、自身の身体の状態を知る機会にもなる健診（検診）受診のための普及啓発の取組を推進する。特に、がん検診の受診率が低調であることから、効果的な受診勧奨を含めた対策を行う。

③ 健康づくりのための環境整備と情報発信

市民の健康づくり意識・知識をより高め、市民一人ひとりが生活習慣の改善に向けた行動に結びつくためのきっかけづくりと、その行動が習慣として継続されることが重要であることから、取組を続けやすい環境の充実を図り、健康づくりの活動に役立つ様々な情報について積極的に発信し、分かりやすく確実な提供を行う。

④ 関係機関との連携

健康づくりは市民一人ひとりが主体的に行うことが重要であるが、その取組を社会全体でサポートする環境も重要であることから、行政をはじめとした健康に関わる様々な関係者がそれぞれの特性を生かしつつ一層連携し、市民が日常の中で無理なく健康づくりに取り組めるよう、支援体制の充実を図る。

1 旭川市保健所運営協議会による中間評価

(1) 旭川市保健所運営協議会への諮問及び答申

旭健推第299号
平成29年7月10日

旭川市保健所運営協議会
会長 山下 裕久 様

旭川市長 西川 将人
(保健所健康推進課担当)

第2次健康日本21旭川計画の中間評価について（諮問）

次の事項について意見を求めます。

1 諮問事項

今後の健康づくり施策を効果的に推進していくため、第2次健康日本21旭川計画の達成状況や事業実績について分析・評価等を行うこと。

2 諮問の背景

平成25年3月に策定した第2次健康日本21旭川計画では、計画をより実効性のあるものとするため、進捗状況を的確に把握し、基本方針との整合性を保ちながら計画的に取組を進めることが重要としている。また、本計画の期間は平成25年度から平成34年度までの10年間としており、目標の達成に向けた計画の適正な進行管理のため、開始から5年後を目途に中間評価を実施し、目標の達成状況や社会情勢等の変化を踏まえた見直しを行うこととしている。

中間評価の実施に当たっては、市民、学識経験者、保健医療関係団体等で構成される委員会を設置して作業を行うこととしていることから、構成員の条件を満たす貴協議会において、調査審議を求めるものである。

平成29年12月22日

旭川市長 西川 将人 様

旭川市保健所運営協議会
会長 山下 裕久

第2次健康日本21旭川計画の中間評価について（答申）

平成29年7月10日付け旭健推第299号で本協議会に諮問された第2次健康日本21旭川計画の中間評価について、計画の達成状況や事業実績を把握・分析し、課題の抽出と合わせて今後の取組の方向性について審議を行い、協議会として別紙のとおり意見を取りまとめました。

今後は、これらの意見を十分踏まえ、市民の主体的な健康づくりを推進するために、関係団体等との連携の下、健康施策のより一層の充実に努められるよう要望いたします。

意見

1 全般的な評価

近年、国においては、団塊の世代が75歳以上となり介護や医療費などの社会保障費の増大が懸念されることから、2025年問題として様々な政策を実施してきた。中でも、この問題に対応するためには、国民の一人一人が若い年代から健康づくりに取り組むとともに、健康診断やがん検診等を定期的に受診し、疾病の発症や重症化を予防することが重要であるとしている。

健康づくりは、自らの健康は自らがつくるという意識を持ち、自らの意思により生活習慣の見直しや疾病の予防、健（検）診の受診、運動などに取り組むことが大切である。

そのため本市においても、行政をはじめ、健康に関わる様々な関係者がそれぞれの特性を生かしつつ連携することが不可欠であり、個人や家庭などで無理なく健康づくりを行える環境の整備、健康づくりに取り組むためのきっかけづくりや動機付けへの支援、そうした情報を確実に市民に届けるための周知が必要となる。

今般の評価作業において、計画に定める健康指標の中間値と目標値を確認した中で、現状において進捗に遅れがあるものについては、計画の終期に向け一層取組を加速していかなければならない。また、既に目標値を達成しているものについては、更なる取組の充実や推進を図ることが求められる。

今後は、今回の審議において取りまとめた計画の6つの分野ごとの今後の取組の方向性を踏まえ、国における健康増進法、食育基本法などの関係法令や健康日本21の中間評価及び北海道における健康づくりに関わる各種計画等の動向も注視しながら、引き続き取組を推進していくことが必要である。

2 6分野の取組について

(1) 栄養・食生活

ア 適正体重を維持する人を増やそう

〈課題〉

○適正体重を把握し、その維持を実践する市民を増加させるため、体重コントロールを実践する意欲向上を図り、具体的な実践方法について広く情報提供を行う必要がある。特に高齢者のやせは、様々な病気の要因になるため、低栄養傾向の状況について配慮する必要がある。

〈方向性〉

○肥満ややせと疾病の関係性など、適正体重に関する正しい知識の普及啓発や情報提供に努め、体重コントロールの実践に結びつけていく。

○子どもの頃からの規則正しい食習慣を身につけ、適正体重を維持できるよう、関係機関や関係団体と連携し、食育の取組を一層推進する。

また、給食施設における栄養評価を利用者に対する指導につなげていく。

イ 栄養成分表示を参考にし、バランスのとれた食事をする人を増やそう

〈課題〉

○栄養成分表示の店について、成分表示への理解をより一層深め、登録数を増やしていく必要が

ある。

○全体のバランスがとれた食事が基本であるが、的を絞って取り組むことも重要である。

〈方向性〉

○栄養成分表示の店について、事業者や調理師会等の関係団体と連携し、登録店の増加に向けた取組を行う。

○適切な栄養素の摂取や栄養バランスのとれた食生活を推進するため、市民に分かりやすい周知啓発方法などを検討し、効果的な事業の推進を図る。

ウ 朝食を摂る人を増やそう

〈課題〉

○朝食を無理なく摂取できる生活リズムや1日の食生活全体の工夫など、各家庭、個人の取組を支援し、朝食の重要性について啓発の充実を図る必要がある。

○児童生徒の朝食摂取の状況があまり改善されていないことから、学校での取組状況の継続的な把握のほか、就学前の健康診査等においても指導・取組を行うことが必要である。

○子育て世代、これから親になる世代への理解を一層深め、食生活を改善する必要がある。

〈方向性〉

○子どもの頃からの規則正しい食習慣の重要性について、家庭や学校教育機関等と連携し、引き続き普及啓発を行う。

○各家庭や個人のライフスタイルに合った主体的な食育を支援するため、情報提供の充実や健康相談等の実施を行うほか、地域と連携、協力した取組を進める。

(2) 身体活動・運動

ア 意識して歩くなど身体活動を増やそう

〈課題〉

○市民アンケートにおいて、男女とも身体活動量が低下しており、特に壮年期では、他の年代に比べ、意識的に体を動かしている人の割合が低いことから、運動の必要性に対する意識付け、動機付けを行い、身体活動量の向上を図る必要がある。

○身近な場所で身体活動が行えるよう、関係団体と連携のもと各種事業や情報提供などを行っているが、積極的に参加する市民がいる一方、市民全体の日常的な身体活動量の増加には結びついておらず、学校施設スポーツ開放事業で活動している団体の活動状況など、市民が運動に関われる機会についての周知を積極的に行う必要がある。

〈方向性〉

○身体活動量向上のため、身体を動かすことの意義や重要性についての普及を図るとともに、日常生活及び職場等で手軽に行える取組、公園やウォーキングコース等、身近で運動できる機会や場所などの情報提供を行う。

○高齢者は、介護予防の観点からも身体的な生活活動能力の維持が重要であることから、仕事、ボランティア、趣味などの社会参加や仲間づくりを推進するほか、身近な環境で身体活動を継続するための普及啓発や情報提供を行う。

イ 運動を楽しみ、積極的に身体を動かそう

〈課題〉

- 各種団体等との連携の下、様々なイベントや教室等が実施されているが、積極的に参加する市民がいる一方、市民全体の継続的な運動習慣には至っていない。
- 運動への動機付けと、降雪期にも身近な場所で安全に取り組むことができる運動の普及を図る必要がある。

〈方向性〉

- 個人のライフスタイルや季節に応じた運動の実践を促進するため、関係団体等と連携し、スポーツの効果や楽しさについての啓発や取組を一層推進するほか、冬季間の運動施設やウィンタースポーツ等の情報を積極的に提供していく。
- 青少年の体力・運動能力の向上と運動に親しむ姿勢を育むため、学校や地域団体等と連携を図りながら、幼児期から運動に親しみ、楽しさや喜びを味わう機会の提供や積極的な情報発信を行う。

(3) 休養・心の健康づくり・アルコール

ア ストレスとの上手なつきあい方と解消方法を身につけよう

〈課題〉

- 複雑化する相談内容や心の健康に関する相談に対応できる関係相談窓口について、市民への周知を徹底する必要がある。
- 自殺対策基本法に基づく取組計画の策定や労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施を踏まえ、心の健康増進への取組の推進が必要である。

〈方向性〉

- 心の健康に関する知識の普及啓発の充実を図るとともに、ストレスへの対応方法等について、各種媒体を活用した普及啓発に積極的に努める。
- 自殺対策については、家庭や職場などの様々な要因があることから、自殺予防効果の高い健康教育の拡充を図るとともに、地域や企業等への精神保健相談の周知を引き続き行う。
- 複雑多様化する相談内容に対応するため、地域と連携した相談体制の整備や相談支援者の技術向上に努める。

イ 適切な休養を確保しよう

〈課題〉

- 休養、睡眠不足の原因の把握と対応が必要である。
- 労働安全衛生法の改正により、労働者に医師、保健師等による心理的な負担の程度を把握するためのストレスチェックの実施が義務付けられたことを踏まえ、事業者と連携した取組の推進が必要である。

〈方向性〉

- 睡眠及び休養は、QOLに影響を与える重要な要素であることから、様々な機会をとらえ、健康教育・普及啓発を推進する。

ウ 飲酒の適量を知ろう

〈課題〉

- 飲酒に関する健康教育を実施する機会の増加及び効果的な普及啓発の実施が必要である。

〈方向性〉

- 節度ある適度な飲酒の知識やアルコールと生活習慣病の関連性等について、関係団体と連携しながら、より効果的に普及啓発及び指導を行う。
- アルコール健康障害対策基本法等のほか、国や道の動向を踏まえ、必要に応じた取組を検討する。

エ 未成年者の飲酒をなくそう

〈課題〉

- 年齢とともに飲酒率が上昇していることへの対応を含め、目標値の達成に向けた取組が必要である。
- 飲酒防止については、妊娠中の女性の飲酒防止についても同様に取り組む必要がある。

〈方向性〉

- 未成年の飲酒防止は、保護者や関係教育機関との連携に努め、普及啓発を行う。
- 飲酒が母胎や胎児、乳幼児に及ぼす影響について、普及啓発を行う。

(4) 歯の健康

ア 歯と口の状態に適したセルフケアと定期受診で歯の喪失を予防し、8020を目指そう

〈課題〉

- ライフステージに応じたセルフケアや定期的な歯科受診について、一層普及啓発を図る必要がある。
- 歯と口の健康は、全身の健康にも影響を及ぼすとされている中、歯の健康と生活習慣病との関連性の面から積極的に情報提供を行う必要がある。

〈方向性〉

- 関係団体と連携しながら広く歯や口の健康に関する情報提供の充実を図り、ライフステージに応じた歯の健康づくりをより一層推進する。
- 全身の健康への影響や生活習慣病との関連性について積極的に情報提供を行うとともに、セルフケアや定期的な歯科受診の重要性に係る普及啓発に継続的に取り組む。

イ 歯や口の問題を放置せずに、かかりつけ歯科医に相談し、歯の健康維持のコツを身につけよう

〈課題〉

- かかりつけ歯科医を活用したセルフケアの向上と、定期的なプロフェッショナルケアについて、一層意識付けを行っていく必要がある。
- 歯と口の健康づくりにおいては、喫煙や食生活をはじめとする生活習慣の改善が重要であることについて、一層啓発を図る必要がある。

〈方向性〉

- 歯や口の健康づくりを支援するため、歯周病のセルフチェックや生活習慣改善に向けた情報提供の充実を図るとともに、かかりつけ歯科医の意義等の普及啓発に継続的に取り組む。

ウ 生活習慣の改善と歯質の強化で、子どものむし歯を予防しよう

〈課題〉

- 幼児期からのむし歯の発生を防ぐため、より良い生活習慣の形成を促進するとともに、妊娠期

などの早期から、予防に係る知識の普及を図る必要がある。

○フッ化物洗口の普及を推進するため、むし歯予防におけるフッ化物応用の重要性和正しい知識の普及を図る必要がある。

〈方向性〉

○健康な歯と口を育むため、関係団体と連携しながら、よく噛むことを含む適切な食習慣、歯みがき習慣等について、正しい知識の普及啓発に継続的に取り組む。

○関係団体と連携しながら、フッ化物の応用によるむし歯予防対策をより一層推進する。

(5) たばこ

ア 喫煙が及ぼす健康への影響を減らそう

〈課題〉

○男女とも30代、40代の子育て世代の喫煙率が高く、特に女性の喫煙率が全国と比較して高い。

○非喫煙者の約4割が受動喫煙の影響を受けている状況を踏まえ、多数の市民が利用する施設等における禁煙・分煙対策を一層推進する必要がある。

〈方向性〉

○喫煙と受動喫煙が健康に及ぼす影響について、広く知識の普及啓発を行うとともに、喫煙者に対する禁煙への動機付けや禁煙支援に継続的に取り組む。

○国や北海道の動向を注視しながら、禁煙・分煙対策に継続的に取り組むなど、受動喫煙防止に向けた取組を一層推進する。

イ 妊娠中及び産後の喫煙をなくそう

〈課題〉

○妊娠中の喫煙を一層減少させる必要がある。

○妊娠中及び産後の喫煙は、不安やストレスが一因となっている場合もあるため、それらを踏まえた対策を検討する必要がある。

〈方向性〉

○妊産婦の喫煙及び受動喫煙の健康への影響について、広く情報発信を行うとともに、様々な機会を捉え、効果的に禁煙に対する動機付けを行っていく。

○喫煙が及ぼす母胎・胎児・新生児・乳幼児への影響について、様々な広報媒体を活用しながら正しい知識の普及啓発に継続的に取り組むとともに、育児等に関わる各種相談窓口等について、情報提供の充実を図る。

ウ 未成年者の喫煙をなくそう

〈課題〉

○未成年者の喫煙を一層減少させる必要がある。

〈方向性〉

○たばこについては、「最初の1本に手を出さない」ことが最も重要であると考えられるため、たばこが健康に及ぼす影響等について情報提供の充実を図る。

○学校等との連携を密にしながら若い年代からの喫煙防止教育に継続的に取り組むなど、未成年者の喫煙防止対策をより一層推進する。

(6) 糖尿病・循環器病・がん

ア 自分の健康状態をチェックし、健康づくりに取り組もう

〈課題〉

- 自分自身の健康状態を客観的に確認するためにも、健（検）診の受診率向上のための取組の充実が必要である。
- 喫煙と関連性が深い、食道・大腸・肺がんのSMR（標準化死亡比）が全国と比較して高い状況にあることから、禁煙・受動喫煙防止対策の充実を一層図る必要がある。

〈方向性〉

- 市民が主体的に行う健康づくりを支援するための各種健康情報などの情報発信を強化していくとともに、健（検）診については、効果的な周知啓発や個別通知などの勸奨事業に取り組むほか、受診しやすい環境の整備を行うことで受診率の向上を図る。
- 国や北海道の動向を踏まえた受動喫煙防止対策の取組を一層推進するほか、たばこが健康に及ぼす影響について、広く知識の普及啓発を図り、禁煙支援に継続的に取り組む。

イ 循環器疾患の原因となる脂質異常症、高血圧などにつながる生活習慣を改善しよう

〈課題〉

- 虚血性心疾患のSMRが全国と比較して高い状況にあることから、健（検）診の受診から生活習慣の改善につなげるなど、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの発症及び重症化予防に向けた取組の充実を図る必要がある。

〈方向性〉

- 国民健康保険におけるレセプトデータや特定健診結果等を活用し、治療が必要な未治療者に対し、受診勧奨を行うほか、KDB（国保データベース）等によるデータ分析を進めることでより本市の健康課題を明確にし、効果的な保健事業を推進する。

ウ 糖尿病につながる生活習慣を改善しよう

〈課題〉

- 糖尿病発症につながる肥満や不適切な生活習慣の改善に向けた啓発事業を継続的に取り組むとともに、糖尿病に起因する人工透析の新規導入者を抑制するための取組が必要である。

〈方向性〉

- 糖尿病の発症予防に向けた啓発を行うとともに、重症化予防として、生活習慣の改善や受診勧奨を目的とした個別の保健指導などの支援を行う。また、旭川市国民健康保険保健事業実施計画に基づき、新たに糖尿病性腎症重症化予防プログラムを策定するとともに、医療機関や関係団体との連携体制の構築に向けた取組を推進する。

(2) 旭川市保健所運営協議会における審議経過等

旭川市保健所運営協議会における審議経過

	年月日	内容
平成 29 年度 第 1 回 旭川市保健所運営協議会	平成 29 年 7 月 10 日	市長から旭川市保健所運営協議会へ、第 2 次健康日本 2 1 旭川計画の中間評価に係る調査審議について諮問。 協議会において、調査審議を行うための「第 2 次健康日本 2 1 旭川計画中間評価部会」を設置。
第 2 次健康日本 2 1 旭川計画中間評価部会（第 1 回）	平成 29 年 8 月 3 日	【議事】 (1)第 2 次健康日本 2 1 旭川計画中間評価の概要について (2)健康指標の達成状況について (3)取組状況について (4)その他
第 2 次健康日本 2 1 旭川計画中間評価部会（第 2 回）	平成 29 年 9 月 6 日	【議事】 (1)意見交換 6つの取組分野のうち「栄養・食生活」、「身体活動・運動」、「休養・心の健康づくり・アルコール」について (2)その他
第 2 次健康日本 2 1 旭川計画中間評価部会（第 3 回）	平成 29 年 10 月 5 日	【議事】 (1)意見交換 6つの取組分野のうち「歯の健康」、「たばこ」、「糖尿病・循環器病・がん」について (2)その他
第 2 次健康日本 2 1 旭川計画中間評価部会（第 4 回）	平成 29 年 11 月 13 日	【議事】 (1)意見交換 第 2 次健康日本 2 1 旭川計画中間評価審議結果報告の取りまとめについて (2)その他
第 2 次健康日本 2 1 旭川計画中間評価部会（第 5 回）	平成 29 年 12 月 8 日	【議事】 (1)意見交換 第 2 次健康日本 2 1 旭川計画中間評価審議結果報告書について (2)その他
平成 29 年度 第 3 回 旭川市保健所運営協議会	平成 29 年 12 月 22 日	部会から協議会に対し、部会における審議結果を報告。 協議会から市長への答申内容を決定。

第2次健康日本21旭川計画中間評価部会委員名簿

氏名	機関団体名	備考
五十嵐 広平	旭川精神障害者家族連合会	
池端 郁子	公募委員	
石川 トモ子	公益社団法人 北海道栄養士会旭川支部	
小林 徳栄	一般社団法人 旭川歯科医師会	
西條 泰明	国立大学法人 旭川医科大学	部会長
佐川 徹	社会福祉法人 旭川市社会福祉協議会	
新野 さゆり	公益社団法人 北海道看護協会上川南支部	
清野 慶子	公募委員	
滝山 義之	一般社団法人 旭川市医師会	副部会長
堀 仁	一般社団法人 旭川薬剤師会	

2 各種データ

(1) 平成28年度健康日本21旭川計画アンケート調査結果

I 調査の概要

II 調査結果の分野別分析

II-1 回答者の属性について

- 1 性別
- 2 年齢
- 3 家族構成
- 4 職業
- 5 雇用形態
- 6 健康保険の種類

II-2 健康意識全般について

II-3 栄養・食生活について

II-4 身体活動・運動について

II-5 休養・心の健康づくり・アルコールについて

II-6 歯の健康について

II-7 健康チェック・たばこについて

III 調査集計（単純集計）結果

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の健康状態や健康づくりに対する意識と行動などについて、幅広い市民を対象にアンケート調査を実施し、その集計結果を把握・分析することによって、本市における健康づくりの総合的かつ効果的な推進に資することを目的とする。

2 調査項目

(1) 調査項目

ア 回答者の属性について	6問
イ 健康意識全般について	7問
ウ 栄養・食生活について	6問
エ 身体活動・運動について	6問
オ 休養・心の健康づくり・アルコールについて	12問
カ 歯の健康について	10問
キ 健康チェック・たばこについて	13問

(2) 設問数

60問

3 調査方法・対象等

- | | |
|------------|----------------------------|
| (1) 調査対象地域 | 旭川市全域 |
| (2) 調査対象者 | 旭川市民のうち、満20歳以上の男女各1,400人 |
| (3) 抽出方法 | 平成28年5月31日現在の住民基本台帳から無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 発送・回収ともに調査票の郵送によるアンケート方式 |

4 調査期間

平成28年6月10日～平成28年6月30日

5 回収結果

- | | |
|-----------|-------------------|
| (1) 発送数 | 2,800人 |
| (2) 有効回収数 | 1,189人 |
| (3) 回収率 | 42.5% (有効回収数÷発送数) |
| (4) 記入不備等 | 0人 |

6 調査結果の表示について

- (1) 調査結果の数値は、特に明記しない限り回答率(%)で示している。
回答数の母数は、その質問項目に該当する回答者の数であり、その数は「N」で示している。
- (2) 回答率は特に明記しない限り、原則として各設問の無回答を含む回答者総数に対する百分率(%)で表している。

- (3) 百分率は小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しているため、回答率の合計が100.0%にならない場合がある。
- (4) 複数の回答を求める設問では、回答率の合計が100.0%を超える場合がある。
- (5) 本文中では百分率を数値で示す場合、小数点第1位までの%を表示するが、数値を比較し大小関係を比較する場合は、「…ポイントの差」と表現している。
- (6) 性別や年齢層ごとの調査結果は、それぞれ無回答があるので、性別等における回答件数の合計は全体と一致しない場合がある。

7 参照した他の調査結果

当該計画策定時、中間評価時、現在における健康指標等の経年変化における比較を行うために、次の調査結果を引用した。

- (1) 平成13年度調査：「平成13年度 健康日本21旭川計画アンケート調査」
 - ・調査期間：平成13年6月25日～平成13年7月5日実施
 - ・回収結果：有効回答数1,426人（40.1%）

- (2) 平成16年度調査：「平成16年度 健康日本21旭川計画アンケート調査」
 - ・調査期間：平成16年6月29日～平成16年7月9日実施
 - ・回収結果：有効回答数1,521人（42.3%）

- (3) 平成23年度調査：「平成23年度 健康日本21旭川計画アンケート調査」
 - ・調査期間：平成23年6月9日～平成23年6月30日実施
 - ・回収結果：有効回答数1,562人（43.4%）

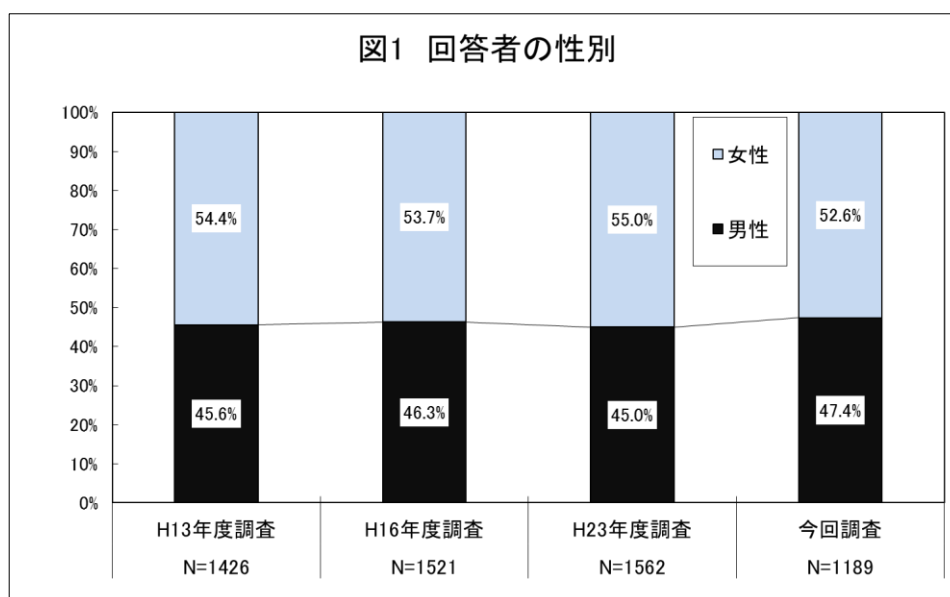
Ⅱ 調査結果の分野別分析

Ⅱ－1 回答者の属性について

■性別（問1）

回答者1,189人のうち、男性563人、女性626人となっている。

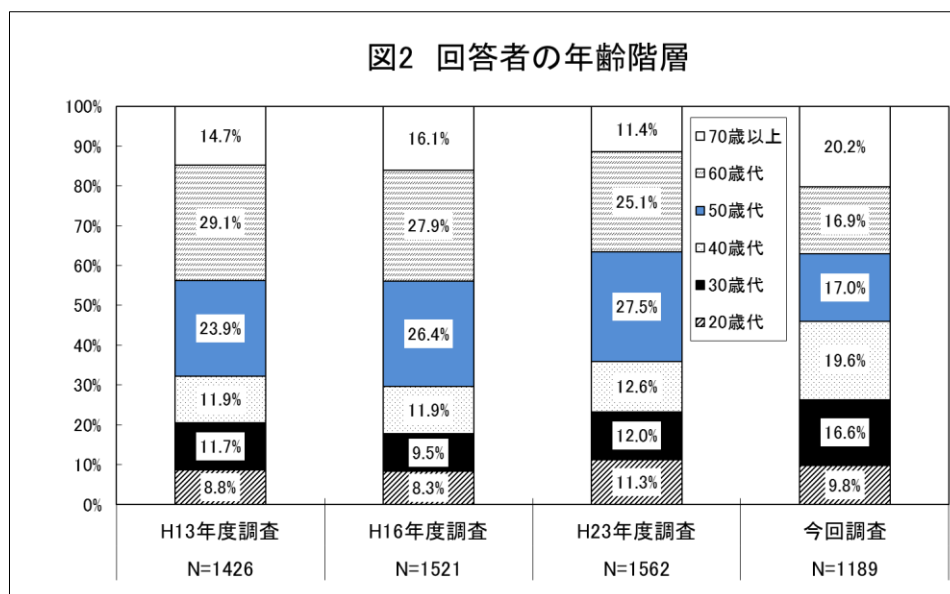
また、H23年度調査と比べると男性の割合が2.4ポイント増加し、女性はその分減少している。



■年齢階層（問2）

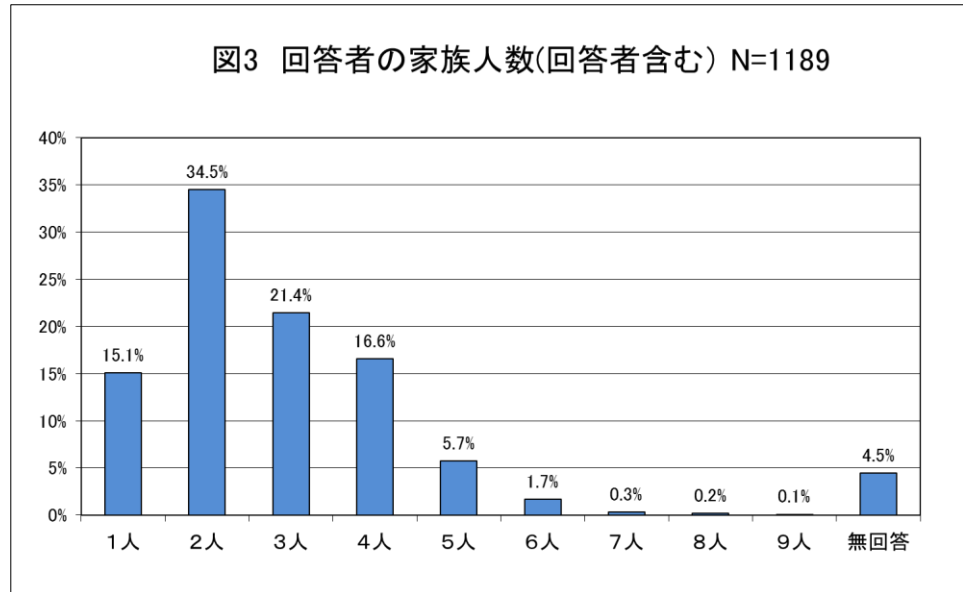
回答者の年齢構成は40歳代、70歳以上の割合が高くなっている。

H23年度調査と比べると30～40歳代及び70歳以上の割合が高くなり、20歳代、50～60歳代の割合が低くなっている。



■家族人数（問3）

回答者の家族人数は「2人」が最も多く、次いで「3人」「4人」「1人」が上位を占めている。



■家族の内訳及び世帯類型（問3）

家族の内訳は「配偶者」が最も高く、次いで「子ども」「母」となっている。

世代類型は「二世帯世帯」「一世帯世帯」が上位を占めている。

注)
単身世帯：
回答者のみ

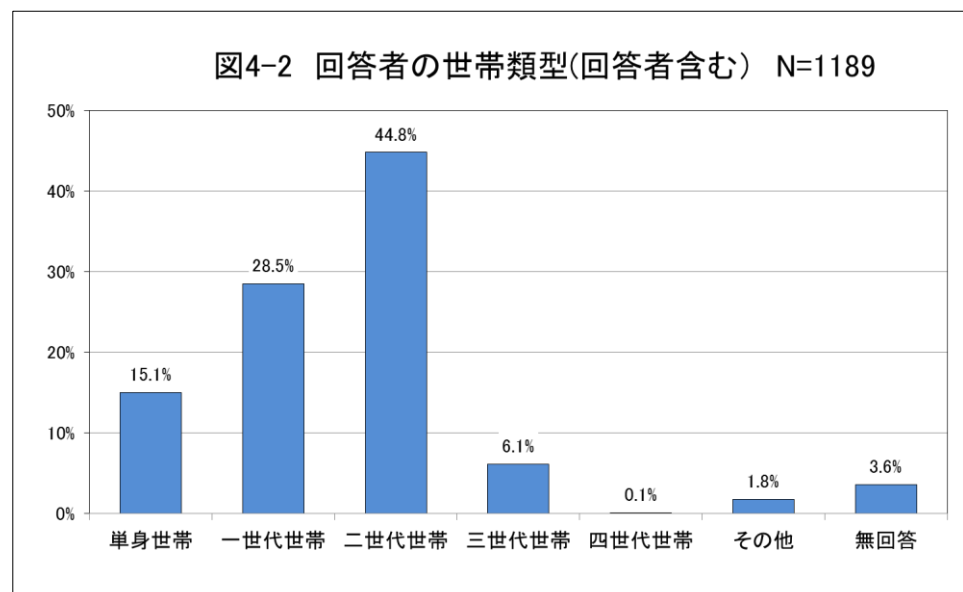
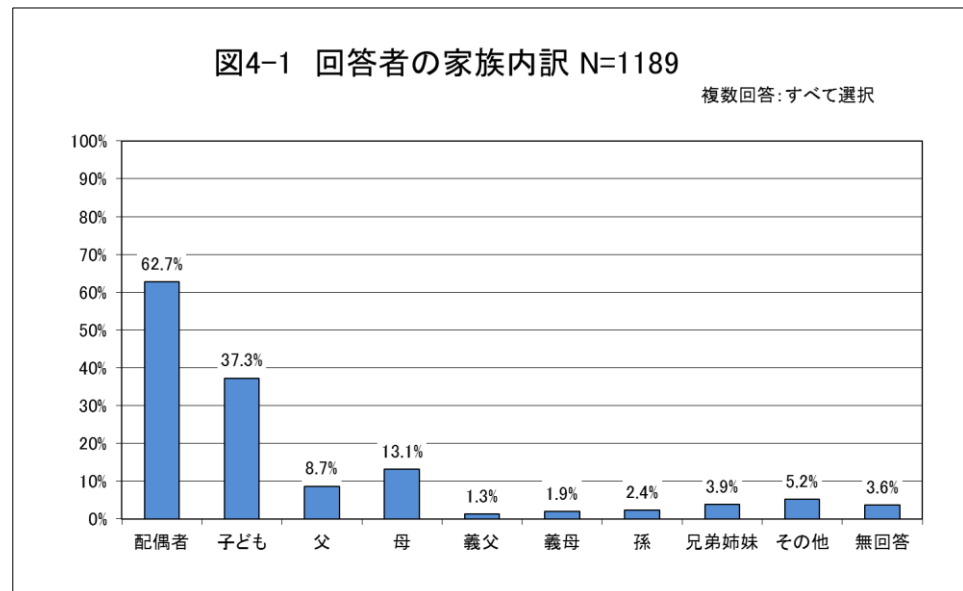
一世帯世帯：
回答者と配偶者
回答者と兄弟姉妹

二世帯世帯：
回答者と親
回答者と子

三世帯世帯：
回答者と親と子
回答者と子と孫

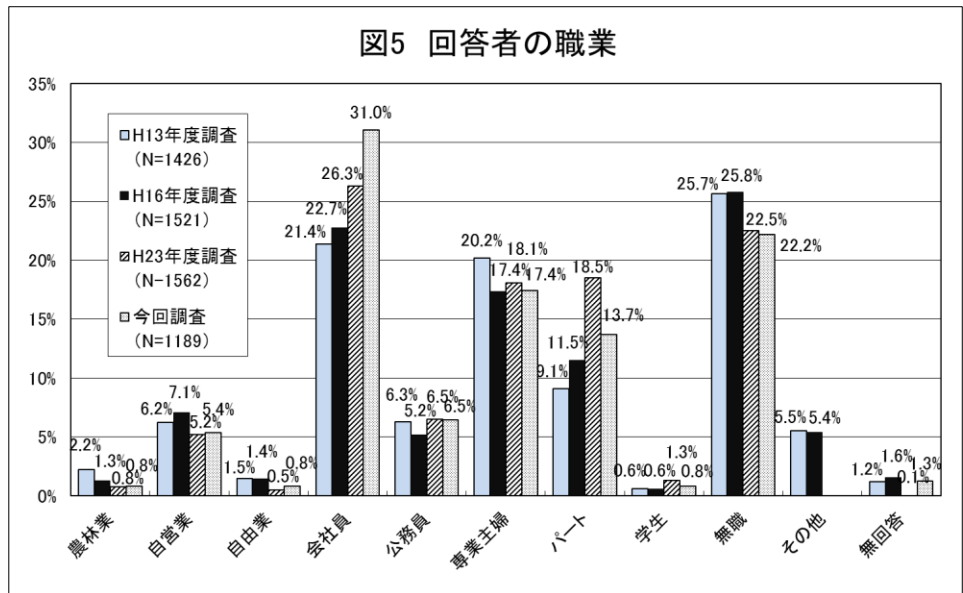
四世代世帯：
回答者と親と子と孫

二～四世代は配偶者、兄弟姉妹は勘案しない。



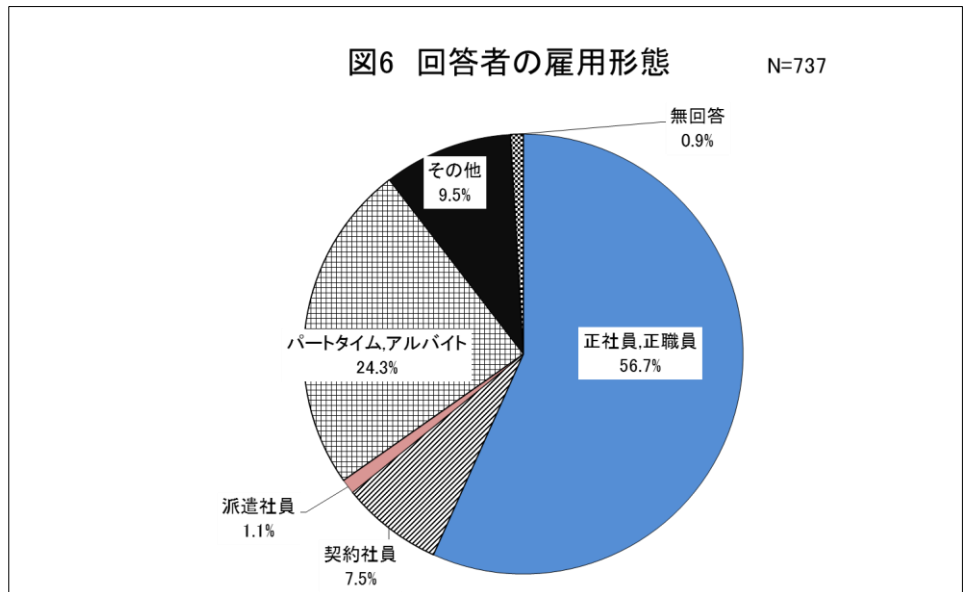
■職業（問4）

回答者の職業は「会社員」「無職」「専業主婦」「パート」が上位を占めている。H23年度調査と比べて「会社員」が3.7ポイント増加し、「パート」は4.8ポイント減少している。



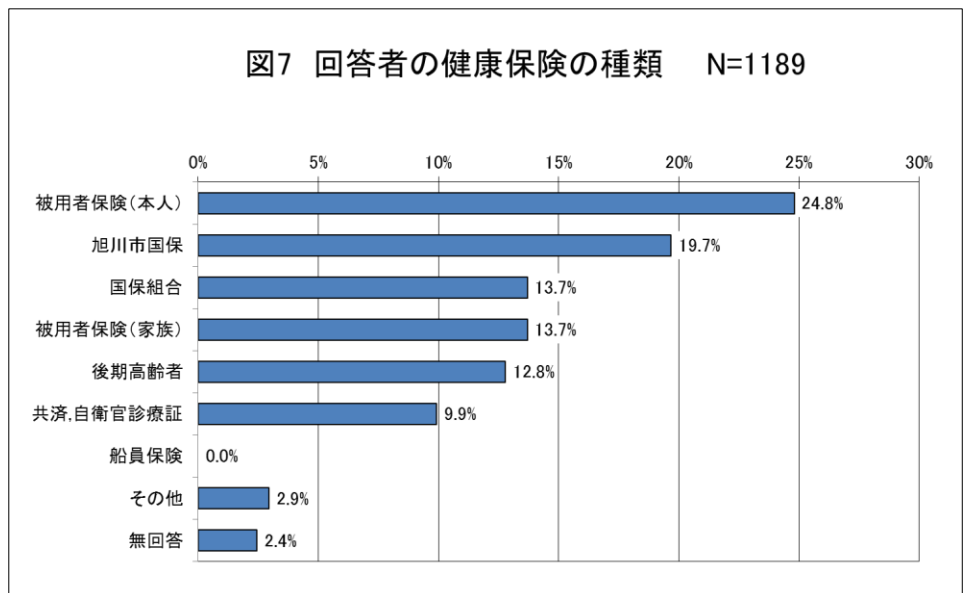
■雇用形態（問5）

雇用形態は「正社員、正職員」が最も高く、次いで「パートタイム、アルバイト」、「契約社員」の順となっている。



■健康保険の種類（問6）

「被用者保険(本人)」が最も高く、次いで「旭川市国保」となっている。

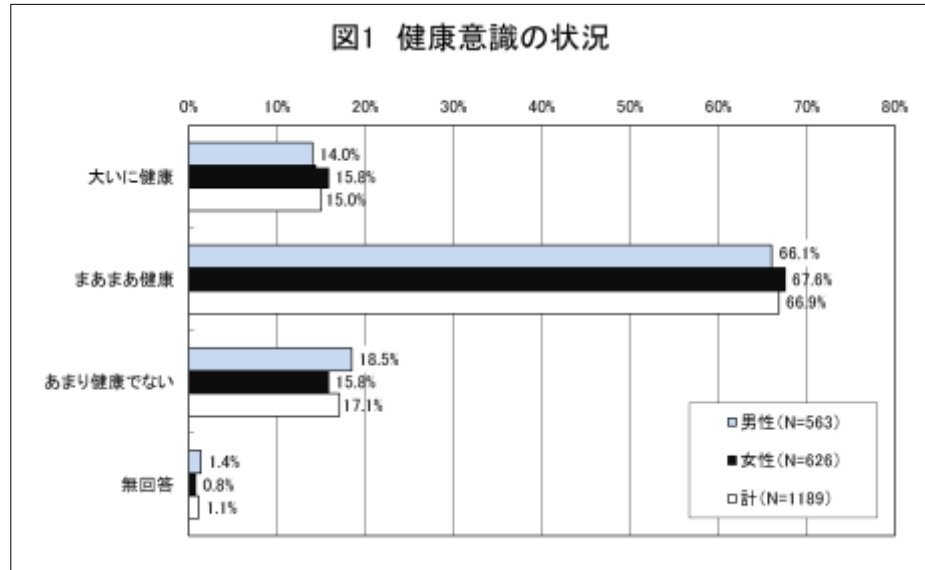


II-2 健康意識全般について

問7 ふだん、健康だと感じていますか。

■健康意識の状況

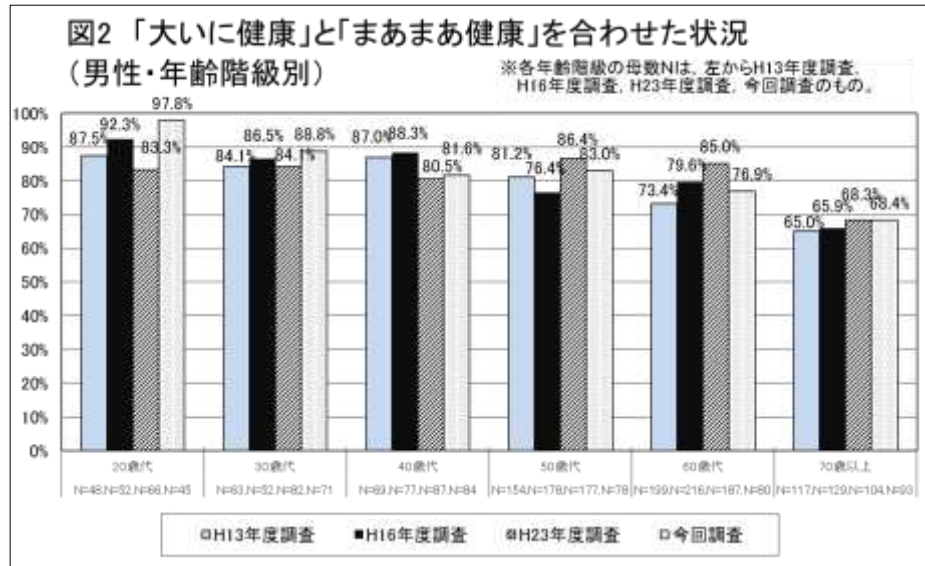
健康だと感じている人は、「大いに健康」と「まあまあ健康」を合わせると、男性 80.1%、女性 83.4%、計 81.9%となっている。



■「大いに健康」と「まあまあ健康」を合わせた状況 (男性・年齢階級別)

20～50 歳代は 80%を超えており、20 歳代が 97.8%と最も高い。

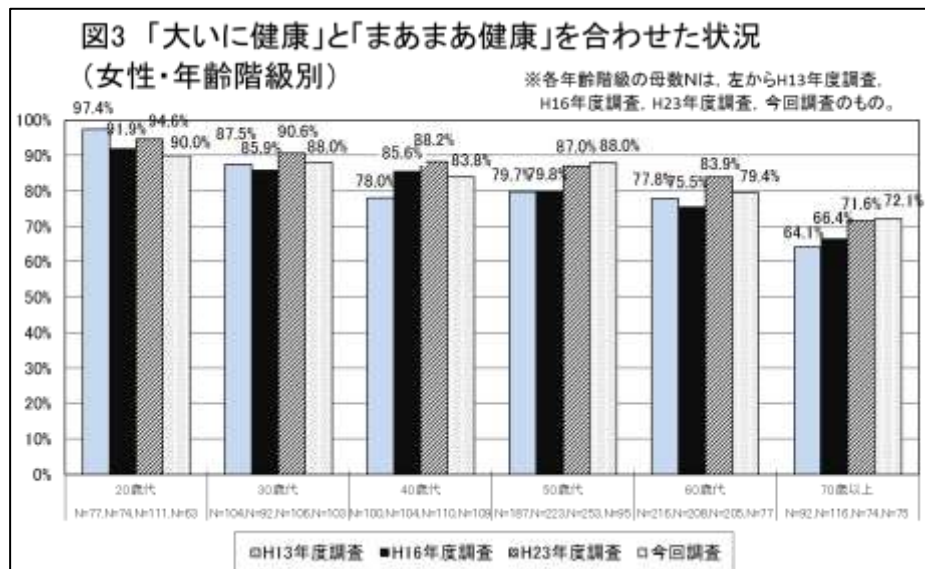
また、H23 年度調査と比べると 20 歳代～30 歳代では増加し、40 歳代以降はほぼ同じか減少している。



■「大いに健康」と「まあまあ健康」を合わせた状況 (女性・年齢階級別)

20～50 歳代は 80%を超えており、20 歳代が 90.0%と最も高い。

また、H23 年度調査と比べると 50 歳代及び 70 歳以上を除く年代で減少している。

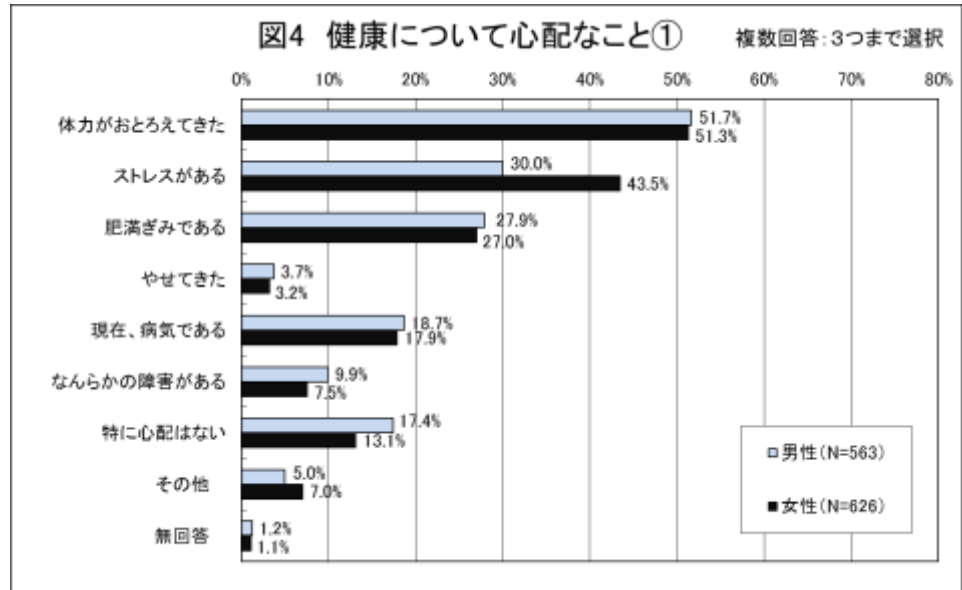


問8 御自身の健康について心配なことがありますか。(複数回答：3つまで選択)

■健康について
心配なこと①

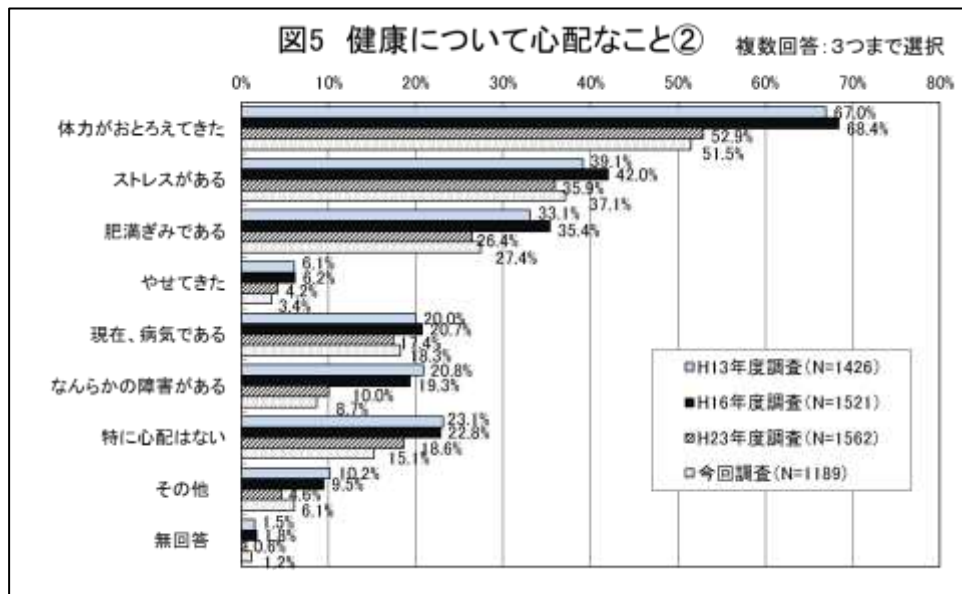
「体力がおとろえてきた」の割合が50%以上で最も高く、次いで「ストレスがある」「肥満みである」が上位を占めている。

性別で見ると「ストレスがある」では女性の割合が、「特に心配はない」では男性の割合が高くなっている。



■健康について
心配なこと②

H23 年度調査と比べると、「ストレスがある」「肥満みである」「現在、病気である」の割合が微増となっている。

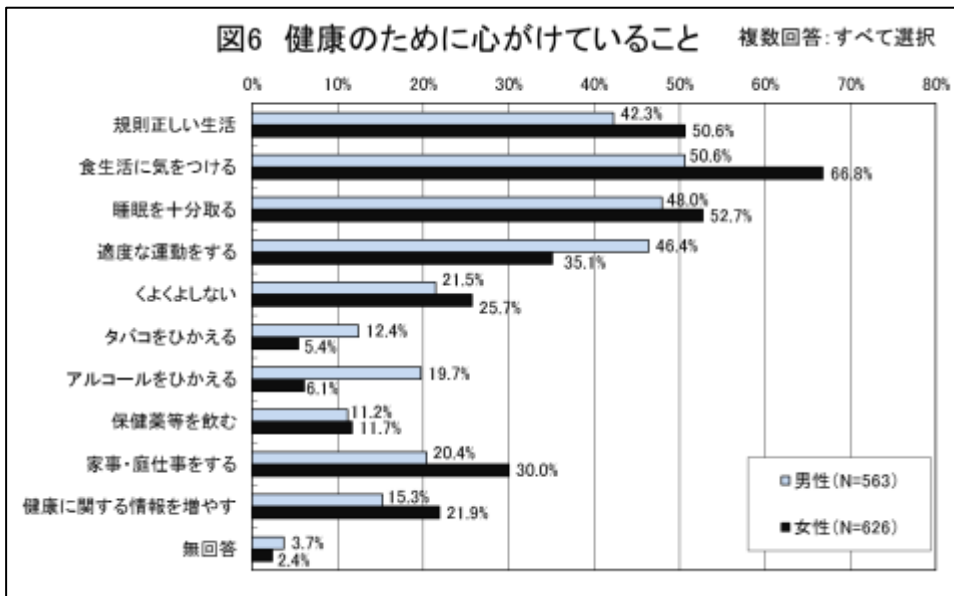


問9 ふだん健康のため、どのようなことを心がけていますか。(複数回答：すべて選択)

■健康のために心がけていること

「食生活に気をつける」が男女ともに最も高く、次いで「睡眠を十分取る」が上位を占めている。

性別で見ると「適度な運動をする」「アルコールをひかえる」「タバコをひかえる」では男性の割合が高く、「食生活に気をつける」「規則正しい生活」「家事・庭仕事をする」では女性の割合が高くなっている。

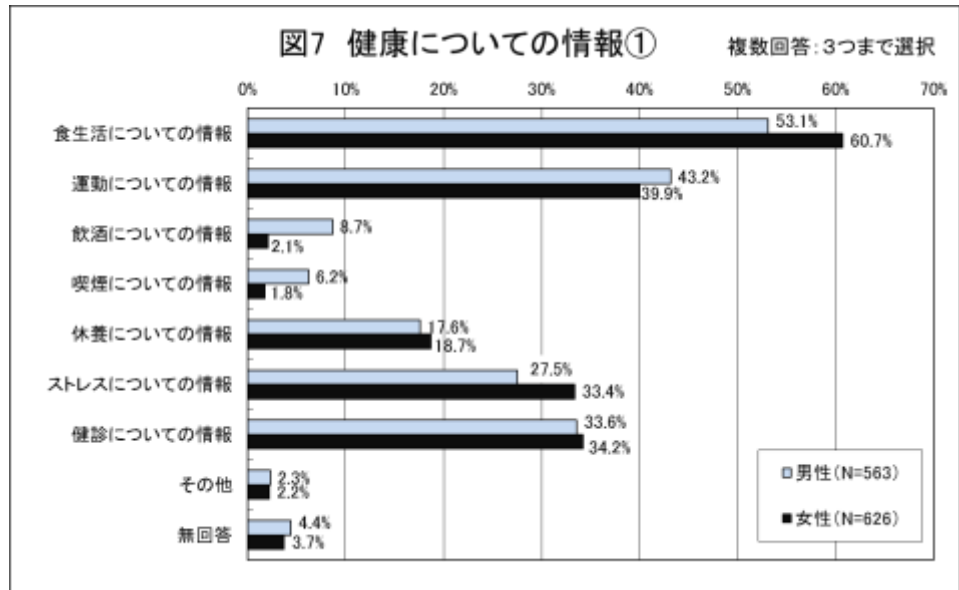


問 10 健康づくりや生活習慣改善について、どのような情報が欲しいと思いますか。
 (複数回答：すべて選択)

■健康について
 必要な情報①

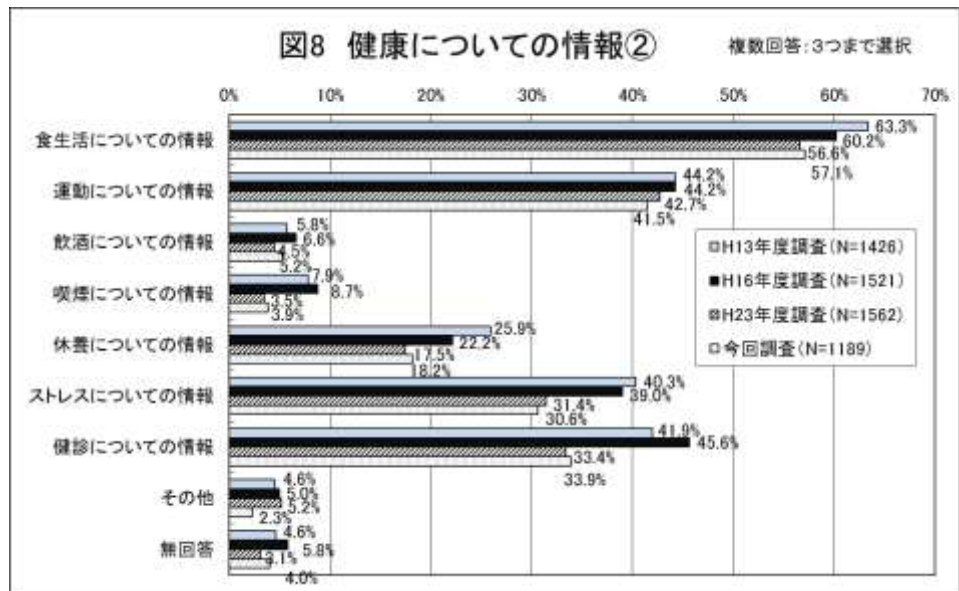
「食生活についての情報」が男女ともに最も高く、次いで「運動についての情報」が上位を占めている。

性別で見ると、「飲酒についての情報」「喫煙についての情報」等では男性の割合が高く、「食生活についての情報」「ストレスについての情報」等では女性の割合が高くなっている。



■健康について
 必要な情報②

過去 3 回の調査と比べると「運動についての情報」「ストレスについての情報」は減少傾向にある。



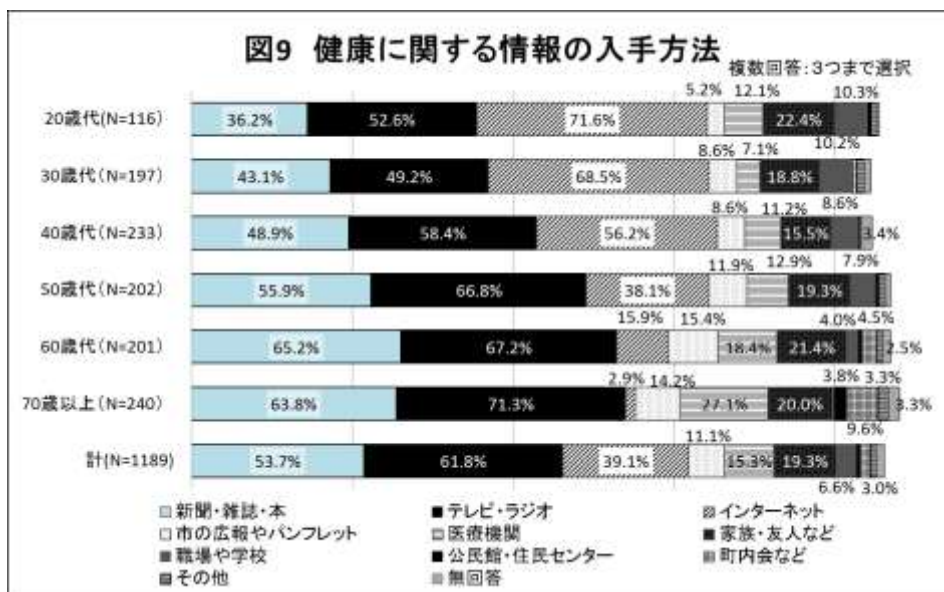
問 11 「問 10」のような情報を、主にどのようにして得ていますか。(複数回答：3つまで選択)

■健康に関する情報の入手方法

20～50 歳代では「新聞・雑誌・本」「テレビ・ラジオ」「インターネット」の割合が高い。

60 歳代以降では「新聞・雑誌・本」「テレビ・ラジオ」のほか「医療機関」「家族・友人など」から入手する割合が高くなっている。

また、H23 年度調査と比べると、インターネットの割合が全年代で増加している。



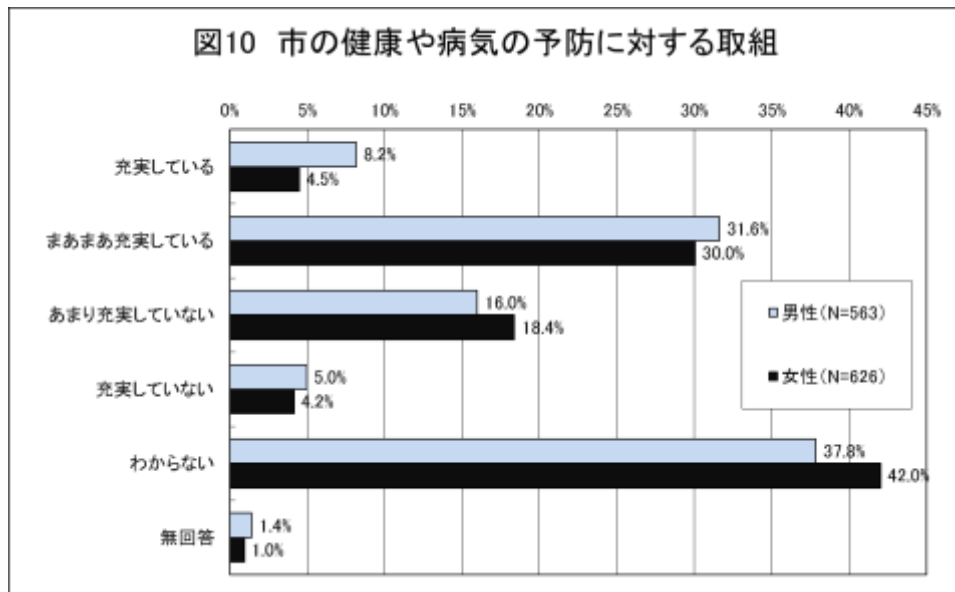
【参考】平成 23 年度調査におけるインターネットの割合

20 歳代	54.8%	60 歳代	10.5%
30 歳代	51.1%	70 歳代	1.7%
40 歳代	46.7%		
50 歳代	23.5%	全 体	27.5%

問 12 市の健康や病気の予防に対する取組は充実していると思いますか。

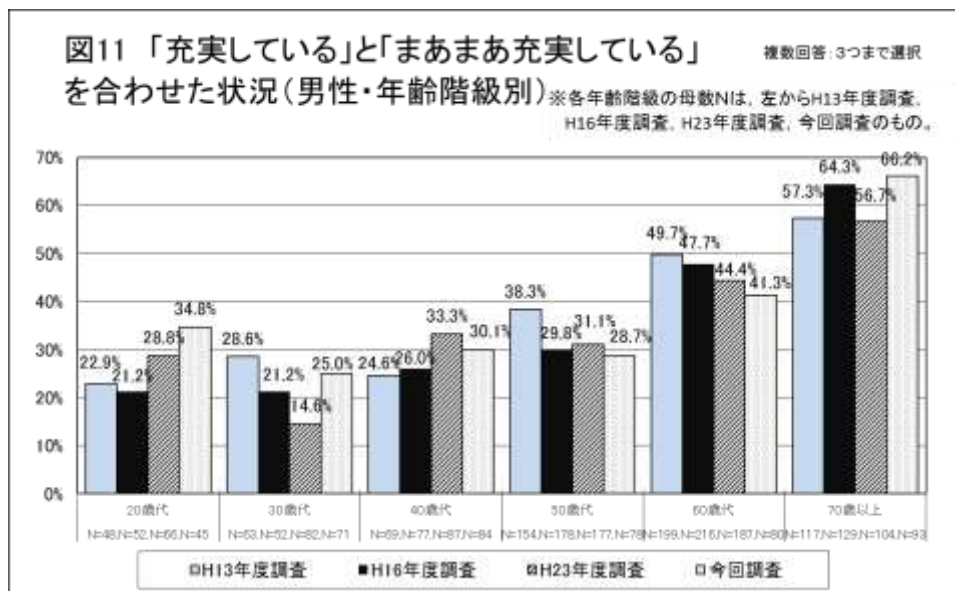
■市の健康や病気の予防に対する取組

「充実している」と「まあまあ充実している」を合わせると、男性 39.8%、女性 34.5%、となっている。
また、「わからない」の割合が男女ともに30%以上となっている。



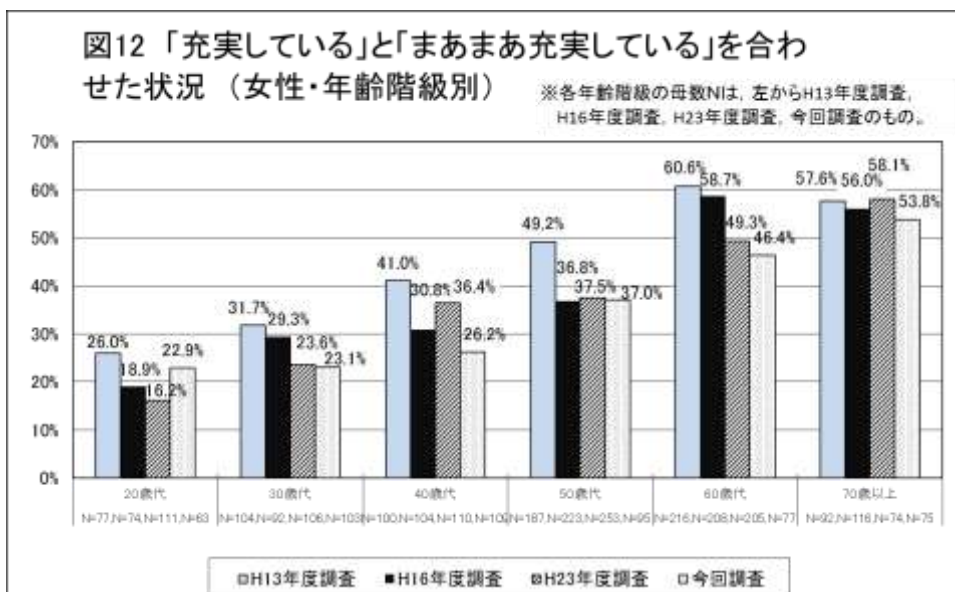
■「充実している」と「まあまあ充実している」を合わせた状況 (男性・年齢階級別)

30 歳代が最も低く、50 歳代以降では年齢が高くなるに従い割合も高くなっている。
H23 年度調査と比べると20～30 歳代及び70 歳以上で増加し、40～60 歳代で減少している。



■「充実している」と「まあまあ充実している」を合わせた状況 (女性・年齢階級別)

年齢が高くなるに従い割合も高くなっている。
H23 年度調査と比べると20 歳代は増加しているが、他の年代はほぼ同じか減少している。

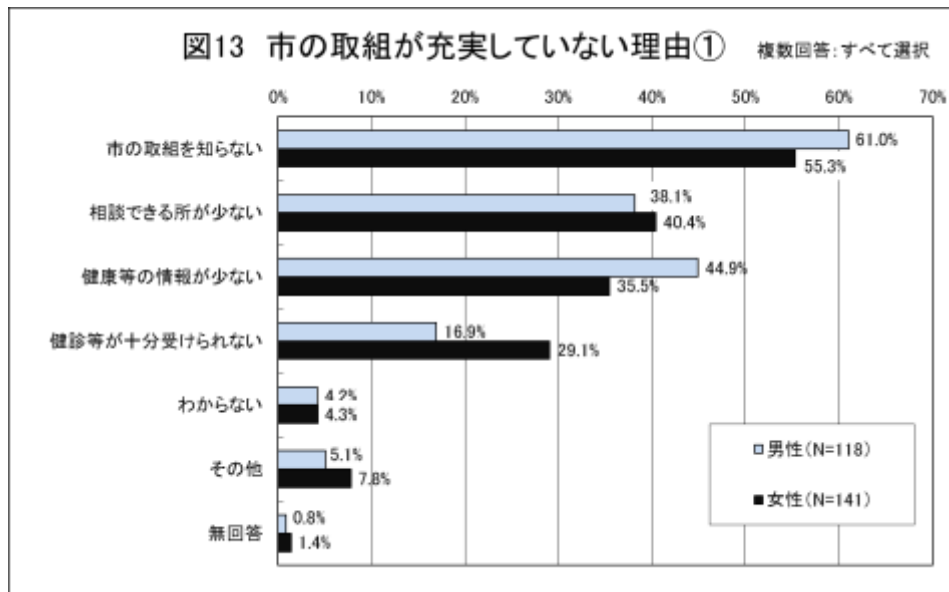


問13 <問12で「3. あまり充実していない」「4. 充実していない」とお答えいただいた方にお聞きします> 充実していないと思う理由は何だと思えますか。(複数回答：すべて選択)

■市の取組が充実していない理由①

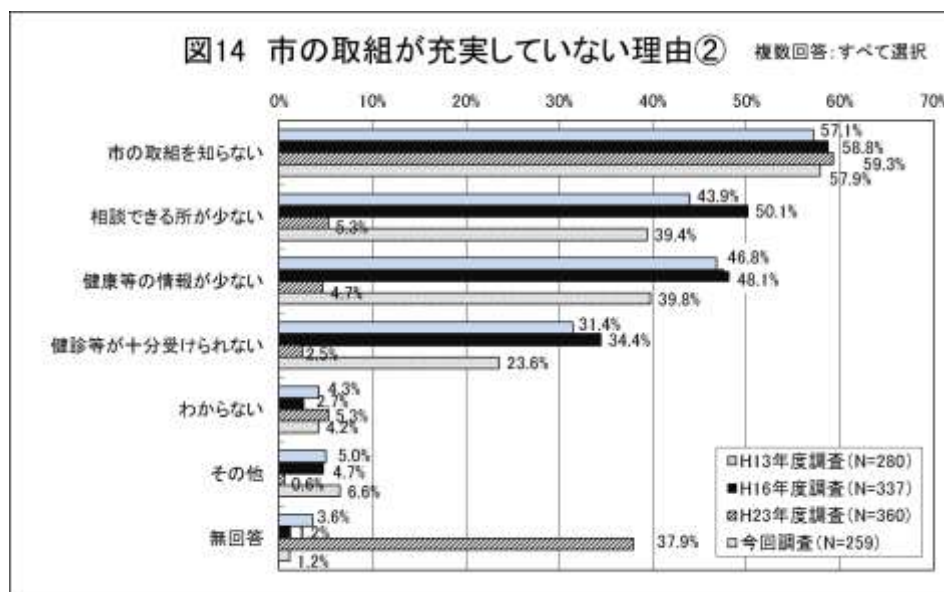
男女ともに「市の取組を知らない」の割合が最も高くなっている。

性別で見ると、「健康等の情報が少ない」では男性の割合が、「健診等が十分受けられない」では女性の割合が高くなっている。



■市の取組が充実していない理由②

H23 年度調査と比べると、「無回答」の割合が 36.7 ポイント減少し、「相談できる所が少ない」「健康等の情報が少ない」「健診が十分受けられない」の割合が 20 ポイント以上増加している。



II-3 栄養・食生活について

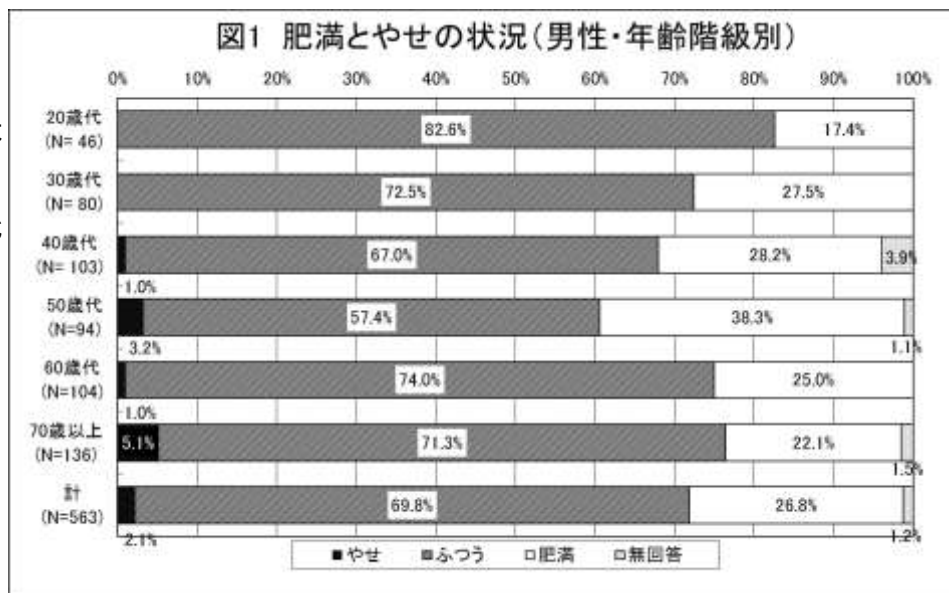
問 14 あなた身長と体重を教えてください。

※身長と体重からBMI（体格指数）を計算して、その値が18.5未満を「やせ」、18.5以上～25未満を「ふつう」、25以上を「肥満」とします。

BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)

■肥満とやせの状況 (男性・年齢階級別)

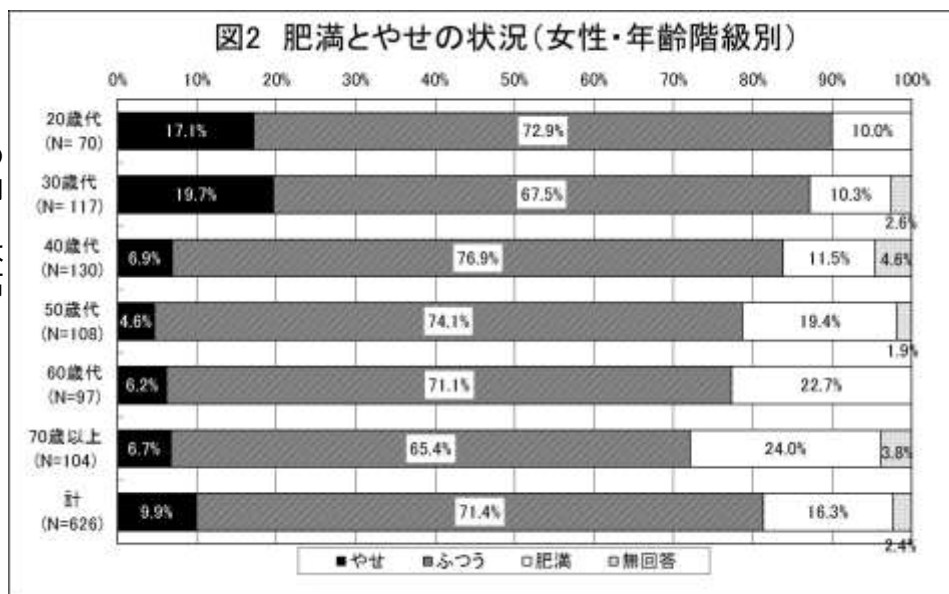
肥満の割合は20歳代で最も低く、50歳代で最も高い。また、30～50歳代の男性では20歳代より10%以上高くなっている。



■肥満とやせの状況 (女性・年齢階級別)

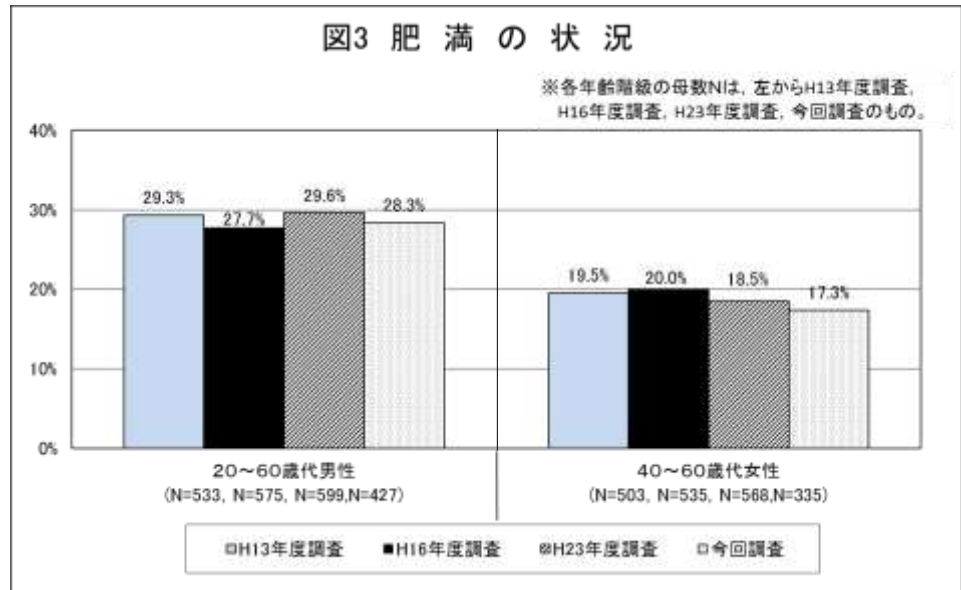
女性は年齢が高くなるに従って、肥満の割合が高くなる傾向にある。

また、やせの割合は20歳代、30歳代で高い傾向にある。



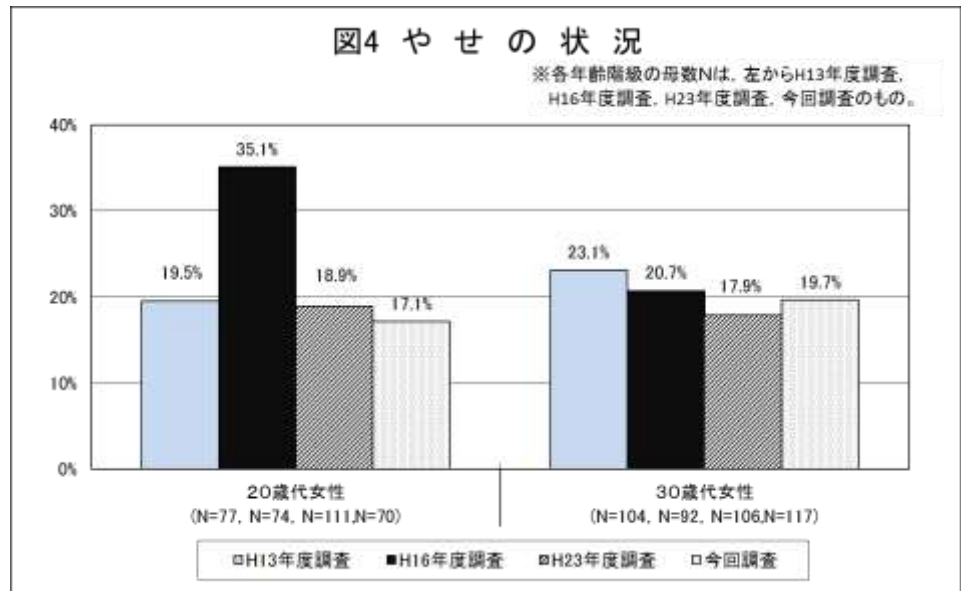
■肥満の状況

健康指標（肥満）について H23 年度調査と比べると、20～60 歳代男性は 1.3 ポイント、40～60 歳代女性は 1.2 ポイント減少している。



■女性のやせの状況

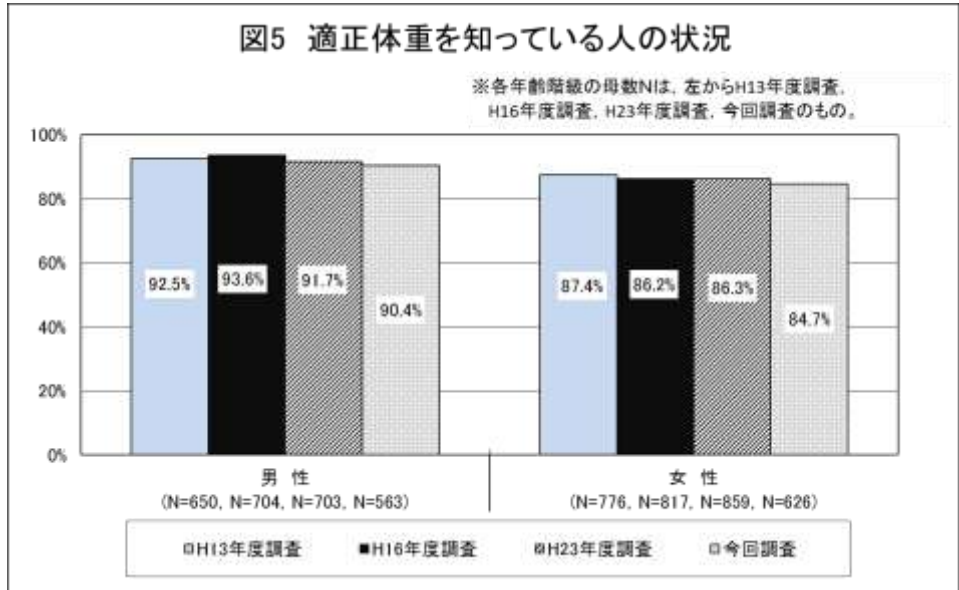
健康指標（やせ）について H23 年度調査と比べると 20 歳代女性のやせの割合は 1.8 ポイント減少しているが、30 歳代女性では 1.8 ポイント増加している。



問 15 あなたの身長からみた適正体重は何kgとお考えですか。

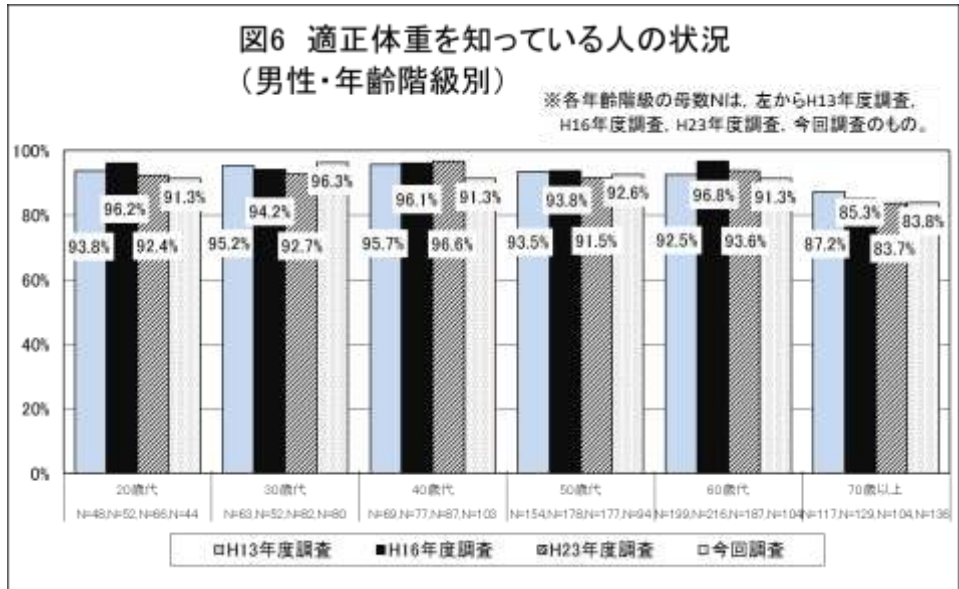
■適正体重を知っている人の状況

適正体重を知っている人の割合は、男性の方がやや高く、過去3回の調査とほぼ同じ傾向にある。



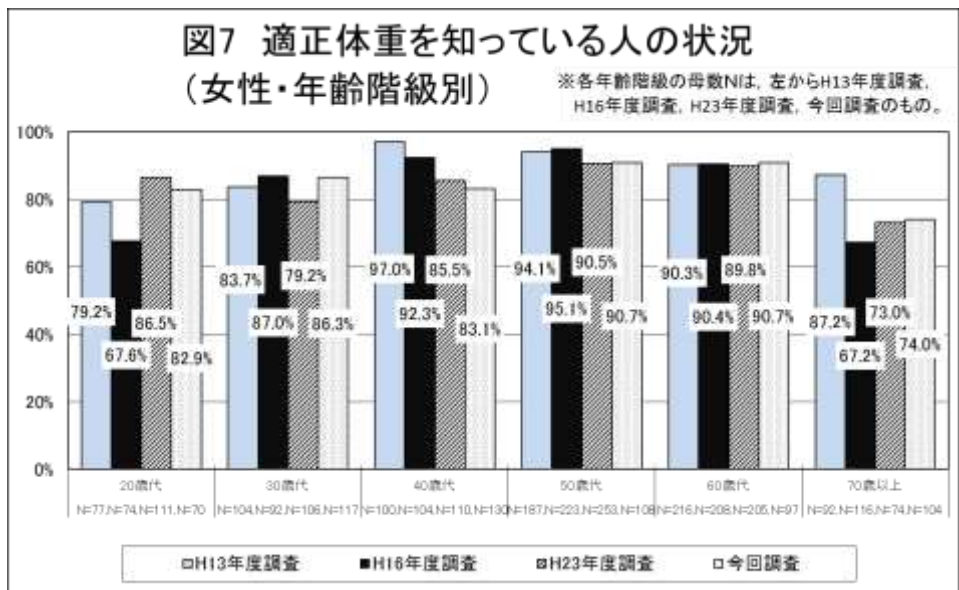
■適正体重を知っている人の状況
(男性・年齢階級別)

20～60歳代で90%を超えており、過去3回の調査とほぼ同じ傾向にある。



■適正体重を知っている人の状況
(女性・年齢階級別)

50～60歳代で90%を超えている。H23年度調査と比較すると、30歳代では7.1ポイント増加しているが、20歳代及び40歳代以降では減少またはほぼ同じとなっている。



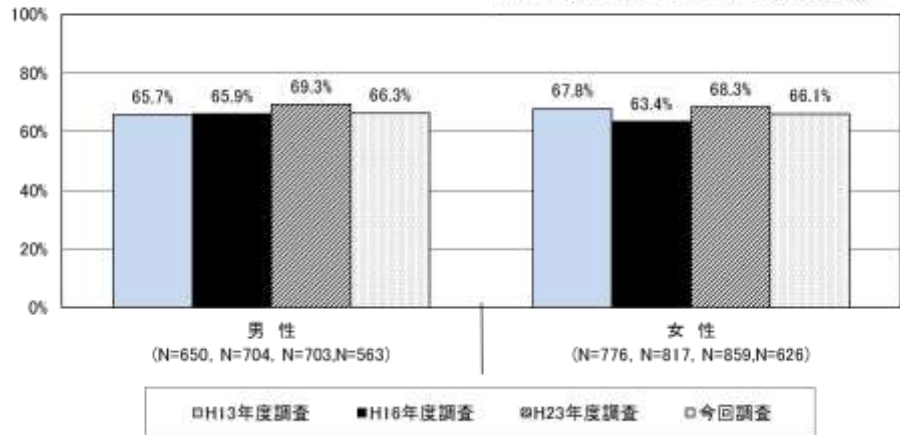
問 16 適正体重を維持, または適正体重に近づけようとしていますか。

■適正体重を維持し, 体重コントロールを実践している人の状況

H23 年度調査と比べると男性で3.0ポイント, 女性で2.2ポイント減少している。

図8 適正体重を維持し, 体重コントロールを実践している人の状況

※各年齢階級の母数Nは, 左からH13年度調査, H16年度調査, H23年度調査, 今回調査のもの。

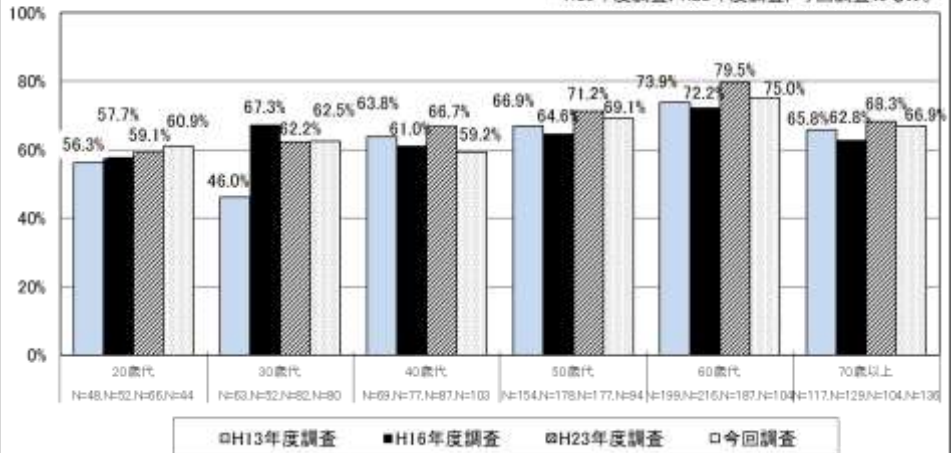


■適正体重を維持し, 体重コントロールを実践している人の状況 (男性・年齢階級別)

40 歳代が最も低く, 60 歳代が最も高くなっている。
H23 年度調査と比べると, 20 歳代においては1.8ポイント増加しているが, 30 歳代以降は減少またはほぼ同じとなっている。

図9 適正体重を維持し, 体重コントロールを実践している人の状況 (男性・年齢階級別)

※各年齢階級の母数Nは, 左からH13年度調査, H16年度調査, H23年度調査, 今回調査のもの。

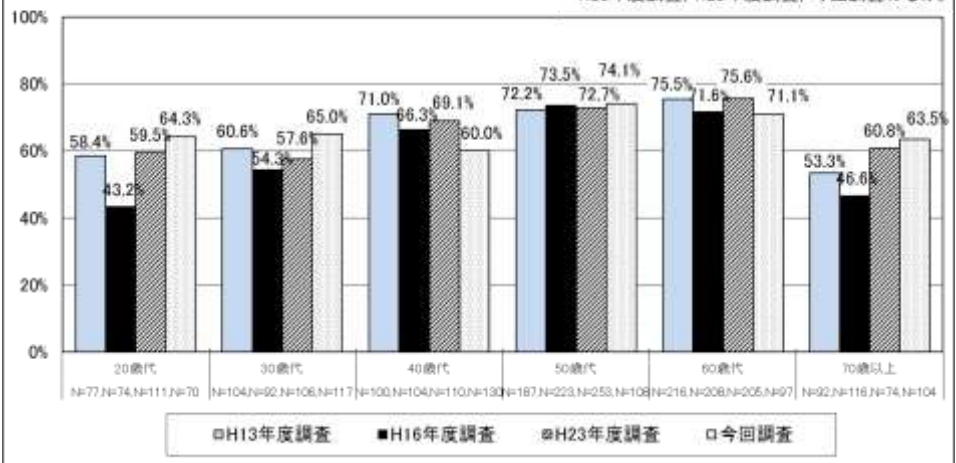


■適正体重を維持し, 体重コントロールを実践している人の状況 (女性・年齢階級別)

40 歳代が最も低く, 50 歳代が最も高くなっている。
H23 年度調査と比べると, 40 歳代及び60 歳代で減少し, 他の年代では増加している。

図10 適正体重を維持し, 体重コントロールを実践している人の状況 (女性・年齢階級別)

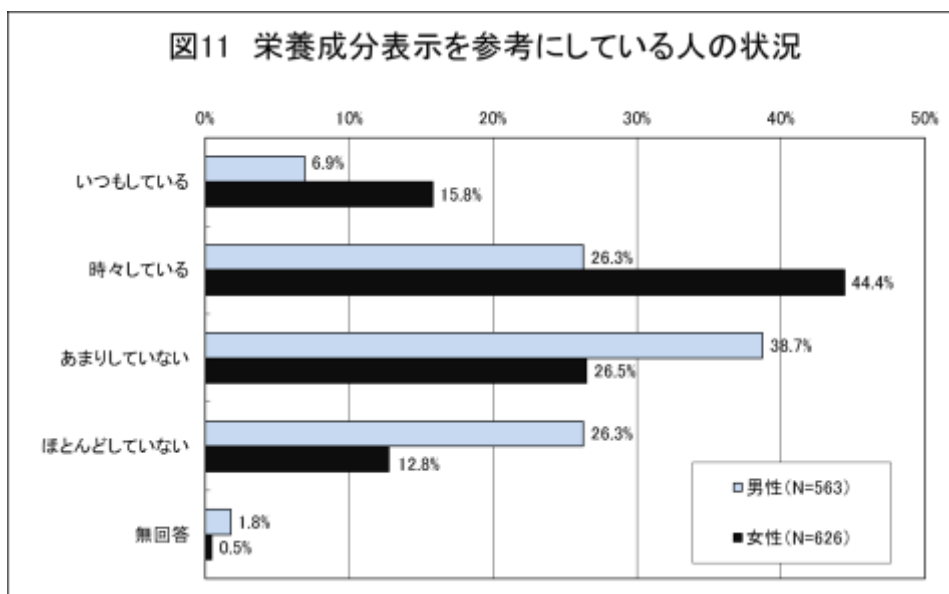
※各年齢階級の母数Nは, 左からH13年度調査, H16年度調査, H23年度調査, 今回調査のもの。



問 17 ふだん、外食をするときや食品を購入するときに栄養成分の表示を参考にしていますか。

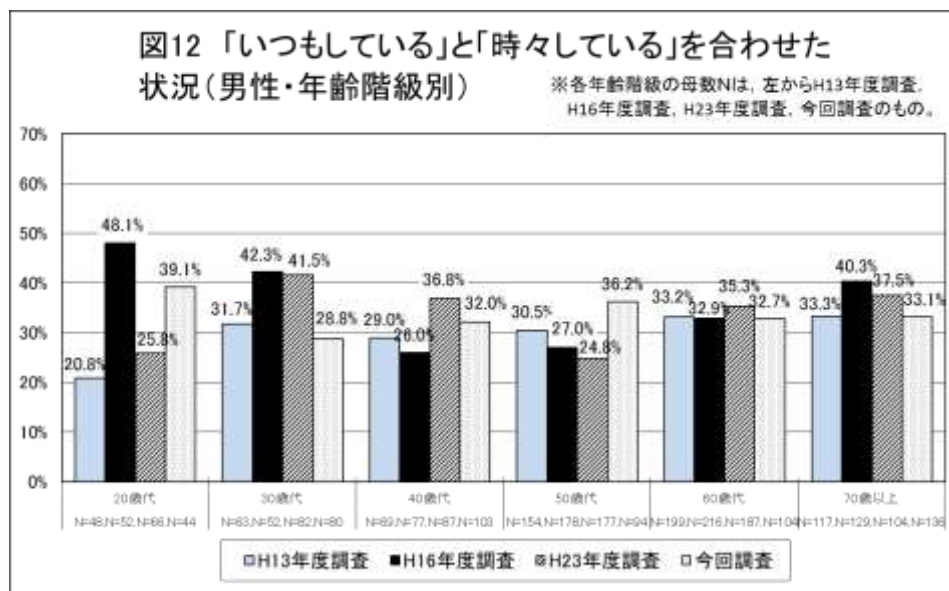
■ 栄養成分表示を参考にしている人の状況

「いつもしている」と「時々している」を合わせた割合は、男性 33.2%、女性 60.2%となっている。



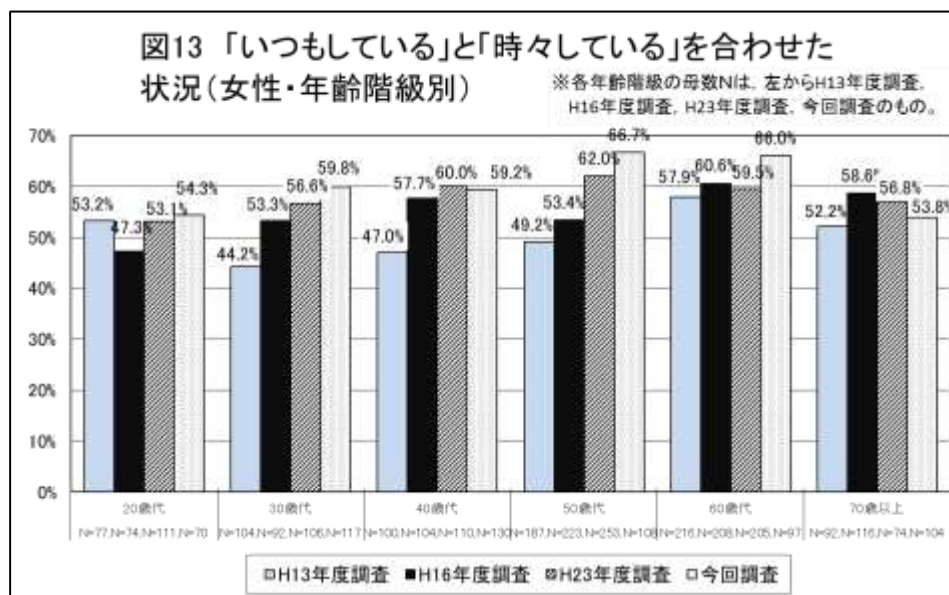
■ 「いつもしている」と「時々している」を合わせた状況 (男性・年齢階級別)

20歳代が最も高く、次いで50歳代が高い。H23年度調査と比較すると20歳代及び50歳代で増加しており、他の年代では減少している。



■ 「いつもしている」と「時々している」を合わせた状況 (女性・年齢階級別)

50歳代及び60歳代が60%を超えている。また、70歳以上が最も低くなっている。H23年度調査と比較すると、20歳代は微増、30歳代、50歳代~60歳代で増加、その他の年代は減少となっている。



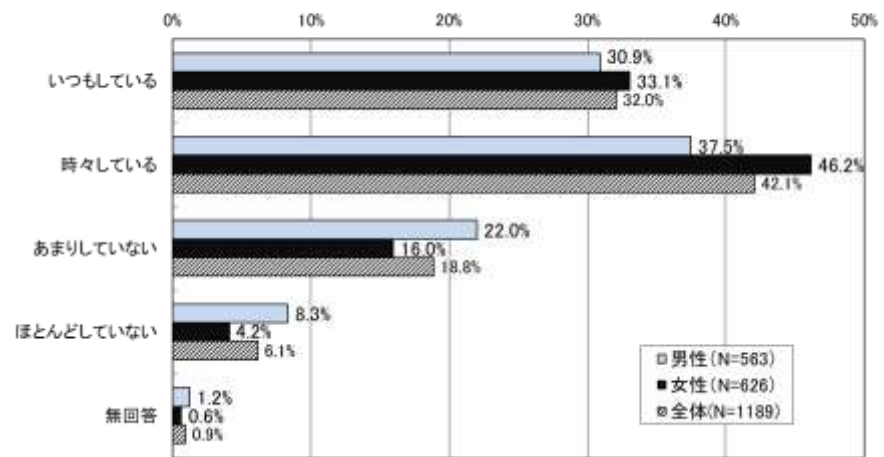
問 18 ふだん、家では主食・主菜・副菜を基本にするなど、栄養バランスのとれた食事をしていますか。

■主食・主菜・副菜を基本にするなど、栄養バランスのとれた食事をしている人の状況

男女ともに「時々している」が最も高く、次いで「いつもしている」が高い。

また、男性は女性よりも「あまりしていない」「ほとんどしていない」が高くなっている。

図14 主食・主菜・副菜を基本にするなど、栄養バランスのとれた食事をしている



■「いつもしている」人の状況（男性・年齢階級別）

20～40歳代に比べ、60歳代以上は約10ポイント高くなっている。

図15 「いつもしている」人の状況（男性・年齢階級別）



■「いつもしている」人の状況（女性・年齢階級別）

60歳代が最も高く、最も低い20歳代より23.7ポイント高くなっている。

図16 「いつもしている」人の状況（女性・年齢階級別）

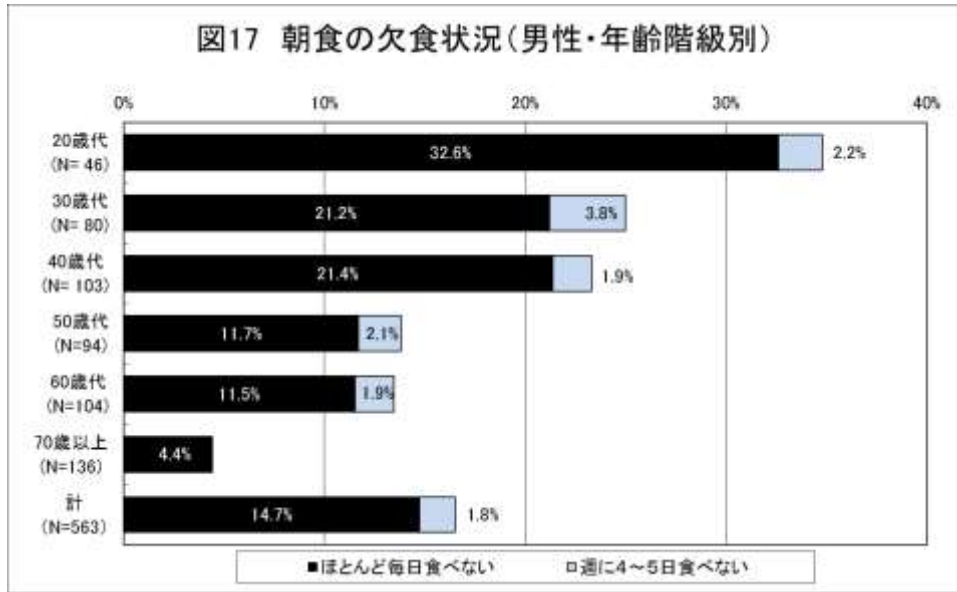


問 19 ふだん朝食を食べないことがありますか。

■朝食の欠食状況
(男性・年齢階級別)

年齢が低いほど「ほとんど毎日食べない」と「週に4~5回食べない」を合わせた割合が高くなっている。

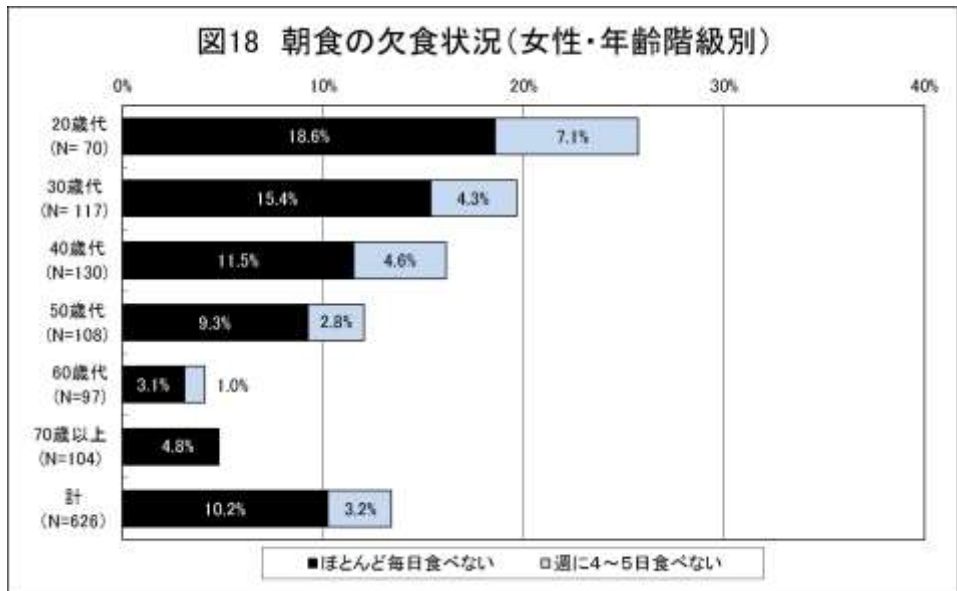
注)
「3. 週 2~3 日食べない」と「4. 毎日食べる」の選択肢は除く



■朝食の欠食状況
(女性・年齢階級別)

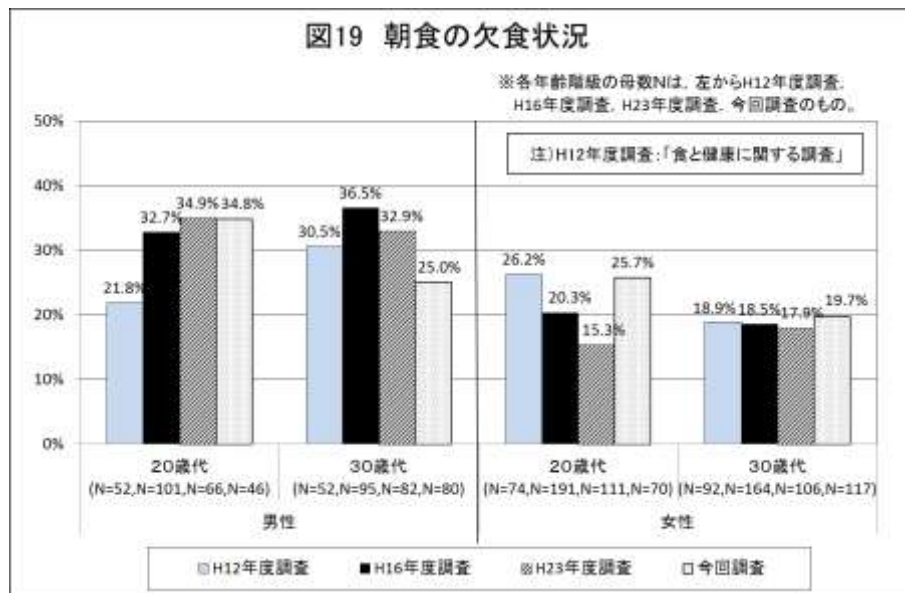
概ね年齢が低いほど「ほとんど毎日食べない」と「週に4~5回食べない」を合わせた割合が高くなっている。

注)
「3. 週 2~3 日食べない」と「4. 毎日食べる」の選択肢は除く



■朝食の欠食状況

H23 年度調査と比較すると、男性は20歳代でほぼ同じ、30歳代で7.9ポイント減っているが、女性は20歳代、30歳代ともに増加している。

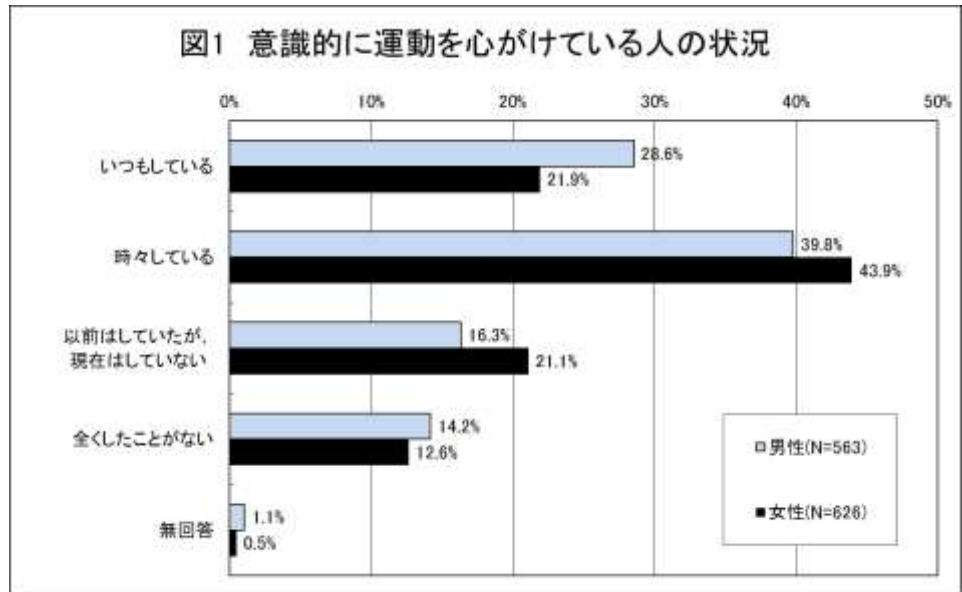


Ⅱ-4 身体活動・運動について

問 20 健康の維持・増進のために意識的に身体を動かすなどの運動をしていますか。

■意識的に運動を心がけている人の状況

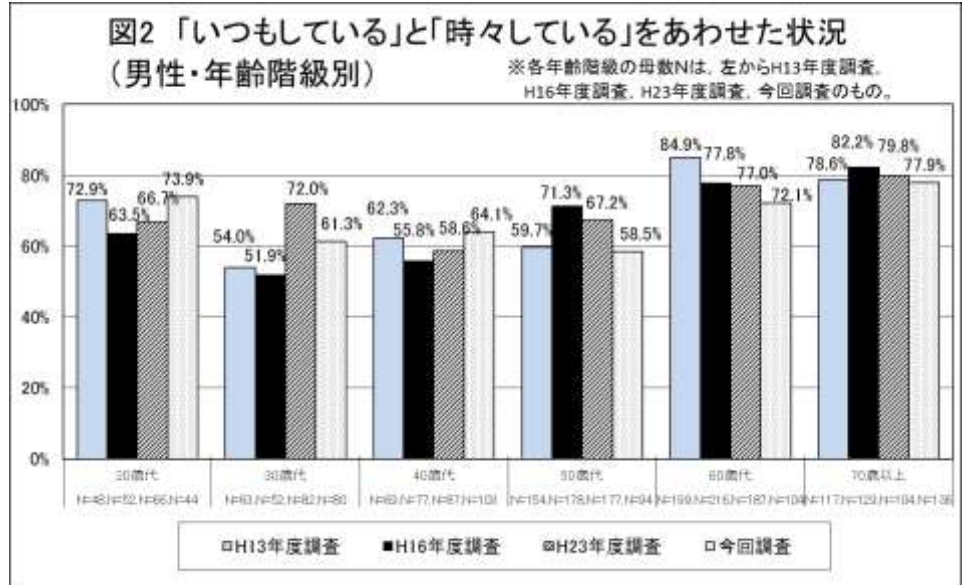
意識的に運動を心がけている人は、「いつもしている」と「時々している」を合わせると、男性 68.4%、女性 65.8%となっている。



■「いつもしている」と「時々している」を合わせた状況 (男性・年齢階級別)

50歳代を除くいずれの年代でも60%を越える割合となっている。

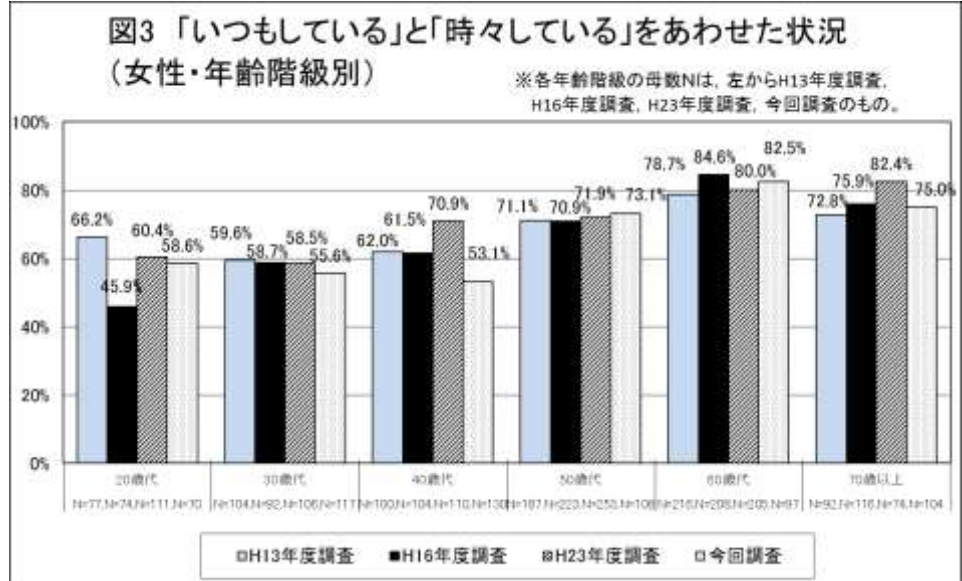
また、H23年度調査と比べると20歳代及び40歳代では増加しているが、他の年代では減少している。



■「いつもしている」と「時々している」を合わせた状況 (女性・年齢階級別)

20~40歳代において60%未満となっている。

また、H23年度調査と比べると50~60歳代ではわずかに増加しているが、他の年代では減少している。



問 21～25 降雪期以外（春から秋の間）及び降雪期（冬の間）における運動回数及び1回当たりの運動時間はどれくらいですか。

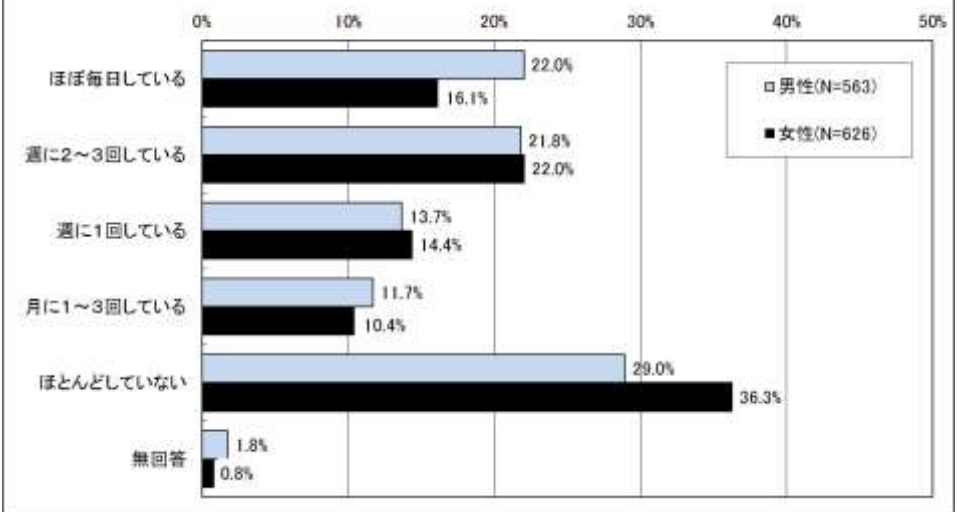
また、運動習慣者（週2回以上、1回30分以上運動を実施し、1年以上継続している者）の状況

■降雪期以外（春から秋の間）の運動回数

「ほぼ毎日している」と「週に2～3回している」を合わせた割合は、男性43.8%、女性38.1%となっている。

性別で見ると、男性は「ほぼ毎日している」が女性を5.9ポイント上回っており、女性は「ほとんどしていない」が男性を7.3ポイント上回っている。

図4 降雪期以外(春から秋の間)の運動頻度

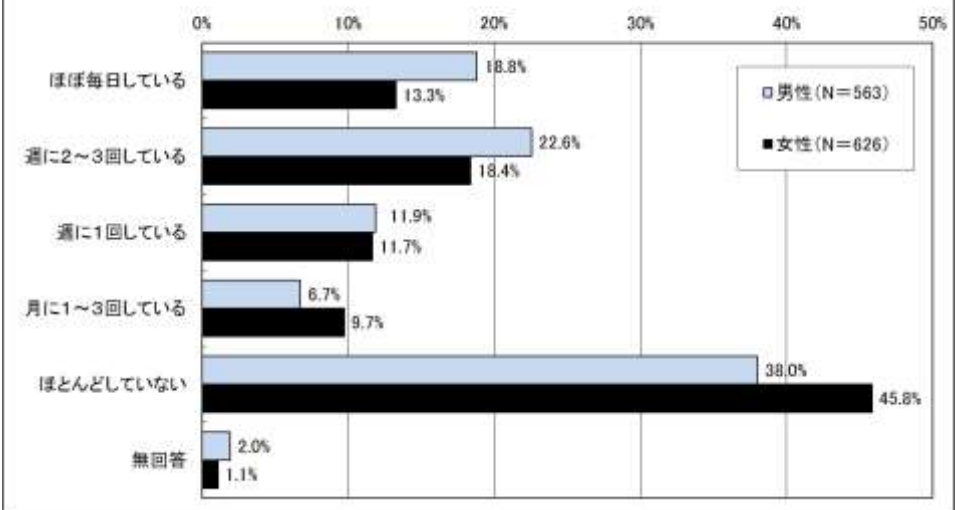


■降雪期（冬の間）の運動回数

「ほぼ毎日している」と「週に2～3回している」を合わせた割合は、男性41.4%、女性31.7%となっている。

性別で見ると、男性は「ほぼ毎日している」「週に2～3回している」が女性を上回っている。「ほとんどしていない」は降雪期以外と比べて男性では9ポイント、女性では9.5ポイント増加している。

図5 降雪期(冬の間)の運動頻度

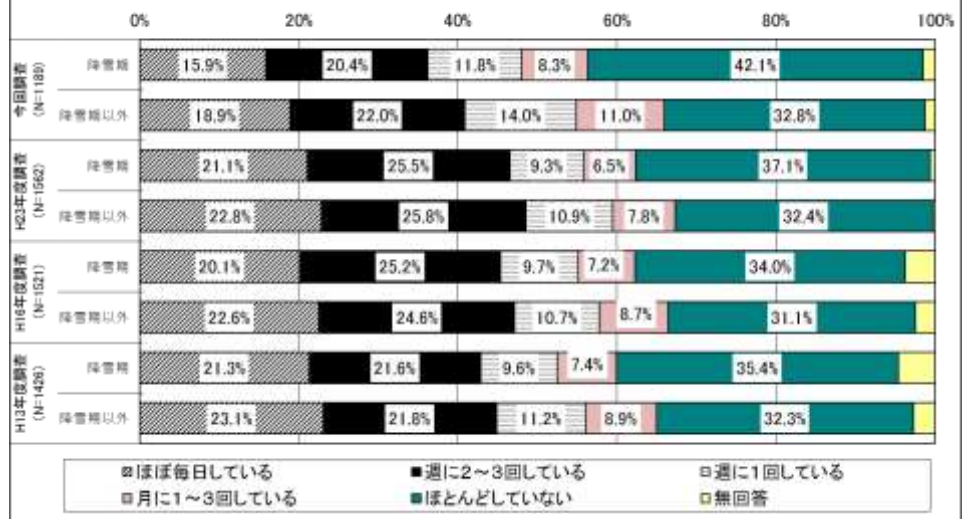


■降雪期以外（春から秋）と降雪期（冬）の運動回数

降雪期になると運動回数が減少する傾向は過去3回と同様の傾向にある。

また、H23年度調査と比較すると、降雪期以外・降雪期ともに、「ほぼ毎日している」「週に2～3回している」が減少し、「ほとんどしていない」が増加している。

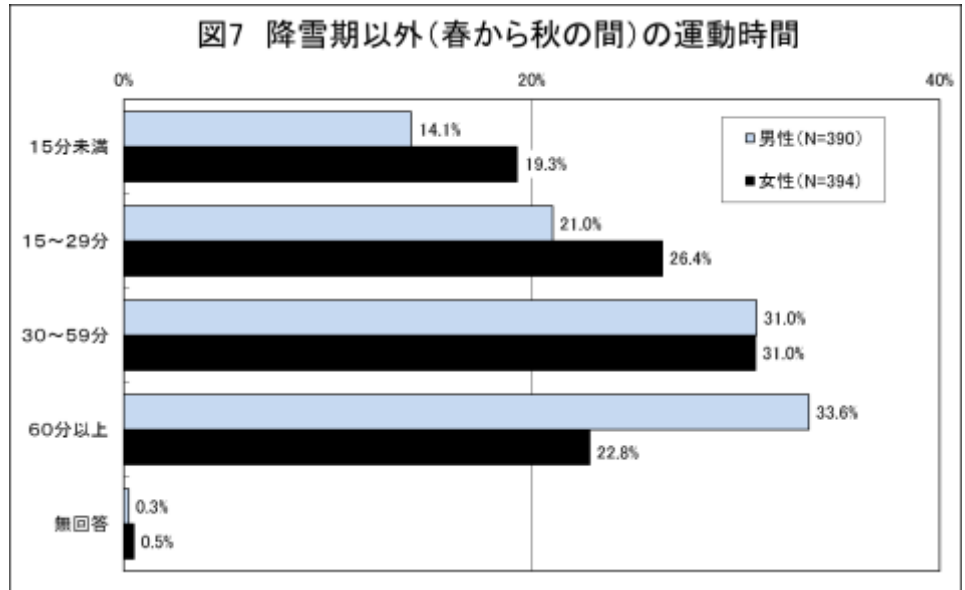
図6 降雪期以外(春から秋)と降雪期(冬)の運動回数



■降雪期以外（春から秋の間）の運動時間

「30～59分」と「60分以上」を合わせた割合は、男性 64.6%、女性 53.8%となっている。

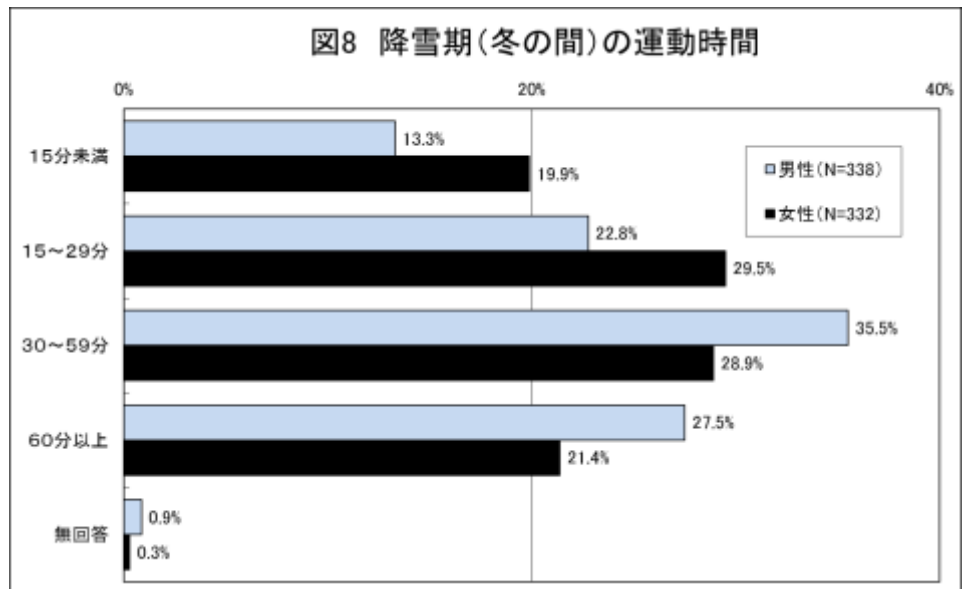
性別で見ると、男性は「60分以上」の割合が女性よりも 10.8 ポイント高くなっている。



■降雪期（冬の間）の運動時間

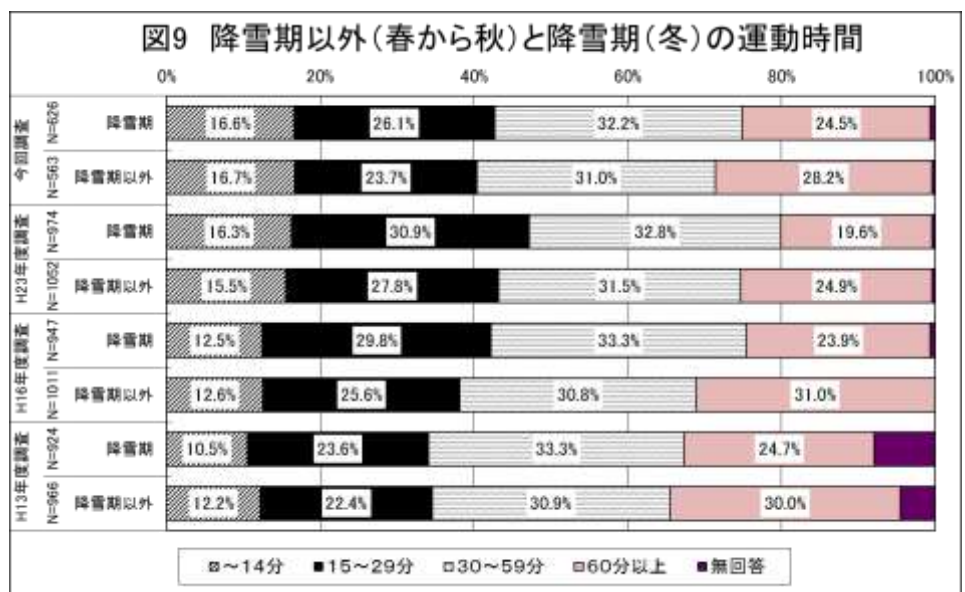
「30～59分」と「60分以上」を合わせた割合は、男性 63%、女性 50.3%となっている。

性別で見ると、男性は「30～59分」と「60分以上」の割合が女性より高くなっている。



■降雪期以外と降雪期の運動時間

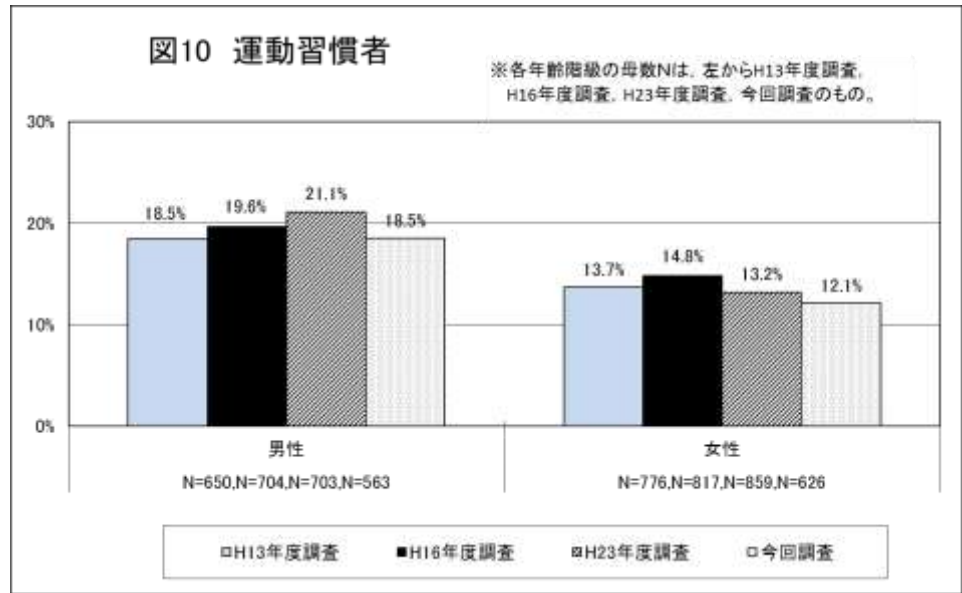
今回調査も過去3回の調査と同様に、降雪期になると運動時間が60分以上の割合は減少する傾向にある。



■運動習慣者

運動習慣者（週2回以上の頻度、1回あたり30分以上の運動を1年以上継続している人）の割合は、男性が女性よりも6.4ポイント高い。

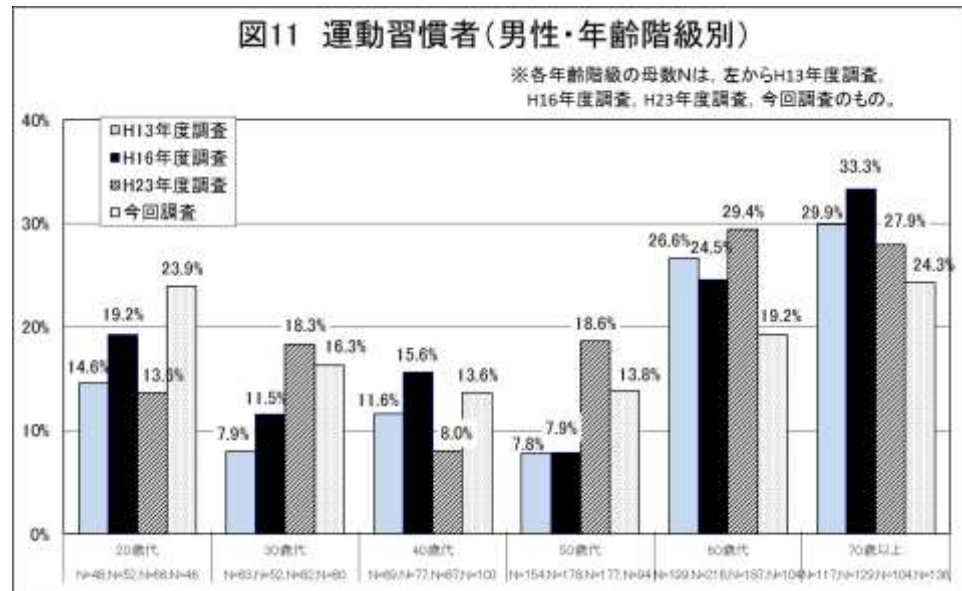
また、H23年度調査と比べると、男性、女性ともに減少している。



■運動習慣者 (男性・年齢階級別)

男性は、20歳代及び70歳以上の運動習慣者の割合が20%以上と高くなっている。

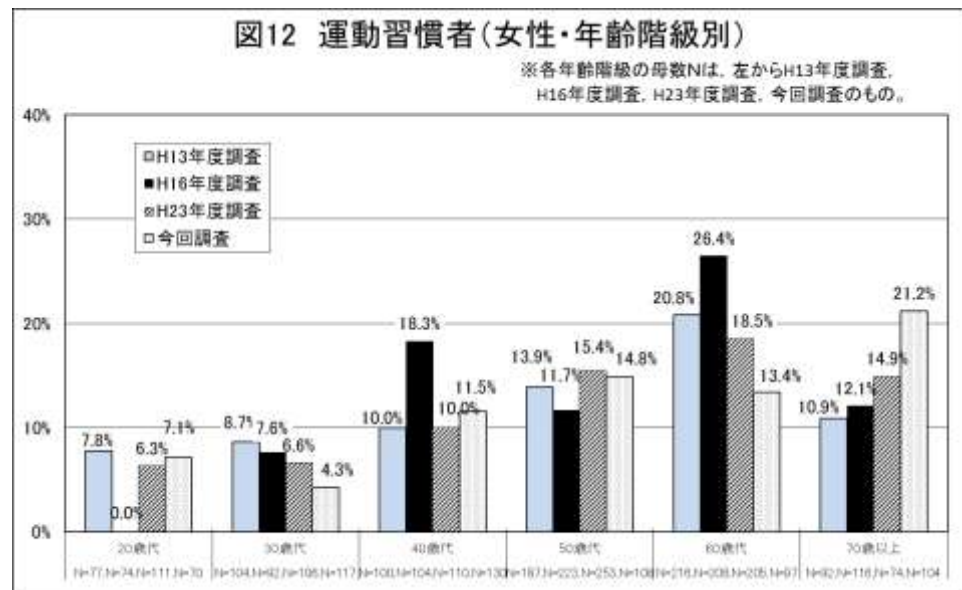
また、H23年度調査と比べて20歳代、40歳代、で増加し、他の年代では減少している。



■運動習慣者 (女性・年齢階級別)

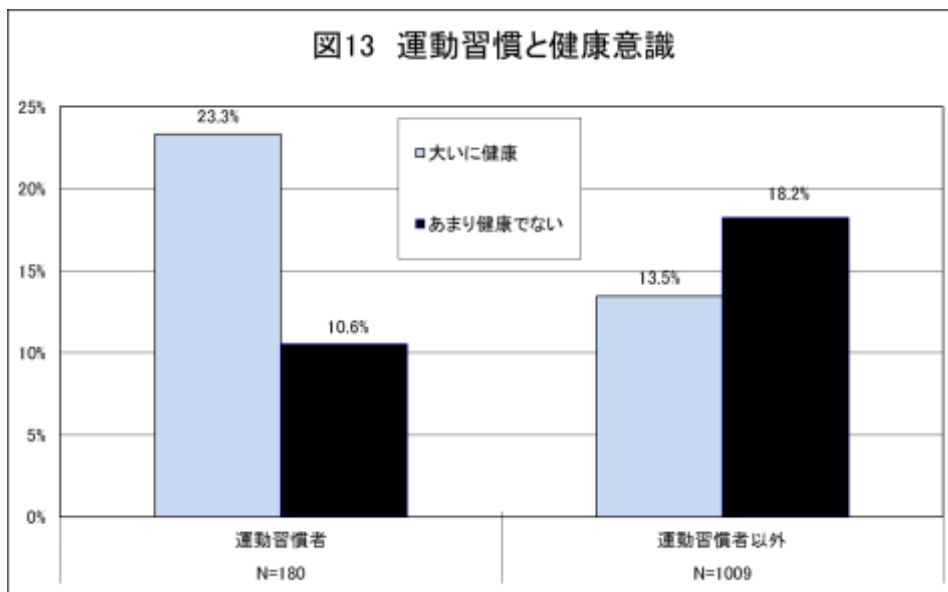
女性は、70歳以上の割合が21.2%と最も高くなっている。

また、H23年度調査と比べて20歳代、40歳代70歳以上における割合が増加し、他の年代では減少している。



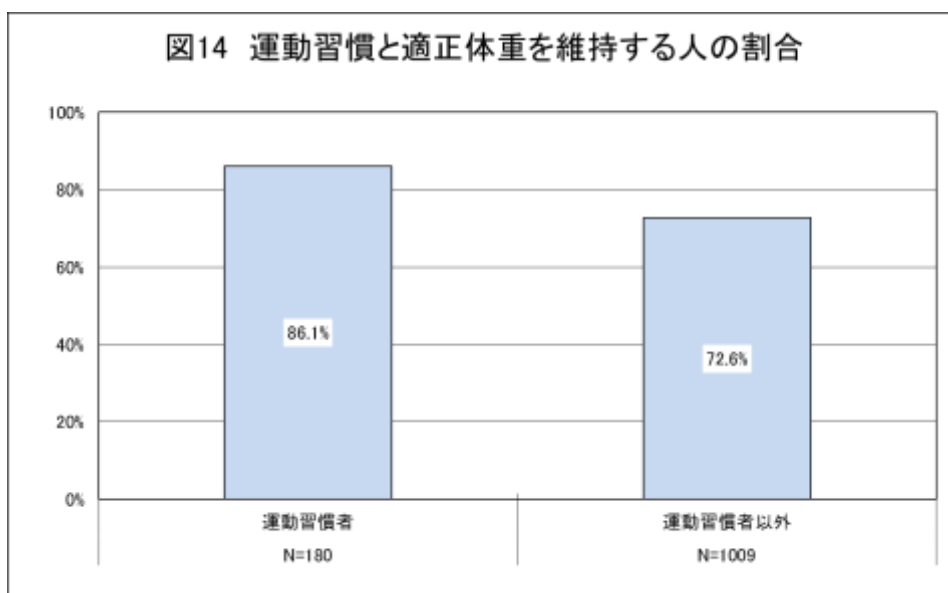
■運動習慣と健康意識

運動習慣者は「大いに健康」が「あまり健康でない」を12.7ポイント上回っており、逆に運動習慣のない者は「あまり健康でない」が「大いに健康」を4.7ポイント上回っている。



■運動習慣と適正体重を維持する人の割合

運動習慣者と適正体重を維持する人の関係を見ると、運動習慣者は運動習慣者以外よりも適正体重を維持する割合が13.5ポイント高くなっている。

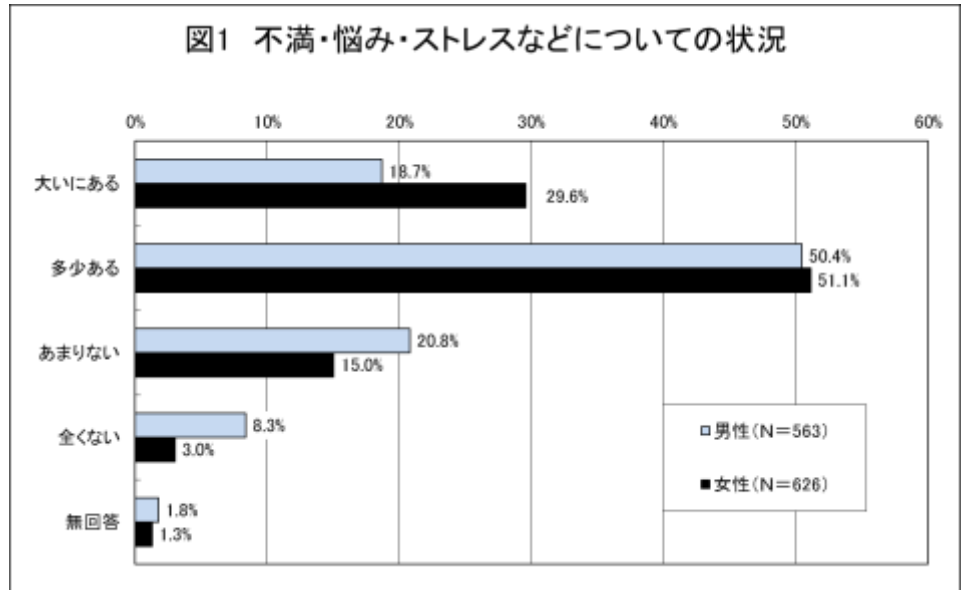


Ⅱ-5 休養・心の健康づくり・アルコールについて

問 26 この1か月間に不満・悩み・ストレスなどがありましたか。

■不満・悩み・ストレスなどについての状況

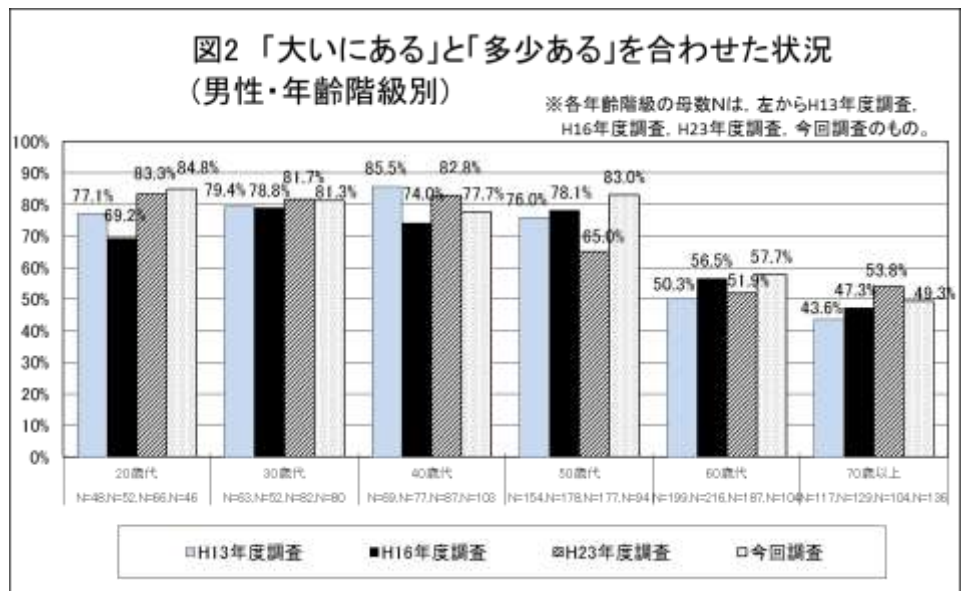
この1か月間に不満・悩み・ストレスなどがあった人は、「大いにある」と「多少ある」を合わせると、男性 69.1%、女性 80.7%となっている。



■「大いにある」と「多少ある」を合わせた状況 (男性・年齢階級別)

「大いにある」と「多少ある」を合わせた割合は、20歳代～50歳代では80%前後となっている。

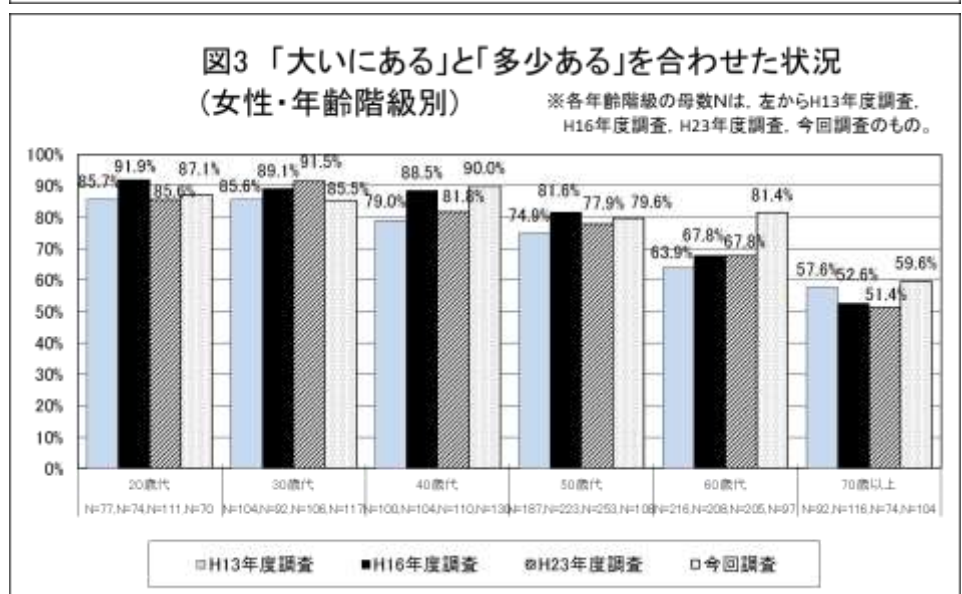
H23年度調査と比べると、20～30歳代ではほぼ同じ、40歳代及び70歳以上で減少、50～60歳代では増加となっている。



■「大いにある」と「多少ある」を合わせた状況 (女性・年齢階級別)

「大いにある」と「多少ある」を合わせた割合は、20～60歳代では80%前後となっている。

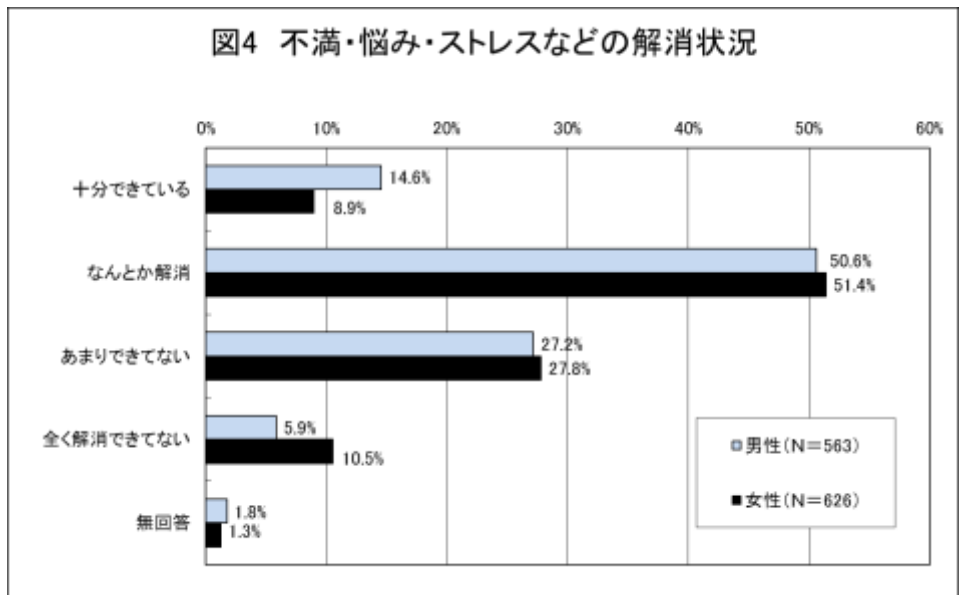
H23年度調査と比べると、20歳代及び50歳代でほぼ同じ、30歳代で減少、その他の年代では増加となっている。



問 27 この1か月間を振り返って、不満・悩み・ストレスなどを解消できていると思いますか。

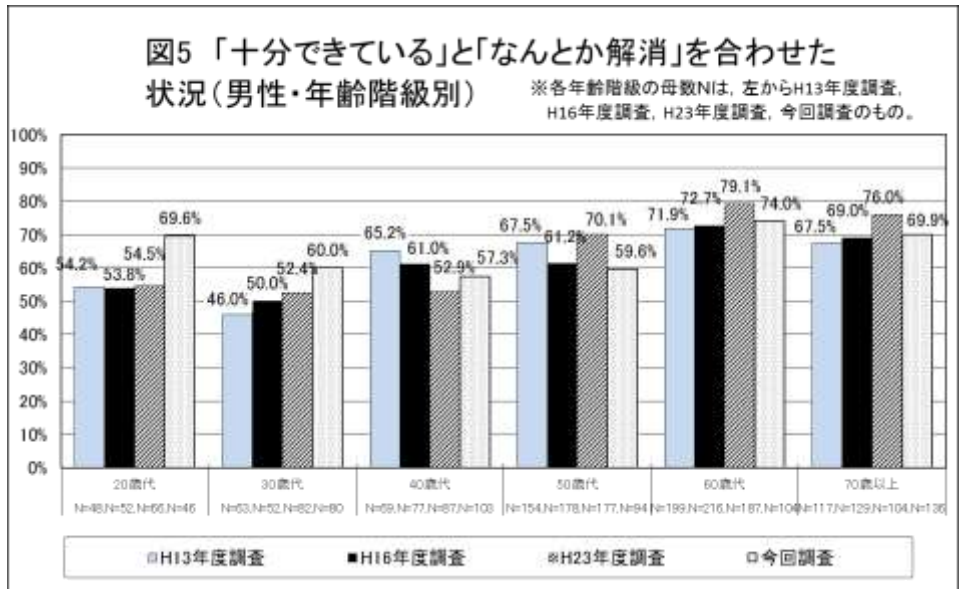
■不満・悩み・ストレスなどの解消状況

不満・悩み・ストレスなどの解消について、「十分できている」と「なんとか解消」を合わせると、男性 65.2%、女性 60.3%となっている。



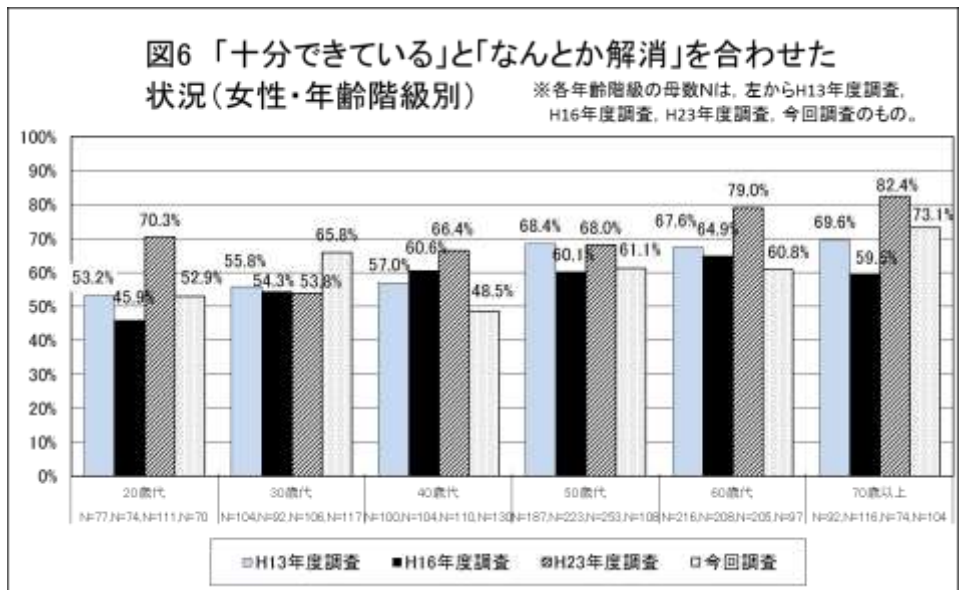
■「十分できている」と「なんとか解消」を合わせた状況 (男性・年齢階級別)

20歳代及び60歳代以降は70%前後となっているが、30歳代～50歳代は60%前後となっている。
また、H23年度調査と比較すると、20歳代～40歳代で増加し、50歳代以降で減少している。



■「十分できている」と「なんとか解消できていない」を合わせた状況 (女性・年齢階級別)

70歳以上で最も高く、40歳代で最も低くなっている。
また、H23年度調査と比較すると、30歳代で増加し、他の年代では減少している。



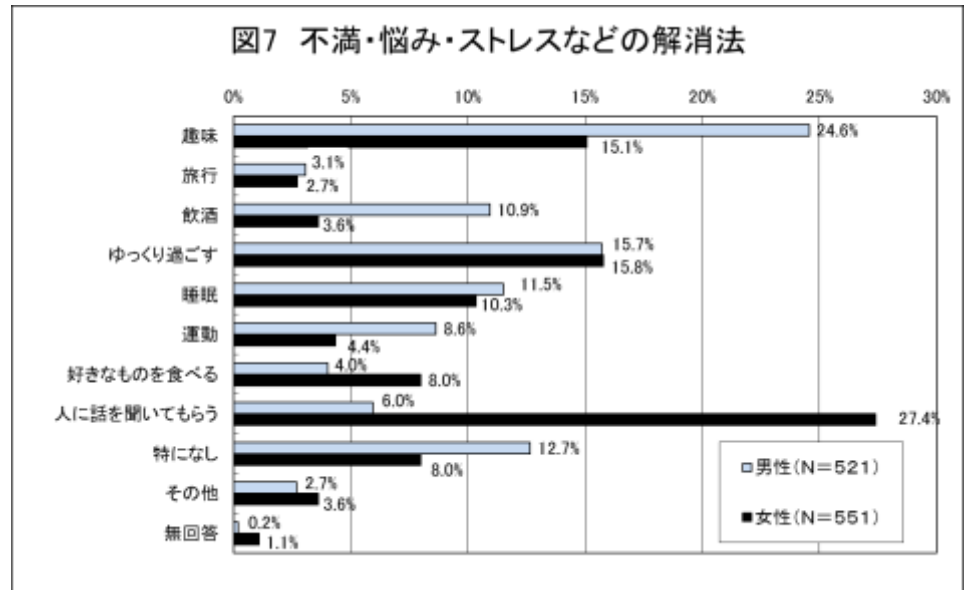
問 28 <問 27 で「1. 十分できている」「2. なんとか解消できている」「3. あまりできていない」と
お答えいただいた方にお聞きします>

この1ヶ月間に不満・悩み・ストレスなどを解消するためにどのようなことをしましたか。

■不満・悩み・ストレス
などの解消法

男性では「趣味」「ゆっくり過ごす」、女性では「人に話を聞いてもらう」「ゆっくり過ごす」が上位を占めている。

上位以外では、「飲酒」「運動」「特になし」の割合が女性よりも男性の方が高くなっている。

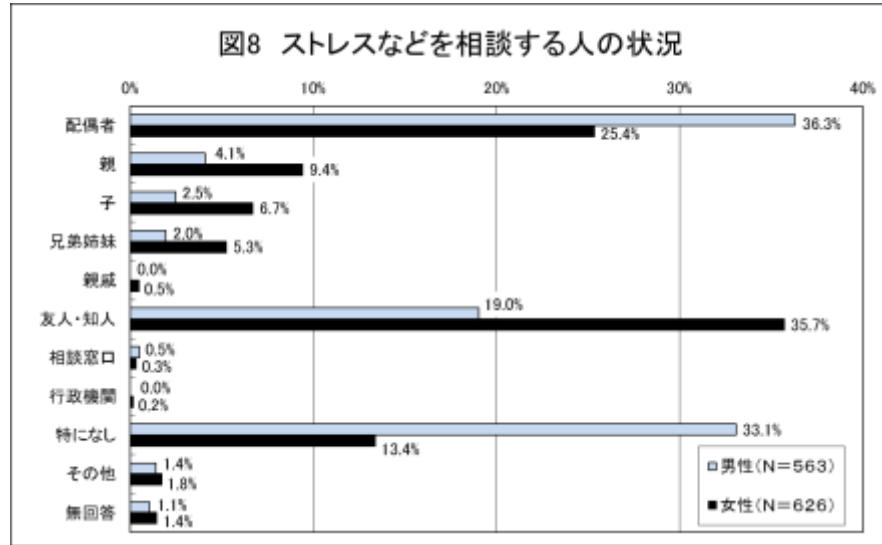


問 29～30 不満・悩み・ストレスなどについて相談したい時、主に誰に相談しますか。

また、こころの悩みや健康について相談できる機関や団体（市役所等の行政機関、「いのちの電話」等の各種相談機関、精神科等の医療機関等）を知っていますか。

■ 不満・悩み・ストレスなどを相談する相手の状況

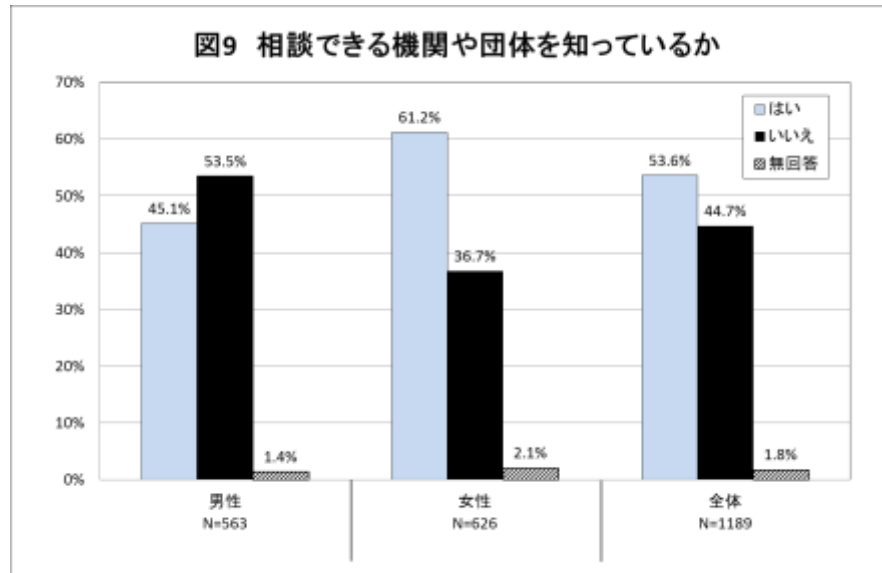
主な相談相手について、男性は「配偶者」「特になし」「友人・知人」の順に上位を占めており、女性は「友人・知人」「配偶者」「特になし」の順に上位を占めている。



■ 相談できる機関や団体を知っているか

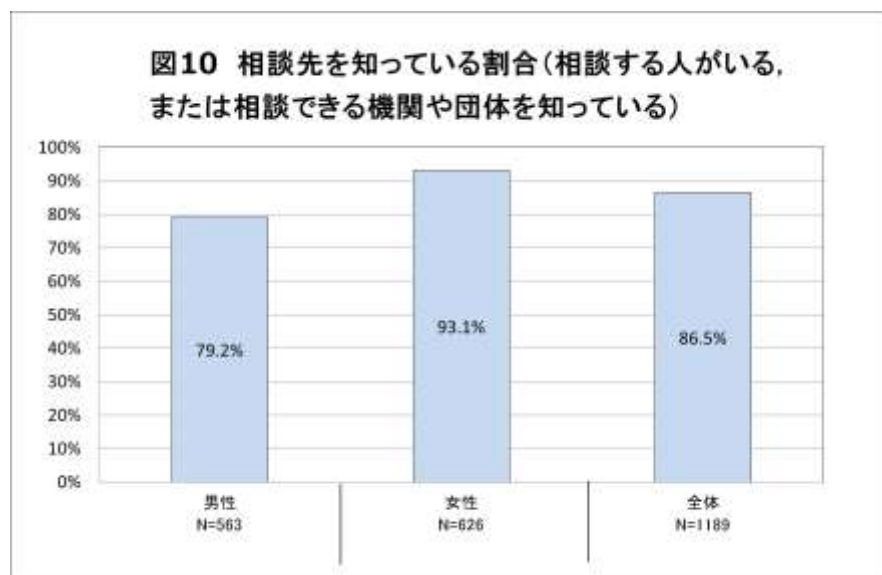
男性は「はい」よりも「いいえ」の方が 8.4 ポイント多くなっている。

また、女性は「いいえ」よりも「はい」の方が 24.5 ポイント多くなっている。



■ 相談先を知っている割合（相談する人がいる、または相談できる機関や団体を知っている）

男性が女性より 13.9 ポイント低くなっている。

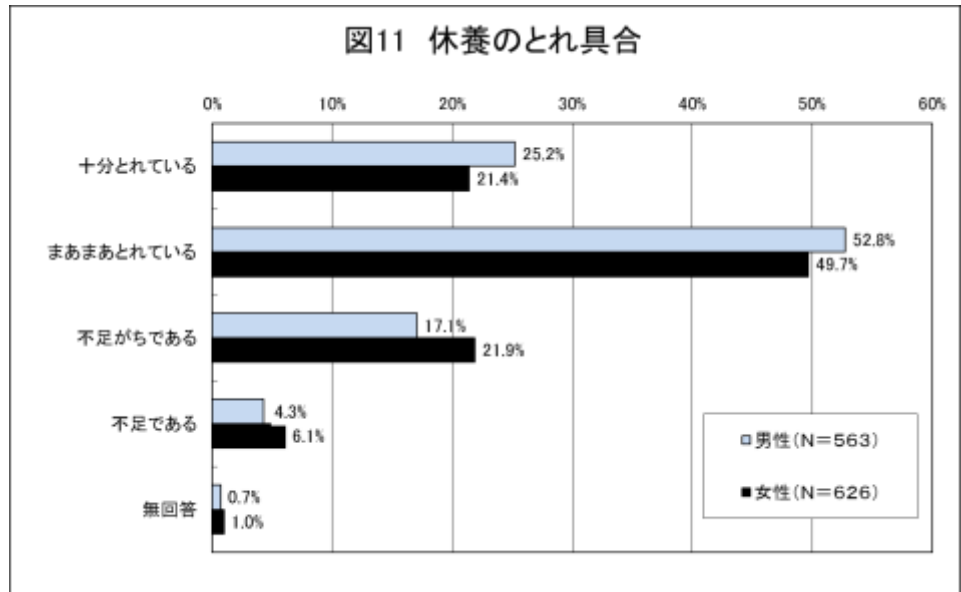


問 31 自分の休養は十分だと思いますか。

■休養のとれ具合

「十分とれている」と「まあまあとれている」を合わせると、男性78.0%、女性71.1%となっている。

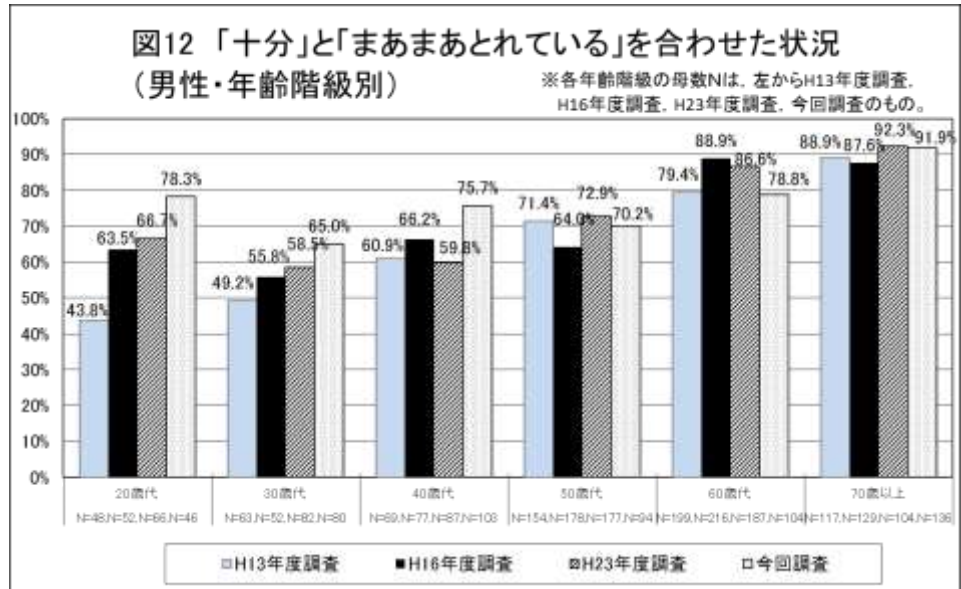
なお、右図には示されていないが、就業者で「十分とれている」又は「まあまあとれている」と回答した割合（健康指標）は68.0%であった。



■「十分とれている」と「まあまあとれている」を合わせた状況（男性・年齢階級別）

最も低いのは30歳代で65.0%となっており、それ以外の年代では70%以上となっている。

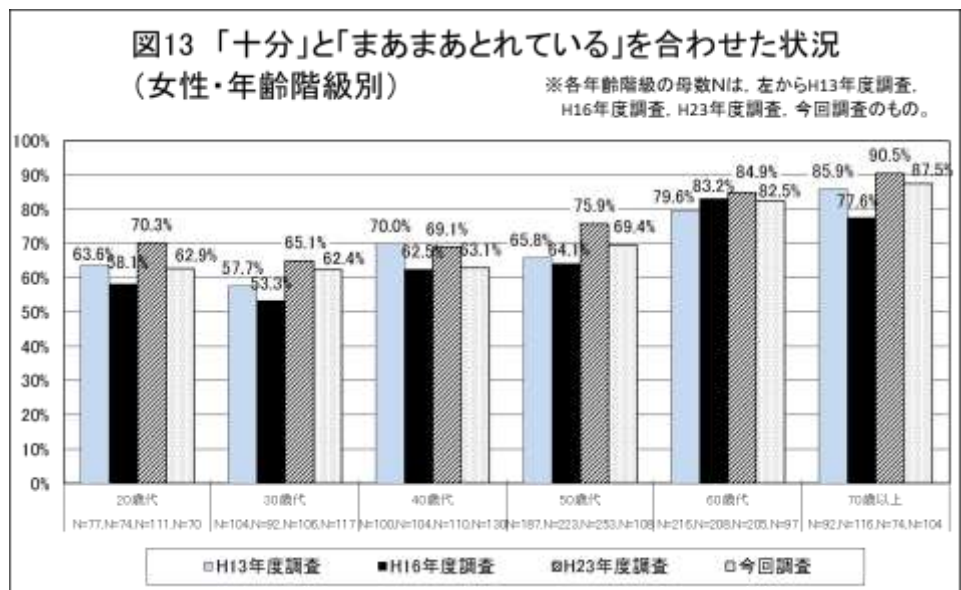
また、H23年度調査と比べると、20歳代~40歳代で増加している。



■「十分とれている」と「まあまあとれている」を合わせた状況（女性・年齢階級別）

最も低いのは30歳代であり、40歳代以降は年齢が高くなるに従って割合も高くなっている。

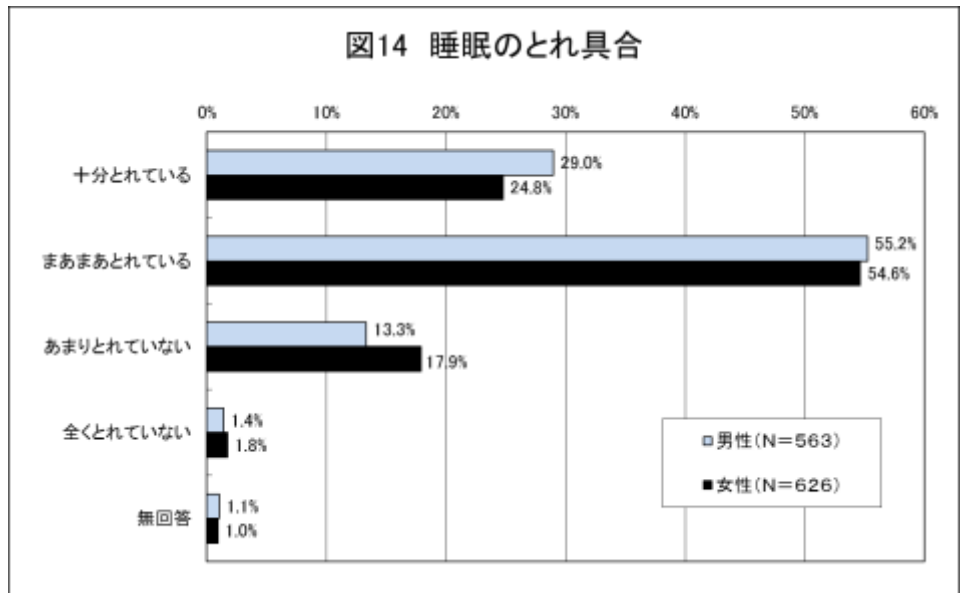
また、H23年度調査と比べると、いずれの年代においても減少している。



問 32 睡眠が十分にとれていますか。

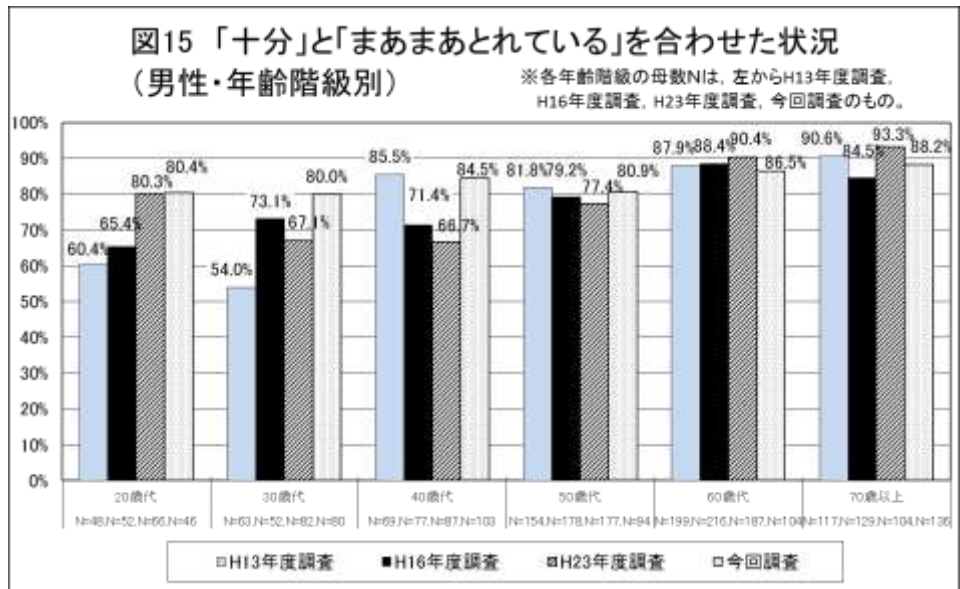
■睡眠のとれ具合

「十分とれている」と「まあまあとれている」を合わせると、男性 84.2%、女性 79.4%となっている。



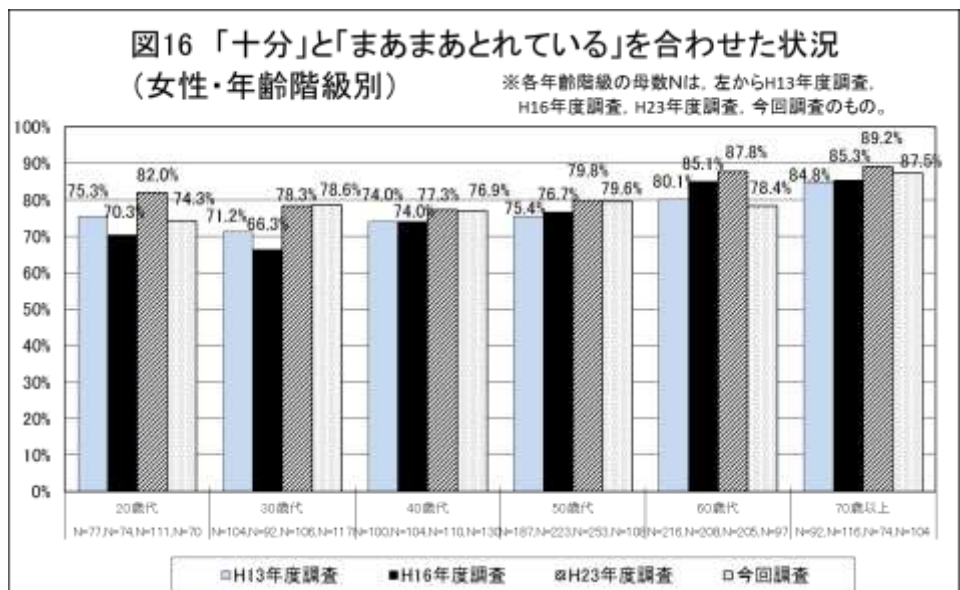
■「十分とれている」と「まあまあとれている」を合わせた状況 (男性・年齢階級別)

いずれの年代においても 80%以上となっている。H23 年度調査と比較すると、30~40 歳代で 10%以上増加している。



■「十分とれている」と「まあまあとれている」を合わせた状況 (女性・年齢階級別)

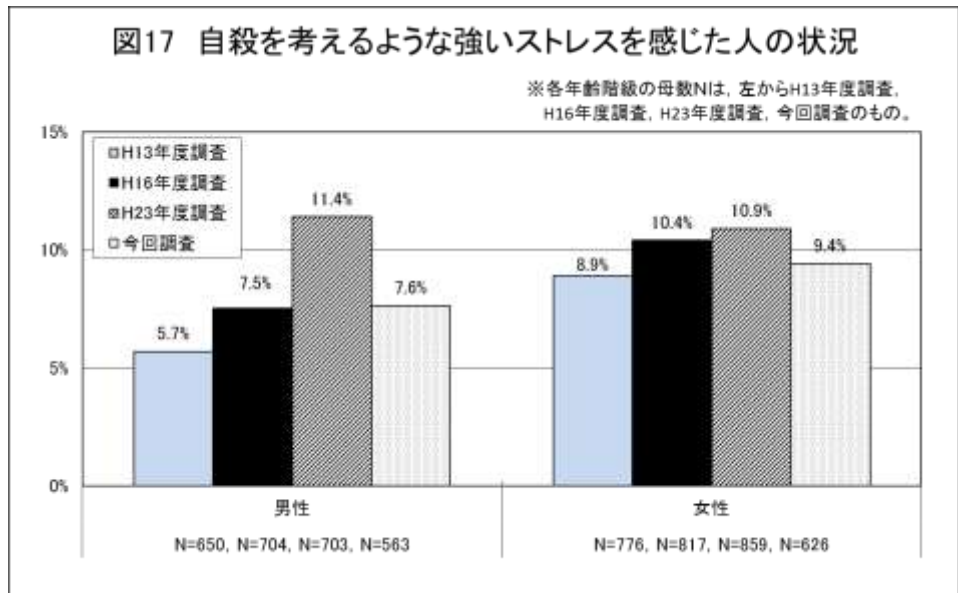
いずれの年代においても 70%以上となっている。H23 年度調査と比較すると、全ての年代において減少またはほぼ同じ割合となっている。



問 33 この1年間に自殺を考えるような強いストレスを感じましたか。

■自殺を考えるほどの強いストレスを感じた人の状況

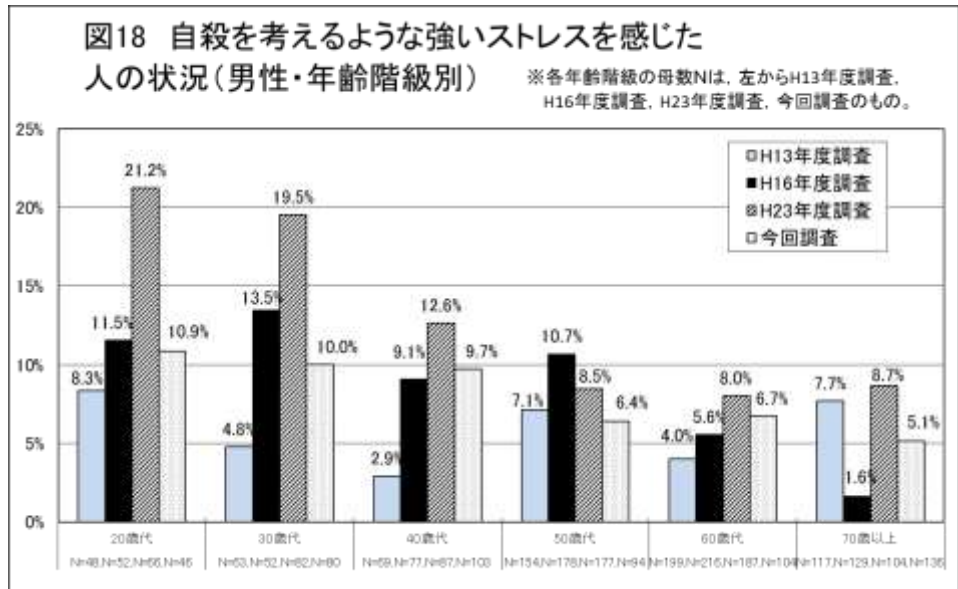
H23年度調査と比べると男女ともに減少している。



■自殺を考えるほどの強いストレスを感じた人の状況 (男性・年齢階級別)

20歳代が最も高く、70歳以上が最も低くなっている。

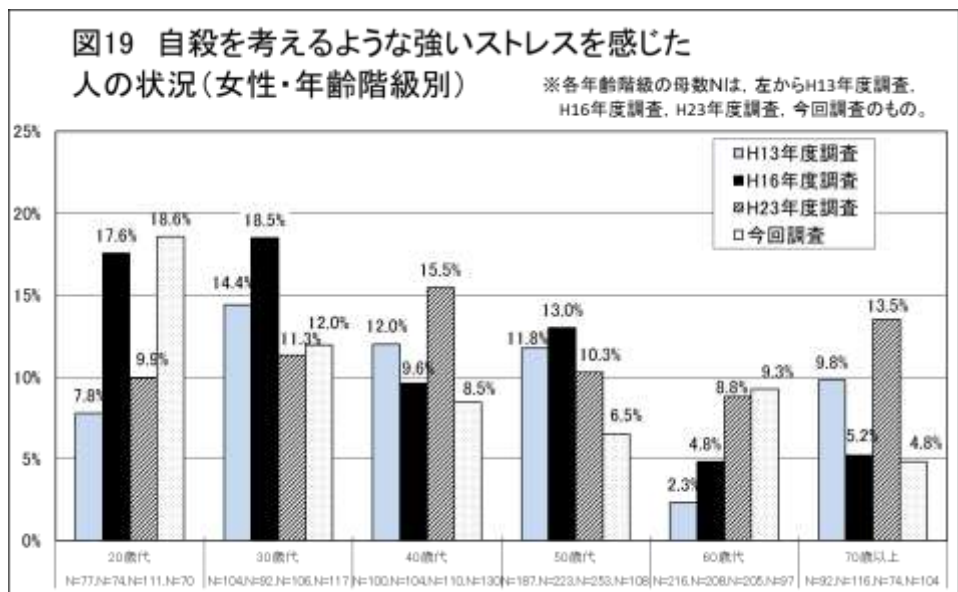
また、H23年度調査と比べると全ての年代において減少している。



■自殺を考えるほどの強いストレスを感じた人の状況 (女性・年齢階級別)

20歳代が最も高く、70歳以上が最も低くなっている。

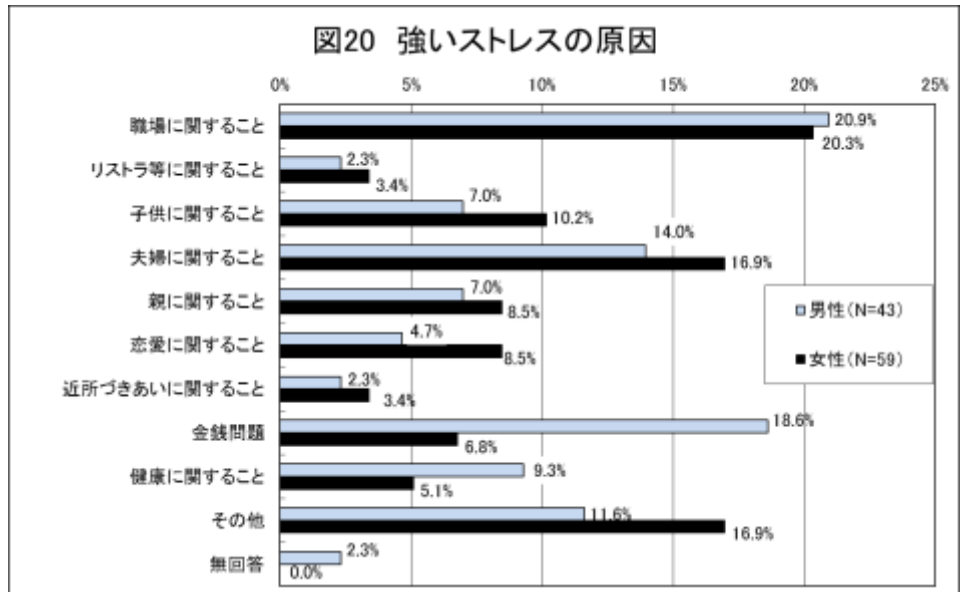
また、H23年度調査と比べると20歳代で8.7ポイント増加しており、30歳代以降はほぼ同じか減少している。



問 34 <問 33 で「1. ある」とお答えいただいた方にお聞きます>
強いストレスを感じた原因は何ですか。

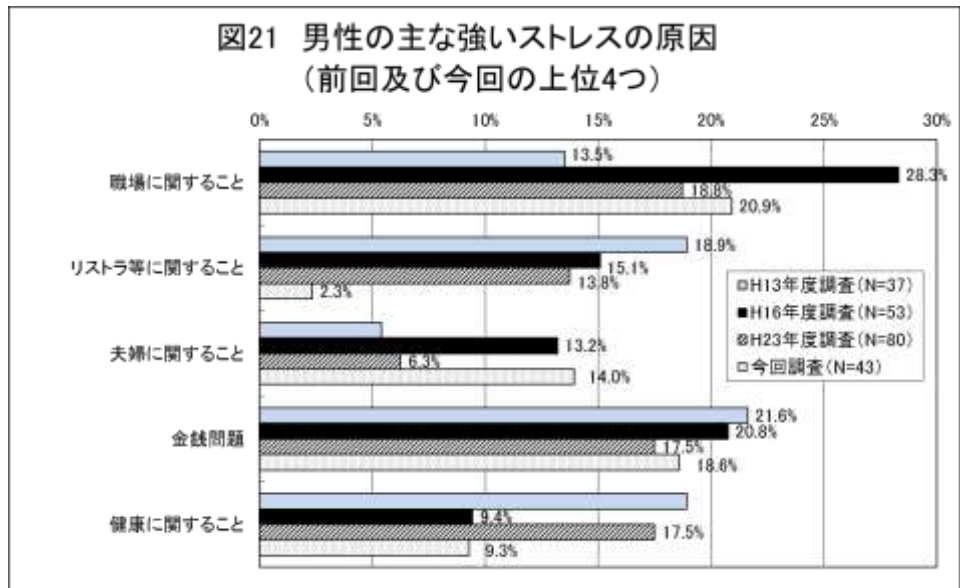
■強いストレスの原因について

「職場に関すること」の割合が男女ともに最も高くなっている。
性別で比べると、男性の方が「金銭に関すること」「健康に関すること」が女性より高く、「子どもに関すること」「夫婦に関すること」「恋愛に関すること」「恋愛に関すること」の割合が女性より低くなっている。



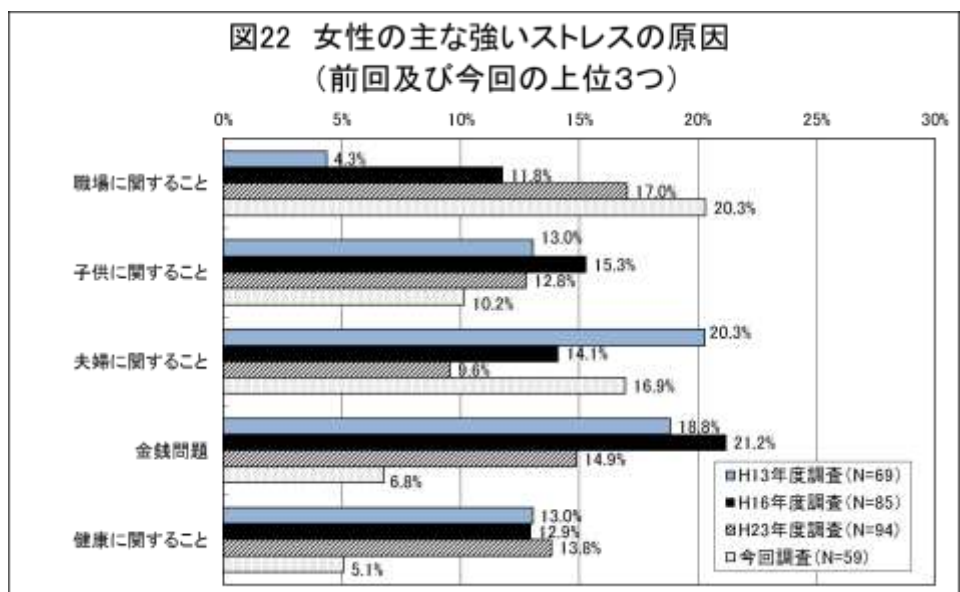
■男性の主なストレスの原因

H23 年度調査と比べると、「リストラ等に関すること」「健康に関すること」の割合が減っており、「夫婦に関すること」の割合が増加している。



■女性の主なストレスの原因

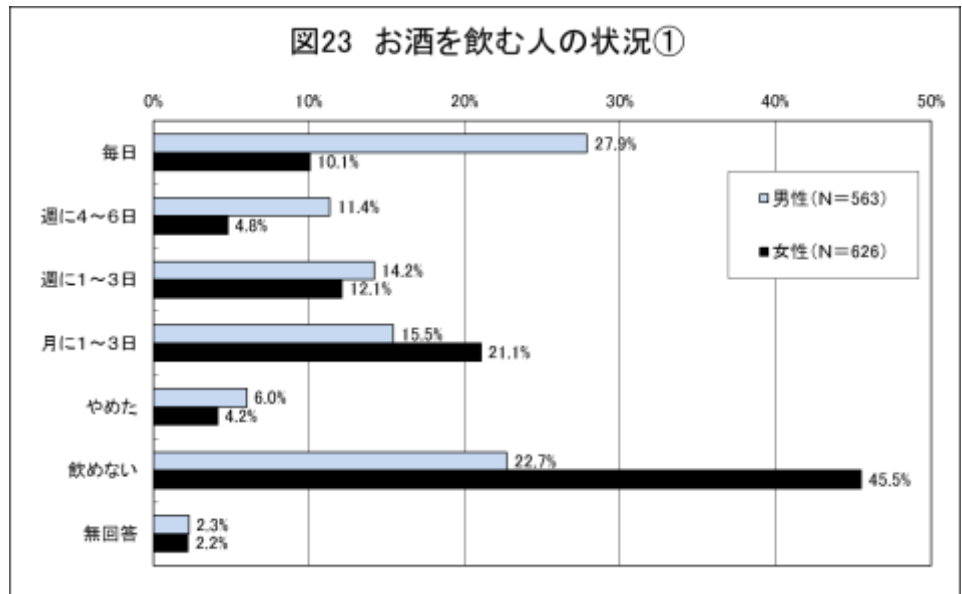
H23 年度調査と比べると、「金銭問題」「健康に関すること」の割合が減っており、「職場に関すること」「夫婦に関すること」の割合が増加している。



問 35 平均してどのくらいお酒（洋酒・ワイン・日本酒・ビール・焼酎など）を飲みますか。

■お酒を飲む人の状況①

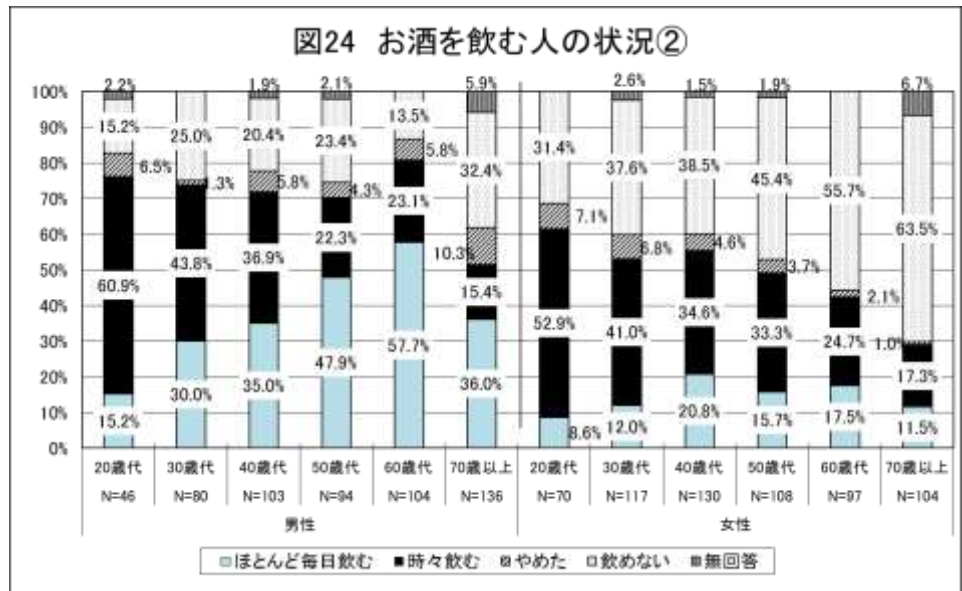
男性は「毎日」が最も高い。また、53.5%が週に1日以上飲酒している。
 女性は「飲めない」が最も高い。また、27.0%が週に1日以上飲酒している。



■お酒を飲む人の状況②

男性の20~40歳代は「時々飲む」が、50歳代以降は「ほぼ毎日飲む」が最も多い。
 女性の20~30歳代は「時々飲む」が、40歳代以降は「飲めない」が最も多い。

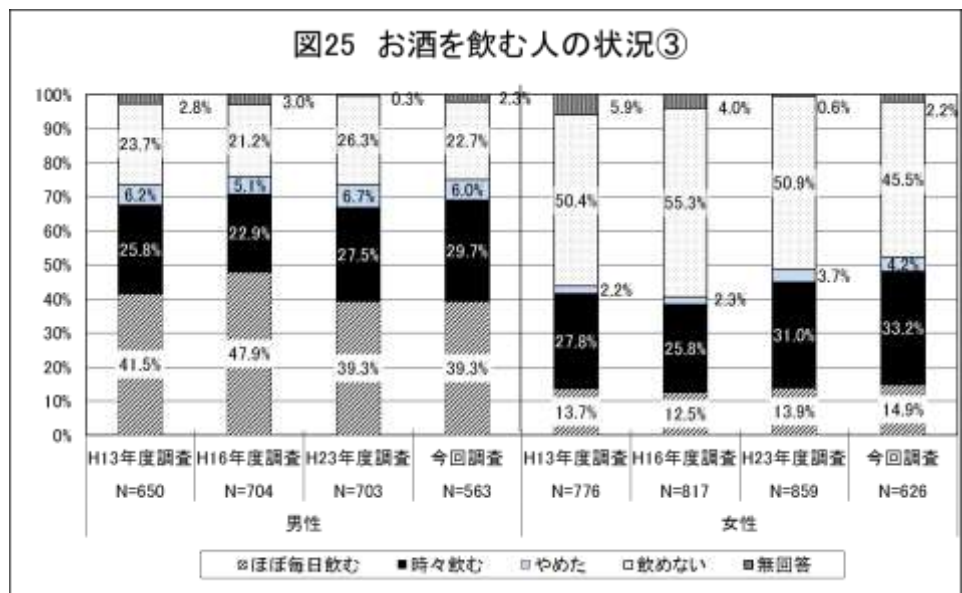
注)「ほとんど毎日飲む」は「1. 毎日」と「2. 週に4~6日」を合わせた割合である。
 また、「時々飲む」は「3. 週に1~3日」と「4. 月に1日~3日」を合わせた割合である。



■お酒を飲む人の状況③

H23年度調査と比べると男性では「時々飲む」が増加し、「飲めない」が減少している。
 女性では「ほとんど毎日飲む」「時々飲む」が増加し、「飲めない」が減少している。

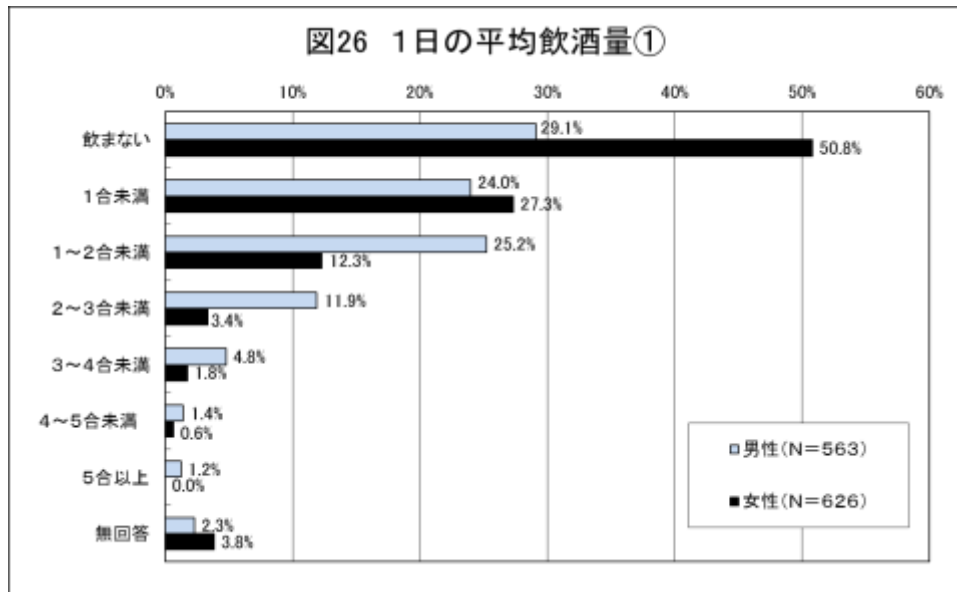
注)「ほとんど毎日飲む」は「1. 毎日」と「2. 週に4~6日」を合わせた割合である。
 また、「時々飲む」は「3. 週に1~3日」と「4. 月に1日~3日」を合わせた割合である。



問 36 平均して1日にどのくらいの量を飲みますか。(日本酒に換算して)

■ 1日の平均飲酒量①

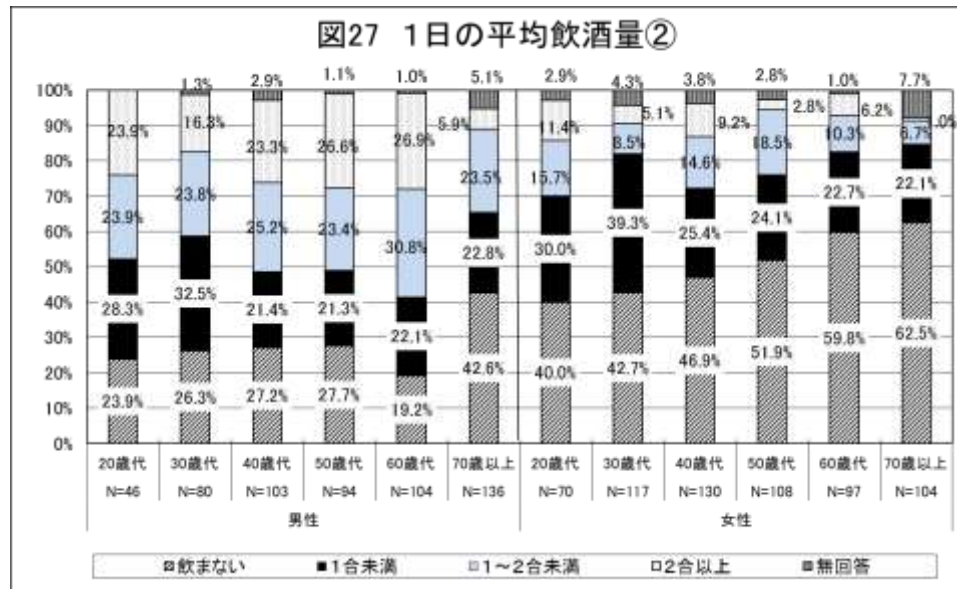
男女ともに「飲まない」が最も多くなっている。次いで、男性では「1～2合未満」、女性では「1合未満」が多くなっている。



■ 1日の平均飲酒量②

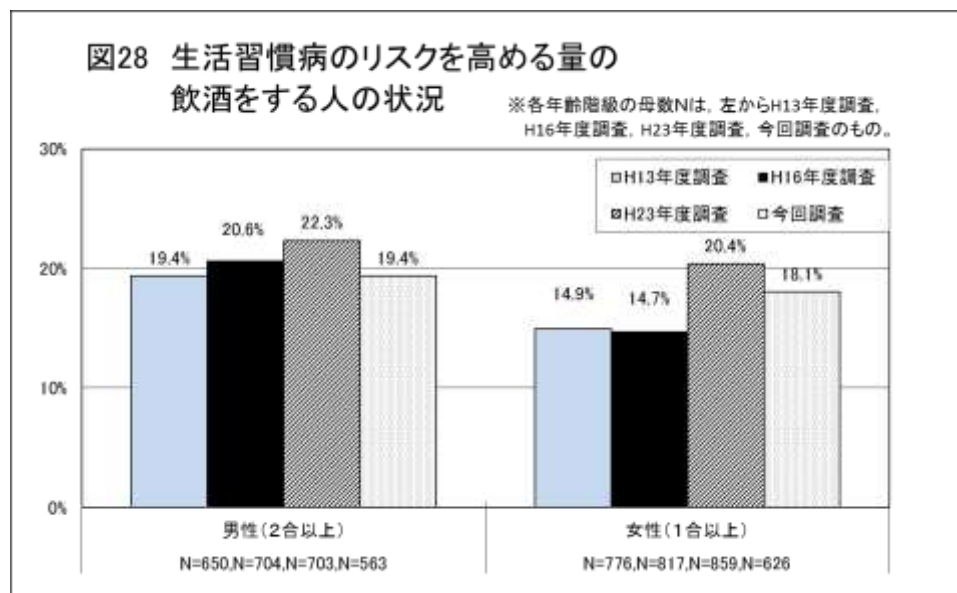
男性では、20歳代～30歳代は「1合未満」、40歳代～50歳代及び70歳代以上は「飲まない」、60歳代は「1～2合未満」の割合が最も高い。

女性では、全ての年齢において「飲まない」の割合が最も多く、概ね高い年齢ほど飲酒量が減る傾向にある。



■ 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をする人の状況

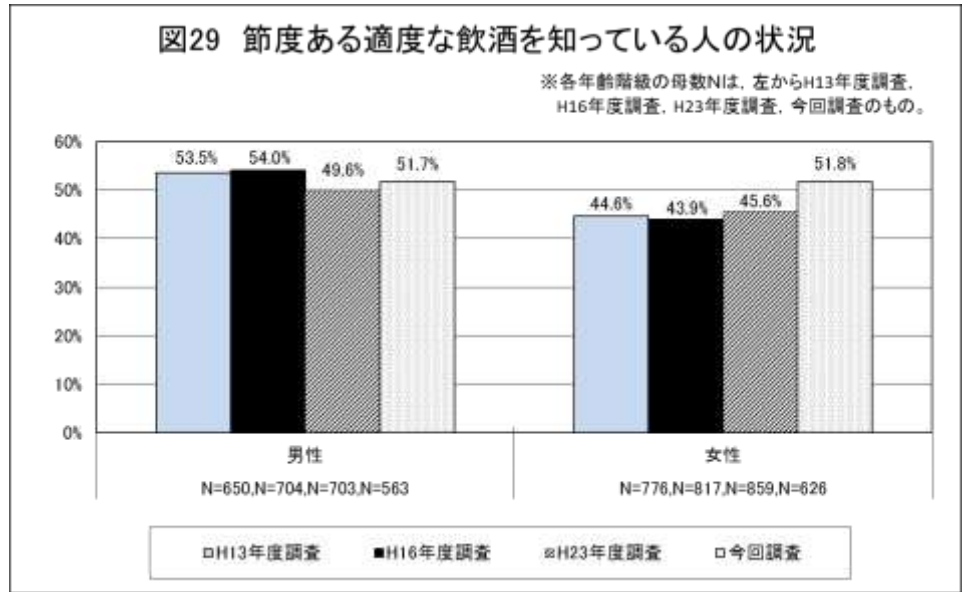
H23年度調査と比べると、男性は2.9ポイント、女性は2.3ポイント減少している。



問 37 「節度ある適度な飲酒」について知っていますか。

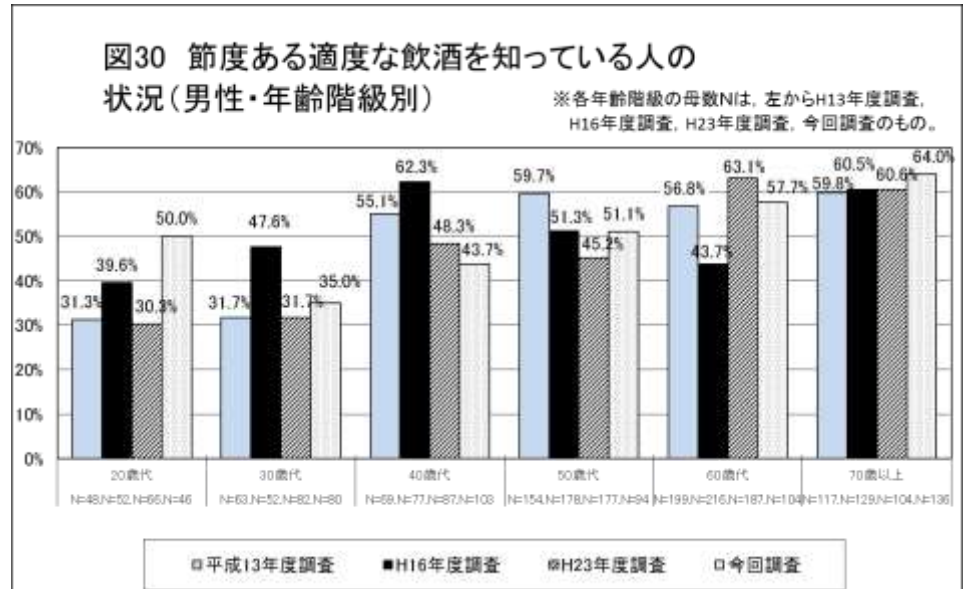
■節度ある適度な飲酒を知っている人の状況

男女でほぼ同じ割合となっている。
また、H23年度調査と比べ、男性では2.1ポイント、女性では6.2ポイント増加している。



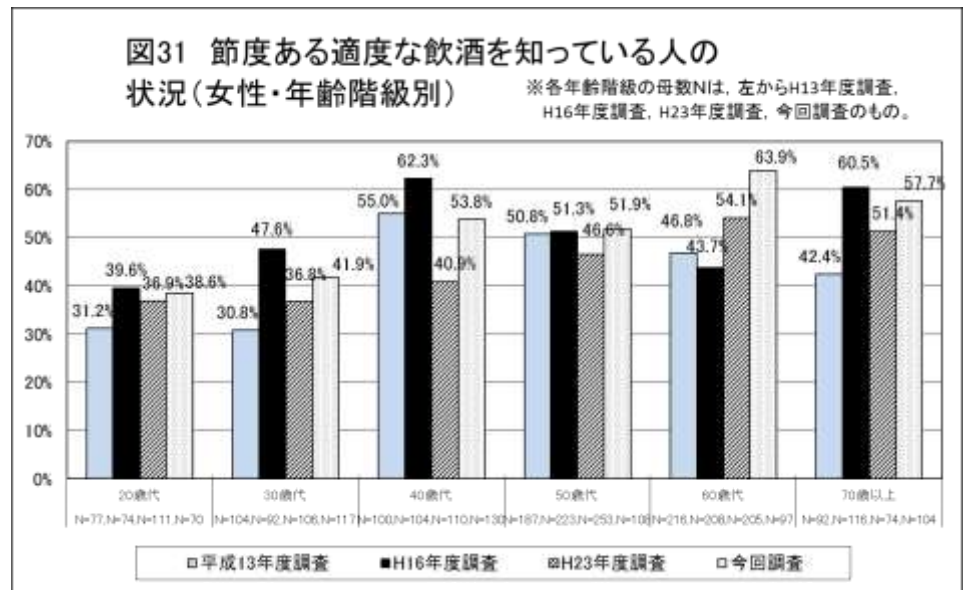
■節度ある適度な飲酒を知っている人の状況 (男性・年齢階級別)

70歳代以上で最も高く、30歳代で最も低くなっている。
H23年度調査と比べると、40歳代及び60歳代で減少し、他の年代では増加している。



■節度ある適度な飲酒を知っている人の状況 (女性・年齢階級別)

60歳代が最も高く、20歳代が最も低くなっている。
H23年度調査と比べると、全ての年代において増加している。



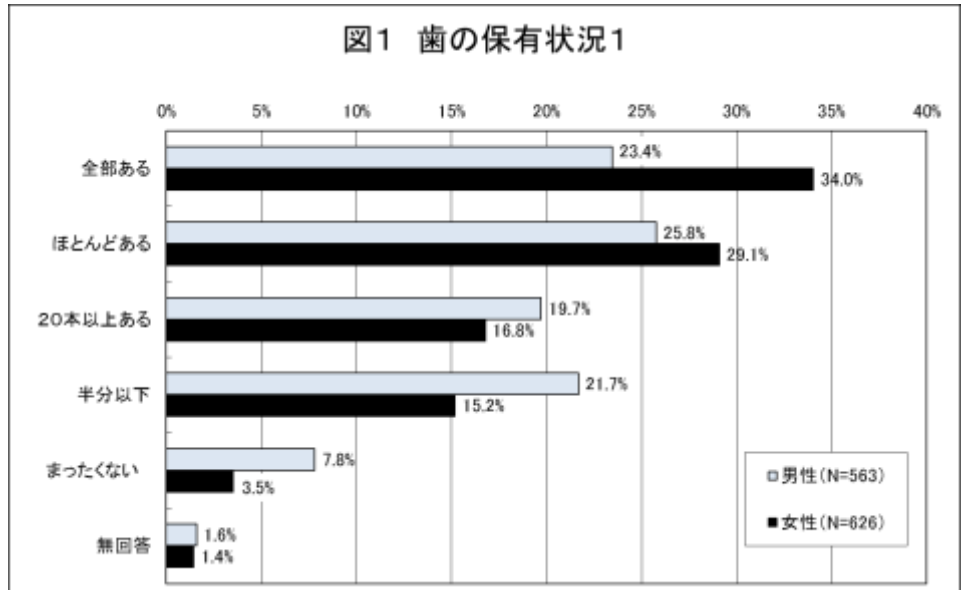
II-6 歯の健康について

問 38 あなたの歯（親知らずは除く、差し歯は含める）はどれくらい残っていますか。

■歯の保有状況 1

24 歯以上（「全部ある」と「ほとんどある」を合わせたもの）の割合は男性 49.2%、女性 63.1%となっている。

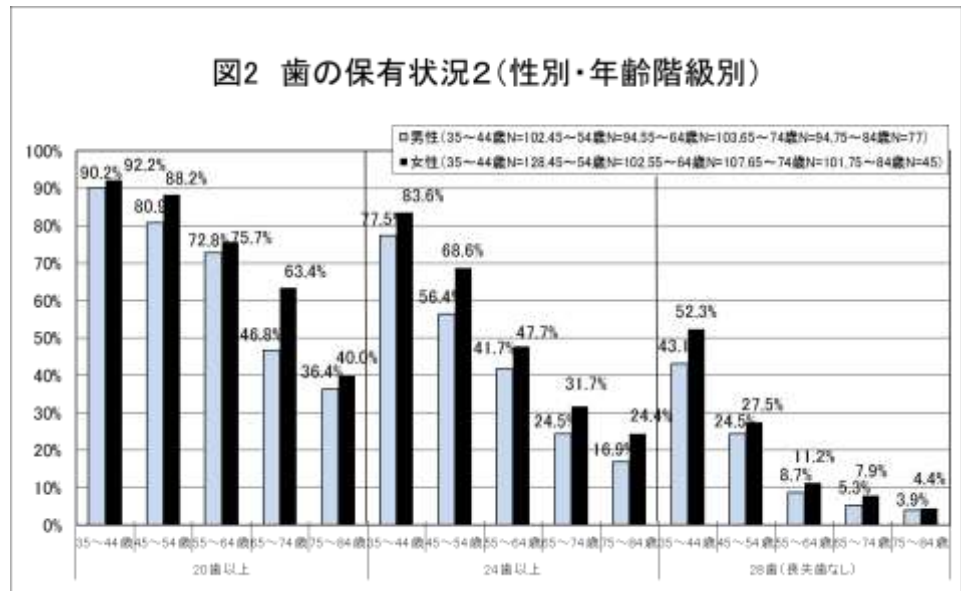
また、20 歯以上（24 歯以上と「20 本以上ある」を合わせたもの）の割合は男性 68.9%、女性 79.9%となっている。



■歯の保有状況 2 (性別・年齢階級別)

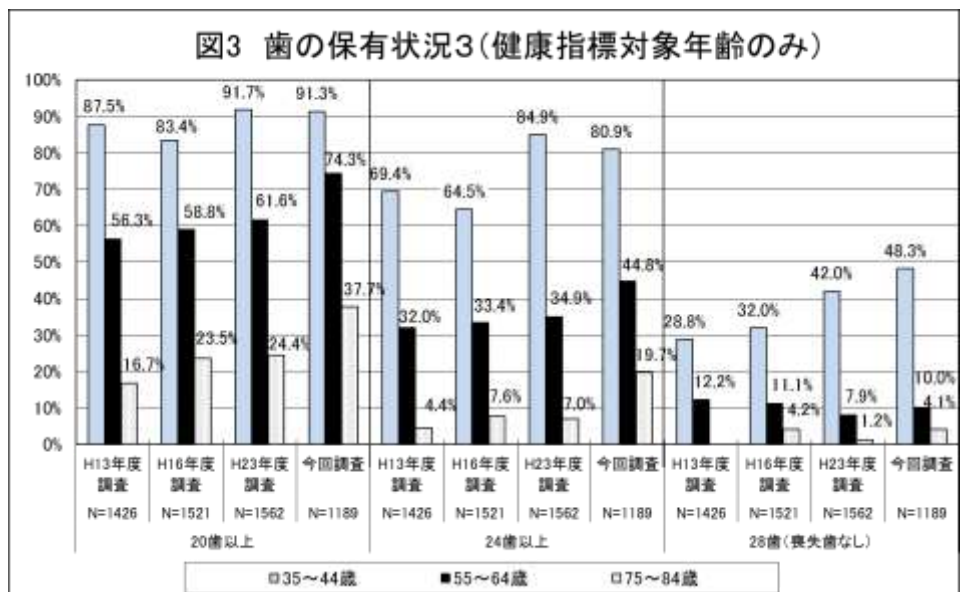
20 歯以上をみると、男女とも 45～54 歳以降、減少の割合が大きくなっている。

24 歯以上及び喪失歯なしでは男女とも 35～44 歳と 45～54 歳の間で大きく減少している。



■歯の保有状況 3 (健康指標対象年齢)

35～44 歳の 28 歯（喪失歯なし），55～64 歳の 24 歯以上，75～84 歳の 20 歯以上において，いずれも増加傾向となっている。

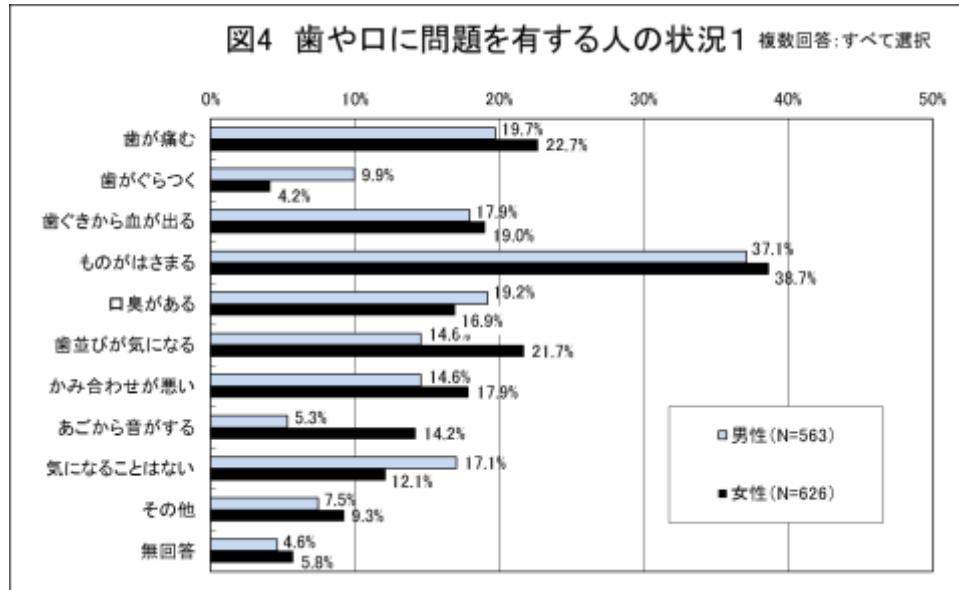


問 39 歯や口の中について悩みや気になることがありますか。(複数回答：すべて選択)

■歯や口に問題を有する人の状況 1

「ものがはさまる」「歯が痛む」の割合が男女とも高い。

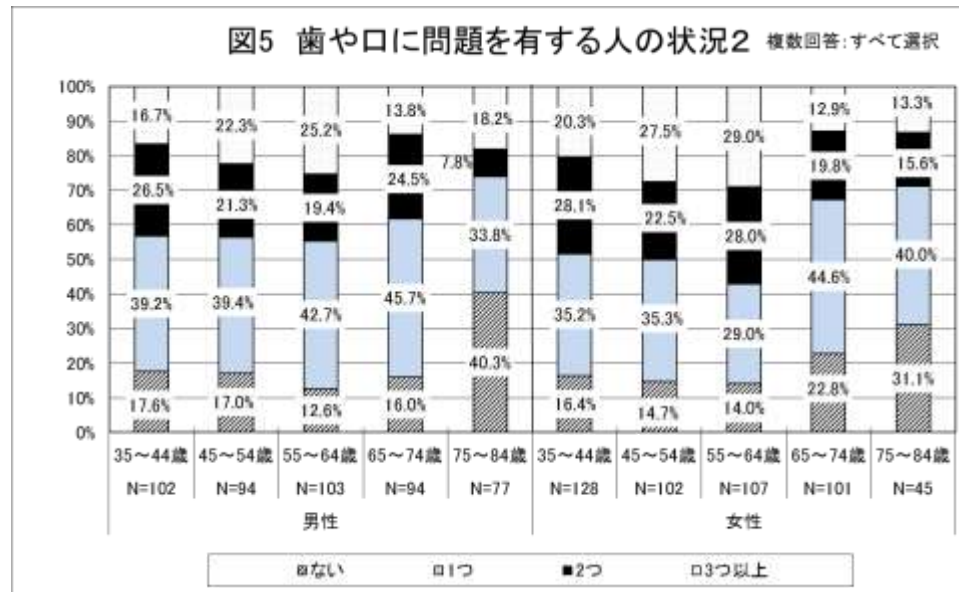
また、女性の方が「歯並びが気になる」「あごから音がする」が男性より高く、「歯がぐらつく」「気になることはない」が低くなっている。



■歯や口に問題を有する人の状況 2

75～84 歳男性では「ない」の割合が最も高く、75～84 歳を除く男性と全年代の女性においては「1つ」の割合が最も高くなっている。

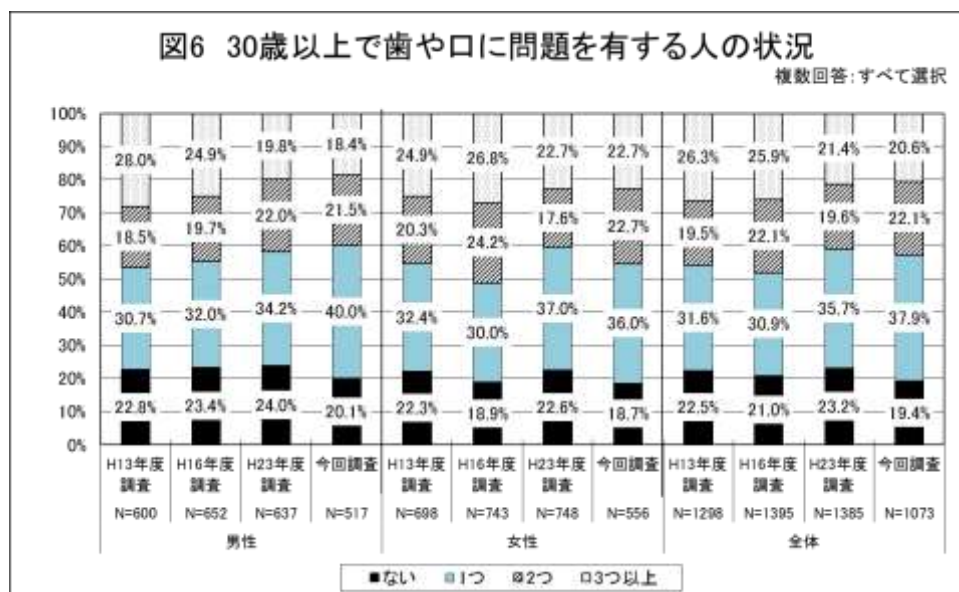
また、2 つ以上問題を有する人の割合は、男女ともに 55～64 歳が最も高い。



■30 歳以上で歯や口に問題を有する人の状況

H23 年度調査と比べると、男女ともに「ない」が減少し問題を有する人が増加している。

また、2 つ以上問題を有する割合は男性で減少しているものの女性では増加しており、全体では 1.7 ポイント増加となっている。

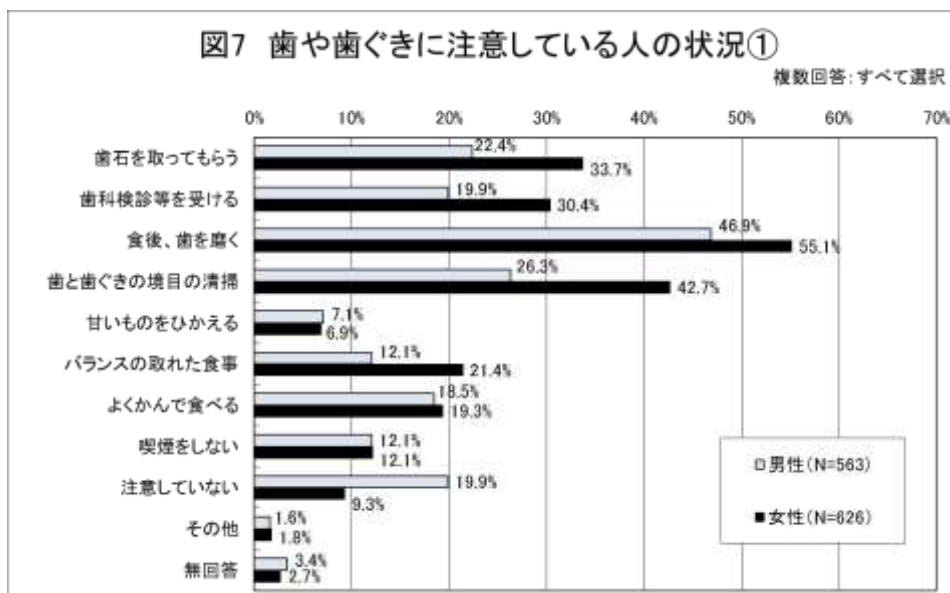


問 40 歯や歯ぐきの健康についてどのようなことに注意していますか。(複数回答：すべて選択)

■歯や歯ぐきに注意している人の状況①

男女ともに「食後、歯を磨く」「歯と歯ぐきの境目の清掃」の割合が上位を占めている。

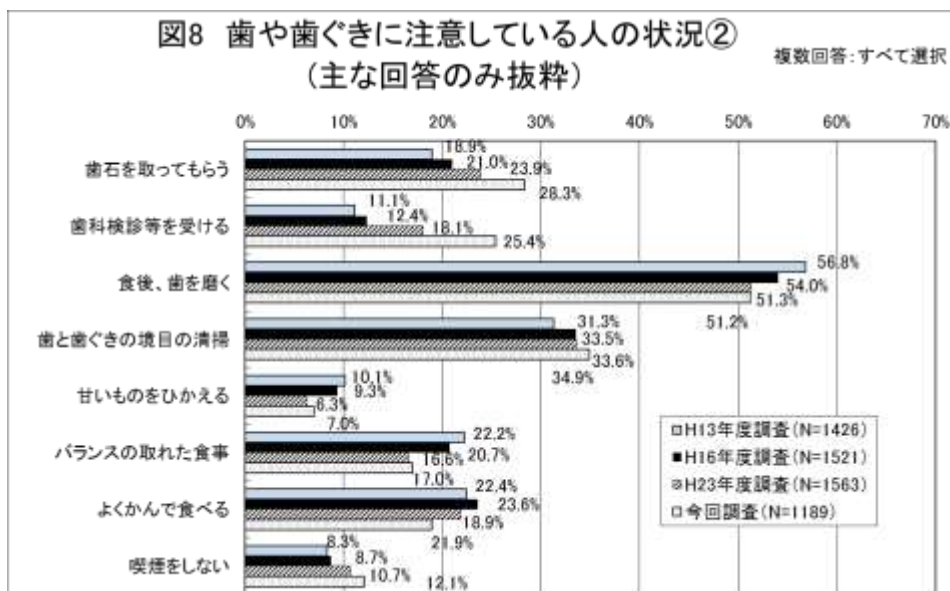
また、男性の「注意していない」の割合は女性より 10.6 ポイント高くなっている。



■歯や歯ぐきに注意している人の状況②

過去 3 回の調査と同様に「食後、歯を磨く」「歯と歯ぐきの境目の清掃」の割合が上位を占めている。

また、「食後、歯を磨く」は減少傾向にあるが、「歯石をとってもらう」「歯科検診等を受ける」「歯と歯ぐきの境目の清掃」「喫煙をしない」は増加傾向にある。

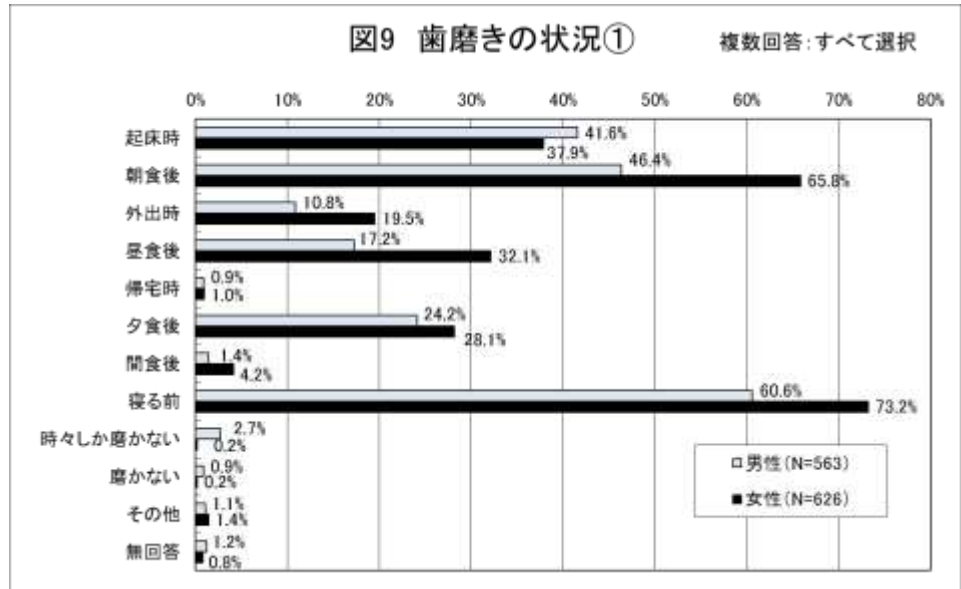


問 41 毎日どのような時に歯を磨きますか。(複数回答：すべて選択)

■ 歯磨きの状況 1

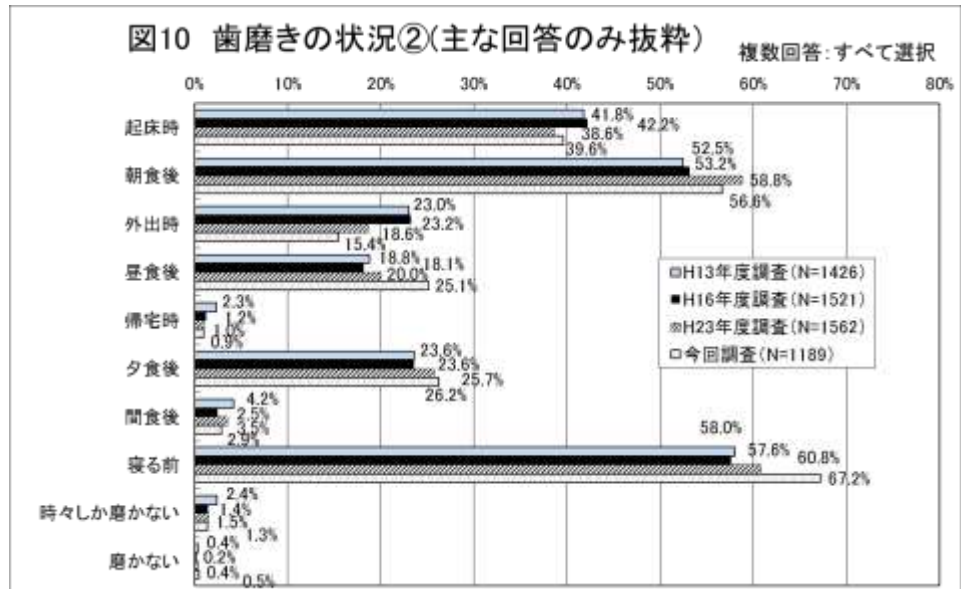
男女ともに「寝る前」「朝食後」「起床時」の割合が上位を占めている。

男性では「寝る前」、女性では「寝る前」と「朝食後」の割合が60%以上となっている。



■ 歯磨きの状況 2

H23 年度調査と比べると、「寝る前」「昼食後」が増加している。

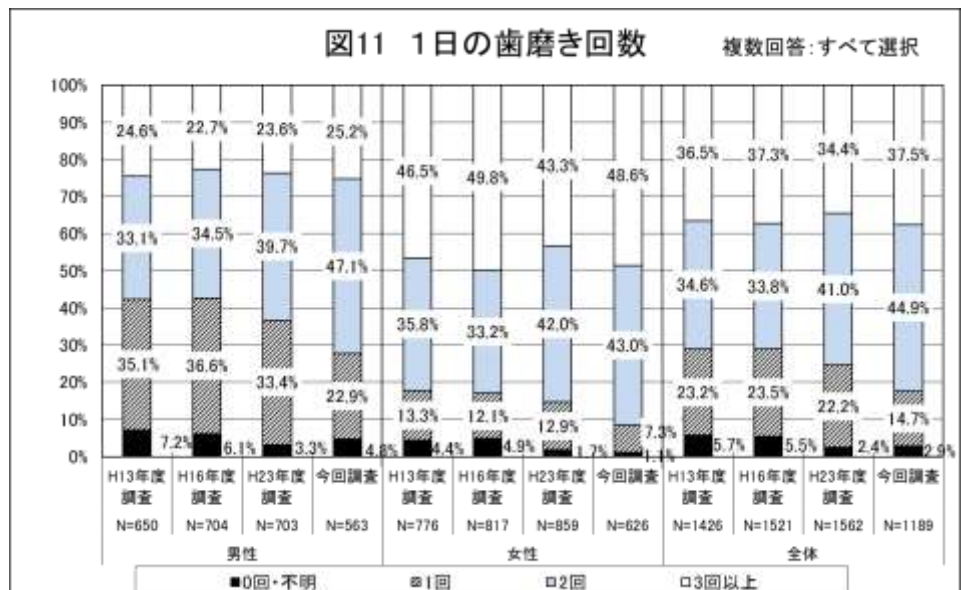


■ 1日の歯磨き回数

男性は「2回」が最も高く、女性は「3回以上」が最も高い。

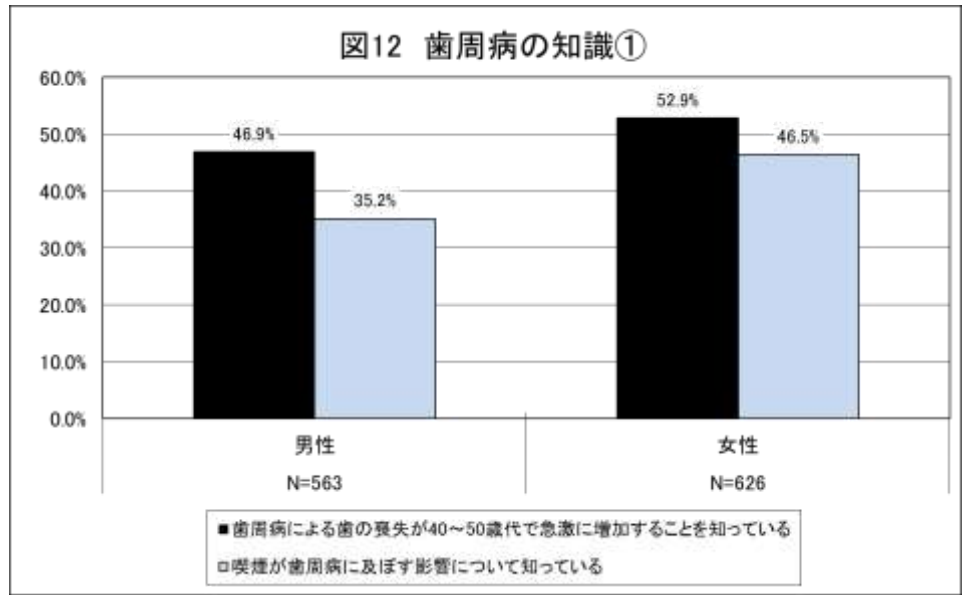
また、男性の72.3%、女性の91.6%、全体では82.4%が1日2回以上歯磨きを行っている。

H23 年度調査と比べると、男女ともに「2回」「3回以上」の割合が増加している。



■歯周病の知識①

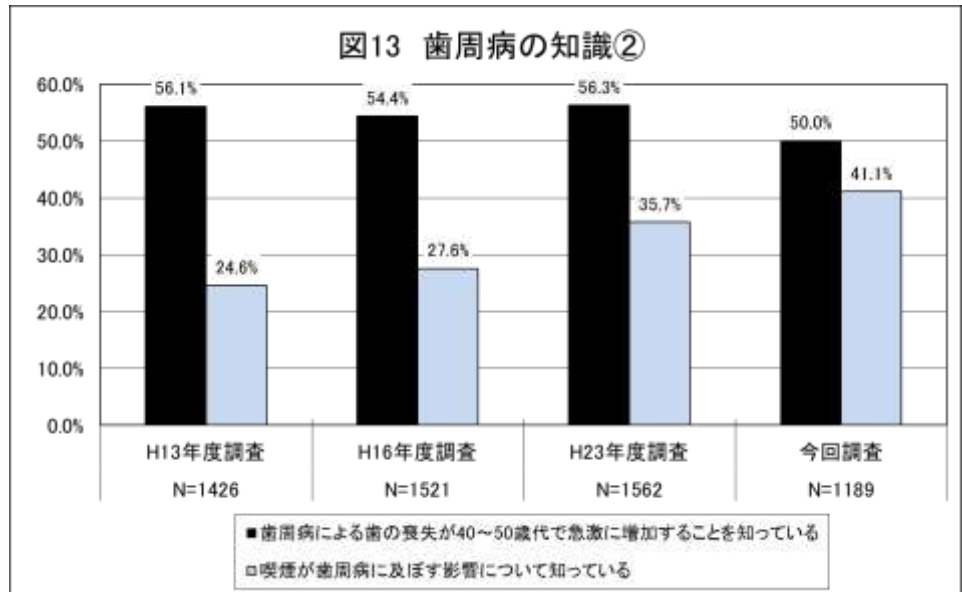
歯周病による歯の喪失が40～50歳代で急激に増加すること、喫煙が歯周病に及ぼす影響について知っている割合は、いずれも女性の方が高い傾向にある。



■歯周病の知識②

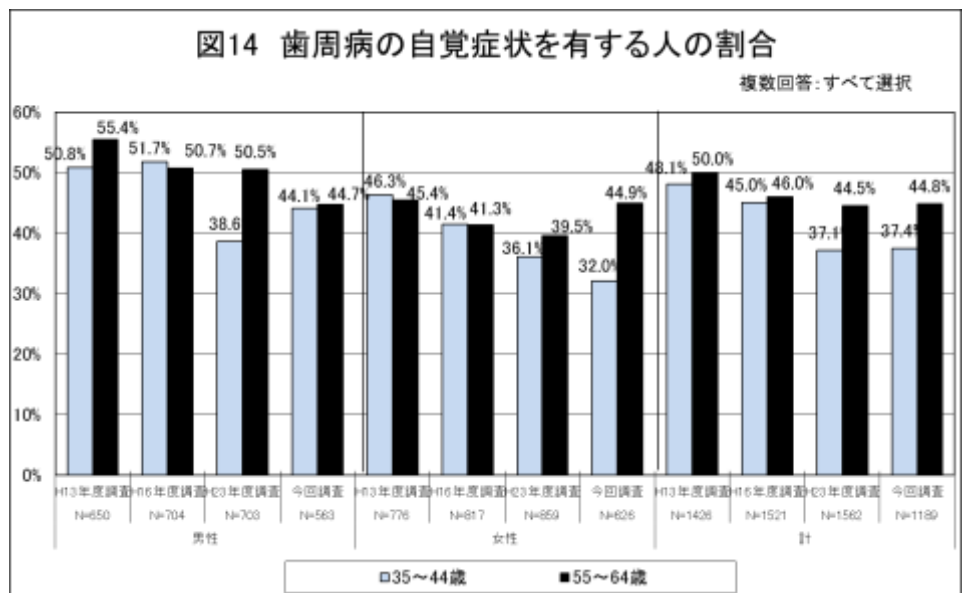
歯周病による歯の喪失について知っている割合は、H23年度調査より6.3ポイント減少している。

喫煙が及ぼす影響について知っている割合は、H23年度調査より4.4ポイント増加している。



■歯周病の自覚症状を有する人の割合

H23年度調査と比べると、35～44歳男性及び55～64歳女性において自覚症状を有する割合が増加する一方、35～44歳女性及び55～64歳男性においては減少し、全体としては両年齢階級とも微増となっている。

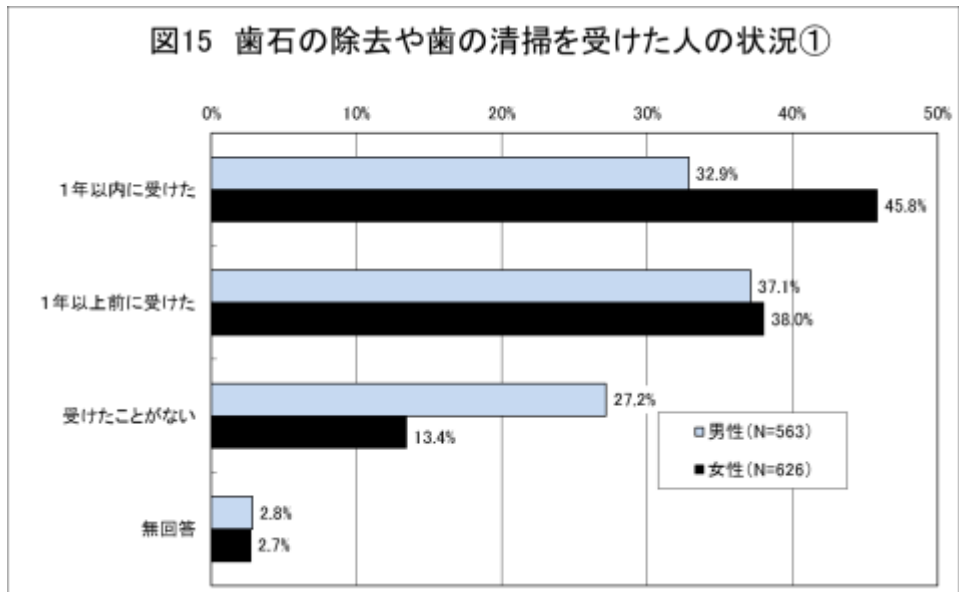


問 43 歯石の除去や専門家による歯の清掃を受けたことがありますか。

■ 歯石の除去や歯の清掃を受けた人の状況 1

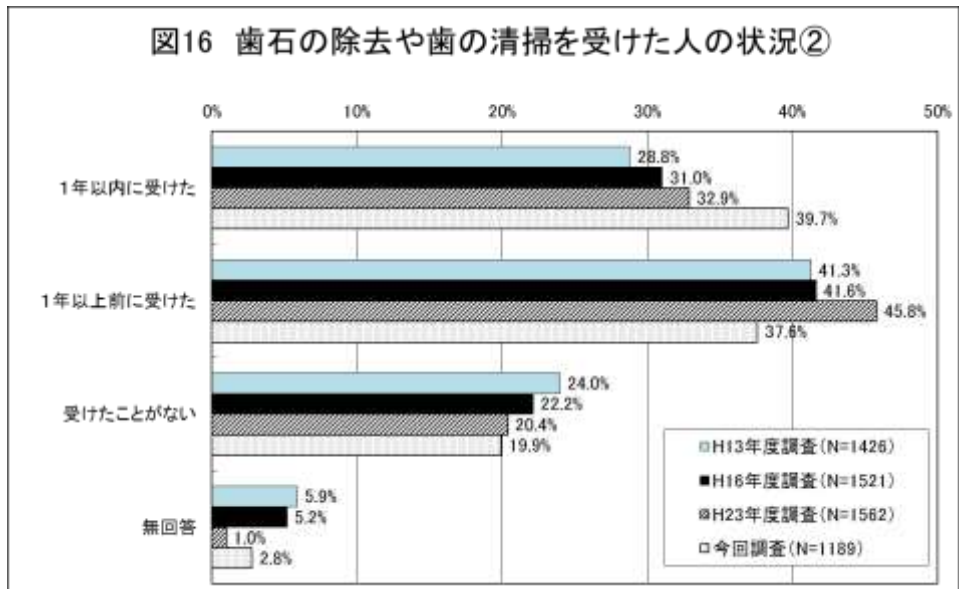
男性は「1年以上前に受けた」が最も高く、女性は「1年以内に受けた」が最も高い。

また、「受けたことがない」の割合は男性が女性より13.8ポイント高くなっている。



■ 歯石の除去や歯の清掃を受けた人の状況 2

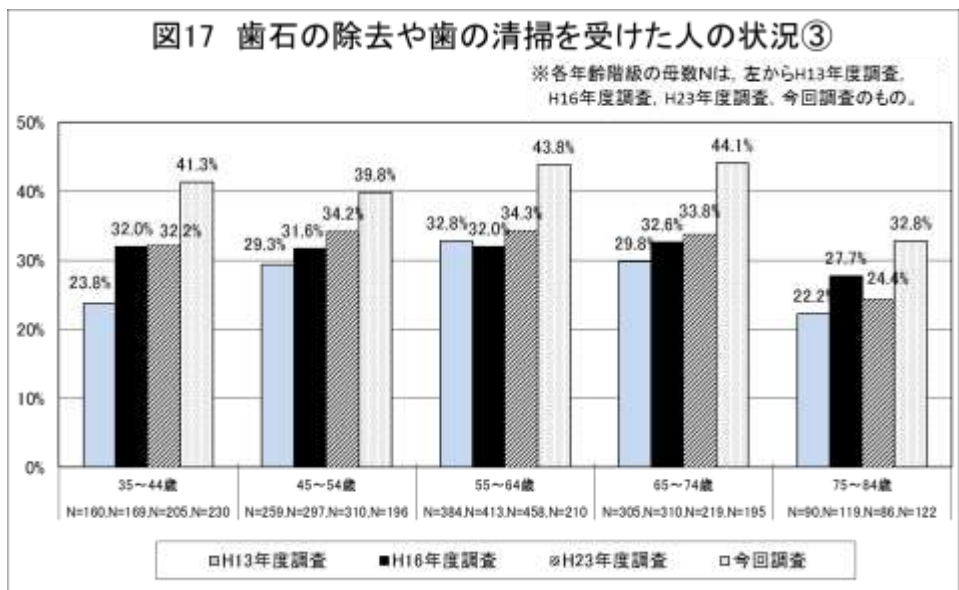
過去3回の調査と比べると、「1年以内に受けた」の割合は増加傾向にあり、「受けたことがない」は減少傾向にある。



■ 歯石の除去や歯の清掃を受けた人の状況 3

「1年以内に受けた」の割合は、55～64歳及び65～74歳が比較的高く、75～84歳が低くなっている。

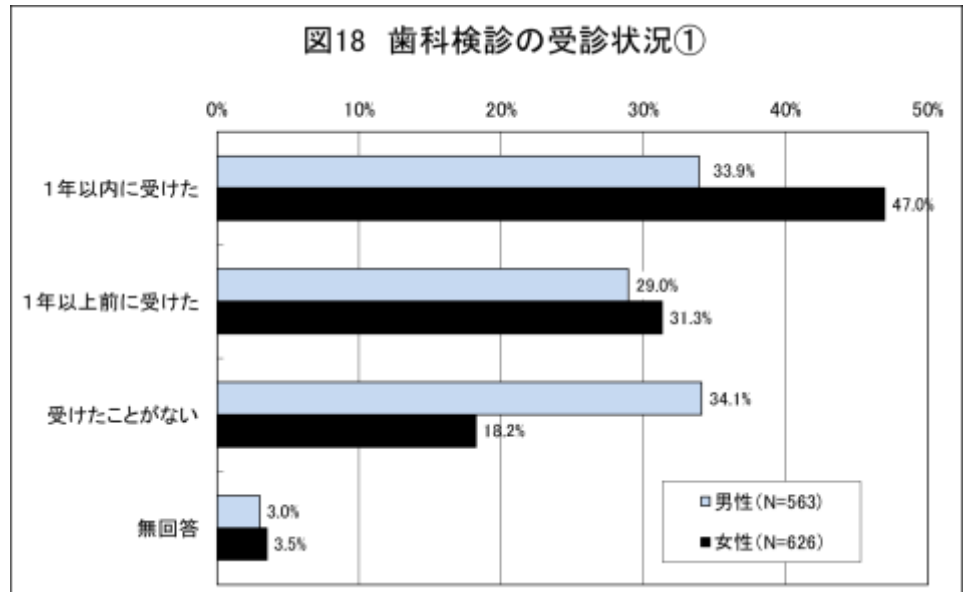
H23年度調査と比べると、全ての年代で増加している。



問 44 歯科検診（何か異常がないか確認等）を受けたことがありますか。

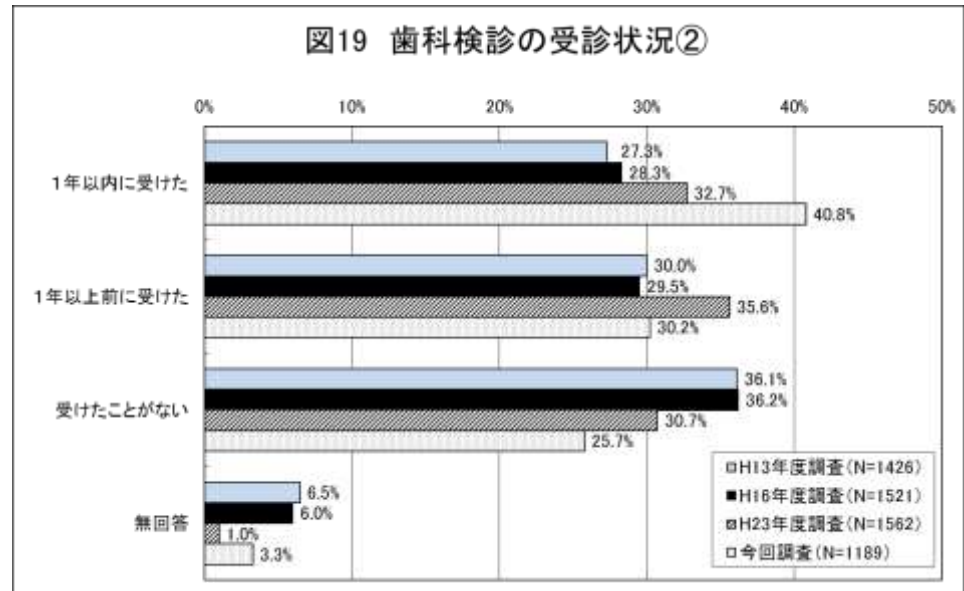
■ 歯科検診の受診状況①

男女ともに「1年以内に受けた」が最も高い。
また、「受けたことがない」の割合は男性が女性より 15.9 ポイント高くなっている。



■ 歯科検診の受診状況②

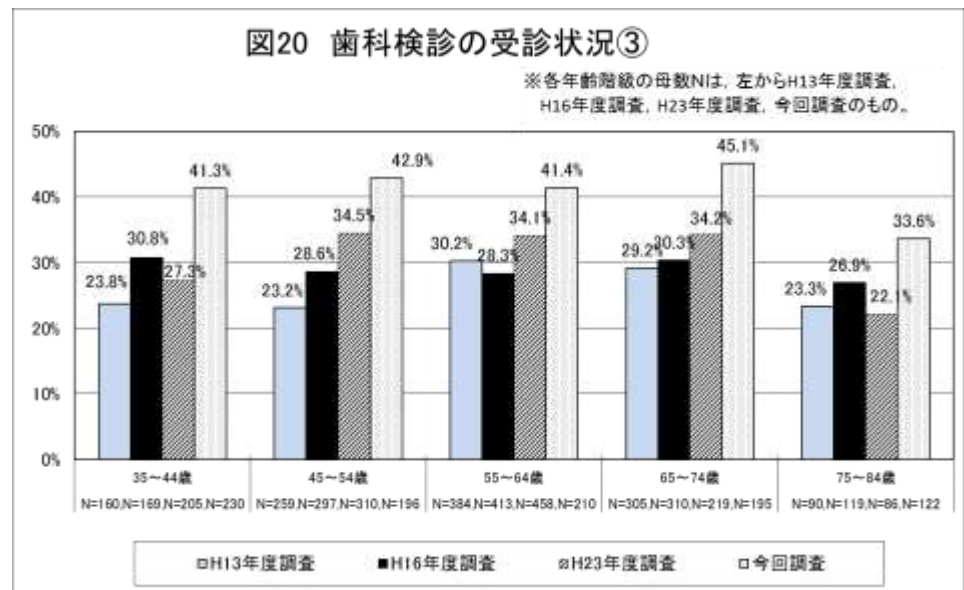
過去3回の調査と比較すると、「1年以内に受けた」の割合は増加傾向にあり、「受けたことがない」は減少傾向にある。



■ 歯科検診の受診状況③

「1年以内に受けた」の割合は、65～74歳が45.1%と比較的高く、75～84歳では33.6%と低くなっている。

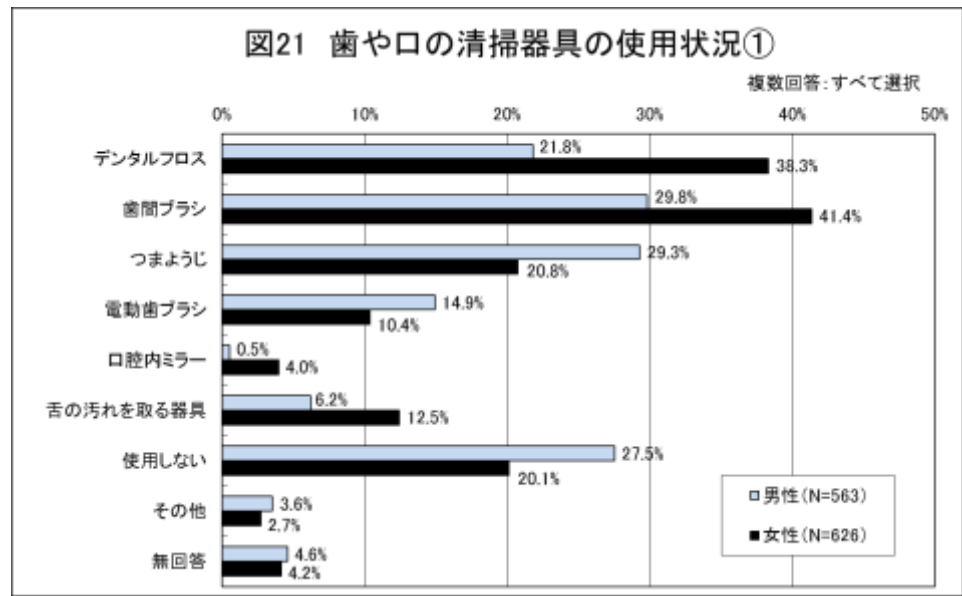
H23年度調査と比較すると、全ての年代で増加している。



問 45 歯ブラシ以外に歯や口の清掃をするための器具を使用していますか。(複数回答:すべて選択)

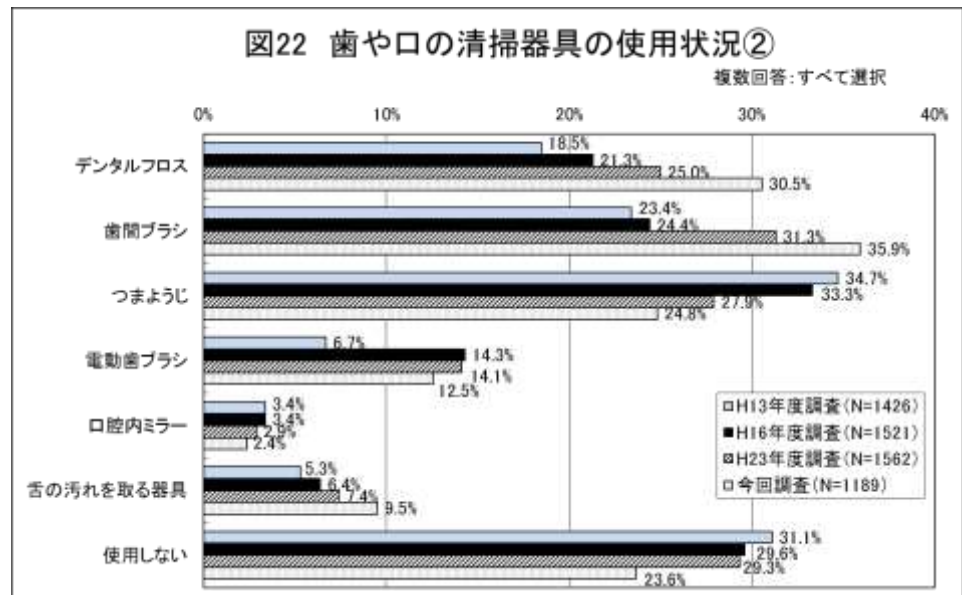
■歯や口の清掃器具の使用状況①

男性では「歯間ブラシ」「つまようじ」「使用しない」、女性では「歯間ブラシ」「デンタルフロス」が上位を占めている。



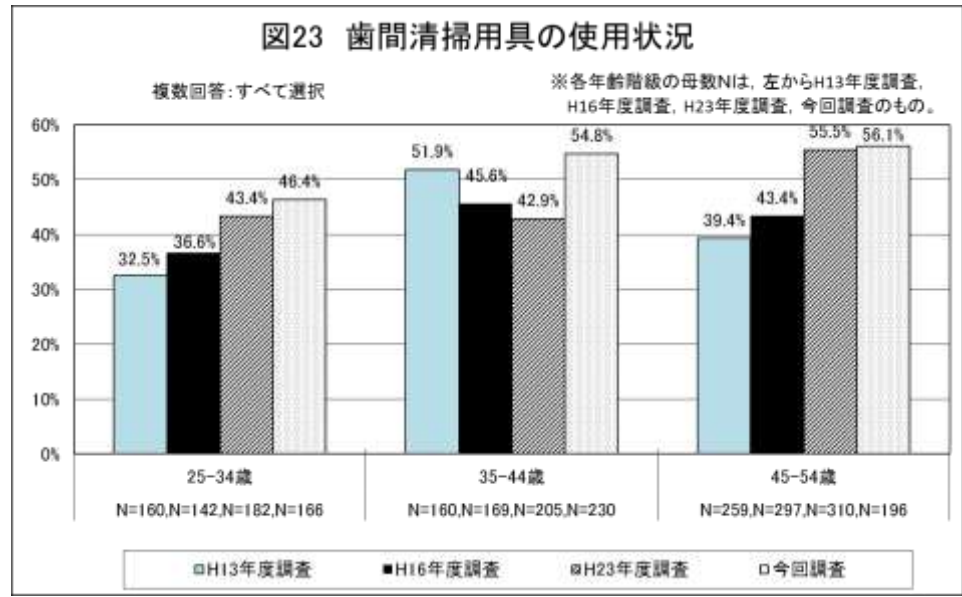
■歯や口の清掃器具の使用状況②

過去3回の調査と比べると、「つまようじ」「使用しない」は減少傾向にあり、「デンタルフロス」「歯間ブラシ」「舌の汚れを取る器具」が増加傾向にある。



■歯間清掃用具(デンタルフロスや歯間ブラシ)の使用状況

H23年度調査と比べると、25~34歳及び35~44歳では増加しており、45~54歳ではほぼ同じ割合となっている。

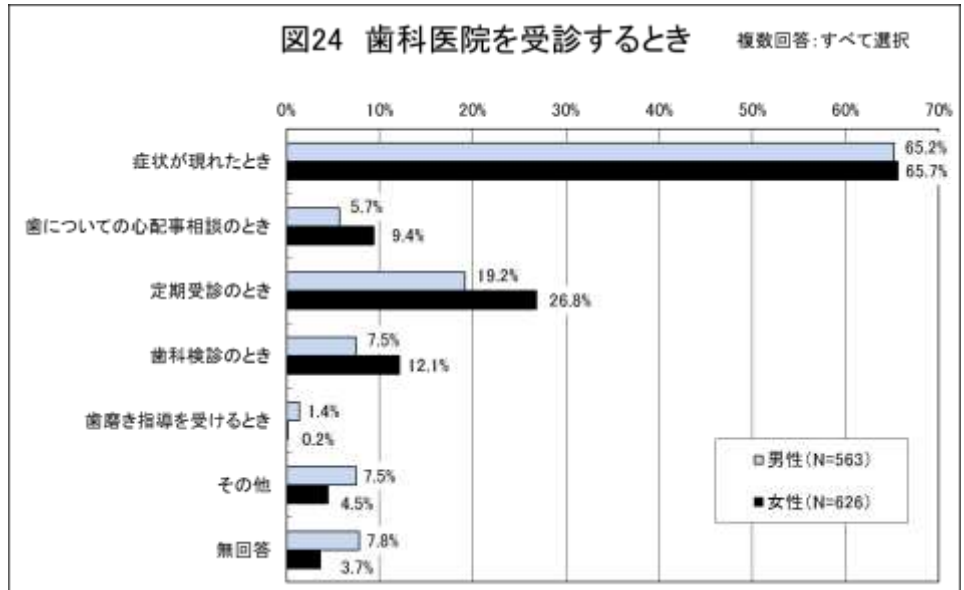


問 46～47 どのような時に歯科医院を受診しますか、また定期的に受診しない理由は何ですか。
(複数回答：すべて選択)

■ 歯科医院を受診する
とき

男女とも「症状が現れたとき」の割合が最も高い。

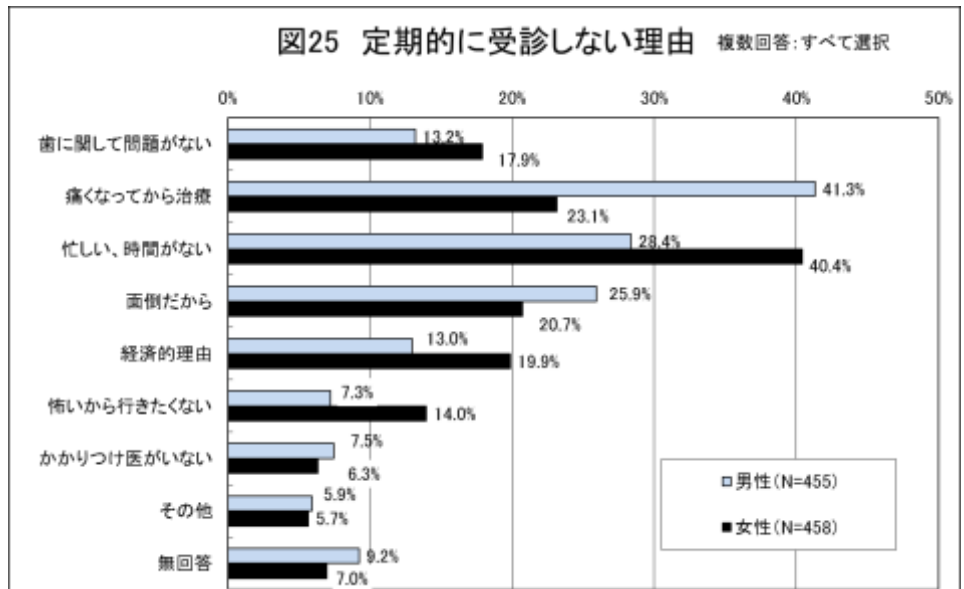
次いで「定期受診のとき」が高くなっている。



■ 定期的に受診しない
理由

男女ともに「痛くなってから治療」「忙しい、時間がない」「面倒だから」の割合が上位を占めている。

性別で比較すると、男性は「痛くなってから治療」、女性は「忙しい、時間がない」が高くなっている。

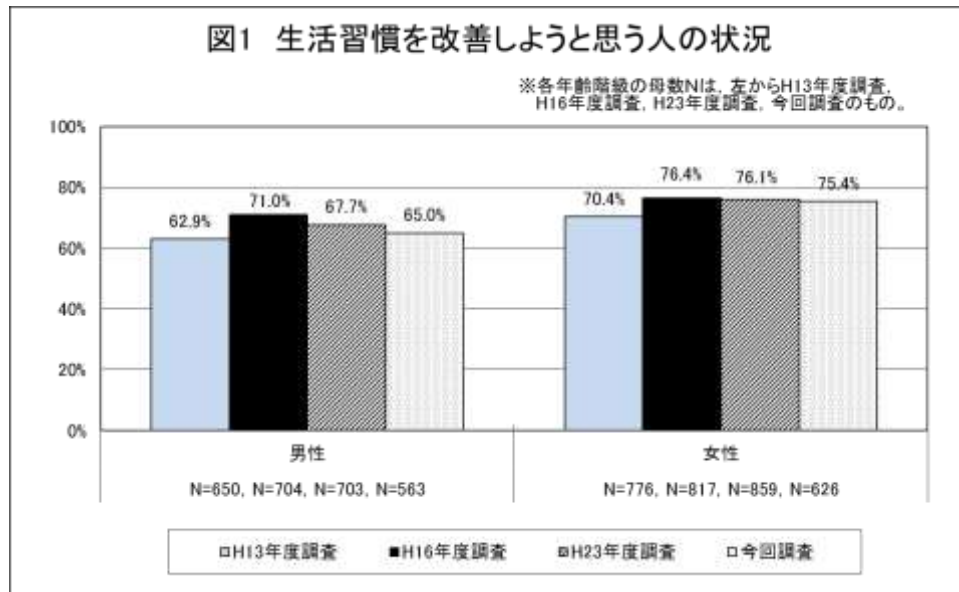


Ⅱ-7 健康チェック・たばこについて

問 48 生活習慣病予防のために、生活習慣を改善しようと思いませんか。

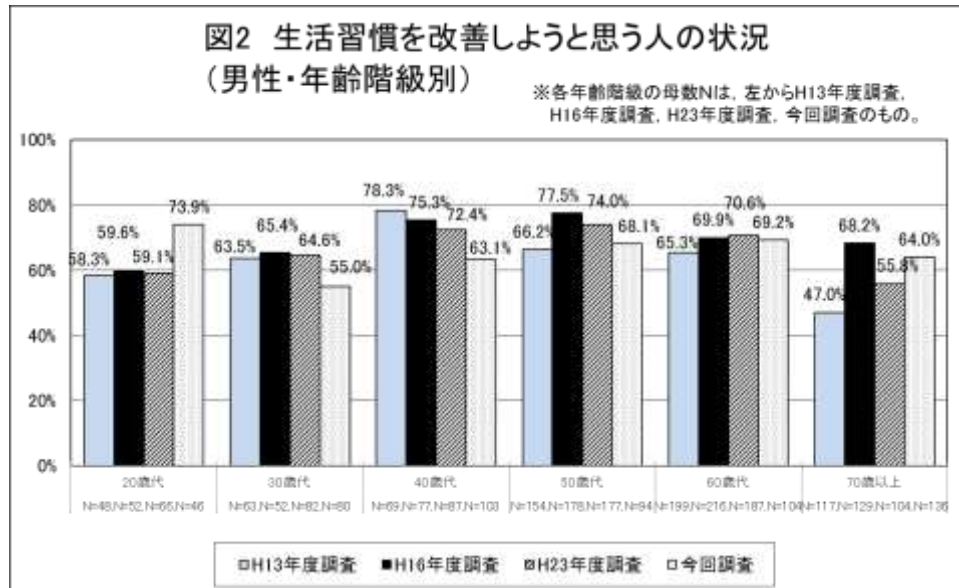
■生活習慣を改善しようと思う人の状況

男性よりも女性の方が 10.4 ポイント高くなっている。
H23 年度調査と比べると、男性は 2.7 ポイント、女性は 0.7 ポイント減少している。



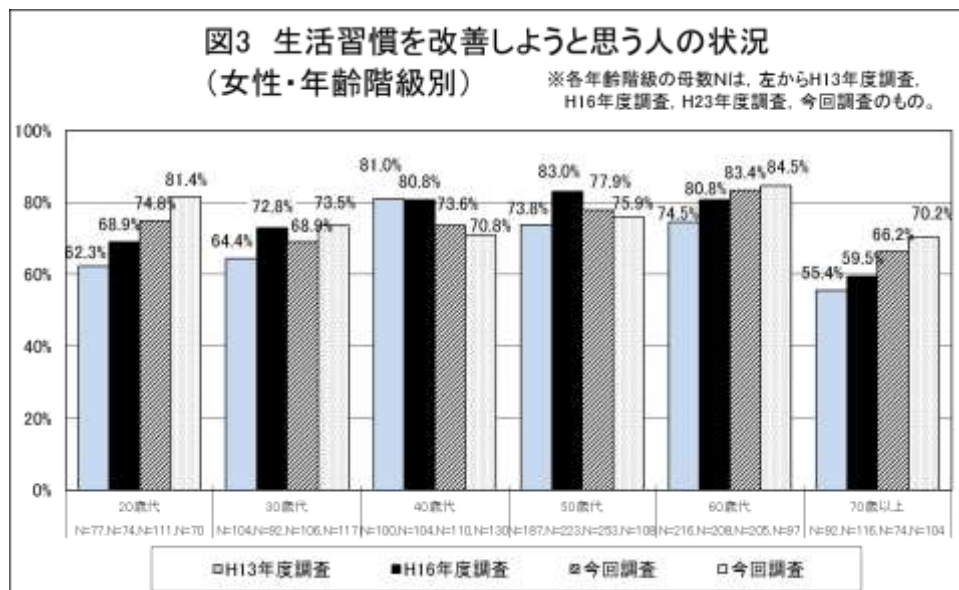
■生活習慣を改善しようと思う人の状況 (男性・年齢階級別)

20 歳代、50 歳代、60 歳代は 70%前後となっている。
H23 年度調査と比べると、20 歳代及び 70 歳以上では増加しているが、その他の年代では減少している。



■生活習慣を改善しようと思う人の状況 (女性・年齢階級別)

全ての年代で 70%以上となっている。
H23 年度調査と比べると、40~50 歳代では減少し、他の年代では増加となっている。

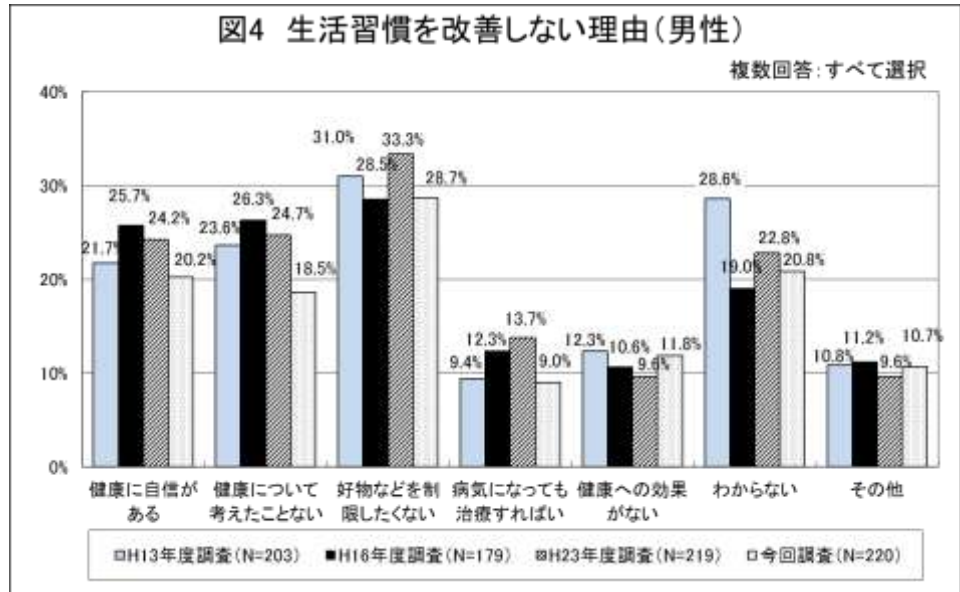


問 49 生活習慣を改善しようと思わない理由は何ですか。(複数回答：すべて選択)

■生活習慣を改善しない理由（男性）

「好物などを制限したくない」「わからない」「健康に自信がある」が上位を占めている。

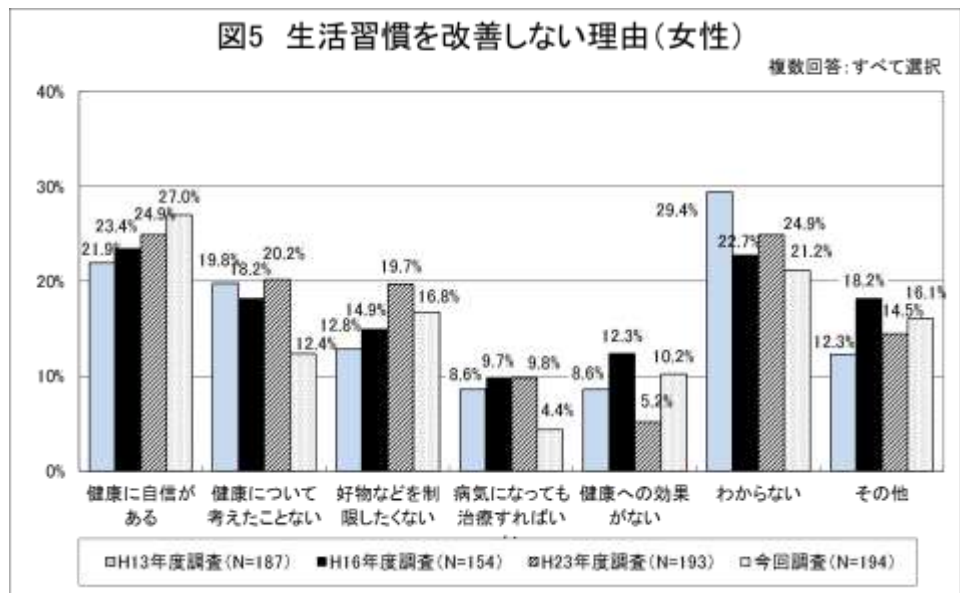
また、H23 年度調査と比べると、「健康への効果がない」が増加している。



■生活習慣を改善しない理由（女性）

「健康に自信がある」「わからない」が上位を占めている。

また、H23 年度調査と比べると、「健康に自信がある」「健康への効果がない」が増加している。



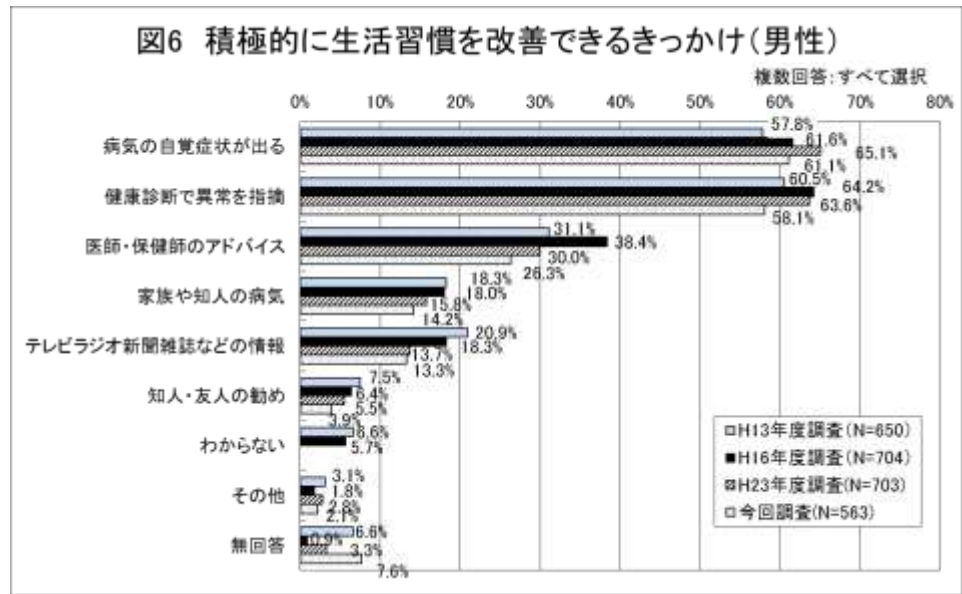
■男女比較

「好物などを制限したくない」「健康について考えたことがない」の割合は、男性の方が高い傾向にある。

問 50 どのようなきっかけがあれば、積極的に生活習慣を改善できますか。(複数回答：すべて選択)

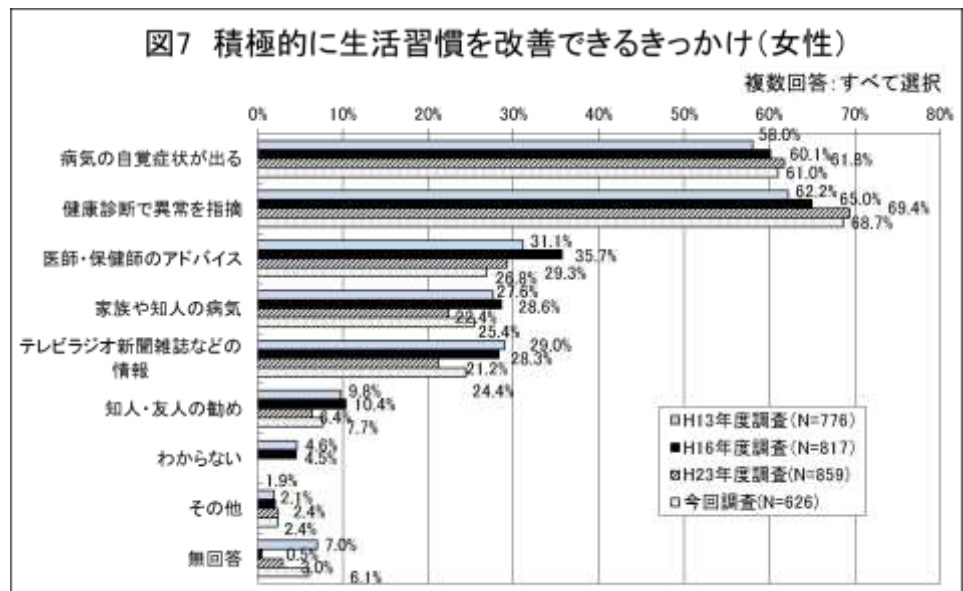
■積極的に生活習慣を改善できるきっかけ(男性)

過去 3 回の調査と同様に「病気の自覚症状が出る」「健康診断で異常を指摘」「医師・保健師のアドバイス」が上位を占めている。



■積極的に生活習慣を改善できるきっかけ(女性)

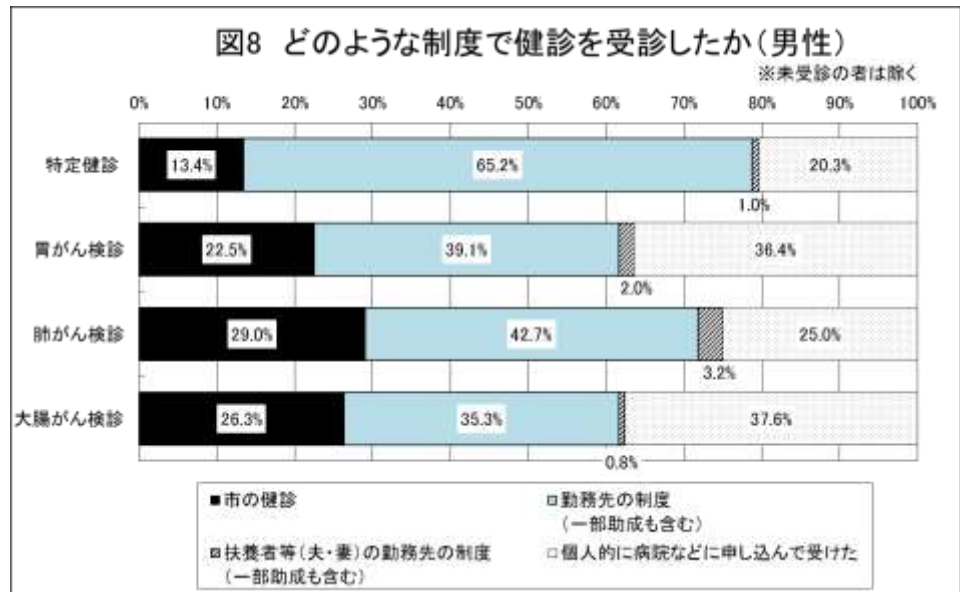
過去 3 回の調査と同様に「健康診断で異常を指摘」「病気の自覚症状が出る」「医師・保健師のアドバイス」が上位を占めている。



問 51～52 過去1～2年間どのような制度で健診を受けましたか。 ※未受診の場合は除く
 また、(有職者のみ)勤務先でがん検診の実施又は、がん検診の一部助成制度がありますか。

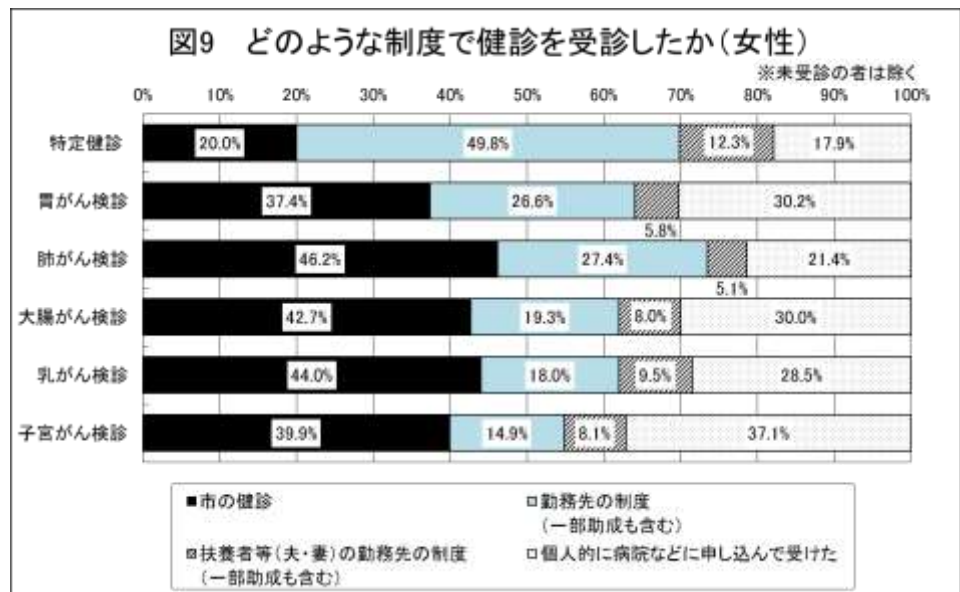
■どのような制度で健診を受診したか(男性)

特定健診、胃がん検診、肺がん検診では、「勤務先の制度」の割合が最も高く、大腸がん検診では「個人的に病院などに申し込んで受けた」の割合が最も高くなっている。



■どのような制度で健診を受診したか(女性)

特定健診においては「勤務先の制度」の割合が最も高く、がん検診では「市の健診」の割合が最も高くなっている。



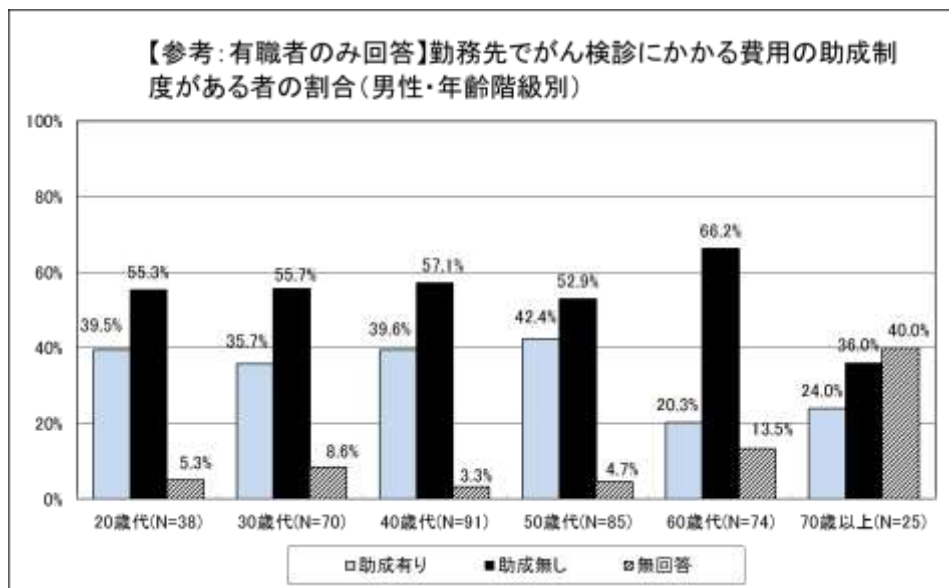
■男女比較

特定健診では男女の傾向に大きな違いはないが、胃・肺・大腸がん検診では「市の健診」で受診する割合は女性の方が高くなっている。

■勤務先でがん検診にかかる費用の助成制度があるか
(男性・年齢階級別)

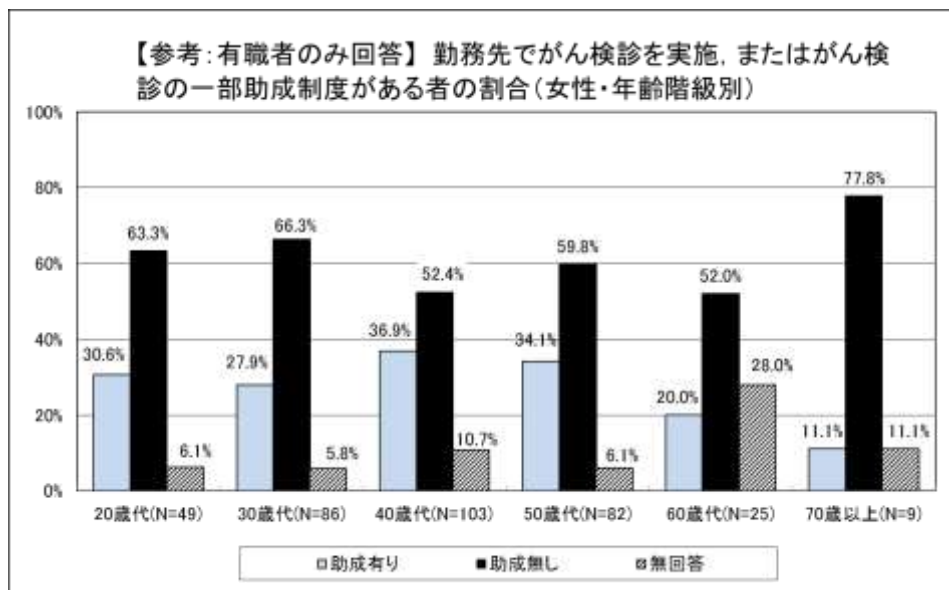
20歳代～60歳代では「助成無し」と回答している人の割合が50%以上となっており、特に60歳代では66.2%となっている。

また、70歳以上では「無回答」の割合が最も高く40.0%となっている。



■勤務先でがん検診にかかる費用の助成制度があるか
(女性・年齢階級別)

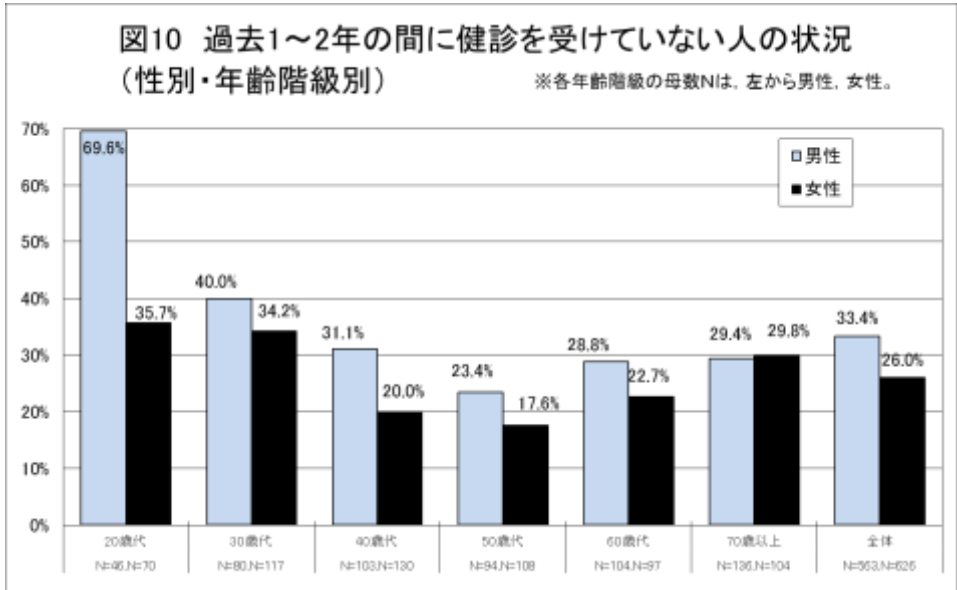
全ての年代において「助成無し」と回答している人の割合が50%以上となっており、20～30歳代では60%以上、70歳以上では77.8%となっている。



■過去1～2年の間に
健診を受診してい
ない人の状況
(性別・年齢階級別)

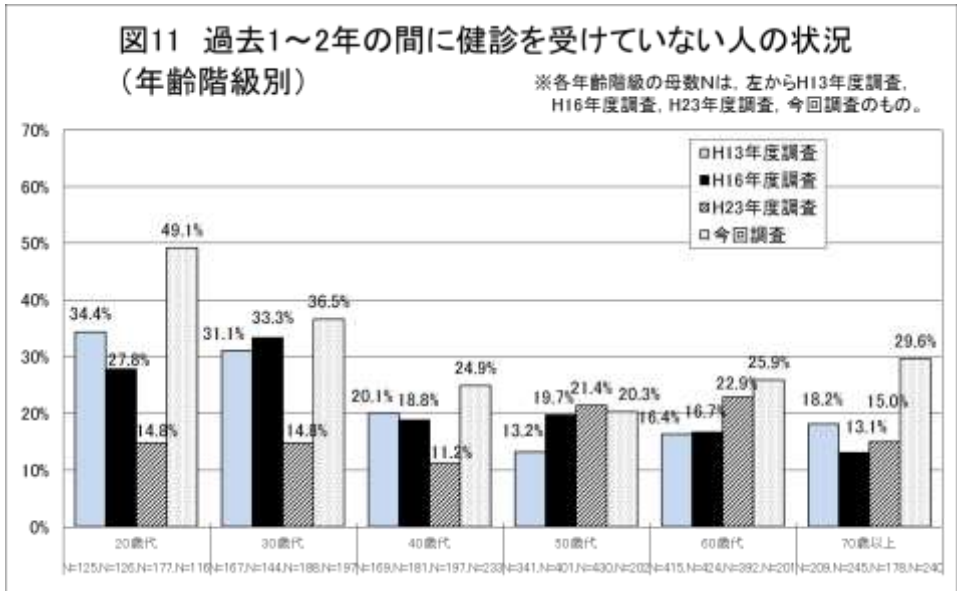
男女ともに20歳代が最も割合が高く、50歳代で最も低い。

男女で比較すると、70歳以上を除き女性よりも男性の割合が高く、特に20歳代では30ポイント以上高くなっている。
※右図には、全ての健診について未回答だが次の設問で健診を受けない理由について回答した人を含んでいる。



■過去1～2年の間に
健診を受診してい
ない人の状況
(年齢階級別)

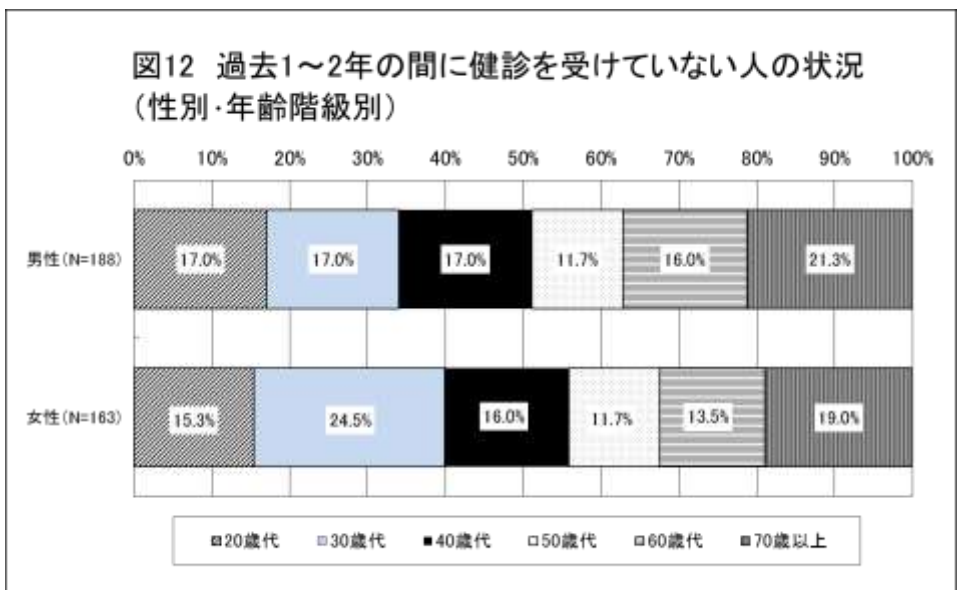
H23年度調査結果と比べると、50歳代は微減、他の年代は増加となっている。



■過去1～2年の間に
健診を受診してい
ない人の状況
(性別・年齢階級別)

男性では70歳以上の割合が最も高く、女性では30歳代の割合が最も高い。

また、男女ともに50歳代の割合が最も低くなっている。



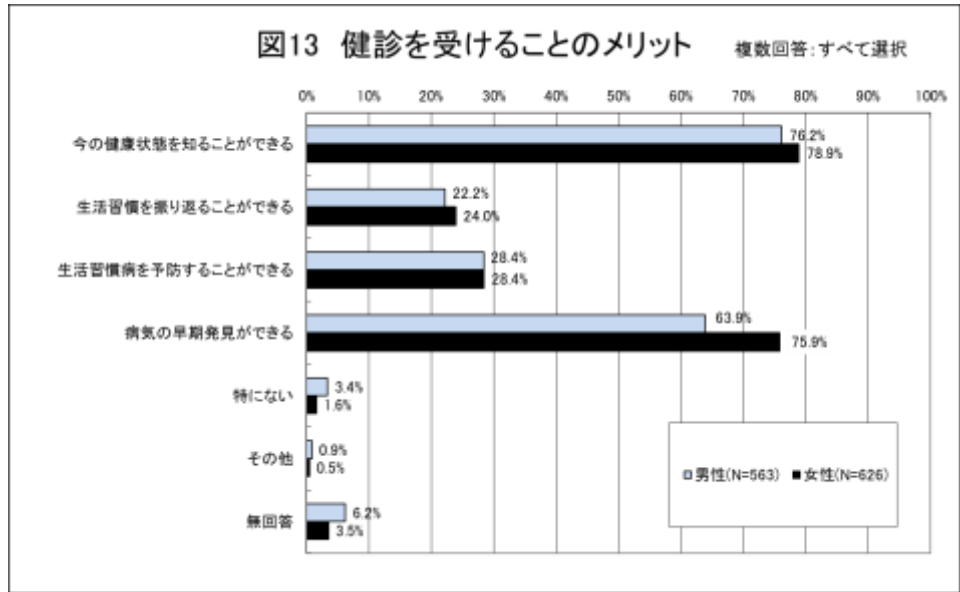
問 53～55 健診を受けることの利点は何だと思いますか。

健診を受けていない場合は、その理由を教えてください。

また、どのような取組があれば検診を受けやすいと感じますか。(複数回答：すべて選択)

■ 健診を受けることのメリット

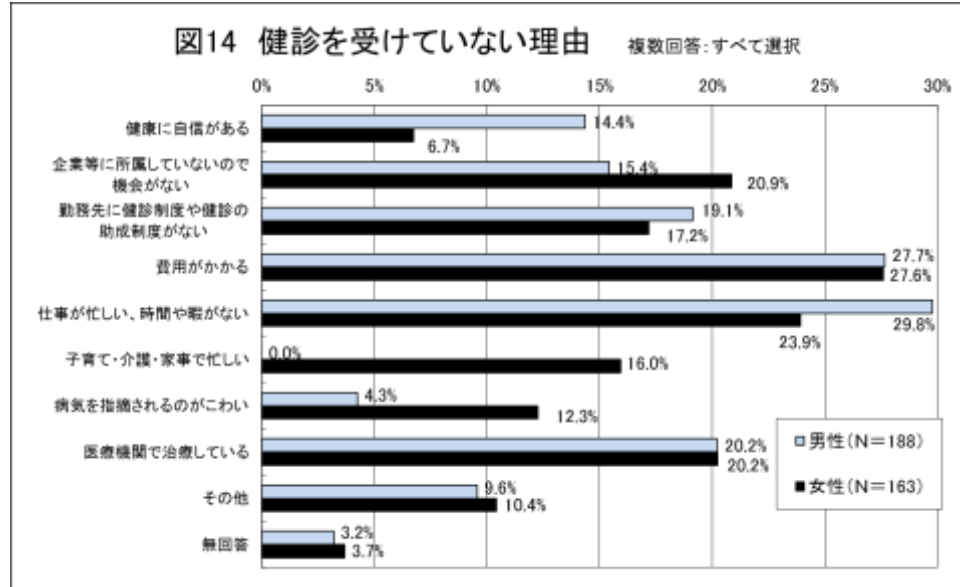
男女ともに「今の健康状態を知ることができる」「病気の早期発見ができる」の割合が高くなっている。



■ 健診を受けていない理由

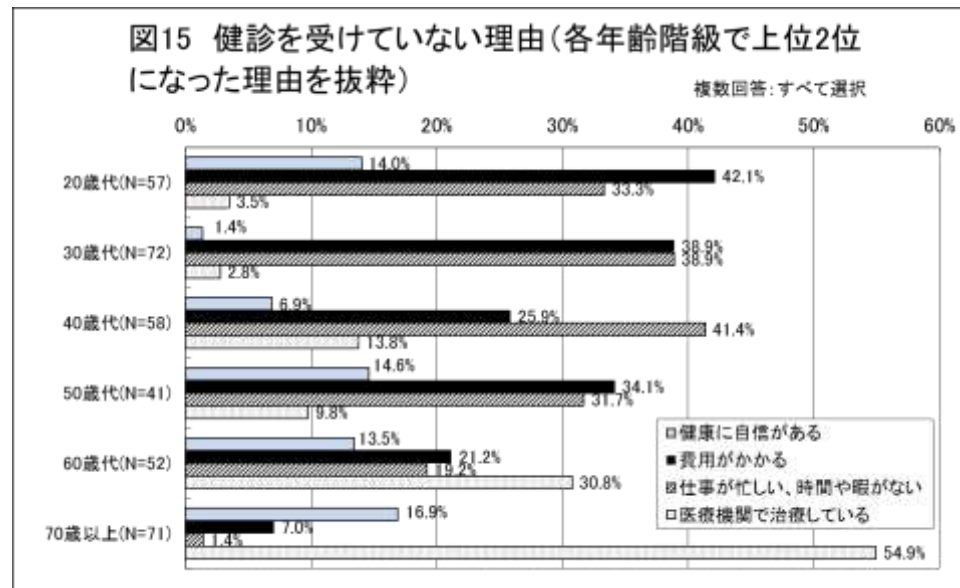
男女ともに「費用がかかる」「仕事が忙しい、時間や暇がない」の割合が高くなっている。

また、男性では「健康に自信がある」が女性より高く、女性では「子育て・育児・家事で忙しい」「病気を指摘されるのがこわい」が男性よりも高くなっている。



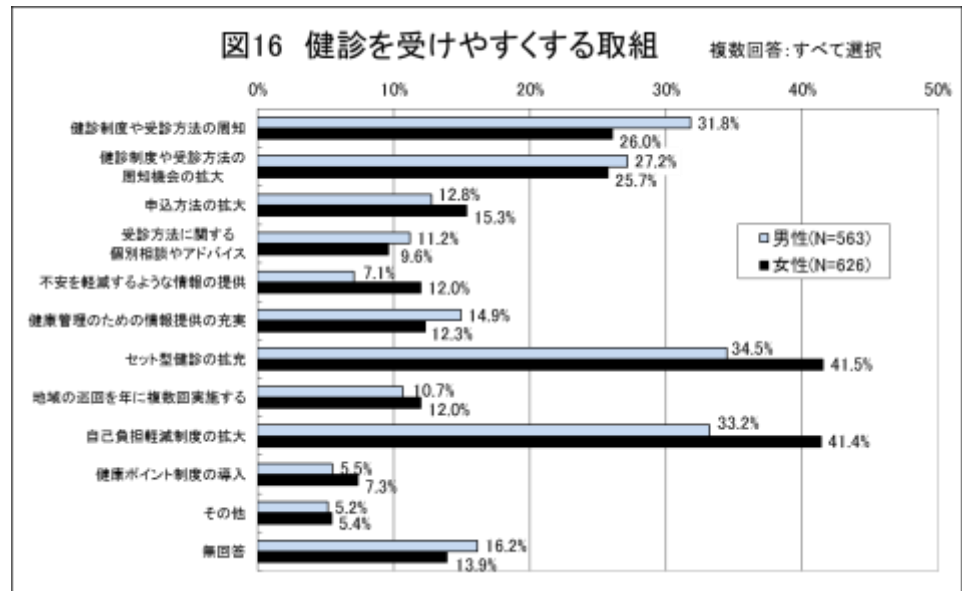
■ 健診を受けていない理由（各年齢階級で上位2位になった理由を抜粋）

20～50歳代は「費用がかかる」「仕事が忙しい、時間や暇がない」が上位を占めるが、60歳代以降は「医療機関で治療している」の割合が最も高くなっている。



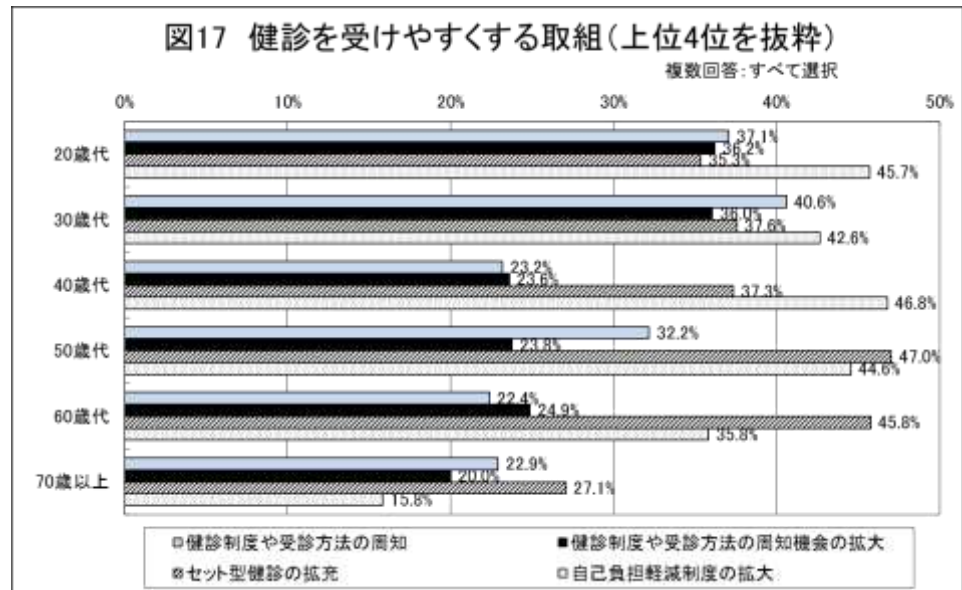
■ 健診を受けやすくする取組

男女ともに「セット型健診の拡充」「自己負担軽減制度の拡大」「健診制度や受診方法の周知」が上位を占めている。



■ 健診を受けやすくする取組(上位4位)

20～40歳代では「自己負担軽減制度の拡大」、50歳代以降は「セット型健診の拡充」の割合が最も高くなっている。



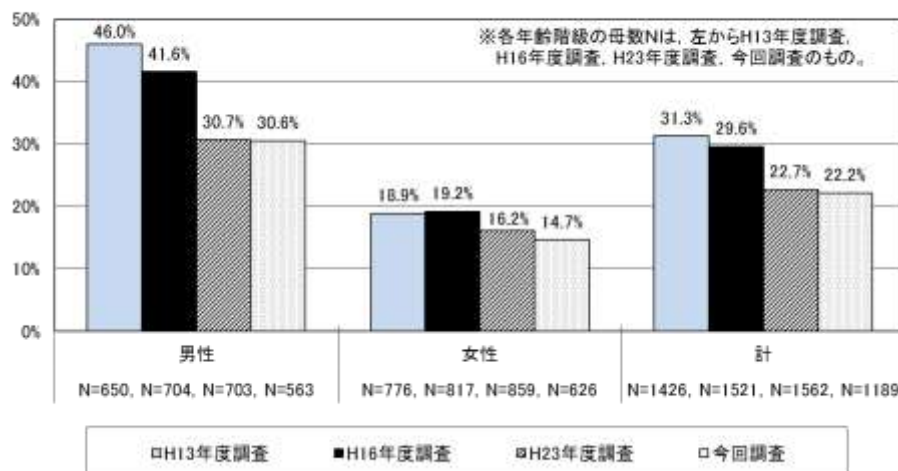
問 56 あなたはたばこを吸っていますか。

■喫煙の状況

たばこを吸っている人は男性が女性よりも15.9ポイント高くなっている。

H23年度調査と比べて男性は0.1ポイント、女性は1.5ポイント減少している。

図18 たばこを吸っている人の状況

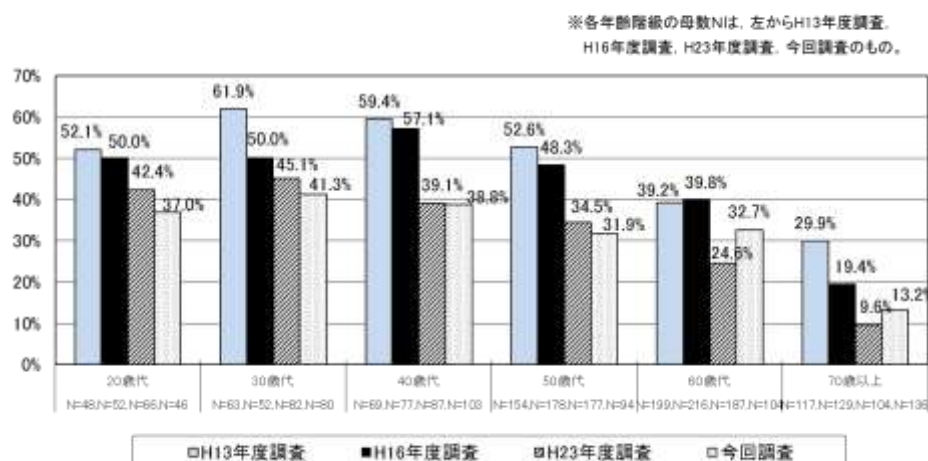


■喫煙の状況
(男性・年齢階級別)

すべての年代で喫煙者の割合が50%以下となっている。

また、H23年度調査と比べると、20～50歳代では減少しているが、60歳代以降では増加している。

図19 たばこを吸っている人の状況(男性・年齢階級別)

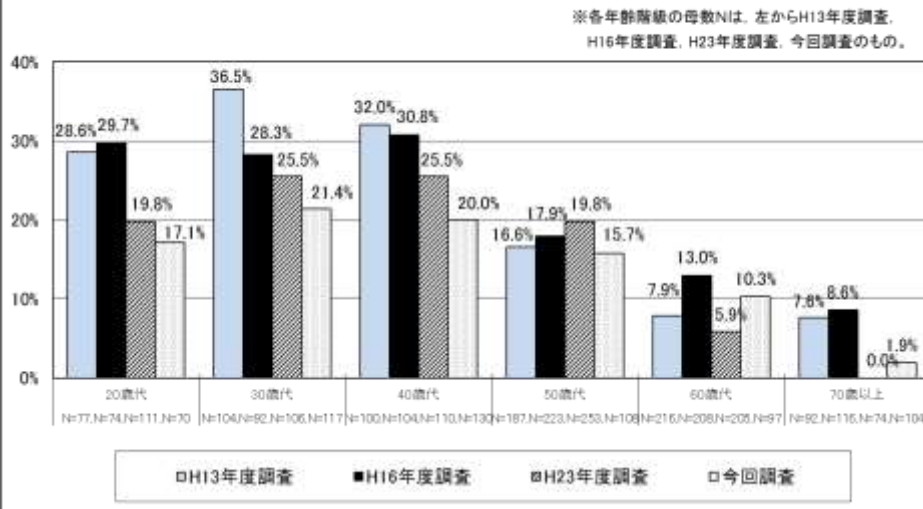


■喫煙の状況
(女性・年齢階級別)

すべての年代で喫煙者の割合は30%以下となっている。

また、H23年度調査と比べると、20～50歳代では減少しているが、60歳代以降では増加している。

図20 たばこを吸っている人の状況(女性・年齢階級別)



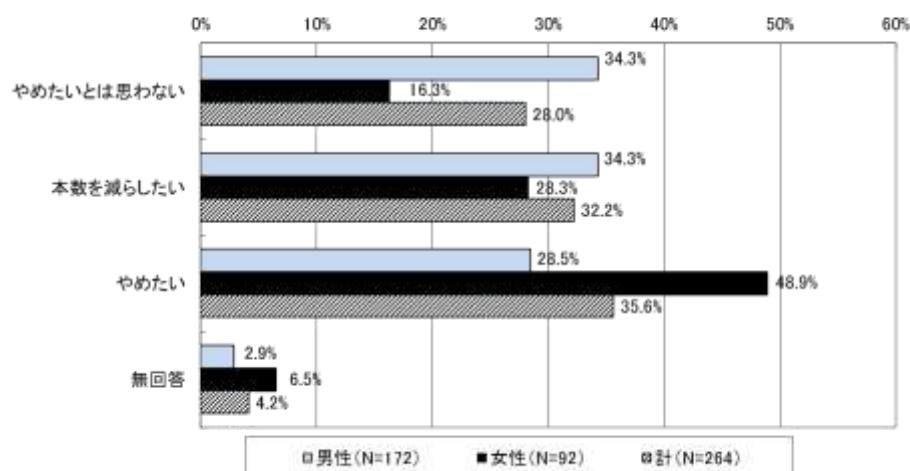
問 57 たばこについて、あなたのお気持ちは次のどれにあてはまりますか。
 (たばこを「吸っている」と回答した方)

■喫煙に対する意識

男性では「やめたいとは思わない」と「本数を減らしたい」が高く、女性では「やめたい」が最も高い。

また、「本数を減らしたい」と「やめたい」をあわせた割合は、男性 62.8%、女性 77.2%、計 67.8%となっている。

図21 喫煙に対する意識



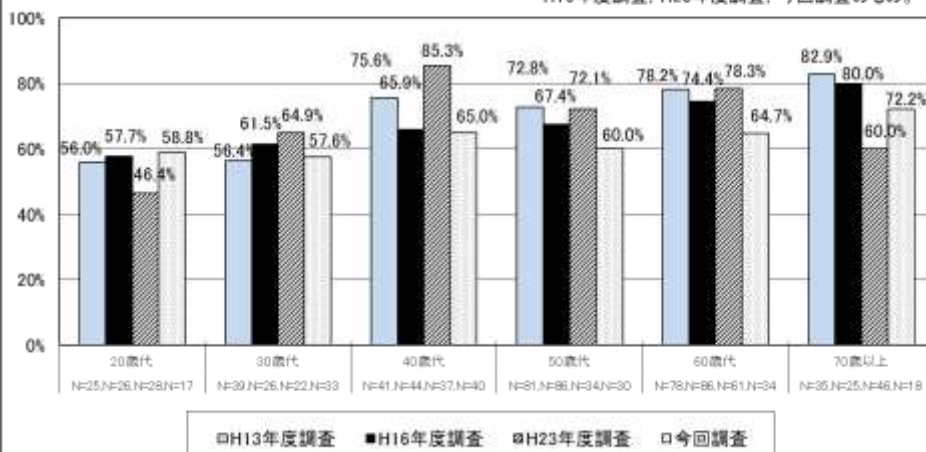
■「本数を減らしたい」と「やめたい」を合わせた状況 (男性・年齢階級別)

年齢が高くなるに従って割合も高くなる傾向にある。

また、H23年度調査と比べると20歳代と70歳以上では増加しているが、他の年代では減少している。

図22 「本数を減らしたい」と「やめたい」を合わせた状況 (男性・年齢階級別)

※各年齢階級の母数Nは、左からH13年度調査、H16年度調査、H23年度調査、今回調査のもの。



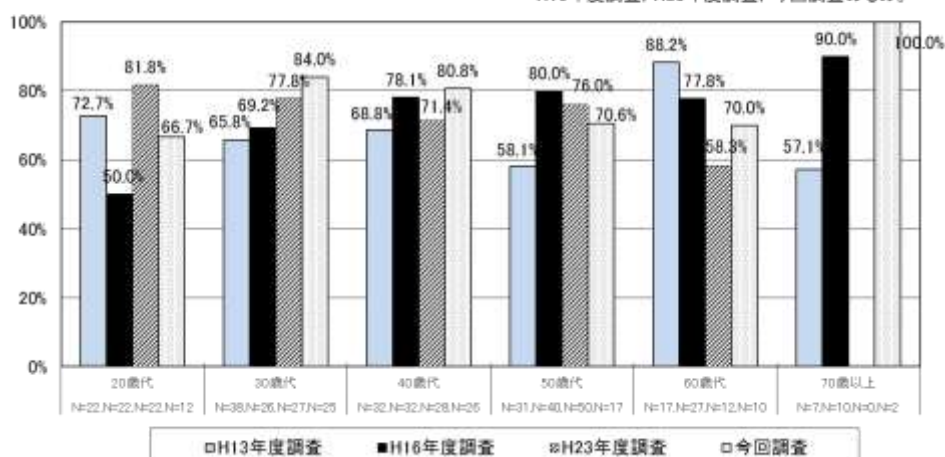
■「本数を減らしたい」と「やめたい」を合わせた状況 (女性・年齢階級別)

20歳代で最も低く、30歳代以降は70%以上となっている。

H23年度調査と比べると20歳代及び50歳代で減少し、その他の年代では増加している。

図23 「本数を減らしたい」と「やめたい」を合わせた状況 (女性・年齢階級別)

※各年齢階級の母数Nは、左からH13年度調査、H16年度調査、H23年度調査、今回調査のもの。



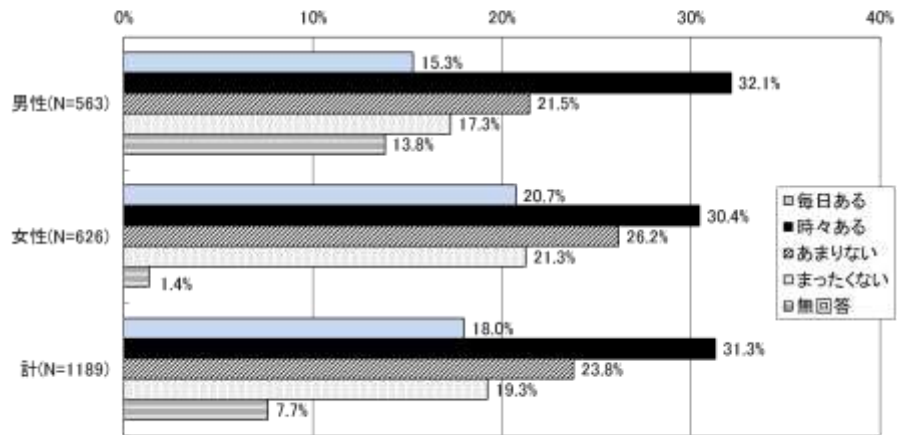
問 58 家族や他人が吸うたばこの煙を吸ってしまうことがありますか。

■家族や他人が吸う
たばこの煙を吸って
しまうことがあるか

男女ともに「時々ある」が最も高く、次いで「あまりない」が高い。

また、「毎日ある」「時々ある」をあわせると男性が47.4%、女性51.1%、計49.3%となっている。

図24 家族や他人が吸うたばこの煙を吸ってしまうことがあるか

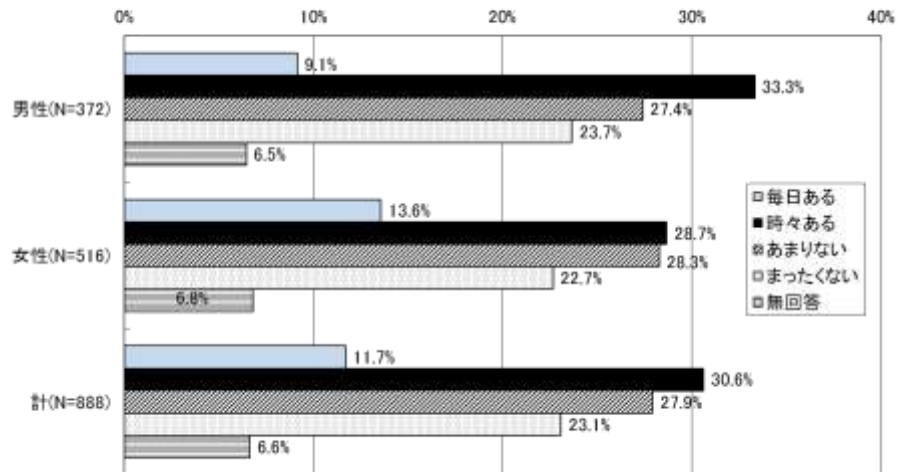


■非喫煙者における
受動喫煙の状況①

男女ともに「時々ある」が最も高く、次いで「あまりない」が高い。

また、「毎日ある」「時々ある」をあわせると男性が42.4%、女性42.3%、計42.3%となっている。

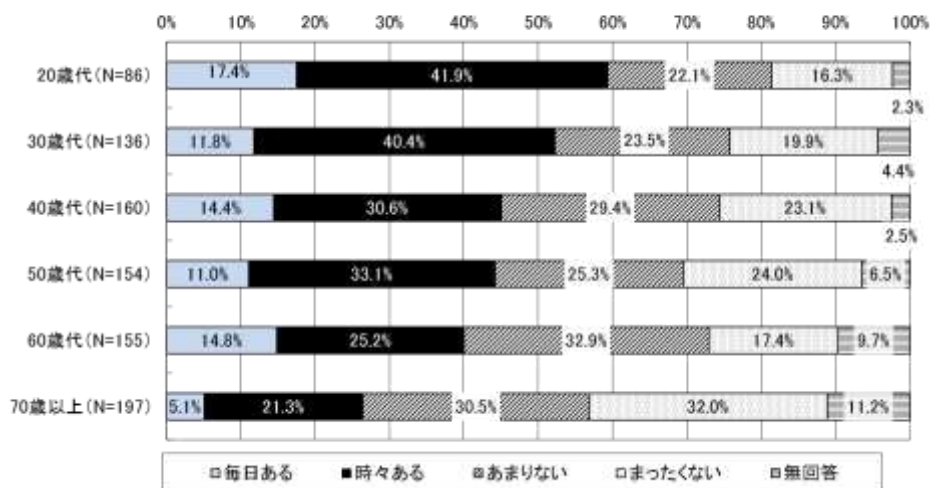
図25 非喫煙者における受動喫煙の状況①



■非喫煙者における
受動喫煙の状況②

年齢が低いほど受動喫煙の機会が多い（「毎日ある」と「時々ある」をあわせた割合が高い）傾向があり、20歳代では59.3%となっている。

図26 非喫煙者における受動喫煙の状況②

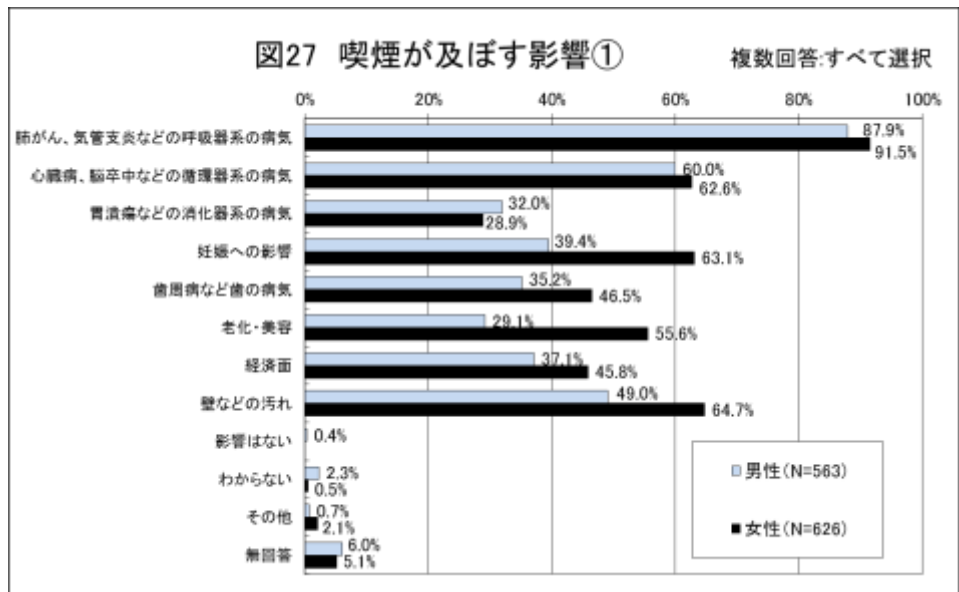


問 59 たばこを吸うことが、健康や生活に影響を及ぼすと思いますか。(複数回答：すべて選択)

■喫煙が及ぼす影響①

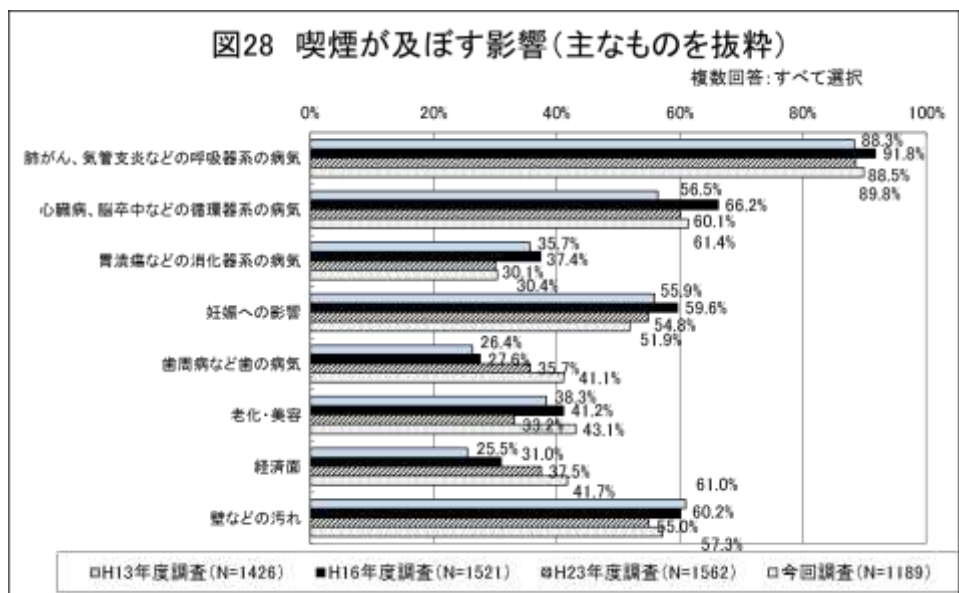
「肺がん、気管支炎などの呼吸器系の病気」「心臓病、脳卒中などの循環器系の病気」「妊娠への影響」「壁などの汚れ」が上位を占めている。

また、全体的に女性は男性よりも回答が多く、特に「妊娠への影響」「老化・美容」「壁などの汚れ」の割合が高くなっている。



■喫煙が及ぼす影響②

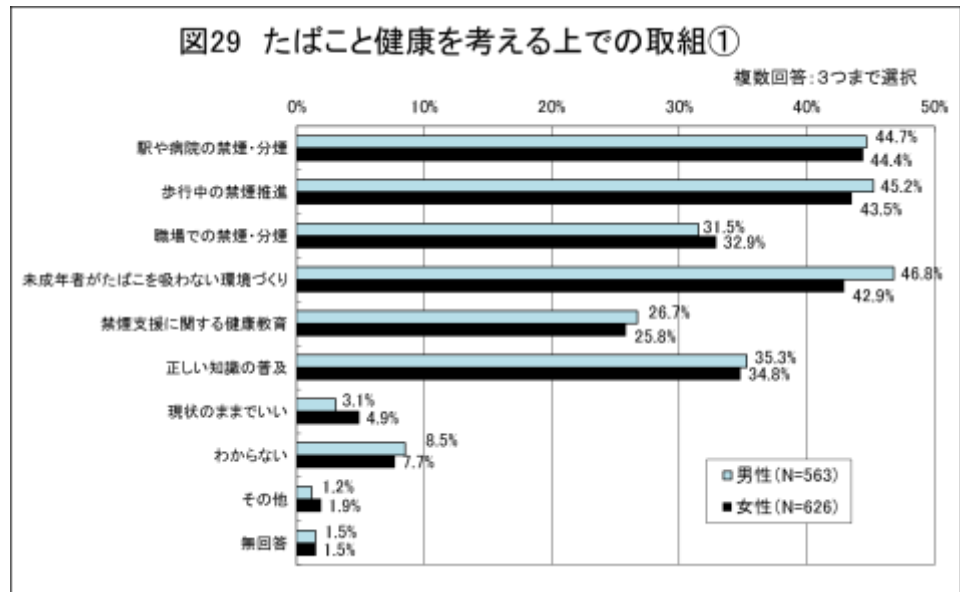
過去3回の調査と比べると、全体の傾向は概ね同じだが、「歯周病など歯の病気」「経済面」が増加傾向にある。



問 60 たばこと健康を考える上での有効な取組について（複数回答：3つまで選択）

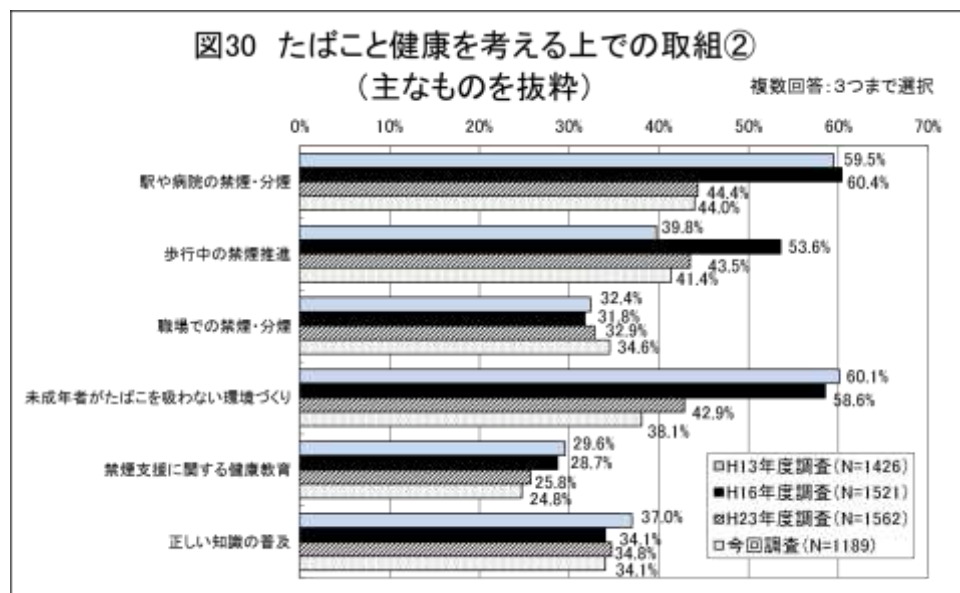
■ たばこと健康を考える上での取組①

男女とも「駅や病院の禁煙分煙」「歩行中の禁煙推進」「未成年者がたばこを吸わない環境づくり」の割合が上位を占めている。



■ たばこと健康を考える上での取組②

過去3回の調査と比べると「職場での禁煙・分煙」が増加傾向にあるものの、他の取組は減少している。



Ⅲ 調査集計（単純集計）結果

調査集計（単純集計）結果

問1 性別について

項目	平成13年度調査 データ数 (割合)	平成16年度調査 データ数 (割合)	平成23年度調査 データ数 (割合)	平成28年度調査 データ数 (割合)
1 男性	650 (45.6%)	704 (46.3%)	703 (45.0%)	563 (47.4%)
2 女性	776 (54.4%)	817 (53.7%)	859 (55.0%)	626 (52.6%)
99 無回答				
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

※無回答については周囲値平均（前後2つのデータ）によって欠損値置き換えの統計処理を行った。

問2 年齢について（平成28年4月1日現在の満年齢）

項目	平成13年度調査 データ数 (割合)	平成16年度調査 データ数 (割合)	平成23年度調査 データ数 (割合)	平成28年度調査 データ数 (割合)
1 20～29歳	125 (8.8%)	126 (8.3%)	177 (11.3%)	116 (9.8%)
2 30～39歳	167 (11.7%)	144 (9.5%)	188 (12.0%)	197 (16.6%)
3 40～49歳	169 (11.9%)	181 (11.9%)	197 (12.6%)	233 (19.6%)
4 50～59歳	341 (23.9%)	401 (26.4%)	430 (27.5%)	202 (17.0%)
5 60～69歳	415 (29.1%)	424 (27.9%)	392 (25.1%)	201 (16.9%)
6 70歳以上	209 (14.7%)	245 (16.1%)	178 (11.4%)	240 (20.2%)
99 無回答				
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

※無回答については周囲値平均（前後2つのデータ）によって欠損値置き換えの統計処理を行った。

問3 家族構成について

人数

項目	平成13年度調査 データ数 (割合)	平成16年度調査 データ数 (割合)	平成23年度調査 データ数 (割合)	平成28年度調査 データ数 (割合)
1 1人（単身世帯）			213 (13.6%)	179 (15.1%)
2 2人			556 (35.6%)	410 (34.5%)
3 3人			373 (23.9%)	255 (21.4%)
4 4人			268 (17.2%)	197 (16.6%)
5 5人			100 (6.4%)	68 (5.7%)
6 6人			24 (1.5%)	20 (1.7%)
7 7人			10 (0.6%)	4 (0.3%)
8 8人			5 (0.3%)	2 (0.2%)
9 9人			0 (0.0%)	1 (0.1%)
99 無回答			13 (0.8%)	53 (4.5%)
合計			1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

同居内訳（すべて選択）

項目	平成13年度調査 データ数 (割合)	平成16年度調査 データ数 (割合)	平成23年度調査 データ数 (割合)	平成28年度調査 データ数 (割合)
1 配偶者			1,054 (78.1%)	746 (55.3%)
2 子ども			604 (44.8%)	443 (32.8%)
3 父			140 (10.4%)	103 (7.6%)
4 母			237 (17.6%)	156 (11.6%)
5 義父			28 (2.1%)	15 (1.1%)
6 義母			61 (4.5%)	23 (1.7%)
7 孫			44 (3.3%)	28 (2.1%)
8 兄弟、姉妹			82 (6.1%)	46 (3.4%)
9 その他			47 (3.5%)	62 (4.6%)
99 無回答			11 (0.8%)	43 (3.2%)
合計（複数回答）			2,308 (171.1%)	1,665 (123.4%)

問4 職業について

項目	平成13年度調査 データ数 (割合)	平成16年度調査 データ数 (割合)	平成23年度調査 データ数 (割合)	平成28年度調査 データ数 (割合)
1 農林業等	32 (2.2%)	20 (1.3%)	13 (0.8%)	10 (0.8%)
2 自営業	89 (6.2%)	108 (7.1%)	82 (5.2%)	64 (5.4%)
3 自由業（弁護士、開業医など）	21 (1.5%)	22 (1.4%)	8 (0.5%)	10 (0.8%)
4 会社員、団体職員など	305 (21.4%)	346 (22.7%)	411 (26.3%)	369 (31.0%)
5 公務員、教員など	90 (6.3%)	79 (5.2%)	102 (6.5%)	77 (6.5%)
6 上記1～5以外の有職の方や パート勤務の主婦、主夫など	130 (9.1%)	175 (11.5%)	289 (18.5%)	207 (17.4%)
7 専業主婦、主夫	288 (20.2%)	264 (17.4%)	282 (18.1%)	163 (13.7%)
8 学生	9 (0.6%)	9 (0.6%)	21 (1.3%)	10 (0.8%)
9 無職	366 (25.7%)	392 (25.8%)	352 (22.5%)	264 (22.2%)
10 その他	79 (5.5%)	82 (5.4%)		
99 無回答	17 (1.2%)	24 (1.6%)	2 (0.1%)	15 (1.3%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問5 <問4で1, 2, 3, 4, 5, 6と答えた方に対し>雇用形態について【新設】

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 正社員, 正職員	/	/	510 (56.4%)	418 (56.7%)
2 契約社員			89 (9.8%)	55 (7.5%)
3 派遣社員			5 (0.6%)	8 (1.1%)
4 パートタイム, アルバイト			219 (24.2%)	179 (24.3%)
5 その他			74 (8.2%)	70 (9.5%)
99 無回答			8 (0.9%)	7 (0.9%)
合計			905 (100.0%)	737 (100.0%)

問6 健康保険の種類について【新設】

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 旭川市国民健康保険	/	/	396 (25.4%)	234 (19.7%)
2 国民健康保険組合			184 (11.8%)	163 (13.7%)
3 後期高齢者医療制度			102 (6.5%)	152 (12.8%)
4 共済, 自衛官診療証			160 (10.2%)	118 (9.9%)
5 船員保険			1 (0.1%)	0 (0.0%)
6 被用者(社会)保険【本人】			387 (24.8%)	295 (24.8%)
7 被用者(社会)保険【家族】			239 (15.3%)	163 (13.7%)
8 その他			79 (5.1%)	35 (2.9%)
99 無回答			14 (0.9%)	29 (2.4%)
合計			1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問7 あなたは、ふだん健康だと感じていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 大いに健康	154 (10.8%)	165 (10.8%)	232 (14.9%)	178 (15.0%)
2 まあまあ健康	968 (67.9%)	1,037 (68.2%)	1,088 (69.7%)	795 (66.9%)
3 あまり健康でない	289 (20.3%)	295 (19.4%)	238 (15.2%)	203 (17.1%)
99 無回答	15 (1.1%)	24 (1.6%)	4 (0.3%)	13 (1.1%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問8 あなた御自身の健康について心配なことがありますか。(3つまで選択)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 体力が衰えてきた	955 (67.0%)	1,041 (68.4%)	827 (52.9%)	612 (51.5%)
2 ストレスがある	558 (39.1%)	639 (42.0%)	560 (35.9%)	441 (37.1%)
3 肥満ぎみである	472 (33.1%)	538 (35.4%)	412 (26.4%)	326 (27.4%)
4 やせてきた	87 (6.1%)	94 (6.2%)	65 (4.2%)	41 (3.4%)
5 現在, 病気である	285 (20.0%)	315 (20.7%)	272 (17.4%)	217 (18.3%)
6 何らかの障害がある	297 (20.8%)	294 (19.3%)	156 (10.0%)	103 (8.7%)
7 特に心配はない	330 (23.1%)	347 (22.8%)	290 (18.6%)	180 (15.1%)
8 その他	145 (10.2%)	144 (9.5%)	72 (4.6%)	72 (6.1%)
99 無回答			9 (0.6%)	14 (1.2%)
合計(複数回答)	3,129 (219.4%)	3,412 (224.3%)	2,663 (170.5%)	2,006 (168.7%)

問9 あなたは、ふだん健康のため、どのようなことを心がけていますか。(すべて選択)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 規則正しい生活をする	680 (47.7%)	705 (46.4%)	766 (49.0%)	555 (46.7%)
2 食生活に気をつける	850 (59.6%)	927 (60.9%)	952 (60.9%)	703 (59.1%)
3 睡眠を十分とる	818 (57.4%)	856 (56.3%)	771 (49.4%)	600 (50.5%)
4 適度な運動をする	656 (46.0%)	707 (46.5%)	656 (42.0%)	481 (40.5%)
5 くよくよしない	489 (34.3%)	470 (30.9%)	421 (27.0%)	282 (23.7%)
6 タバコをひかえる	135 (9.5%)	177 (11.6%)	144 (9.2%)	104 (8.7%)
7 アルコールをひかえる	171 (12.0%)	211 (13.9%)	190 (12.2%)	149 (12.5%)
8 栄養剤等を飲む	242 (17.0%)	302 (19.9%)	171 (10.9%)	136 (11.4%)
9 家事・庭仕事などで身体を動かす	499 (35.0%)	487 (32.0%)	484 (31.0%)	303 (25.5%)
10 健康に関する情報を増やす	333 (23.4%)	442 (29.1%)	310 (19.8%)	223 (18.8%)
99 無回答			40 (2.6%)	36 (3.0%)
合計(複数回答)	4,873 (341.7%)	5,284 (347.4%)	4,905 (314.0%)	3,572 (300.4%)

問10 あなたは健康づくりや生活習慣改善について、どのような情報がほしいと思いますか。
(3つまで選択)

項目	平成13年度調査		平成16年度調査		平成23年度調査		平成28年度調査	
	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)
1 食生活について	903	(63.3%)	916	(60.2%)	884	(56.6%)	679	(57.1%)
2 運動について	631	(44.2%)	673	(44.2%)	667	(42.7%)	493	(41.5%)
3 飲酒について	82	(5.8%)	101	(6.6%)	70	(4.5%)	62	(5.2%)
4 喫煙について	112	(7.9%)	133	(8.7%)	54	(3.5%)	46	(3.9%)
5 休養について	370	(25.9%)	337	(22.2%)	273	(17.5%)	216	(18.2%)
6 ストレスについて	575	(40.3%)	593	(39.0%)	490	(31.4%)	364	(30.6%)
7 健診について	598	(41.9%)	694	(45.6%)	522	(33.4%)	403	(33.9%)
8 その他※	65	(4.6%)	76	(5.0%)	81	(5.2%)	27	(2.3%)
99 無回答					48	(3.1%)	48	(4.0%)
合計(複数回答)	3,336	(233.9%)	3,523	(231.6%)	3,089	(197.8%)	2,338	(196.6%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・特になし(14)

問11 問10のような情報をどのようにして得ていますか(3つまで選択)

項目	平成13年度調査		平成16年度調査		平成23年度調査		平成28年度調査	
	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)
1 新聞・雑誌・本					1,029	(65.9%)	638	(53.7%)
2 テレビ・ラジオ					982	(62.9%)	735	(61.8%)
3 インターネット					430	(27.5%)	465	(39.1%)
4 市の広報やパンフレット					285	(18.2%)	132	(11.1%)
5 医療機関(病院・診療所等)					287	(18.4%)	182	(15.3%)
6 家族・友人・知人					330	(21.1%)	229	(19.3%)
7 職場や学校					116	(7.4%)	78	(6.6%)
8 公民館・住民センター					19	(1.2%)	13	(1.1%)
9 町内会などの近隣					23	(1.5%)	36	(3.0%)
10 その他※					0	(0.0%)	24	(2.0%)
99 無回答					42	(2.7%)	29	(2.4%)
合計(複数回答)					3,543	(226.8%)	2,561	(215.4%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・特になし(7), ライナー(2), 施設職員(2)

問12 市の健康や病気の予防に対する取組は充実していると思いますか。

項目	平成13年度調査		平成16年度調査		平成23年度調査		平成28年度調査	
	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)
1 充実している	102	(7.2%)	99	(6.5%)	84	(5.4%)	74	(6.2%)
2 まあまあ充実している	539	(37.8%)	524	(34.5%)	495	(31.7%)	366	(30.8%)
3 あまり充実していない	211	(14.8%)	252	(16.6%)	287	(18.4%)	205	(17.2%)
4 充実していない	69	(4.8%)	85	(5.6%)	72	(4.6%)	54	(4.5%)
5 わからない	485	(34.0%)	533	(35.0%)	612	(39.2%)	476	(40.0%)
99 無回答	20	(1.4%)	28	(1.8%)	12	(0.8%)	14	(1.2%)
合計	1,426	(100.0%)	1,521	(100.0%)	1,562	(100.0%)	1,189	(100.0%)

問13 <問12で3,4と答えた方に対し>充実していないと思う理由は何だと思いませんか。(すべて選択)

項目	平成13年度調査		平成16年度調査		平成23年度調査		平成28年度調査	
	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)
1 市の取組を知らない	160	(57.1%)	198	(58.8%)	213	(59.3%)	150	(57.9%)
2 相談できる所が少ない	123	(43.9%)	169	(50.1%)	19	(5.3%)	102	(39.4%)
3 健康や病気予防の情報が少ない	131	(46.8%)	162	(48.1%)	17	(4.7%)	103	(39.8%)
4 健診等が十分受けられない	88	(31.4%)	116	(34.4%)	9	(2.5%)	61	(23.6%)
5 わからない	12	(4.3%)	9	(2.7%)	2	(0.6%)	11	(4.2%)
6 その他※	14	(5.0%)	16	(4.7%)	2	(0.6%)	17	(6.6%)
99 無回答					136	(37.9%)	3	(1.2%)
合計(複数回答)	528	(188.6%)	670	(198.8%)	398	(110.9%)	447	(172.6%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・周知方法等について(6), 運動施設について(2), 健診の拡充について(2)

問14 あなたの身長と体重を教えてください。
(身長・体重からBMIによってやせ・肥満を判定)

項目	平成13年度調査		平成16年度調査		平成23年度調査		平成28年度調査	
	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)	データ数	(割合)
やせ(BMI:18.5未満)	105	(7.4%)	125	(8.2%)	120	(7.7%)	74	(6.2%)
ふつう(BMI:18.5以上~25.0未満)	987	(69.2%)	1,028	(67.6%)	1,061	(67.9%)	840	(70.6%)
肥満(BMI:25.0以上)	319	(22.4%)	344	(22.6%)	343	(22.0%)	253	(21.3%)
無回答	15	(1.1%)	24	(1.6%)	38	(2.4%)	22	(1.9%)
合計	1,426	(100.0%)	1,521	(100.0%)	1,562	(100.0%)	1,189	(100.0%)

問15 あなたの身長からみた適正体重は何kgとお考えですか。
(適正体重を知っているか判定)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
知っている	1,279 (89.7%)	1,363 (89.6%)	1,386 (88.7%)	1,039 (87.4%)
知らない	147 (10.3%)	158 (10.4%)	138 (8.8%)	79 (6.6%)
無回答			38 (2.4%)	71 (6.0%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問16 あなたは適正体重を維持し、または適正体重に近づけようとしていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 はい	1,042 (73.1%)	1,079 (70.9%)	1,192 (76.3%)	888 (74.7%)
2 いいえ	362 (25.4%)	415 (27.3%)	354 (22.7%)	276 (23.2%)
99 無回答	22 (1.5%)	27 (1.8%)	16 (1.0%)	25 (2.1%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問17 あなたはふだん、外食をするときや食品を購入するときに栄養成分の表示を参考にしていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 いつもしている	151 (10.6%)	187 (12.3%)	182 (11.7%)	138 (11.6%)
2 時々している	450 (31.6%)	508 (33.4%)	556 (35.6%)	426 (35.8%)
3 あまりしていない	433 (30.4%)	433 (28.5%)	412 (26.4%)	384 (32.3%)
4 ほとんどしていない	381 (26.7%)	380 (25.0%)	403 (25.8%)	228 (19.2%)
99 無回答	11 (0.8%)	13 (0.9%)	9 (0.6%)	13 (1.1%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問18 あなたはふだん、家では主食・主菜・副菜を基本にするなど、栄養バランスの取れた食事をしていますか。【新設】

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 いつもしている				381 (32.0%)
2 時々している				500 (42.1%)
3 あまりしていない				224 (18.8%)
4 ほとんどしていない				73 (6.1%)
99 無回答				11 (0.9%)
合計				1,189 (100.0%)

問19 あなたは普段、朝食を食べないことがありますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 ほとんど毎日食べない		162 (10.7%)	183 (11.7%)	147 (12.4%)
2 週に4～5日食べない		24 (1.6%)	49 (3.1%)	30 (2.5%)
3 週2～3日食べない		118 (7.8%)	140 (9.0%)	96 (8.1%)
4 毎日食べる		1,202 (79.0%)	1,185 (75.9%)	902 (75.9%)
99 無回答		15 (1.0%)	5 (0.3%)	14 (1.2%)
合計		1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問20 あなたは日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に身体を動かすなどの運動をしていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 いつもしている	330 (23.1%)	366 (24.1%)	387 (24.8%)	298 (25.1%)
2 時々している	680 (47.7%)	712 (46.8%)	727 (46.5%)	499 (42.0%)
3 以前はしていたが、現在していない	232 (16.3%)	266 (17.5%)	268 (17.2%)	224 (18.8%)
4 まったくしたことがない	172 (12.1%)	165 (10.8%)	178 (11.4%)	159 (13.4%)
99 無回答	12 (0.8%)	12 (0.8%)	2 (0.1%)	9 (0.8%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問21 春から秋の間、健康の維持・増進のために身体を動かすなどの運動をどのくらいしていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 ほぼ毎日している	329 (23.1%)	343 (22.6%)	356 (22.8%)	225 (18.9%)
2 週に2～3回している	310 (21.7%)	374 (24.6%)	403 (25.8%)	261 (22.0%)
3 週に1回している	160 (11.2%)	162 (10.7%)	171 (10.9%)	167 (14.0%)
4 月に1～3回している	127 (8.9%)	132 (8.7%)	122 (7.8%)	131 (11.0%)
5 ほとんどしていない	461 (32.3%)	473 (31.1%)	506 (32.4%)	390 (32.8%)
99 無回答	39 (2.7%)	37 (2.4%)	4 (0.3%)	15 (1.3%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問22 <問21で1,2,3,4とお答えいただいた方に対し>あなたがしている運動の1回の時間はどのくらいですか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 ～14分	118 (12.7%)	127 (12.6%)	163 (15.5%)	131 (16.7%)
2 15～29分	215 (23.2%)	259 (25.6%)	292 (27.8%)	186 (23.7%)
3 30～59分	298 (32.2%)	311 (30.8%)	331 (31.5%)	243 (31.0%)
4 60分以上	290 (31.3%)	313 (31.0%)	262 (24.9%)	221 (28.2%)
99 無回答	5 (0.5%)	1 (0.1%)	4 (0.4%)	3 (0.4%)
合計	926 (100.0%)	1,011 (100.0%)	1,052 (100.0%)	784 (100.0%)

問23 冬の間、健康の維持・増進のために身体を動かすなどの運動をどのくらいしていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 ほぼ毎日している	303 (21.2%)	306 (20.1%)	329 (21.1%)	189 (15.9%)
2 週に2～3回している	309 (21.7%)	384 (25.2%)	398 (25.5%)	242 (20.4%)
3 週に1回している	137 (9.6%)	148 (9.7%)	146 (9.3%)	140 (11.8%)
4 月に1～3回している	106 (7.4%)	109 (7.2%)	101 (6.5%)	99 (8.3%)
5 ほとんどしていない	505 (35.4%)	517 (34.0%)	579 (37.1%)	501 (42.1%)
99 無回答	66 (4.6%)	57 (3.7%)	9 (0.6%)	18 (1.5%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問24 <問23で1,2,3,4とお答えいただいた方に対し>あなたがしている運動の1回の時間はどのくらいですか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 ～14分	97 (11.3%)	118 (12.5%)	159 (16.3%)	111 (16.6%)
2 15～29分	217 (25.4%)	282 (29.8%)	301 (30.9%)	175 (26.1%)
3 30～59分	307 (35.9%)	315 (33.3%)	319 (32.8%)	216 (32.2%)
4 60分以上	228 (26.7%)	226 (23.9%)	191 (19.6%)	164 (24.5%)
99 無回答	6 (0.7%)	6 (0.6%)	4 (0.4%)	4 (0.6%)
合計	855 (100.0%)	947 (100.0%)	974 (100.0%)	670 (100.0%)

問25 健康の維持・増進のために身体を動かすなどの運動をどのくらい続けていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 3ヶ月未満	129 (9.0%)	138 (9.1%)	131 (11.8%)	112 (9.4%)
2 3～6ヶ月未満	100 (7.0%)	104 (6.8%)	120 (10.8%)	82 (6.9%)
3 6ヶ月～1年未満	92 (6.5%)	93 (6.1%)	88 (7.9%)	85 (7.1%)
4 1年以上	585 (41.0%)	662 (43.5%)	669 (60.1%)	488 (41.0%)
99 無回答	520 (36.5%)	524 (34.5%)	106 (9.5%)	422 (35.5%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,114 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問26 あなたは、この1ヶ月間に不満・悩み・ストレスなどがありましたか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 大いにある	287 (20.1%)	351 (23.1%)	311 (19.9%)	290 (24.4%)
2 多少ある	692 (48.5%)	731 (48.1%)	807 (51.7%)	604 (50.8%)
3 あまりない	278 (19.5%)	269 (17.7%)	352 (22.5%)	211 (17.7%)
4 全くない	118 (8.3%)	106 (7.0%)	89 (5.7%)	66 (5.6%)
5 わからない	30 (2.1%)	36 (2.4%)		
99 無回答	21 (1.5%)	28 (1.8%)	3 (0.2%)	18 (1.5%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問27 あなたは、この1ヶ月間を振り返って、不満・悩み・ストレスなどを解消できていると思いますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 十分できている	182 (12.8%)	166 (10.9%)	193 (12.4%)	138 (11.6%)
2 なんとか解消	738 (51.8%)	775 (51.0%)	886 (56.7%)	607 (51.1%)
3 あまりできてない	300 (21.0%)	327 (21.5%)	349 (22.3%)	327 (27.5%)
4 まったく解消できてない	88 (6.2%)	120 (7.9%)	126 (8.1%)	99 (8.3%)
5 わからない	87 (6.1%)	93 (6.1%)		
99 無回答	31 (2.2%)	40 (2.6%)	8 (0.5%)	18 (1.5%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問28 <問27で1,2,3と答えた方に対し>あなたは、この1ヶ月間に不満・悩み・ストレスなどを解消するために、どのようなことをしましたか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 趣味	243 (19.9%)	255 (20.1%)	332 (23.2%)	211 (19.7%)
2 旅行	68 (5.6%)	71 (5.6%)	69 (4.8%)	31 (2.9%)
3 飲酒	79 (6.5%)	94 (7.4%)	110 (7.7%)	77 (7.2%)
4 ゆっくり過ごす	246 (20.2%)	226 (17.8%)	225 (15.8%)	169 (15.8%)
5 睡眠	65 (5.3%)	65 (5.1%)	125 (8.8%)	117 (10.9%)
6 運動	101 (8.3%)	107 (8.4%)	113 (7.9%)	69 (6.4%)
7 好きなものを食べる	41 (3.4%)	46 (3.6%)	58 (4.1%)	65 (6.1%)
8 人に話を聞いてもらう	212 (17.4%)	211 (16.6%)	225 (15.8%)	182 (17.0%)
9 特になし	104 (8.5%)	146 (11.5%)	144 (10.1%)	110 (10.3%)
10 その他※	47 (3.9%)	41 (3.2%)	25 (1.8%)	34 (3.2%)
99 無回答	14 (1.1%)	6 (0.5%)	2 (0.1%)	7 (0.7%)
合計	1,220 (100.0%)	1,268 (100.0%)	1,428 (100.0%)	1,072 (100.0%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・ストレス原因の解決(4)、映画・TV鑑賞(4)、温浴施設(3)、割り切る(3)、会話を楽しむ(2)、カラオケ(2)、仕事に集中する(2)、パークゴルフ(2)

問29 あなたは、不満・悩み・ストレスなどを相談したい時、主に誰に相談しますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 配偶者	475 (33.3%)	499 (32.8%)	526 (33.7%)	363 (30.5%)
2 親	43 (3.0%)	52 (3.4%)	109 (7.0%)	82 (6.9%)
3 子	79 (5.5%)	79 (5.2%)	93 (6.0%)	56 (4.7%)
4 兄弟姉妹	83 (5.8%)	83 (5.5%)	70 (4.5%)	44 (3.7%)
5 親戚	5 (0.4%)	10 (0.7%)	4 (0.3%)	3 (0.3%)
6 友人・知人	358 (25.1%)	363 (23.9%)	378 (24.2%)	331 (27.8%)
7 相談窓口(電話相談含む)	2 (0.1%)	9 (0.6%)	5 (0.3%)	5 (0.4%)
8 行政機関	8 (0.6%)	10 (0.7%)	5 (0.3%)	1 (0.1%)
9 特になし	298 (20.9%)	339 (22.3%)	326 (20.9%)	270 (22.7%)
10 その他※	34 (2.4%)	37 (2.4%)	41 (2.6%)	19 (1.6%)
99 無回答	41 (2.9%)	40 (2.6%)	5 (0.3%)	15 (1.3%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・職場の人(2)、施設職員(2)

問30 あなたは、こころの悩みや健康について相談できる機関や団体(市役所等の行政機関、「いのちの電話」等の各種相談機関、精神科等の医療機関等)を知っていますか。
【新設】

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 はい				637 (53.6%)
2 いいえ				531 (44.7%)
99 無回答				21 (1.8%)
合計				1,189 (100.0%)

問31 あなたは、自分の休養は十分であると思いますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 十分とれている	427 (29.9%)	430 (28.3%)	441 (28.2%)	276 (23.2%)
2 まあまあとれている	592 (41.5%)	665 (43.7%)	746 (47.8%)	608 (51.1%)
3 不足しがちである	250 (17.5%)	244 (16.0%)	250 (16.0%)	233 (19.6%)
4 不足である	111 (7.8%)	117 (7.7%)	120 (7.7%)	62 (5.2%)
5 わからない	25 (1.8%)	33 (2.2%)		
99 無回答	21 (1.5%)	32 (2.1%)	5 (0.3%)	10 (0.8%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問32 あなたは、睡眠が十分にとれていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 十分とれている	466 (32.7%)	495 (32.5%)	487 (31.2%)	318 (26.7%)
2 まあまあとれている	661 (46.4%)	710 (46.7%)	789 (50.5%)	653 (54.9%)
3 あまりとれていない	252 (17.7%)	248 (16.3%)	259 (16.6%)	187 (15.7%)
4 まったくとれていない	19 (1.3%)	28 (1.8%)	22 (1.4%)	19 (1.6%)
5 わからない	8 (0.6%)	12 (0.8%)		
99 無回答	20 (1.4%)	28 (1.8%)	5 (0.3%)	12 (1.0%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問33 あなたは、この1年間に自殺を考えるような強いストレスを感じたことがありますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 ある	106 (7.4%)	138 (9.1%)	174 (11.1%)	102 (8.6%)
2 ない	1,272 (89.2%)	1,337 (87.9%)	1,383 (88.5%)	1,074 (90.3%)
99 無回答	48 (3.4%)	46 (3.0%)	5 (0.3%)	13 (1.1%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問34 <問41で1と答えた方に対し>強いストレスを感じた原因は何ですか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 職場に関すること	8 (7.5%)	25 (18.1%)	31 (17.8%)	21 (20.6%)
2 リストラ・失業等に関すること	9 (8.5%)	11 (8.0%)	11 (6.3%)	3 (2.9%)
3 子供に関すること	9 (8.5%)	16 (11.6%)	15 (8.6%)	9 (8.8%)
4 夫婦に関すること	16 (15.1%)	19 (13.8%)	14 (8.0%)	16 (15.7%)
5 親に関すること	9 (8.5%)	8 (5.8%)	13 (7.5%)	8 (7.8%)
6 恋愛に関すること	3 (2.8%)	1 (0.7%)	7 (4.0%)	7 (6.9%)
7 近所づきあいに関すること	1 (0.9%)	0 (0.0%)	3 (1.7%)	3 (2.9%)
8 金銭問題に関すること	21 (19.8%)	29 (21.0%)	28 (16.1%)	12 (11.8%)
9 健康に関すること	16 (15.1%)	16 (11.6%)	27 (15.5%)	7 (6.9%)
10 その他※	11 (10.4%)	12 (8.7%)	20 (11.5%)	15 (14.7%)
99 無回答	3 (2.8%)	1 (0.7%)	5 (2.9%)	1 (1.0%)
合計	106 (100.0%)	138 (100.0%)	174 (100.0%)	102 (100.0%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・自分の性格(2)、病気(2)、老後の問題(2)

問35 あなたは平均してどのくらいお酒を飲みますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 毎日	254 (17.8%)	295 (19.4%)	249 (15.9%)	220 (18.5%)
2 週に4～6日	122 (8.6%)	144 (9.5%)	146 (9.3%)	94 (7.9%)
3 週に1～3日	167 (11.7%)	170 (11.2%)	204 (13.1%)	156 (13.1%)
4 月に1～3日	217 (15.2%)	202 (13.3%)	255 (16.3%)	219 (18.4%)
5 やめた(1年以上やめている)	57 (4.0%)	55 (3.6%)	79 (5.1%)	60 (5.0%)
6 飲めない	545 (38.2%)	601 (39.5%)	622 (39.8%)	413 (34.7%)
99 無回答	64 (4.5%)	54 (3.6%)	7 (0.4%)	27 (2.3%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問36 あなたは、平均して1日にどのくらいの量を飲みますか。(日本酒に換算して)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 飲まない	556 (39.0%)	593 (39.0%)	686 (43.9%)	482 (40.5%)
2 1合未満	325 (22.8%)	325 (21.4%)	358 (22.9%)	306 (25.7%)
3 1～2合未満	231 (16.2%)	272 (17.9%)	289 (18.5%)	219 (18.4%)
4 2～3合未満	109 (7.6%)	123 (8.1%)	130 (8.3%)	88 (7.4%)
5 3～4合未満	37 (2.6%)	28 (1.8%)	58 (3.7%)	38 (3.2%)
6 4～5合未満	9 (0.6%)	21 (1.4%)	21 (1.3%)	12 (1.0%)
7 5合以上	13 (0.9%)	7 (0.5%)	7 (0.4%)	7 (0.6%)
99 無回答	146 (10.2%)	152 (10.0%)	13 (0.8%)	37 (3.1%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問37 あなたは、「節度ある適度な飲酒」について知っていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 はい	694 (48.7%)	739 (48.6%)	741 (47.4%)	615 (51.7%)
2 いいえ	570 (40.0%)	647 (42.5%)	806 (51.6%)	510 (42.9%)
99 無回答	162 (11.4%)	135 (8.9%)	15 (1.0%)	64 (5.4%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問38 あなたの歯（親知らずは除く、差し歯は含める）はどれくらい残っていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 全部ある(28本)	244 (17.1%)	257 (16.9%)	370 (23.7%)	345 (29.0%)
2 ほとんどある(27~24本)	346 (24.3%)	369 (24.3%)	436 (27.9%)	327 (27.5%)
3 20本以上ある	270 (18.9%)	321 (21.1%)	304 (19.5%)	216 (18.2%)
4 半分以下(19~1本)	417 (29.2%)	413 (27.2%)	360 (23.0%)	217 (18.3%)
5 まったくない	102 (7.2%)	118 (7.8%)	80 (5.1%)	66 (5.6%)
99 無回答	47 (3.3%)	43 (2.8%)	12 (0.8%)	18 (1.5%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問39 歯や口の中について悩みや気になることがありますか。(すべて選択)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 歯が痛む、しみる	308 (21.6%)	339 (22.3%)	345 (22.1%)	253 (21.3%)
2 歯がぐらつく	162 (11.4%)	192 (12.6%)	144 (9.2%)	82 (6.9%)
3 歯ぐきから血が出る	339 (23.8%)	345 (22.7%)	324 (20.7%)	220 (18.5%)
4 ものがはさまる	650 (45.6%)	713 (46.9%)	652 (41.7%)	451 (37.9%)
5 口臭がある	316 (22.2%)	352 (23.1%)	315 (20.2%)	214 (18.0%)
6 歯並びが気になる	213 (14.9%)	245 (16.1%)	249 (15.9%)	218 (18.3%)
7 かみ合わせが悪い	282 (19.8%)	292 (19.2%)	236 (15.1%)	194 (16.3%)
8 あごから音がする	114 (8.0%)	127 (8.3%)	128 (8.2%)	119 (10.0%)
9 気になることはない	240 (16.8%)	228 (15.0%)	284 (18.2%)	172 (14.5%)
10 その他	83 (5.8%)	105 (6.9%)	100 (6.4%)	100 (8.4%)
99 無回答			16 (1.0%)	62 (5.2%)
合計(複数回答)	2,707 (189.8%)	2,938 (193.2%)	2,793 (178.8%)	2,085 (175.4%)

問40 歯や歯ぐきの健康についてどのようなことに注意していますか。(すべて選択)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 歯石を取ってもらう	270 (18.9%)	319 (21.0%)	374 (23.9%)	337 (28.3%)
2 歯科検診等を受ける	158 (11.1%)	188 (12.4%)	283 (18.1%)	302 (25.4%)
3 食後、歯を磨く	810 (56.8%)	822 (54.0%)	801 (51.3%)	609 (51.2%)
4 歯と歯ぐきの境目の清掃	446 (31.3%)	510 (33.5%)	525 (33.6%)	415 (34.9%)
5 甘いものをひかえる	144 (10.1%)	142 (9.3%)	99 (6.3%)	83 (7.0%)
6 バランスの取れた食事	317 (22.2%)	315 (20.7%)	259 (16.6%)	202 (17.0%)
7 よく噛んで食べる	320 (22.4%)	359 (23.6%)	342 (21.9%)	225 (18.9%)
8 喫煙をしない	119 (8.3%)	132 (8.7%)	167 (10.7%)	144 (12.1%)
9 注意していない	197 (13.8%)	232 (15.3%)	294 (18.8%)	170 (14.3%)
10 その他※	44 (3.1%)	44 (2.9%)	20 (1.3%)	20 (1.7%)
99 無回答			16 (1.0%)	36 (3.0%)
合計(複数回答)	2,825 (198.1%)	3,063 (201.4%)	3,180 (203.6%)	2,543 (213.9%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・セルフケア(9)、歯科受診(3)

問41 毎日どのような時に歯をみがきますか。(すべて選択)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 起床時	596 (41.8%)	642 (42.2%)	603 (38.6%)	471 (39.6%)
2 朝食後	748 (52.5%)	809 (53.2%)	919 (58.8%)	673 (56.6%)
3 外出時	328 (23.0%)	353 (23.2%)	290 (18.6%)	183 (15.4%)
4 昼食後	268 (18.8%)	276 (18.1%)	313 (20.0%)	298 (25.1%)
5 帰宅時	33 (2.3%)	19 (1.2%)	15 (1.0%)	11 (0.9%)
6 夕食後	336 (23.6%)	359 (23.6%)	401 (25.7%)	312 (26.2%)
7 間食後	60 (4.2%)	38 (2.5%)	54 (3.5%)	34 (2.9%)
8 寝る前	827 (58.0%)	876 (57.6%)	950 (60.8%)	799 (67.2%)
9 ときどきしか磨かない	34 (2.4%)	22 (1.4%)	24 (1.5%)	18 (1.5%)
10 磨かない	5 (0.4%)	3 (0.2%)	6 (0.4%)	6 (0.5%)
11 その他	22 (1.5%)	25 (1.6%)	24 (1.5%)	15 (1.3%)
99 無回答			9 (0.6%)	12 (1.0%)
合計(複数回答)	3,257 (228.4%)	3,422 (225.0%)	3,608 (231.0%)	2,832 (238.2%)

問42 歯周病による歯の喪失が40~50歳代で急激に増加していることを知っていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 はい	800 (56.1%)	828 (54.4%)	879 (56.3%)	595 (50.0%)
2 いいえ	562 (39.4%)	629 (41.4%)	678 (43.4%)	571 (48.0%)
99 無回答	64 (4.5%)	64 (4.2%)	5 (0.3%)	23 (1.9%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問43 歯石の除去や専門家による歯の清掃を受けたことがありますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 1年以内に受けた	411 (28.8%)	472 (31.0%)	514 (32.9%)	472 (39.7%)
2 1年以上前に受けた	589 (41.3%)	633 (41.6%)	715 (45.8%)	447 (37.6%)
3 受けたことがない	342 (24.0%)	337 (22.2%)	318 (20.4%)	237 (19.9%)
99 無回答	84 (5.9%)	79 (5.2%)	15 (1.0%)	33 (2.8%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問44 歯科検診（何か異常がないか確認等）を受けたことがありますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 1年以内に受けた	390 (27.3%)	431 (28.3%)	511 (32.7%)	485 (40.8%)
2 1年以上前に受けた	428 (30.0%)	448 (29.5%)	556 (35.6%)	359 (30.2%)
3 受けたことがない	515 (36.1%)	550 (36.2%)	479 (30.7%)	306 (25.7%)
99 無回答	93 (6.5%)	92 (6.0%)	16 (1.0%)	39 (3.3%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問45 歯ブラシ以外に歯や口の清掃をするための器具を使用していますか。（すべて選択）

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 デンタルフロス, 糸ようじ	264 (18.5%)	324 (21.3%)	391 (25.0%)	363 (30.5%)
2 歯間ブラシ	333 (23.4%)	371 (24.4%)	489 (31.3%)	427 (35.9%)
3 つまようじ	495 (34.7%)	507 (33.3%)	436 (27.9%)	295 (24.8%)
4 電動歯ブラシ	96 (6.7%)	217 (14.3%)	221 (14.1%)	149 (12.5%)
5 口腔内ミラー	48 (3.4%)	52 (3.4%)	45 (2.9%)	28 (2.4%)
6 舌の汚れを取る器具	75 (5.3%)	97 (6.4%)	115 (7.4%)	113 (9.5%)
7 使用しない	444 (31.1%)	450 (29.6%)	457 (29.3%)	281 (23.6%)
8 その他	51 (3.6%)	58 (3.8%)	47 (3.0%)	37 (3.1%)
99 無回答			16 (1.0%)	52 (4.4%)
合計 (複数回答)	1,806 (126.6%)	2,076 (136.5%)	2,217 (141.9%)	1,745 (146.8%)

問46 どのような時に歯科医院を受診しますか。（すべて選択）

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 症状が現れたとき (しみる, 痛いなど)	1,125 (78.9%)	1,215 (79.9%)	1,241 (79.4%)	778 (65.4%)
2 歯についての心配事相談のとき	165 (11.6%)	199 (13.1%)	154 (9.9%)	91 (7.7%)
3 定期受診のとき	172 (12.1%)	230 (15.1%)	259 (16.6%)	276 (23.2%)
4 歯科検診のとき	88 (6.2%)	92 (6.0%)	163 (10.4%)	118 (9.9%)
5 歯磨き指導を受けるとき	28 (2.0%)	24 (1.6%)	16 (1.0%)	9 (0.8%)
6 その他	118 (8.3%)	110 (7.2%)	91 (5.8%)	70 (5.9%)
7 無回答			20 (1.3%)	67 (5.6%)
合計 (複数回答)	1,696 (118.9%)	1,870 (122.9%)	1,944 (124.5%)	1,409 (118.5%)

問47 <問46で2.3.4.5.6を選んだ方に対し>定期的に受診しない理由を教えてください。（すべて選択）

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 歯に関して問題がない	223 (17.8%)	235 (18.2%)	261 (20.0%)	142 (15.6%)
2 痛くなってから治療	347 (27.7%)	365 (28.3%)	380 (29.2%)	294 (32.2%)
3 忙しい, 時間がない	304 (24.2%)	302 (23.4%)	382 (29.3%)	314 (34.4%)
4 面倒だから	238 (19.0%)	311 (24.1%)	309 (23.7%)	213 (23.3%)
5 経済的理由	131 (10.4%)	168 (13.0%)	257 (19.7%)	150 (16.4%)
6 怖いから行きたくない	165 (13.2%)	199 (15.4%)	173 (13.3%)	97 (10.6%)
7 かかりつけ医がない	82 (6.5%)	97 (7.5%)	111 (8.5%)	63 (6.9%)
8 その他※	63 (5.0%)	57 (4.4%)	70 (5.4%)	53 (5.8%)
99 無回答			124 (9.5%)	74 (8.1%)
合計 (複数回答)	1,553 (123.8%)	1,734 (134.3%)	2,067 (158.6%)	1,400 (107.4%)

※H23年度調査の主な回答内容 (数)・・・異常があるときに行く(5), 入れ歯調整時に行く(5), 時間帯が合わない(4), 歯科への不信感(3), 体調不良(3), 必要ない(3), アレルギー(2), 育児(2)

問48 生活習慣病予防のために、生活習慣を改善しようと思いますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 はい	955 (67.0%)	1,124 (73.9%)	1,130 (72.3%)	838 (70.5%)
2 いいえ	390 (27.3%)	333 (21.9%)	412 (26.4%)	315 (26.5%)
99 無回答	81 (5.7%)	64 (4.2%)	20 (1.3%)	36 (3.0%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問49 <問48で2と答えた方に対し>その理由は何ですか。(すべて選択)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 健康に自信がある	85 (21.8%)	82 (24.6%)	101 (24.5%)	73 (23.2%)
2 好物(酒, たばこ等)を制限したくない	87 (22.3%)	74 (22.2%)	111 (26.9%)	74 (23.5%)
3 病気になっても治療すればいい	35 (9.0%)	37 (11.1%)	49 (11.9%)	22 (7.0%)
4 健康への効果がない	41 (10.5%)	38 (11.4%)	31 (7.5%)	35 (11.1%)
5 わからない	113 (29.0%)	69 (20.7%)	98 (23.8%)	66 (21.0%)
2 健康について考えたことない	85 (21.8%)	75 (22.5%)	93 (22.6%)	50 (15.9%)
7 その他※	45 (11.5%)	48 (14.4%)	49 (11.9%)	41 (13.0%)
99 無回答			9 (2.2%)	24 (7.6%)
合計(複数回答)	491 (125.9%)	423 (127.0%)	541 (131.3%)	385 (122.2%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・今も改善している(13), 現状でよい(5), 家族を優先してしまう(3) 長生きしなくてよい(3), 余裕がない(3), 無関心(2), 体調不良(2)

問50 どのようなきっかけがあれば、積極的に生活習慣を改善できますか。(すべて選択)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 病気の自覚症状	826 (57.9%)	925 (60.8%)	989 (63.3%)	726 (61.1%)
2 健診で異常の指摘を受ける	876 (61.4%)	983 (64.6%)	1,043 (66.8%)	757 (63.7%)
3 医師・保健婦等のアドバイス	443 (31.1%)	562 (36.9%)	463 (29.6%)	316 (26.6%)
4 家族等の病気	333 (23.4%)	361 (23.7%)	303 (19.4%)	239 (20.1%)
5 テレビ新聞等の情報	361 (25.3%)	360 (23.7%)	278 (17.8%)	228 (19.2%)
6 友人・知人の勧め	125 (8.8%)	130 (8.5%)	94 (6.0%)	70 (5.9%)
7 その他※	35 (2.5%)	30 (2.0%)	41 (2.6%)	27 (2.3%)
99 無回答			49 (3.1%)	81 (6.8%)
合計(複数回答)	2,999 (210.3%)	3,351 (220.3%)	3,260 (208.7%)	2,444 (205.6%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・気持ち次第(3), 時間的余裕があれば(3), 既に改善している(2), 特になし(2)

問51 <問4で1.2.3.4.5.6と回答した方に対し>
勤務先でがん検診を実施, 助成等の制度があり受診する機会がありますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 制度がある			285 (31.5%)	244 (33.1%)
2 制度がない			563 (62.2%)	426 (57.8%)
99 無回答			57 (6.3%)	67 (9.1%)
合計			905 (100.0%)	737 (100.0%)

問52 過去1～2年で次の健診を受けましたか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
特定健診や人間ドック等（血液検査や乳検査などを伴う健診）			906 (58.0%)	590 (49.6%)
市の健診を受けた			132 (8.5%)	98 (8.2%)
自分の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			505 (32.3%)	341 (28.7%)
扶養者等（夫・妻）の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			55 (3.5%)	38 (3.2%)
個人的に病院などの医療機関に申し込んで受けた			214 (13.7%)	113 (9.5%)
胃がん検診			378 (24.2%)	290 (24.4%)
市の健診を受けた			103 (6.6%)	86 (7.2%)
自分の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			136 (8.7%)	96 (8.1%)
扶養者等（夫・妻）の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			20 (1.3%)	11 (0.9%)
個人的に病院などの医療機関に申し込んで受けた			119 (7.6%)	97 (8.2%)
肺がん検診			348 (22.3%)	241 (20.3%)
市の健診を受けた			123 (7.9%)	90 (7.6%)
自分の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			147 (9.4%)	85 (7.2%)
扶養者等（夫・妻）の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			19 (1.2%)	10 (0.8%)
個人的に病院などの医療機関に申し込んで受けた			59 (3.8%)	56 (4.7%)
大腸がん検診			332 (21.3%)	283 (23.8%)
市の健診を受けた			90 (5.8%)	99 (8.3%)
自分の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			109 (7.0%)	76 (6.4%)
扶養者等（夫・妻）の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			20 (1.3%)	13 (1.1%)
個人的に病院などの医療機関に申し込んで受けた			113 (7.2%)	95 (8.0%)
乳がん検診			263 (16.8%)	200 (16.8%)
市の健診を受けた			127 (8.1%)	88 (7.4%)
自分の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			40 (2.6%)	36 (3.0%)
扶養者等（夫・妻）の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			19 (1.2%)	19 (1.6%)
個人的に病院などの医療機関に申し込んで受けた			77 (4.9%)	57 (4.8%)
子宮がん検診			309 (19.8%)	248 (20.9%)
市の健診を受けた			133 (8.5%)	99 (8.3%)
自分の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			40 (2.6%)	37 (3.1%)
扶養者等（夫・妻）の勤務先にある制度（一部助成を含む）で受けた			18 (1.2%)	20 (1.7%)
個人的に病院などの医療機関に申し込んで受けた			118 (7.6%)	92 (7.7%)
無回答			15 (1.0%)	137 (11.5%)
合計			2,551 (163.3%)	1,989 (127.3%)

問53 <問52で1種類も健診を受けていない方に対し>健診を受けていない理由を教えてください。（すべて選択）

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 健康に自信がある	39 (13.9%)	39 (13.0%)	41 (9.0%)	38 (10.8%)
2 企業等に所属してなく機会がない			93 (20.5%)	63 (17.9%)
3 勤務先に健診制度がない			60 (13.2%)	64 (18.2%)
4 費用がかかる			103 (22.7%)	97 (27.6%)
5 仕事が忙しい	53 (18.9%)	74 (24.7%)	70 (15.4%)	95 (27.1%)
6 子育て・介護・家事で忙しい	29 (10.4%)	27 (9.0%)	23 (5.1%)	26 (7.4%)
7 受けて病気等を指摘されるのが怖い	59 (21.1%)	44 (14.7%)	57 (12.6%)	28 (8.0%)
8 医療機関で治療している【新設】				71 (20.2%)
自覚症状が出てからでも遅くない	29 (10.4%)	32 (10.7%)	25 (5.5%)	
面倒くさい	76 (27.1%)	83 (27.8%)	81 (17.8%)	
受けても意味がない	7 (2.5%)	3 (1.0%)	16 (3.5%)	
考えたことがない	45 (16.1%)	63 (21.1%)	66 (14.5%)	
9 その他※	45 (16.1%)	43 (14.4%)	61 (13.4%)	35 (10.0%)
99 無回答			33 (7.3%)	12 (3.4%)
合計（複数回答）	382 (136.4%)	408 (136.5%)	729 (160.6%)	529 (150.7%)

※H23年度調査の主な回答内容（数）・・・医療機関で検査している(5)、無関心(3)、体調不良(3)、病気になったら諦める(2)、経済的に困窮している(2)、検査が嫌い(2)、高齢のため(2)、職場で受けている(2)

問54 あなたにとって、健診を受けることの利点は何だと思うか。（すべて選択）

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 健康状態を知る	1,143 (80.2%)	1,271 (83.6%)	1,280 (81.9%)	923 (77.6%)
2 生活習慣を振り返る	367 (25.7%)	431 (28.3%)	392 (25.1%)	275 (23.1%)
3 生活習慣病の予防	536 (37.6%)	648 (42.6%)	481 (30.8%)	338 (28.4%)
4 病気の早期発見	1,083 (75.9%)	1,177 (77.4%)	1,144 (73.2%)	835 (70.2%)
わからない	30 (2.1%)	19 (1.2%)		
5 特になし			42 (2.7%)	29 (2.4%)
6 その他※	12 (0.8%)	10 (0.7%)	10 (0.6%)	8 (0.7%)
99 無回答			17 (1.1%)	57 (4.8%)
合計（複数回答）	3,171 (222.4%)	3,556 (233.8%)	3,366 (215.5%)	2,465 (207.3%)

※H23年度調査の主な回答内容（数）・・・不安を取り除く(2)、年齢的に重要(1)、家族を守る(1)

問55 「どのような取組」があれば健診を受けたいと感じますか。(すべて選択)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 健診制度や受診方法の周知			464 (29.7%)	342 (28.8%)
2 健診制度や受診方法の周知機会の拡大			411 (26.3%)	314 (26.4%)
3 申込方法の拡大			185 (11.8%)	168 (14.1%)
4 受診方法に関する個別相談やアドバイス			174 (11.1%)	123 (10.3%)
5 不安を軽減するような情報の提供			149 (9.5%)	115 (9.7%)
6 健康管理のための情報提供の充実			215 (13.8%)	161 (13.5%)
特定健診とがん検診をセットで受診可能にする			587 (37.6%)	
7 特定健診とがん検診などを一日で受けられるセット型健診の拡充				454 (38.2%)
8 地域の巡回を年に複数回実施する			211 (13.5%)	135 (11.4%)
9 自己負担軽減制度の拡大			562 (36.0%)	446 (37.5%)
職場の理解促進等の整備			244 (15.6%)	
今の制度でよい			187 (12.0%)	
特になし			204 (13.1%)	
10 健診の受診、運動・生活習慣などの目標を達成するなど健康づくりの取組実績に応じてポイントを取得し、特典を受けられる「健康ポイント制度」の導入				77 (6.5%)
11 その他※			27 (1.7%)	63 (5.3%)
99 無回答			36 (2.3%)	178 (15.0%)
合計(複数回答)			3,656 (234.1%)	2,576 (216.7%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・土日祝日検診(9)、今のままでよい(6)、特になし(4)、検診の拡充(3)、負担軽減(3)、時間帯の拡大(2) 周知方法(2)、対象年齢拡大(2)、職場の改善(2)、職場検診で十分(2)、託児所(2)、本人次第では(2)

問56 あなたはたばこを吸っていますか。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 吸っていない	803 (56.3%)	833 (54.8%)	869 (55.6%)	611 (51.4%)
2 吸っている	446 (31.3%)	450 (29.6%)	355 (22.7%)	264 (22.2%)
3 以前吸ったことがある	151 (10.6%)	207 (13.6%)	325 (20.8%)	277 (23.3%)
99 無回答	26 (1.8%)	31 (2.0%)	13 (0.8%)	37 (3.1%)
合計	1,426 (100.0%)	1,521 (100.0%)	1,562 (100.0%)	1,189 (100.0%)

問57 <問56で2と答えた方に対し>たばこについてのあなたのお気持ちを教えてください。

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 たばこをやめたいとは思わない	126 (28.3%)	129 (28.7%)	95 (26.8%)	74 (28.0%)
2 本数を減らしたい	186 (41.7%)	156 (34.7%)	122 (34.4%)	85 (32.2%)
3 やめたいと思っている	130 (29.1%)	162 (36.0%)	134 (37.7%)	94 (35.6%)
99 無回答	4 (0.9%)	3 (0.7%)	4 (1.1%)	11 (4.2%)
合計	446 (100.0%)	450 (100.0%)	355 (100.0%)	264 (100.0%)

問58 家族や他人が吸うタバコの煙を吸ってしまうことがありますか。【新設】

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 毎日ある				214 (18.0%)
2 時々ある				372 (31.3%)
3 あまりない				283 (23.8%)
4 まったくない				229 (19.3%)
99 無回答				91 (7.7%)
合計				1,189 (100.0%)

問59 たばこを吸うことが、健康や生活に影響を及ぼすと思いますか。(すべて選択)

項目	平成13年度調査	平成16年度調査	平成23年度調査	平成28年度調査
	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)	データ数 (割合)
1 肺がん等呼吸器系の病気	1,259 (88.3%)	1,396 (91.8%)	1,383 (88.5%)	1,068 (89.8%)
2 心臓病等循環器系の病気	805 (56.5%)	1,007 (66.2%)	938 (60.1%)	730 (61.4%)
3 胃潰瘍等消化器系の病気	509 (35.7%)	569 (37.4%)	470 (30.1%)	361 (30.4%)
4 妊娠への影響	797 (55.9%)	907 (59.6%)	856 (54.8%)	617 (51.9%)
5 歯周病など歯の病気	376 (26.4%)	420 (27.6%)	557 (35.7%)	489 (41.1%)
6 老化・美容	546 (38.3%)	626 (41.2%)	519 (33.2%)	512 (43.1%)
7 経済面	364 (25.5%)	471 (31.0%)	585 (37.5%)	496 (41.7%)
8 壁などの汚れ	870 (61.0%)	915 (60.2%)	859 (55.0%)	681 (57.3%)
9 影響はない	33 (2.3%)	22 (1.4%)	17 (1.1%)	2 (0.2%)
10 わからない			79 (5.1%)	16 (1.3%)
11 その他※	45 (3.2%)	46 (3.0%)	32 (2.0%)	17 (1.4%)
99 無回答			23 (1.5%)	66 (5.6%)
合計(複数回答)	5,604 (393.0%)	6,379 (419.4%)	6,318 (404.5%)	5,055 (425.1%)

※H23年度調査の主な回答内容(数)・・・におい(4)、子どもへの影響(4)、副流煙(2)

問60 たばこと健康を考える上で、どのような取組が有効だと思いますか。
 (平成13, 16年度調査は該当するものすべて、平成23, 28年度調査は3つまで選択)

項目	平成13年度調査 データ数 (割合)	平成16年度調査 データ数 (割合)	平成23年度調査 データ数 (割合)	平成28年度調査 データ数 (割合)
1 病院等の禁煙・分煙	848 (59.5%)	919 (60.4%)	693 (44.4%)	592 (49.8%)
2 歩行中の禁煙推進	567 (39.8%)	815 (53.6%)	679 (43.5%)	459 (38.6%)
3 職場での禁煙・分煙	462 (32.4%)	483 (31.8%)	514 (32.9%)	367 (30.9%)
4 未成年者の喫煙防止環境	857 (60.1%)	891 (58.6%)	670 (42.9%)	428 (36.0%)
5 禁煙支援に関する健康教育	422 (29.6%)	437 (28.7%)	403 (25.8%)	277 (23.3%)
6 正しい知識の普及	528 (37.0%)	518 (34.1%)	543 (34.8%)	364 (30.6%)
7 現状のままでいい	57 (4.0%)	53 (3.5%)	76 (4.9%)	61 (5.1%)
8 わからない			121 (7.7%)	65 (5.5%)
9 その他			30 (1.9%)	40 (3.4%)
99 無回答			23 (1.5%)	74 (6.2%)
合計 (複数回答)	3,741 (262.3%)	4,116 (270.6%)	3,752 (240.2%)	2,727 (229.4%)

(2) 旭川市栄養調査（※関係部分抜粋）

1 調査の目的

第2次旭川市食育推進計画は平成24年度から平成28年度までの5カ年計画となっているが、その評価及び次期計画策定における基礎資料を得るとともに、効果的な食育推進施策を推進するため、栄養調査を実施した。

2 調査対象、方法

- | | |
|------------|--------------------------------|
| (1) 調査対象地域 | 旭川市全域 |
| (2) 調査対象者 | 旭川市民のうち20歳以上の男女3,000人 |
| (3) 抽出方法 | 無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）を用い、郵送による調査 |
| (5) 調査期間 | 平成27年11月1日（日）～11月30日（月） |

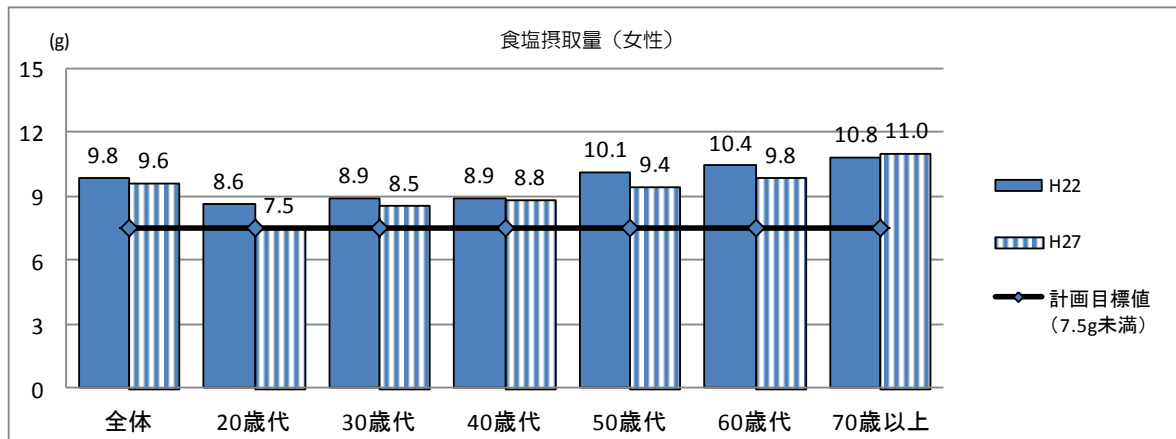
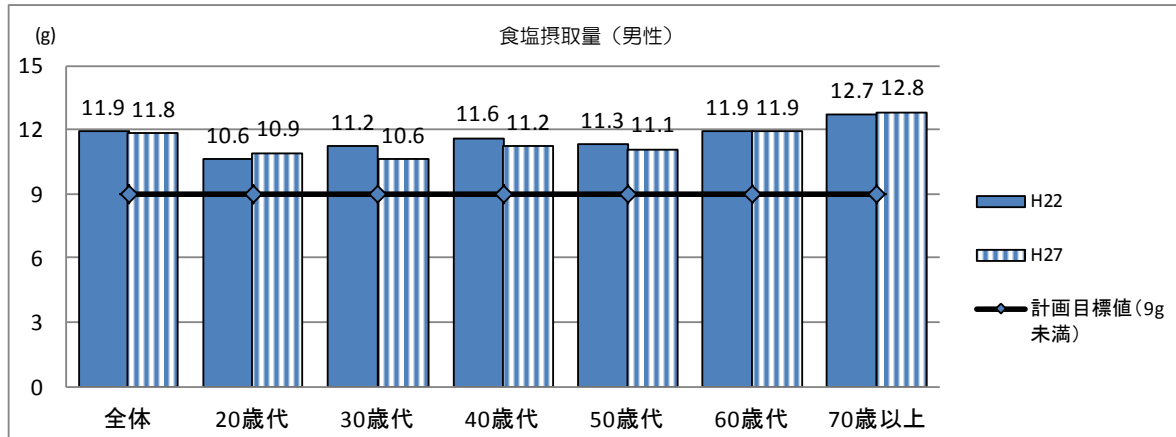
※ BDHQ 方式・・・質問票に最近1か月間の食習慣を記入し、専用の栄養価計算プログラムにより、およそ30種類の栄養素とおよそ50種類の食品の摂取量を算出できる。

3 回収結果

- | | |
|-----------|--------|
| (1) 発送数 | 3,000人 |
| (2) 回収数 | 1,161人 |
| (3) 有効回答数 | 1,133人 |
| (4) 有効回答率 | 37.8% |

■ 食塩摂取量

食塩摂取量の平均値は、男性11.8g、女性9.6gであり、年齢階級別にみると、男女ともに70歳以上が最も高く、平成22年と比べて高くなっている。

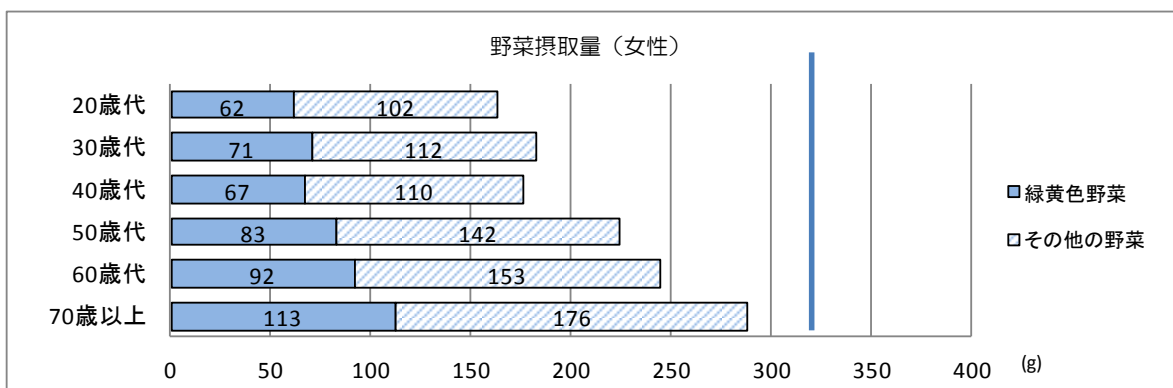
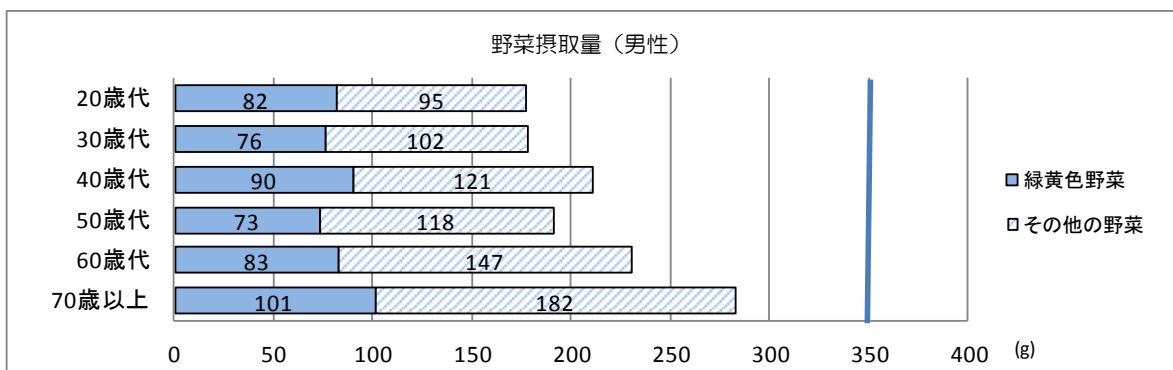
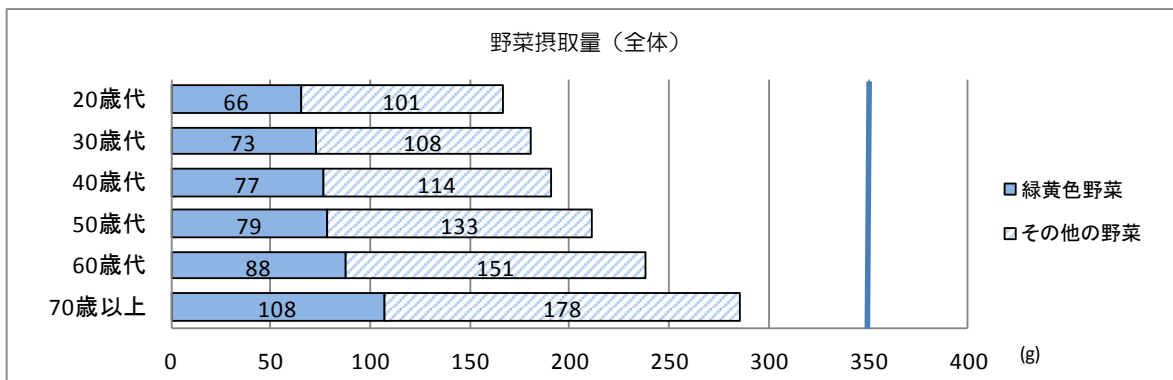
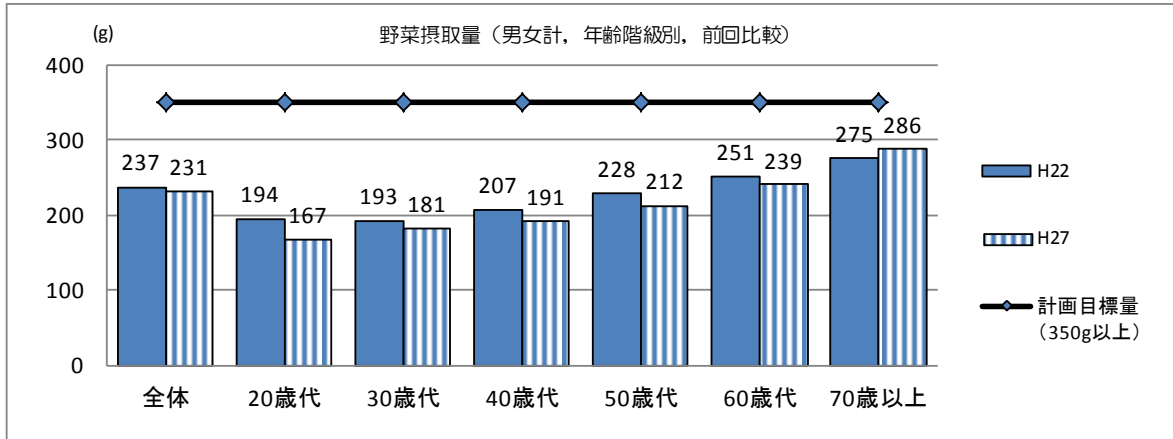


■ 野菜摂取量の状況

野菜摂取量は年齢が高くなるほど増加している。

平成22年と比べると70歳代以上が増加しており、その他の年代は減少している。

20歳代の野菜摂取量は平均167gであり、他の年代と比べて最も低く、野菜の目標量350gの5割程度となっている。



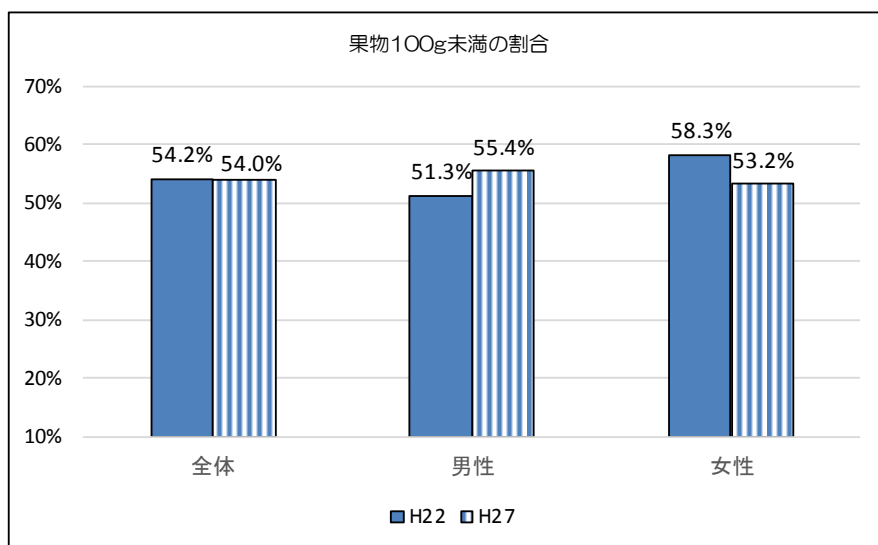
■ 果物摂取量100g未満の割合

H22

	人数	割合
男性(n=1,103)	774人	51.3%
女性(n=1,509)	643人	58.3%
総数(n=2,612)	1,417人	54.2%

H27

	人数	割合
男性(n=435)	241人	55.4%
女性(n=698)	371人	53.2%
総数(n=1,133)	612人	54.0%



(3) 禁煙・分煙アンケート調査

- 1 調査期間
平成28年12月5日～平成29年1月18日
- 2 対象数
1,222施設
(医療機関424, 官公庁139, その他多数の者が利用する施設659)
- 3 調査方法
郵送によるアンケート調査
- 4 把握数
902施設(把握率73.8%)
(医療機関238(56.1%), 134(96.4%), その他多数の者が利用する施設530(80.4%))

禁煙・分煙アンケート調査結果(平成28年度)

【設問】

- ① 建物の敷地と建物内すべてを全面禁煙としている。
- ② 建物内を全面禁煙としている。
- ③ 建物内に完全に仕切られた喫煙室を設置し、喫煙室以外では喫煙できないようにしている。
- ④ 建物内に喫煙室は設置しておらず、喫煙できるスペースを設けている。
- ⑤ 禁煙タイム(又は、喫煙タイム)を設定し、時間で分けている。
- ⑥ 禁煙席・喫煙席を設け、空間で分けている。
- ⑦ 何ら制限はなく、時間、場所ともに自由に喫煙できる
- ⑧ 上記①～⑦以外

対象施設	対象数	把握数	禁煙		完全分煙	禁煙・完全分煙以外				
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
医療機関	424	238	117	103	15	2	0	1	0	0
			220		15	3				
			92.4%		6.3%	1.3%				
官公庁	139	134	35	60	34	2	0	0	3	0
			95		34	5				
			70.9%		25.4%	3.7%				
その他多数の者が利用する施設 (内訳)	659	530	85	196	103	100	5	23	14	4
			281		103	146				
			53.0%		19.4%	27.5%				
飲食店	79	51	3	20	7	3	1	17	0	0
			23		7	21				
			45.1%		13.7%	41.2%				
学校	33	31	20	7	2	2	0	0	0	0
			27		2	2				
			87.1%		6.5%	6.5%				
福祉施設	145	123	26	41	28	25	2	0	0	1
			67		28	28				
			54.5%		22.8%	22.8%				
体育娯楽施設	70	46	7	28	4	2	1	3	1	0
			35		4	7				
			76.1%		8.7%	15.2%				
社会文化施設	67	66	18	47	0	0	0	0	1	0
			65		0	1				
			98.5%		0.0%	1.5%				
小売りサービス業	65	53	5	7	31	1	0	0	9	0
			12		31	10				
			22.6%		58.5%	18.9%				
公共交通機関	21	15	0	14	1	0	0	0	0	0
			14		1	0				
			93.3%		6.7%	0.0%				
宿泊施設	24	14	0	3	7	1	0	2	1	0
			3		7	4				
			21.4%		50.0%	28.6%				
金融機関	123	107	4	21	15	62	1	0	1	3
			25		15	67				
			23.4%		14.0%	62.6%				
公衆浴場	32	24	2	8	8	4	0	1	1	0
			10		8	6				
			41.7%		33.3%	25.0%				

計 1,222 902

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
1	高齢者の生きがいがいづくりと世代間交流 (地域まちづくり推進事業費)	東旭川まちづくり推進協議会	—	—	回数：年1回 平成27年9月27日 参加者：親子25名 高齢者20名 地場産食材を活かした料理教室、食と健康をテーマとした講座を開催。	—	—	■市民 □団体 □その他	限りある補助金、人員の中で地域の様々な課題解決等のために事業実施する必要があり、H28は地域の記念誌作成や歴史資料の整理・保存事業を行うこととしたため。	継続して実施していくためには財源、地域の企画運営能力、人員等を必要とする。	無	東旭川まちづくり推進協議会事務局(東旭川支所内)
1	なるほど健康教室(お食事編) (地域まちづくり推進事業費)	東鷹栖まちづくり推進協議会	回数：年1回 平成25年11月15日 参加者数：18人 内容：料理教室(調理実習)の開催、レシピの配布	回数：年1回 平成26年10月23日 参加者数：28人 内容：料理教室(調理実習)の開催、レシピの配布	回数：年1回 平成27年8月20日 参加者：27名 内容：料理教室(調理実習)の開催、レシピの配布	回数：年1回 平成28年10月20日 参加者：35名 内容：料理教室(調理実習)の開催、レシピの配布	回数：年1回 平成29年8月22日 参加者：未定 内容：料理教室(調理実習)の開催、レシピの配布	■市民 □団体 □その他	地域目標である健康をテーマに料理教室を開催し、普及啓発を行ってきた。また、地域産の食材を使用することで地域資源の活用にも繋がっている。	参加者の固定化や内容のマナー化を妨ぎ、幅広い世代が参加し交流できるように、周知方法や内容を見直しながら、継続して実施する。	無	東鷹栖まちづくり推進協議会(東鷹栖支所内)
1	通所型介護予防事業(栄養改善プログラム) (通所型介護予防事業費)	旭川市	開催回数：18回(6回×3コース) 参加者数：延べ105人 内容：事前事後アセスメント、低栄養状態による身体機能への影響などによる講義や、手軽な料理方法の紹介等	開催回数：18回(6回×3コース) 参加者数：延べ182人 内容：事前事後アセスメント、低栄養状態による身体機能への影響などによる講義や、手軽な料理方法の紹介等	—	—	—	■市民 □団体 □その他	平成25年度の包括外部監査において、費用対効果と事業実績から当該プログラムの継続について指摘を受けたことを踏まえ、当該プログラムの内容を他のプログラムに盛り込むこととし、平成26年度末で事業を廃止。	—	有 市内法人	介護高齢課 地域支援担当
1	健康相談・健康教育 (介護予防普及事業費)	旭川市	1 健康相談 開催回数：21回 参加人数：延べ238人 2 健康教育 開催回数：108回 参加人数：延べ2,752人 内容：地域からの依頼に応じて介護予防に関する相談や講話や体操の実施	・健康相談 開催回数：20回 参加人数：延べ213人 ・健康教育 開催回数：90回 参加人数：延べ2,114人 内容：地域からの依頼に応じて介護予防に関する相談や講話や体操の実施	・健康相談 開催回数：17回 参加人数：延べ141人 ・健康教育 開催回数：62回 参加人数：延べ1,440人 内容：地域からの依頼に応じて介護予防に関する相談や講話や体操の実施	・健康相談 開催回数：13回 参加人数：延べ142人 ・健康教育 開催回数：39回 参加人数：延べ815人 内容：地域からの依頼に応じて介護予防に関する相談や講話や体操の実施	依頼による健康教育及び健康相談の開催 内容：老人クラブ、百寿大学等で健康や介護予防に関する知識の普及・啓発を図るための健康教育を実施。	■市民 ■団体 □その他	広く認知症予防や低体力予防等の介護予防の知識の普及・啓発が図られた。	今後も老人クラブ等からの依頼に応じ、健康教育及び健康相談を実施していくが、地域で活動している団体に対して継続的に支援を行う地域包括支援センターと連携を図りながら、必要に応じて役割分担を行いたいと考えている。	有 老人クラブ等 百寿大学	介護高齢課 地域支援担当
1	乳幼児健康診査 (母子保健推進費)	旭川市	4か月児健診 77回 2,261人/2,375人 受診率95.2% 1歳6か月児健診 72回 2,326人/2,419人 受診率96.2% 3歳児健診 70回 2,083人/2,227人 受診率93.5% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導、OT相談、ST相談等	実施回数・受診者数・受診率： 4か月児健診77回・2,322人・96.6% 1歳6か月児健診75回・2,338人・94.9% 3歳児健診67回・1,671人・95.3% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健康診査：回数77回、参加者数2,245人、受診率98.2% 1歳6か月児健康診査：回数71回、参加者数2,214人、受診率96.1% 3歳6か月児健康診査：回数69回、参加者数2,022人、受診率92.4% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健診：76回、2,260人、受診率98.3% 1歳6か月児健診：71回、2,265人、受診率97.3% 3歳6か月児健診：72回、2,300人、96.4% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健診：77回 1歳6か月児健診：73回 3歳6か月児健診：73回 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	■市民 □団体 □その他	例年、受診率は90%台を維持しており、児の健康状態の確認及び保護者支援の場として寄与している。	小児科医師をはじめとする専門職スタッフの恒常的な人材確保。継続した精度管理。	有 旭川市医師会、旭川医科大学病院口腔外科等	母子保健課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
1	健康相談 (母子保健推進費)	旭川市	乳幼児健康相談 37回 525人/897人 幼児健康相談 45回 626人/858人 内容：身体計測、保健指導、 栄養指導、歯科指導、小児科 診察、OT相談、ST相談等	実施回数・受診者数(実/ 延)： 乳幼児健康相談37回・543人 /949人 幼児健康相談46回・479人 /536人 内容：身体計測、保健指導、 栄養指導、歯科指導、小児科 診察、O T相談、S T相談	子育て相談実施回数：37回 来所者数：実509/延1,066人 内容：身体計測、発育・発達 相談、育児相談、栄養相談、 歯科相談 幼児健康相談実施回数：43回 来所者数：実420/延496人 内容：問診、身体計測、小児 科診察、心理士相談、栄養相 談、作業療法士相談、言語聴 覚士相談 電話健康相談 実施回数：243回 相談件数：456件	子育て相談実施回数：37回 来所者数：実547/延1,098人 内容：身体計測、発育・発達 相談、育児相談、栄養相談、 歯科相談 幼児健康相談実施回数：44回 来所者数：実501/延562人 内容：問診、身体計測、小児 科診察、心理士相談、栄養相 談、作業療法士相談、言語聴 覚士相談 電話健康相談 実施回数：244回 相談件数：461件	子育て相談：37回 内容：身体計測、発育・発達 相談、育児相談、栄養相談、 歯科相談 幼児健康相談：45回 内容：問診、身体計測、小児 科診察、心理士相談、栄養相 談、作業療法士相談、言語聴 覚士相談 電話健康相談：244回	■市民 □団体 □その他	子育て相談は利用希望者 が多く、申込断り者も多い 現状がある。専門的な相談 ができる機会は少ないと考 えられ、有益な機会になっ ていると考える。電話相談 についても市民の相談に応 じることで相談事の解消に 繋げることができている。 幼児健康相談は、主に精神 発達や社会性について支援 が必要な幼児に対し、専門 職種の相談を実施してお り、早期に関係機関等に繋 げる機会として貴重な場と なっている。	子育て相談については、 利用者のニーズに対応する ために、会場・実施回数・ 定員数・スタッフ数の確保 に向けた検討を継続してい く。幼児健康相談につい ても、専門職種の確保に向 けた体制整備を行っていく。 電話相談については、今後 も引き続き適切な情報提供 や相談事の解消等に向けて 職員の知識等の研鑽に努め ていく必要がある。(継続 実施)	有 旭川市医師会、旭 川医科大学病院 等	母子保健課
1	妊婦健康相談 (母子保健推進費)	旭川市	相談者：166件 内容：母子健康手帳交付時に 相談のあった妊婦や、相談の 希望がなくても、ハイリス ク妊婦と判断した場合に面接を 実施	相談者：193件 内容：母子健康手帳交付時に 相談希望のあった妊婦及び相 談希望がない場合でもハイリ スク妊婦と判断した場合に相 談を実施	相談件数：185件 内容：母子健康手帳交付時の 妊婦の相談体制の強化を図 り、支援が必要な妊婦を早期 に把握し、支援につなげる。	相談件数：1,534件	妊婦健康相談：1,534件	■市民 □団体 □その他	H28より第二庁舎で妊娠届 出及び転入の手続きをした 妊婦については、保健師も しくは保育士と面接を行っ ているため相談者数が大幅 に増加している。届出時の 相談は、妊娠期からの切れ 目ない支援として対象者の 早期把握の機会として重要 な取組となっている。	継続支援を必要としない 妊婦についても何らかの不 安等は少なからず抱えてい る場合が多く、届出時に気 軽に相談のできる体制整備 は必要である。(継続実 施)	無	母子保健課
1	妊婦健康診査 (すこやか親子事業費)	旭川市	回数：妊婦1人当たり14回 超音波健診4回 内容：母子健康手帳交付時に 妊婦健康診査受診票を発行 し、当該検査の助成を行う。	回数：妊婦1人当たり14回、 超音波健康診査4回 内容：母子健康手帳交付時に 妊婦健康診査受診票を発行 し、当該検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14 回 超音波検査4回 受診者数：妊婦健診2,429件 (実) 超音波検査2,197件(実) 内容：母子健康手帳交付時に 健康診査受診票を発行し当該 検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14 回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,342件(実) 超音波検査2,075件(実) 内容：母子健康手帳交付時に 健康診査受診票を発行し当該 検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14 回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,600件(実) 超音波検査2,600件(実) 内容：母子健康手帳交付時に 健康診査受診票を発行し当該 検査の助成を行う。	■市民 □団体 □その他	受診率は90%台を維持し ており、安心して妊娠・出 産ができる環境が整備され ている。	保険外診療である妊婦健 康診査の受診料を助成し市 民の経済負担を解消するこ とで、定期的な受診を促 し、安心して安全な出産につ なげていく必要がある。 (継続実施)	有 旭川市医師会、旭 川医科大学病 院、助産所	母子保健課
1	健康教育(企画) (保健事業費)	旭川市	回数：77回 参加者数：2,211人 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技及び調理実 習等	回数：59回 参加者数：1,772人 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技及び調理実 習等	回数：56回 参加者数：1,427人 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技等	回数：34回 参加者数：642人 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技等	回数：39回 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技等	■市民 ■団体 □その他	経年的に実施回数が減少 しているが、依頼による出 前健講座の多い地区は知識 普及の場が確保されている ため実施を見合わせている ことが主な理由であり、各 地区の実情に応じた普及啓 発が実施できている。	健診データの分析や各種 統計を基に市の健康課題を 整理し、効果的な内容につ いて検討する。	無	保健指導課 地域保健第1・2 係
1	健康教育 (依頼による出前健康講 座) (保健事業費)	旭川市	回数：90回 参加人数：3,914人 内容：生活習慣病予防に関 する講話及び運動実技等	回数：127回 参加者数：4,199人 内容：生活習慣病予防に関 する講話及び運動実技等	回数：99回 参加者数：4,249人 内容：生活習慣病予防に関 する講話及び運動実技等	回数：85回 参加者数：3,663人 内容：生活習慣病予防に関 する講話及び運動実技等	回数：100回 内容：生活習慣病予防に関 する講話及び運動実技等	■市民 ■団体 □その他	町内会等の地区組織だけ ではなく、企業や団体など、 様々な依頼元のニーズに応 じながら生活習慣病予防に ついて普及啓発ができた。 毎年依頼のある町内会や 団体もあり、継続的な支援の 機会にもなっている。	健診データの分析や各種 統計を基に市の健康課題を 整理し、効果的な内容につ いて検討する。	無	保健指導課 地域保健第1・2 係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
1	乳幼児栄養相談(訪問含む) (母子保健事業費)	旭川市	健康相談時乳幼児栄養相談等の実施 健康相談実施回数及び栄養相談件数：子育て相談37回456人、幼児相談45回58人、定例外230人、電話213人、訪問3人 内容：離乳食指導及び授乳方法、食事や栄養上問題のあるケースの支援	健康相談時乳幼児栄養相談等の実施 健康相談実施回数及び栄養相談件数：子育て相談31回472人、幼児相談38回38人、定例外192人、電話151人、訪問1人 内容：離乳食指導及び授乳方法、食事や栄養上問題のあるケースの支援	健康相談時乳幼児栄養相談等の実施 健康相談実施回数及び栄養相談件数：子育て相談37回499人、幼児相談43回58人、定例外200人、電話123人、訪問0人 内容：離乳食指導及び授乳方法、食事や栄養上問題のあるケースの支援	健康相談時乳幼児栄養相談等の実施 健康相談実施回数及び栄養相談件数：子育て相談37回522人、幼児相談44回56人、定例外178人、電話167人、訪問10人 内容：離乳食指導及び授乳方法、食事や栄養上問題のあるケースの支援	健康相談時乳幼児栄養相談等の実施 内容：離乳食指導及び授乳方法、食事や栄養上問題のあるケースの支援	■市民 □団体 □その他	乳幼児の保護者が持っている様々な不安や疑問等について、個人の栄養相談の機会を提供することで個々に合った指導を行うことが出来た。	引き続き、食に関する様々な不安を解消し、正しい食習慣が身につくよう支援する。 継続的に関わっていく必要があるケースについては、保健師等と連携を取りながら今後どのように支援していくか検討していく。	無	保健指導課 栄養係
1	成人栄養相談・訪問指導 (保健事業費)	旭川市	実施回数及び栄養相談件数：定例健康相談179回307人、定例外33回57人、各種教室・イベント時26回213人、電話109人、訪問12人 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	実施回数及び栄養相談件数：定例健康相談186回314人、定例外21回34人、各種教室・イベント時26回164人、電話40人、訪問14人 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	実施回数及び栄養相談件数：定例健康相談207回399人、定例外18回28人、各種教室・イベント時32回204人、電話62人、訪問13人 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	実施回数及び栄養相談件数：定例健康相談155回269人、定例外18回25人、各種教室・イベント時25回235人、電話22人、訪問11人 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	定例健康相談、ほか定例外、各種健康教室、イベント等の開催時の実施 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	■市民 □団体 □その他	特定健診後の特定保健指導や情報提供者等を行う栄養相談において、健診結果のデータから、対象者の嗜好・食生活の状況を参考に、食事摂取基準に基づき個人に必要なエネルギーや栄養摂取量について指導・助言し、望ましい食習慣へ改善するよう支援を行うことができた。	特定健診後や電話、来所等による相談も含めて、受診勧奨が必要な場合や既に服薬等の治療を受けているケースについては、食事摂取基準より各ガイドラインに沿った数値が望ましい場合も考えられるため数値等の把握もしながら支援を行っていく。 対象者から得られる情報から食生活改善に向けて、引き続き適切な栄養指導を行う。	無	保健指導課 栄養係
1	旭川市食生活改善地域講習会 (栄養改善推進費)	旭川市旭川食生活改善協議会	開催回数及び参加者数：市民対象25回517人、未就学児対象15回491人 内容：市民対象～調理実習、講話、0.6%味噌汁試飲、味噌汁塩分測定、食生活診断、軽運動等 未就学児対象～調理体験、食育遊び等	開催回数及び参加者数：市民対象24回506人、未就学児対象16回528人 内容：市民対象～調理実習、講話、0.6%味噌汁試飲、味噌汁塩分測定、食生活診断、軽運動等 未就学児対象～調理体験、食育遊び等	開催回数及び参加者数：市民(成人)対象25回497人、未就学児対象15回447人 内容：市民(成人)対象～調理実習、講話、塩分濃度0.6%味噌汁試飲、味噌汁塩分測定、食生活診断、軽運動等 未就学児対象～調理体験、食育遊び等	開催回数及び参加者数：市民(成人)対象24回487人、未就学児対象16回749人 内容：市民(成人)対象～調理実習、講話、塩分濃度0.6%味噌汁試飲、味噌汁塩分測定、食生活診断、軽運動等 未就学児対象～調理体験、食育遊び等	開催回数：年40回 市内全域 1 市民対象 内容：調理実習、講話、塩分濃度0.6%味噌汁試飲、食生活診断等 2 未就学児対象(保育所、幼稚園等) 内容：調理体験、食育遊び等	■市民 ■団体 □その他	食生活改善推進員の実践活動として、成人や未就学児対象に、調理実習や講話、食育遊び等を行うことで、地域における食生活改善の普及啓発及び市民の健康保持増進につなげることができた。	成人対象の講習会について、若年層や新規参加者の増に向けた対応が課題。 こうほう旭川市民、案内文、ポスター等により地域講習会を広く周知し、より広く市民の参加を募り、今後も事業を継続していく。	無	保健指導課 栄養係
1	食を育む料理教室 (食育推進費)	旭川市	1 ばくばく！こどもごはん(1歳～未就学児の保護者対象) 3回63人 2 一緒に作ろう！こどものおやつ(3歳～未就学児と保護者対象) 2回59人 3 旭川産野菜を使って！チャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回41人 4 旭川産☆野菜料理教室(市民対象) 3回79人	1 ばくばく！こどもごはん(1歳半～未就学児の保護者対象) 3回51人 2 旭川産りんごDEおやつ作り(3歳～未就学児と保護者対象) 2回58人 3 旭川産DEチャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回42人 4 WA-SHO-KU(市民対象) 3回70人	1 ばくばく！こどもごはん(1歳半～未就学児の保護者対象) 3回58人 2 旭川産りんごDEおやつ作り(3歳～未就学児と保護者対象) 2回75人 3 小学生対象！チャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回60人 4 WA-SHO-KU(市民対象) 3回95人	1 ばくばく！こどもごはん～こどもの野菜料理(1歳半～未就学児の保護者対象) 2回36人 2 りんごを使って親子で作ろう！冬休みチャレンジクッキング(小学1～3年生と保護者対象) 2回65人 3 今年の夏は料理に挑戦！夏休みチャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回59人 4 野菜たっぷり♪減塩料理(市民対象) 2回47人	1 ばくばく！こどもごはん～子供の乳和食(1歳半～未就学児の保護者対象) 2回2 2 冬休みチャレンジクッキング(小学校1～3年生と保護者対象) 2回 3 夏休みチャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回 4 野菜がおいしい料理教室(市民対象) 2回 内容 調理実習と栄養講話	■市民 □団体 □その他	年代別実施しており、参加者が調理実習を通じて具体的な調理法や食習慣を学ぶことで、食育の理解をより深める場となっている。申込みが定員を超える教室もあり、参加者アンケート結果からも満足度の高い事業となっている。	今後も、各団体と協力しながら、継続して事業を実施していく。 H27年度栄養調査の結果から野菜不足の解消を図るため、旭川産野菜を活用した料理を紹介し、野菜を食べるきっかけとなるような場としていく。	有 旭川青果物出荷組合連合会 旭川市果樹協会	保健指導課 栄養係
1	あさひかわ食育セミナー (食育推進費)	旭川市	開催回数：2回 参加者数：49人 内容：講演	開催回数：2回 参加者数：45人 内容：講演	開催回数：2回 参加者数：26人 内容：講演及び体験	開催回数：1回 参加者数：25人 内容：子どものスポーツ栄養について講演	—	■市民 □団体 □その他	平成19年度から10年間、様々なテーマで実施し食育の周知を行ってきたところであるが、事業の実施による市民への波及効果等を考え、今後はより実践に力を入れた取組を行うため、食育セミナーは終了とする。	—	無	保健指導課 栄養係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
1	食事バランスガイド等の普及啓発 (食育推進費)	旭川市	旭川市版食事バランスガイドの配布 1 食育の日PRキャンペーン5回 2 食育関連行事2回 3 栄養指導、健康教育等で配布	旭川市版食事バランスガイドの配布 1 食育の日PRキャンペーン5回 2 食育関連行事2回 3 栄養指導、健康教育等で配布	旭川市版食事バランスガイドの配布等 1 食育の日PRキャンペーン5回 2 食育関連行事3回 3 栄養指導、健康教育、食生活改善地域講習会等で配布	旭川市版食事バランスガイドの配布等 1 食育PRキャンペーン11回 2 食育関連行事3回 3 栄養指導、健康教育、食生活改善地域講習会等で配布	内容：旭川市版食事バランスガイド等の作成・配布 配布事業：食育関連行事等	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	親子連れが訪れる場所やイベント会場を中心に展開し、食育媒体を効果的に活用しながら普及啓発ができた。	今後も食育に関連するイベントや多くの親子連れが訪れる市内各地域に出向き「食育」の普及啓発を継続する。また、子育て支援センターや食育に関するイベント等があればPRの場として活用していく。	有 旭川食生活改善協議会等	保健指導課 栄養係
1	食育出前講座 (食育推進費)	旭川市	母子対象：15回335人 学童・思春期対象：7回300人 成人対象：30回724人 内容：地域や学校等からの依頼に応じた調理実習や講話を実施する。	母子対象：10回299人 学童・思春期対象：10回589人 成人対象：19回564人 内容：地域や学校等からの依頼に応じた調理実習や講話を実施する。	母子対象：11回414人 学童・思春期対象：10回538人 成人対象：20回516人 内容：地域や学校等からの依頼に応じた調理実習や講話を実施する。	母子対象：7回368人 学童・思春期対象：6回225人 成人対象：27回516人 内容：地域や学校等からの依頼に応じた調理実習や講話を実施する。	対象：市民 内容：地域や学校等からの依頼に応じた調理実習や講話を実施する。	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	食育の認知から子供のみならず成人対象の団体からの依頼も多く、食育出前講座の実施により「食」に関する知識を普及し、家庭での食育の推進につなげることができた。	市民が活用しやすい講座となるよう、メニューを適宜見直しながら継続する。また、平成27年度に実施した調査結果から、旭川市民の野菜摂取量が少ないことが判明したため、今後は野菜の摂取量を増やすための講話や調理実習を内容に取り入れる。	無	保健指導課 栄養係
1	離乳食教室 (栄養改善推進費)	旭川市	1 前期(4か月～7か月児の保護者対象)：5回189人 2 後期(8か月～1歳児の保護者対象)：4回126人 内容：栄養士講話及び調理実習	1 前期(4か月～7か月児の保護者対象)：5回189人 2 後期(8か月～1歳児の保護者対象)：4回126人 内容：栄養士講話及び調理実習	1 前期(4か月～7か月児の保護者対象)：6回231人 2 後期(8か月～1歳児の保護者対象)：4回111人 内容：栄養士講話及び調理実習	1 前期(4か月～7か月児の保護者対象)：6回209人 2 後期(8か月～1歳児の保護者対象)：4回121人 内容：栄養士講話及び調理実習	1 前期：5回(4～7か月児の保護者対象) 2 後期：4回(8か月～1歳児の保護者対象) 内容：栄養士講話、調理実習	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	月齢に応じた食事の内容や調理形態を学習し、望ましい食習慣に結びつけるための支援を行うことができた。実際に調理することで、固さ、大きさ等の違いや調理方法を知ることができ、実際に作ったものを試食しながら形態や味も確かめられることから、参加者アンケートからも満足度の高い教室となっている。	参加ニーズ、参加者の満足度も高い。今後も離乳食の調理方法や進め方が身につくよう支援する。	無	保健指導課 栄養係
1	食生活改善推進員の養成及びスキルアップ講座 (栄養改善推進費)	旭川市	1 養成講座の開催 開催回数：1回(6日間) 受講者数：8人(修了者7人) 内容：講義、調理実習、運動等 2 再教育講座の開催 開催回数：2回 受講者数：144人	1 養成講座の開催 開催回数：1回(6日間) 受講者数：8人(修了者8人) 内容：講義、調理実習、運動等 2 再教育講座の開催 開催回数：2回 受講者数：137人	1 養成講座 開催回数：1回(6日間) 受講者数：16人(修了者16人) 内容：講義、調理実習、運動等 2 再教育講座 開催回数：2回 受講者数：153人	1 養成講座 開催回数：1回(6日間) 受講者数：10人(修了者9人) 内容：講義、調理実習、運動等 2 スキルアップ講座 開催回数：2回 受講者数：127人	1 養成講座の開催 開催回数：年1回(6日間) 内容：講義、調理実習、運動等 2 スキルアップ講座の開催 開催回数：年2回 内容：講義等	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	地域における食生活改善の知識普及を効果的に推進するため、市民を対象に講座を実施することで、人材を養成することができた。また、食生活改善推進員の資質向上と以後の活動の一助となるよう、スキルアップ講座を開催することで、地域での食生活改善活動がより促進されるよう支援を行うことができた。	養成講座受講者の増加に向けた対策が課題。スキルアップ講座は推進員のニーズを把握しながら効果的な内容で継続する。	無	保健指導課 栄養係
1	食生活改善協議会の活動支援 (栄養改善推進費)	旭川市	1 事務局事務理事会6回、総会・研修会、反省会、協議会活動への支援、助言等 2 会員自己研鑽研修会への協力	1 事務局事務理事会6回、総会・研修会、反省会、協議会活動への支援、助言等 2 会員自己研鑽研修会への協力	1 事務局事務理事会6回、総会・研修会、活動反省会等協議会活動への支援、助言等 2 会員自己研鑽研修会への協力	1 事務局事務理事会6回、総会・研修会、活動反省会等協議会活動への支援、助言等 2 会員自己研鑽研修会への協力	1 事務局事務理事会等出席、協議会活動への支援、助言等 2 会員自己研鑽研修会への協力	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	食生活改善の取組において、地域に密着したボランティアである食生活改善推進員の活動を支援することで、地域の健康づくりの普及啓発を図ることができた。	協議会は、定期的に地域の代表者が情報共有や協議を行いながら活発に活動している。今後も、地域が主体となった健康づくりを推進するため、協議会の活動を支援する。	無	保健指導課 栄養係
1	栄養士研修事業 (栄養改善推進費)	旭川市	1 職域栄養士に対する研修会 対象：社会福祉施設に從事する管理栄養士、栄養士 受講者数：34施設38人 2 管理栄養士養成施設等学生実習 受入数：4大学7人	1 職域栄養士に対する研修会 対象：社会福祉施設に從事する管理栄養士、栄養士 受講者数：34施設38人 2 管理栄養士養成施設等学生実習 受入数：4大学8人	1 職域栄養士に対する研修会 対象：社会福祉施設の管理栄養士、栄養士 受講者数：29施設29人 2 管理栄養士養成施設等学生実習 受入数：4大学8人	1 職域栄養士に対する研修会 対象：社会福祉施設の管理栄養士、栄養士 受講者数：33施設36人 2 管理栄養士養成施設等学生実習 受入数：4大学8人	1 栄養士研修会の実施 回数：年1回 内容：講義、意見交換等 2 管理栄養士養成施設学生保健所実習の実施 回数：年1回 内容：講義、見学、演習等	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 栄養士、実習生	職域栄養士への研修会の実施により、専門的な知識の向上を図ることができた。学生実習については、複数校での実施となるため互いに学び合いながら学習を深める機会となっており、行政栄養士の育成につながることができた。	今後も対象者の要望を把握しながら継続する	無	保健指導課 栄養係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
1	食品の栄養表示基準制度 (栄養改善推進費)	旭川市	栄養成分表示制度等の支援 相談及び助言件数：4件 内容：栄養成分等の表示を行 おうとする者等に対し、助言 及び情報提供を行う。	栄養成分表示制度等の支援 相談及び助言件数：12件 内容：栄養成分等の表示を行 おうとする者等に対し、助言 及び情報提供を行う。	栄養成分表示制度等の支援 相談及び助言件数：27件 内容：栄養成分等の表示を行 おうとする事業者等に対し、 助言及び情報提供を行う。	栄養成分表示制度等の支援 相談及び助言件数：44件 内容：栄養成分等の表示を行 おうとする事業者等に対し、 助言及び情報提供を行う。	栄養成分表示制度の支援 内容：栄養成分等の表示を行 おうとする者等に対し、助言 及び情報提供を行う。	■市民 □団体 ■その他 食品製造 業者等	平成27年4月に施行された 食品表示法に伴い、食品に 係る表示及び広告が適正に 行われるように指導を実施 した。義務化された栄養成 分表示の表示方法や分析方 法、強調表示に関する相談 等は、平成25年度からみる と平成28年度は11倍に増加 している。今後も、業者等 からの相談が増えることが 予想されるため栄養成分表 示が適正に行われるよう、 指導・助言を行っていく。	引き続き適正な栄養成分 表示が行われるよう、指 導・助言をする。加工食品 については、義務化される 項目の経過措置期間が平成 32年3月31日までとなっ ており、食品の加工、製造、販 売に関わる業者への周知方 法を検討する。	無	保健指導課 栄養係
1	栄養成分表示の店の推進 (食育推進費)	旭川市	新規登録店：5件(飲食店4 件、コンビニ1件) 登録店総数：207件(飲食店 60件、コンビニ147件) 栄養価計算依頼数：13件 ガイドマップ作成：1,500部	新規登録店：3件(飲食店0 件、コンビニ3件) 登録店総数：208件(飲食店 60件、コンビニ148件) 栄養価計算依頼数：5件	新規登録店：4件(飲食店1 件、コンビニ3件) 登録店総数：206件(飲食店 55件、コンビニ151件) 栄養価計算依頼数：2件	新規登録店：3件(コンビニ3 件) 登録店総数：207件(飲食店 55件、コンビニ152件)	内容：3メニュー以上の栄養 成分表示を行う外食料理店等 にステッカー交付と登録を実 施。 市民向けに登録店の情報提 供。	■市民 □団体 ■その他 飲食店、コ ンビニエンス ストア等	外食機会の増加に伴い、 飲食店等の栄養成分表示は ニーズが高まっており、本 事業により市民が自ら外食 及び食品摂取における健康 管理上適切な選択をする一 助となっている。 ここ数年、一定の登録数は 維持しているものの、新規 登録件数は伸び悩んでお り、登録店の増加を図る取 組が必要である。	制度のPRや関係団体への 協力依頼等により、登録店 の増加を図る。 食品表示法により加工食品 の栄養成分表示が義務化さ れたことに伴い、コンビニ エンスストアの登録につい ては、道の動向を見ながら 年1度の見直しが必要となる 可能性がある。	有 北海道全調理師 会旭川支部	保健指導課 栄養係
1	あさひかわ食楽探検隊 (食育推進費)	旭川市	実施回数：6回 参加者数：16人(小学4～6年 生) 内容：農業体験、調理実習、 地場農畜産物等の学習、旭川 産野菜を使ったランチの考 案、成果発表、考案したラン チの販売体験	実施回数：7回 参加者数：20人(小学4～6年 生) 内容：酪農体験、調理実習、 食育学習、牛乳・乳製品を 使ったスイーツの考案、成果 発表、試食配付	実施回数：全6回 参加者数：13人(小学4～6年 生) 内容：農業体験、調理実習、 食育学習、学習成果発表 表	実施回数：全7回 参加者数：18人(小学4～6年 生) 内容：農業関係施設等見学、 調理実習、食に関する学習、 旭川産食材を使ったパンの考 案・レシピ配付、学習成果発 表	対象：小学3～6年生 内容：農業体験、調理実習、 食育学習	■市民 ■団体 □その他	対象者が、農業体験や学 習を重ねて生産から消費ま での流れや旭川の農産物に ついて理解を深め、学習成 果発表を通じて広く市民に 情報発信する機会となっ ている。 本事業に参加した子供達の 学習がより深まるととも に、広く市民に対して食育 の普及を図ることが出来 た。	食育の実践においては継 続した取組が大切であるこ とから、今後とも食育関係 団体と連携した形での事業 展開を視野に入れ、内容を 検討し実施していく。	有 農業者等	保健指導課 栄養係
1	あさひかわ食育推進月間 (食育推進費)	旭川市	—	—	実施期間：8月・9月 内容：趣旨に賛同する団体等 が、それぞれ可能な方法で食 育のPRを実施。 (食育関連イベントの開催、 出版物への掲載、リーフレッ トの配付等)	実施期間：8月・9月 内容：趣旨に賛同する団体等 が、それぞれ可能な方法で食 育のPRを実施。 1 啓発リーフレットの配布 4,400枚 2 広報誌、HP、マスメディ アを通じたPR 3 給食施設への取組協力の 依頼 200施設 4 関係団体等による主体的 取組の実施等)	実施期間：8月・9月 内容：趣旨に賛同する団体等 が、それぞれ可能な方法で食 育のPRを実施。 (食育関連イベントの開催、 出版物への掲載、リーフレッ トの配付等)	■市民 □団体 □その他	団体等の既存の活動等を 利用し、各分野が一定の期 間内に集中的にPR活動を 行うことで、効果的に食育 の普及ができた。	今後とも食育の関係団体 と連携を図り、市で作成し たリーフレットを活用して いく。 また、月間(8・9月)の季 節に合わせ野菜の摂取増加 に向けた内容や、第3次旭川 市食育推進計画に沿った内 容をリーフレットに盛り込 む。	有 趣旨に賛同する 団体	保健指導課 栄養係
1	学校給食の充実 (学校給食管理費)	旭川市	給食実施回数 小学校193回、中学校186回 給食提供人数 小学校：16,395人、 中学校：8,389人 内容：栄養とバランスの取れ た給食を実施するとともに、 給食時間や給食だよりを通じ て望ましい食生活の形成に取 り組んだ。	給食実施回数 小学校193回、中学校186回 給食提供人数 小学校：16,016人、 中学校：8,394人 内容：栄養とバランスの取れ た給食を実施するとともに、 給食時間や給食だよりを通じ て望ましい食生活の形成に取 り組んだ。	給食実施回数 小学校194回、中学校190回 給食提供人数 小学校：15,873人、 中学校：8,216人 内容：栄養とバランスの取れ た給食を実施するとともに、 給食時間や給食だよりを通じ て望ましい食生活の形成に取 り組んだ。	給食実施回数 小学校194回、中学校190回 給食提供人数 小学校：15,437人、 中学校：8,271人 内容：栄養とバランスの取れ た給食を実施するとともに、 給食時間や給食だよりを通じ て望ましい食生活の形成に取 り組んだ。	給食実施回数 小学校194回、中学校190回 給食提供人数 小学校：15,074人、 中学校：8,018人 内容：栄養とバランスの取れ た給食を実施するとともに、 給食時間や給食だよりを通じ て望ましい食生活の形成に取 り組む。	■市民 □団体 □その他	学校給食実施基準に基づ いて栄養とバランスの取れ た給食を実施し、児童生徒 の望ましい食生活の形成に 努めた。	栄養とバランスの取れた 給食を実施するとともに、 給食時間や給食だよりを通 じて望ましい食生活の形成 に今後も継続し取り組んで いく。	有 旭川市学校給食 物資共同購入委 員会	学校保健課 給食担当

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数, 参加者数, 内容等)	H29事業計画 (回数, 参加者数, 内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
1	健康男子プロジェクト (健康男子プロジェクト 推進費) ※企業への出前健康講座 は, 健康教育(依頼による 出前健康講座)の再掲。 ※健康男子コンテスト及 びモニター事業の健診, 保健指導は, 健康教育(企 画)の再掲	旭川市	1 企業への出前健康講座 4回(10社)365人 2 健康男子コンテストの実 施 (実行委員会運営) メタボ改善者の取組内容を 発表 出場者5人, 観覧者約300 人 3 健診体験モニター事業 (実行委員会運営) 健診受診の機会がない20～ 30歳代の男性モニターに, 特 定健診同様の検査及び保健指 導を実施し, その経緯等を Webを通じて発信すること で, 市民の健康意識の向上を 図った。 参加者: 52人 健診: 3回延べ52人 保健指導: 延べ52人 4 Webを中心とした健康情報 の発信 認定数(累計) ・健康男子 366人 ・健康男子応援サポーター 567人 ・健康男子応援企業 13社	1 企業への出前健康講座 12回(10社)784人 2 健康男子コンテストの実 施 (実行委員会運営) メタボを改善したい方を 募集し, 約3か月間の取組とその成 果を発表。 健診や保健指導を実施し取 組支援を行った。 出場者7人, 観覧者約400 人 3 健康男子モニター事業 個人及び企業を対象にH25 と同内容で実施。 参加者: 個人9人 (コンテスト出場者含 む), 企業: 2社8人 延べ17人 健診: 5回延べ27人 保健指導: 延べ48人 4 Webを中心とした健康情報 の発信 認定数(累計) ・健康男子 522人 ・健康男子応援サポーター 957人 ・健康男子応援企業 13社	1 企業への出前健康講座 27回 2,143人 2 健康男子コンテストの実 施 (実行委員会運営) 出場者を個人から企業対 抗に変更して実施。 出場者: 4企業 14人 観覧者: 約400人 健診: 2回延べ10人 保健指導: 12回延べ50人 3 企業への健康づくりに関 するアンケート調査 アンケート回収数: 260社 延べ17人 4 Webを中心とした健康情報 の発信 認定数(累計) ・健康男子 523人 ・健康男子応援サポーター 958人 ・健康男子応援企業 16社	1 企業への出前健康講座の 実施 18回 1,492人 2 健康男子コンテストの実 施 (実行委員会運営) H27と同内容で実施。 出場者: 3企業 10人 観覧者: 約400人 健診: 3回延べ16人 保健指導: 16回延べ81 人 3 企業への健康づくりに関 するアンケート調査の集計・ 分析 4 Webを中心とした健康情報 の発信 H27と同じ	1 企業への出前健康講座の 実施 20回 2 健康男子コンテストの実 施 (実行委員会運営) H28と同内容で実施のほ か, 過去の出場者の取組内容 や現在の様子をまとめ, 冊子 やWebで周知し, 市民の健康 意識の向上を図る。 3 企業への健康づくりに関 するアンケート調査の実施 4 Webを中心とした健康情報 の発信 H28と同じ	■市民 ■団体 □その他	健康男子コンテストを通 じて, 出場者のデータ改善 のみならず, 周囲の者に対 する健康意識の向上や, 健 康行動への動機付けという 波及効果が見られた。 また, 企業への出前健康 講座の新規依頼企業が増加 傾向にあるなど, 本プロ ジェクトの取組により, 社 員の健康づくりに関心を持 つ企業増加に寄与してい る。	企業を通じて青・壮年期 層へのアプローチは継続す るが, より多くの市民の健 康増進に波及する手法を検 討する。	有 健康男子コンテ スト実行委員会	保健指導課 地域保健第1・2 係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	健康で楽しく暮らせる東旭川 (地域まちづくり推進事業費)	東旭川まちづくり推進協議会	—	—	回数：年1回 平成27年8月4日 参加者：児童27名 高齢者25名 介護予防講座、昔遊びによる世代間交流を実施。	—	—	■市民 □団体 □その他	限りある補助金、人員の中で地域の様々な課題解決等のために事業実施する必要があり、H28は地域の記念誌作成や歴史資料の整理・保存事業を行うこととしたため。	継続して実施していくためには財源、地域の企画運営能力、人員等を必要とする。	無	東旭川まちづくり推進協議会事務局(東旭川支所内)
2	東旭川の魅力再発見(旭山散策)事業	東旭川まちづくり推進協議会	—	回数：年1回 平成26年10月19日 参加者：95人 内容：散策会の中で、保健師による健康講話・指導、健康相談、希望者への血圧測定を実施。	—	—	—	■市民 □団体 □その他	限りある補助金、人員の中で地域の様々な課題解決等のために事業実施する必要があり、H28は地域の記念誌作成や歴史資料の整理・保存事業を行うこととしたため。	継続して実施していくためには財源、地域の企画運営能力、人員等を必要とする。	有 旭川市公園緑地協会 旭川市保健指導課 旭山動物園 旭山を活かす街づくり市民の会	東旭川まちづくり推進協議会事務局(東旭川支所内)
2	旭山をもっと！知ろう散策会 (地域まちづくり推進事業費)	東旭川まちづくり推進協議会	回数：年1回 平成25年10月12日 参加者：75人 内容：散策会の中で、保健師による健康講話・指導、健康相談、希望者への血圧測定を実施。	—	—	—	—	■市民 □団体 □その他	限りある補助金、人員の中で地域の様々な課題解決等のために事業実施する必要があり、H28は地域の記念誌作成や歴史資料の整理・保存事業を行うこととしたため。	継続して実施していくためには財源、地域の企画運営能力、人員等を必要とする。	有 保健指導課 旭山動物園 旭山を活かす街づくり市民の会 旭川市公園緑地協会	東旭川まちづくり推進協議会事務局(東旭川支所内)
2	地域ネットワークの形成による健康づくりモデル事業	緑が丘まちづくり推進協議会	—	—	地域の団体と連携し、運動機能の「低下度」判定をするロコモ度テストをおこない、ロコモ予防のための体操を参加者全員で実施した。また、健康相談や血圧測定もおこなった。 実施日 平成27年12月6日 参加者 39名	本事業は昨年度におこなった「ロコモ度テスト」に続き、認知症予防についての講義も行った。また、健康への関心事や必要とされる地域活動等についてアンケートを実施し、地域ニーズを調査した。 実施日 平成28年10月30日 参加者 35名	平成27年度からおこなっている「ロコモ度テスト」を中心とした健康講座を、一部講義内容を見直すとともに、地域を変えておこなうことで、この取り組みを緑が丘全体に広げていく。 実施予定日 平成29年9月23日 参加予定人数 30～40名	■市民 □団体 □その他	地域住民の健康意識が向上し、関係機関と連携することで、地域のネットワークの強化につながった。	ロコモの測定器具の数に限りがあり、参加者が制限される。したがって地域を変えて、実施することで多くの住民が参加できるように取り組んでいるところである。	旭川医科大学、旭川工業高等専門学校、神楽・西神楽地域包括支援センター、緑が丘スポーツクラブ、旭神市民委員会福祉厚生部	緑が丘まちづくり推進協議会(事務局-神楽支所)
2	スキー体験学習 (体育振興費)	旭川市	宮崎学園高校 平成26年2月11日～平成26年2月13日 参加生徒数：190人 引率：8人 指導員数：51人	—	—	—	—	□市民 □団体 ■その他	平成21年度から対象高校が1校になり、平成26年度以降は、指導者の確保ができず、受け入れられていない。	本事業は教育の一環との位置付けから、指導者を教員・市職員主体で確保しているが、対象となるスキー指導者の高齢化が進んでいるため、指導者の確保が年々困難になっている。	有 旭川スキー連盟等	スポーツ課
2	末広市民プールの管理・運営 (管理事務費)	旭川市	末広市民プールの開放 所在地：末広6条2丁目(末広小学校内) 開設期間：6月15日～8月18日 平成25年8月19日付廃止 利用者数：5,351人	—	—	—	—	■市民 ■団体 □その他	学校施設の改築のため、統合	—	有 旭川振興公社	スポーツ課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数, 参加者数, 内容等)	H29事業計画 (回数, 参加者数, 内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	学校施設スポーツ開放事業 (学校施設スポーツ開放事業費)	旭川市	毎年実施 開放校: 81校 利用者数: 339,732人 内容: 学校施設である体育館やグラウンドを各種スポーツ団体に開放する。	毎年実施 開放校: 81校 利用者数: 337,464人 内容: 学校施設である体育館やグラウンドを各種スポーツ団体に開放する。	毎年実施 開放校: 78校 回数: 17,259回 使用人数: 328,440人 内容: 学校施設である体育館やグラウンドを各種スポーツ団体に開放する。	毎年実施 開放校: 78校 回数: 17,857回 使用人数: 330,503人 内容: 学校施設である体育館やグラウンドを各種スポーツ団体に開放する。	毎年実施 開放校: 78校 内容: 学校施設である体育館やグラウンドを各種スポーツ団体に開放する。	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	地域住民がスポーツに親しみ、健康と体力の増進が図られた	・地域住民主体の活動拠点とした効率的な活用 ・配置している備品の配置状況等を確認 ・学校施設の開放の在り方の見直し	有 (公社)旭川市シルバー人材センター	スポーツ課
2	嵐山レクリエーション施設 (嵐山レクリエーション施設管理費)	旭川市	所在地: 旭川市江丹別町嵐山パークゴルフ場8コース72ホール, キャンプ場, 会議室ほか 利用者数: 39,254人	所在地: 旭川市江丹別町嵐山パークゴルフ場8コース72ホール, キャンプ場, 会議室他 利用者数: 39,367人	所在地: 旭川市江丹別町嵐山パークゴルフ場, センターハウスほか 利用者数: 36,079人	所在地: 旭川市江丹別町嵐山パークゴルフ場, センターハウスほか 利用者数: 33,523人	所在地: 旭川市江丹別町嵐山パークゴルフ場, センターハウス	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民の健康増進や、スポーツ振興に寄与しており、継続して取り組んでいくべき事業である。	冬季利用を含め、利用率向上に向けた取組、集客対策。	有 グリーンテックス(株)	スポーツ課
2	市民体育の日実施事業 (体育振興費)	旭川市	市民体育の日の実施 夏季: 6月第3週(6/16) 参加者数 スポーツカーニバル: 216人 市内体育施設など一般無料開放ほか: 1,892人 冬季: 2月第3週(2/16) 参加者数 冬のスポーツ体験会: 76人 市内体育施設一般無料開放ほか: 2,021人	市民体育の日の実施 夏季: 6月第3週(6/15) 参加者数スポーツカーニバル: 421人 市内体育施設など一般無料開放他: 2,505人 冬季: 2月第3週(2/15) 参加者数 オリビアンキッズノーボードレッスン21人 市内体育施設一般無料開放他: 2,063人	「市民体育の日」実施 夏季: 6月第3週(6/21) 参加人数: 162人 内容: キッズバイク大会 ノルディックウォーキングのつどい サイクリングの集い 市内体育施設一般開放: 1,173人 冬季: 2月第3週(2/21) 内容: 冬のみんなのスポーツ体験会 参加人数: 110人 市内体育施設一般開放人数: 1,300人	「市民体育の日」実施 夏季: 6月第3週(6/19) 参加人数: 109人 内容: 初めての方も大歓迎! スポーツ体験会(スケートボード体験, インドアクライミング体験, ノルディックウォーキングのつどい) 市内体育施設一般開放人数: 1,353人 冬季: 2月第3週(2/19) 内容: 冬のみんなのスポーツ体験会 参加人数: 96人 市内体育施設一般開放人数: 2,236人	「市民体育の日」実施 夏季: 6月第3週(6/18) 参加人数: 101人 内容: 「スポーツチャレンジ」(スケートボード体験会, インドアクライミング体験, キッズバイクぶちロングライド, ノルディックウォーキングのつどい) 市内体育施設一般開放人数: 人 冬季: 2月第3週(2/18) 内容: 参加人数: 市内体育施設一般開放人数: 人	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	市民のニーズにあった事業内容の展開を行い、市民のスポーツ実施率の向上を図る。	・市民が恒常的にスポーツ・運動に取り組む機会を提供するため、事業の内容を見直す必要がある。 ・幅広い年齢層を対象とするため、多様なスポーツ運動を紹介、体験できる場の設定を検討していく。	有 旭川ノルディックウォーキングクラブ等	スポーツ課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数, 参加者数, 内容等)	H29事業計画 (回数, 参加者数, 内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	忠和テニスコート (管理事務費)	旭川市	所在地：神居町忠和252-1 利用者数：26,437人 開設期間：4月20日～10月31日 硬式〈アクリル〉コート12面 軟式〈クレイ〉コート8面 夜間照明有り	所在地：神居町忠和252-1 利用者数：26,098人 開設期間：4月20日～10月31日 硬式〈アクリル〉コート12面 軟式〈クレイ〉コート8面 夜間照明有り	所在地：神居町忠和252-1 開設期間：4/20～10/31 硬式〈アクリル〉コート12面 軟式〈クレイ〉コート8面 夜間照明有り 利用者数：24,509人	所在地：神居町忠和252-1 開設期間：4/20～10/31 硬式〈アクリル〉コート12面 軟式〈クレイ〉コート8面 夜間照明有り 利用者数：25,959人	所在地：神居町忠和252-1 開設期間：4/20～10/31 硬式〈アクリル〉コート12面 軟式〈クレイ〉コート8面 夜間照明有り	<ul style="list-style-type: none"> ■市民 ■団体 ■その他 	市民の健康増進と体育の振興が図られた。	<p>課題： 市民のニーズ、ライフスタイルの把握に努め、市民が継続して取り組めるスポーツ・レクリエーションの紹介、実践の場を提供する事業を検討するとともに、関連団体、民間企業、地域住民等、横断的に役割分担を行い、効率的かつ効果的な市民主体の事業を展開する必要がある。</p> <p>方向性： (1) 行政～主体・主催から支援・協力。 (2) 市民～運動・スポーツ活動の取り組みと継続及び地域のスポーツ振興における担い手としての活躍。 (3) 地域・関係団体～地域のスポーツ振興における主体者及びスポーツによるまちづくりへの協力。</p>	有 (株) 旭川振興公社	スポーツ課
2	体育施設(屋内) (管理事務費) (大雪アリーナ管理費)	旭川市	利用者数： 旭川市総合体育館：154,444人 大雪アリーナ：309,947人 大成市民センター体育館：40,398人 東地区体育センター：42,101人 柔道場：4,247人	利用者数 旭川市総合体育館：147,060人 大雪アリーナ：294,214人 大成市民体育センター：43,908人 東地区体育センター：44,120人 柔道場：5,018人	利用者数 旭川市総合体育館：158,517人 旭川市大雪アリーナ：292,173人 大成市民センター体育館：47,282人 東地区体育センター：46,410人 柔道場：5,464人	利用者数 旭川市総合体育館：171,208人 旭川市大雪アリーナ：314,217人 大成市民センター体育館：46,169人 東地区体育センター：46,961人 柔道場：5,257人	旭川市総合体育館 旭川市大雪アリーナ 大成市民センター体育館 東地区体育センター 柔道場	<ul style="list-style-type: none"> ■市民 ■団体 ■その他 	指定管理者が実施する自主事業や設備改修によるサービス向上により、利用者数の増加が図られた。	<p>大成市民センター： イトーヨーカドーの今後の動向(改築・撤退等)について情報収集する。 柔道場： 1 外壁・内壁・窓等を修繕する 2 有効活用の検討(畳上でできる武道の紹介・PRなど) 3 東光スポーツ公園の武道館完成後のあり方は未定</p>	有 (公財) 旭川市体育協会 (株) 旭川振興公社 旭川市東地区体育センター運営委員会	スポーツ課
2	旭川市21世紀の森施設 (21世紀の森施設管理費)	旭川市	旭川市21世紀の森施設の開放 内容：施設の開放 利用者数：43,103人 ログハウス, タルハウス, バンガロー, キャンプ場, 森の湯, せせらぎ交流広場, サッカー場ほか	旭川市21世紀の森施設の開放 内容：施設の開放 利用者数：53,574人 ログハウス, タルハウス, バンガロー, キャンプ場, 森の湯, せせらぎ交流広場, サッカー場ほか	旭川市21世紀の森施設 内容：施設の開放 利用者数：53,492人 ログハウス, タルハウス, バンガロー, キャンプ場, 森の湯, せせらぎ交流広場, サッカー場ほか	旭川市21世紀の森施設 内容：施設の開放 利用者数：53,021人 ログハウス, タルハウス, バンガロー, キャンプ場, 森の湯, せせらぎ交流広場, サッカー場ほか	旭川市21世紀の森施設 内容：施設の開放	<ul style="list-style-type: none"> ■市民 ■団体 ■その他 	農村と都市との交流を促進し、並びに森林及び水辺空間における自然とのふれあいを通じて市民の心身の健康増進が図られた。	<p>・DVD配布等による広報活動の充実 ・平成26年4月に移管された道立21世紀の森施設の活用</p>	有 旭川市21世紀の森運営協議会	スポーツ課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	東部スケートリンク (管理事務費)	旭川市	東部スケートリンクの開放 所在地：豊岡3条1丁目〈東町 小学校・光陽中学校共用グラ ウンド〉 開設期間：12月20日～3月5日 利用者数：5,715人 スピードリンク1週200m×8m フィギュアリンク32m×40m	東部スケートリンクの開放 所在地：豊岡3条1丁目〈東町 小学校・光陽中学校共用グラ ウンド〉 開設期間：12月20日～3月5日 利用者数：4,734人 スピードリンク1周200m×8m フィギュアリンク32m×40m	東部スケートリンクの開放 所在地：豊岡3条1丁目〈東町 小学校・光陽中学校共用グラ ウンド〉 開設期間12月20日～3月5日 利用者数：4,198人 スピードリンク1周200m×8m フィギュアリンク32m×40m	東部スケートリンクの開放 所在地：豊岡3条1丁目〈東町 小学校・光陽中学校共用グラ ウンド〉 開設期間12月20日～3月5日 利用者数：3,742人 スピードリンク1周200m×8m フィギュアリンク32m×40m	東部スケートリンクの開放 所在地：豊岡3条1丁目〈東町 小学校・光陽中学校共用グラ ウンド〉 開設期間12月20日～3月5日 利用者数：3,742人 スピードリンク1周200m×8m フィギュアリンク32m×40m	■市民 ■団体 □その他	厳寒期の特色を活かしたス ケートリンクの造成によ り、冬季スポーツに親し み、健康と体力の増進を図 ることができた。	・利用率向上策の検討 ・カーリングレーンを利用 した大会開催、近隣町内会 や学校と連携したイベント 等を企画・検討	有 (株)旭川振興 公社	スポーツ課
2	パーサーロペット・ジャ パン (パーサーロペット・ジャ パン開催負担金)	旭川市	開催日：平成26年3月8日・9 日(2日間開催) 参加者数：2,702人 クロスカントリースキー・歩 くスキー・ミニロペット・ チームスプリント	開催日：平成27年3月14日・ 15日(2日間開催) 参加者数：3,012人 クロスカントリースキー・歩 くスキー ミニロペット・チームスプリ ント	開催日：平成28年3月12日・ 13日(2日間開催) 当日参加者数：2,638人 クロスカントリースキー・歩 くスキー・ミニロペット・ チームスプリント	開催日：平成29年3月11日・ 12日(2日間開催) 当日参加者数：2,571人 クロスカントリースキー・歩 くスキー・ミニロペット・ チームスプリント	開催日：平成30年3月10日・ 11日(2日間開催) 当日参加者数：2,571人 クロスカントリースキー・歩 くスキー・ミニロペット・ チームスプリント	■市民 ■団体 ■その他	・市民の健康増進やスポー ツ振興、大会の魅力向上等 のため、平成28年8月に企画 検討委員会を設立し、6回に わたり会議等を開催するな ど見直しを進めている。	・コース見直しに係る検討 ・大会の魅力向上など、参 加者増や財源確保に向けた 取組	有 旭川スキー連盟 等	スポーツ課
2	歩くスキーコース (管理事務費)	旭川市	コース開放の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬 利用者数 神楽岡公園コース：1,436人 春光台公園コース：5,372人	コース開放の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬 利用者数 神楽岡公園コース：1,878人 春光台公園コース：5,590人	コース開放の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬 利用者数：8,418人 神楽岡公園コース：3km 春光台公園コース：5km	コース開放の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬 利用者数：7,819人 神楽岡公園コース：3km 春光台公園コース：5km	コース開放及びスキーの貸出 の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬 利用者数：7,819人 神楽岡公園コース：3km 春光台公園コース：5km	■市民 ■団体 □その他	冬季スポーツの振興 歩くスキーの普及が図られ た。 市民が快適な環境でスポー ツを楽しむことができた。	・北彩都常設歩くスキー コースと神楽岡公園コース との繋がり、そのための旧 神楽橋の安全対策(土木部 との協議要) ・パーサー大会を視野に入 れたコースレイアウトを検 討する(支障物、実施の可 否、実施時期など)	有 (公財)旭川市 公園緑地協会	スポーツ課
2	北彩都歩くスキーコース (管理事務費)	旭川市	コース開放の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬 北彩都コース：3.5km	コース開放の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬 北彩都コース：3.5km	コース開放の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬 北彩都コース：3.5km	コース開放の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬 北彩都コース：3.0km	コース開放の実施 開放期間：12月中旬～3月上 旬(積雪状況による)	□市民 □団体 ■その他	北彩都地区に歩くスキー コースを整備し、市民や観 光客の健康増進と冬季ス ポーツ振興及び中心市街地 の活性化を図られた。	・冬季利用に対応できる公 園内の維持・安全対策、貸 しスキー対応に係る関係部 局との調整 ・施設の管理運営方法 (コース管理) ・工事の状況による暫定的 なコース設定(北彩都ガー デン、大池プロムナード 等) ・パーサーコースを考慮し たコース整備 ・コース図、案内看板の設 置場所、コース内距離表示 及び誘導板の設置 ・神楽岡公園コースとの連 結(旧神楽橋の安全対策― 土木部との協議要) ・関係部局と連携、協議し ながらコースレイアウト、 運営方法等の検討を進め る。 ・工事状況により、平成27 年度は暫定的なコース設定 とし、引き続き検討してい く。	有 (公財)旭川市 体育協会	スポーツ課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	富沢クロスカントリー コース (管理事務費)	旭川市	コース開放の実施 所在地：神居町富沢 開放時間：12月中旬～3月上旬 コース：2km, 3km, 5km, 10km 夜間照明有り	コース開放の実施 所在地：神居町富沢 開放時間：12月上旬～3月上旬 コース：2km, 3km, 5km, 10km 夜間照明有り	コース開放の実施 所在地：神居町富沢 開放期間：12月中旬～3月上旬 コース：2km, 3km, 5km, 10km 夜間照明あり	コース開放の実施 所在地：神居町富沢 開放期間：12月中旬～3月上旬 コース：2km, 3km, 5km, 10km 夜間照明あり	12月中旬～3月下旬 ※例年、3月31日までとして いるが、積雪状況により判断 している。 ※(今後は3月30日までと し、最終日は後片付けとする 方向)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	市民に対し冬期スポーツの 振興を促し、クロスカント リーの普及が図られた。	<ul style="list-style-type: none"> ・コースと市道の平面交差 地点の安全対策 ・効率的なコース整備 (バーサ-コースとの関連) ・A級公認コースの活用 ・スタートハウスの整備検 討 ・給油設備がないことから 生じる、給油時の油漏れに よる芝の損傷 ・暖冬によるシーズン始め の雪不足及び圧雪業務によ る芝の損傷 ・民有地の円滑な借上げ (相続等により、地権者の 把握が年々困難化) ・スタート地点、ゴール地 点の変更を含め、今後の整 備方針について検討する。 	有 (株)旭川振興 公社	スポーツ課
2	歩くスキーリユース事業 (ゼロ予算)	旭川市	歩くスキー用具の回収：68 セット 歩くスキー用具の無料貸出： 268セット 初心者講習会： H26.1.15 22人 H26.1.20 15人 H26.1.28 16人 H26.2.13 18人 H26.2.21 15人 H26.2.26 14人	歩くスキー用具の回収：105 セット 歩くスキー用具の無料貸出： 378セット 初心者講習会： H27.1.15 16人 H27.1.16 17人 H27.1.22 22人 H27.1.27 25人	歩くスキー用具の回収： H27.4.1～H28.3.31 回収数：72セット 歩くスキー用具の無料貸出： 12月下旬～3月下旬 貸出数：185セット 初心者講習会： 1月中旬～2月下旬 参加者数：73人	歩くスキー用具の回収： H28.4.1～H29.3.31 回収数：33セット 歩くスキー用具の無料貸出： H28.12.20～H29.3.21 貸出数：171セット 初心者講習会： H29.1.13 19人 H29.1.26 17人 H29.2.4 23人 H29.2.23 20人	歩くスキー用具の回収： H29.4～H30.3(予定) 歩くスキー用具の無料貸出： H29.12～H30.3(予定) 初心者講習会： H30.1～H30.2(予定)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	事業開始から5年以上経過 し、年々用具回収数は減少 しつつあるものの、無料貸 出希望者数は毎年100名以上 おり、歩くスキー未経験者 が初めて競技に参加する きっかけづくりとしては効 果が高く、また、ゼロ予算 事業であることを踏まえる とコストパフォーマンスに 優れた事業である。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の増加を目指すた め、本事業の市民への定着 化を図る必要がある。 ・若年層を中心に、利用者 の年齢層を拡大させる必要 がある。 ・事業の推進とクロスカ ントリースキー普及との連 動。 ・団体へ貸し出した際に特 に破損が目立つため、団体 貸し出しの是非を検討する 必要がある。 ・本事業の継続、マスコミ や市内広報等を活用した周 知活動による認知度の向上 を目指し、事業の定着化を 図る。 ・競技、趣味、健康づくり 等の幅広い目的に応じて市 民がクロスカントリース キーに取り組めるよう、イ ベント、研修、施設利用と 本事業を連動させた競技の 魅力の発信、普及活動を展 開する。 	有 旭川スキー連盟	スポーツ課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	旭川市民サイクリングの日((新)通年生涯スポーツ振興費)	旭川市	—	—	—	市民サイクリングの日体験イベント 開催時期：平成28年6月26日 サイクリング体験会 58人 ポタリング体験会 20人 キッズバイク体験会 10人	市民サイクリングの日体験イベント 開催時期：平成29年9月3日(日)未定 事業内容は検討中	■市民 □団体 □その他	市民の主体的なスポーツ・レクリエーション活動の機会の提供と環境づくりの推進、生涯スポーツの振興を図ることを目的に実施し、一定の効果が得られた。	・スポーツ実施率の向上につながる事業の在り方等について検討を行う。	有 旭川サイクリング協会等	スポーツ課
2	夏の野外体験週間・冬の野外体験活動の日((新)通年生涯スポーツ振興費)	旭川市	—	—	—	伊ノ沢市民スキー場の今後の在り方を検討するため、年間を通した利活用を展開し、スキー場の活性化と利用促進を図ることを目的とする、「伊ノ沢市民スキー場野外体験事業」を年2回実施した。 1 夏季(平成28年8月5日(金)～7日(日)10:00～16:00、7日は15:00まで) ① イベント ア 水をテーマにした体験ウォータースライダー、チャプルー、水鉄砲 イ 火をテーマにした体験ウ 子ども体験遊びリンピック エ セタ飾りをしよう オ 体験してみよう カ スラックラインを体験しよう ② 参加者数 約1,200人(5日200人、6日400人、7日600人) 2 冬季(平成29年1月22日(日)10:00～14:00) ① イベント ア スノーキッズバイク体験 イ エアボード体験 ウ ビニール袋ソリを作ってみよう エ 子ども体験遊びリンピック オ 宝探しゲーム カ その他 ソリアそび ② 参加者数 約500人	伊ノ沢市民スキー場の知名度向上や豊かな自然を利用したイベントを開催することにより、スキー場の通年での活用や冬季の利用者の確保を推進する ・時期 秋季(土日を予定) 冬季(大きなイベントと重ならない日程) ・内容 伊ノ沢市民スキー場通年活用促進事業を実施する。 (1) 常設体験広場 (2) アトラクション (3) 展示	■市民 □団体 □その他	年間を通した利活用により、スキー場の活性化と利用促進を図る。	ロープトウ設備の維持、整備とPR及び利用者数の増加を目指した魅力ある事業の展開。 今後の伊ノ沢市民スキー場の在り方を検討するため、神居東地区市民委員会、神居東地区小中学校、振興公社と連携しながら、通年利用の可能性を探る。	有 (株)旭川振興公社	スポーツ課
2	市民の健康を考える体育の日((新)通年生涯スポーツ振興費)	旭川市	—	—	—	開催時期：平成28年10月10日 内容：器機計測による体力測定及び保健師による健康相談等 参加人数：134人	—	■市民 □団体 □その他	体力測定及び健康相談の実施により、スポーツへの取組による健康寿命の延伸を図ることができた。平成29年度については他事業と統合するなど見直しを行った。	課題： 市民のニーズ、ライフスタイルの把握に努め、市民が継続して取り組めるスポー	有 (公財)旭川市体育協会等	スポーツ課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	旭川市民レクリエーション交流体験((新)通年生涯スポーツ振興費)	旭川市	—	—	—	開催時期：平成29年2月25日 内 容：ニュースポーツ、パラリンピック種目の体験会	—	■市民 □団体 □その他	高齢者や障がい者でも気軽に行うことができる競技の体験会により、スポーツ活動への取組みの機会を提供することができた。平成29年度については他事業と統合するなど見直しを行った。	レクリエーションの紹介、実践の場を提供する事業を検討するとともに、関連団体、民間企業、地域住民等、横断的に役割分担を行い、効率的かつ効果的な市民主体の事業を展開する必要がある。 方向性： (1) 行政～主体・主催から支援・協力。 (2) 市民～運動・スポーツ活動の取り組みと継続及び地域のスポーツ振興における担い手としての活躍。 (3) 地域・関係団体～地域のスポーツ振興における主体者及びスポーツによるまちづくりへの協力。	有 (公財)旭川市 体育協会等	スポーツ課
2	旭川ZOO体操普及事業((新)通年生涯スポーツ振興費)	旭川市	—	—	—	実施期間：通年 内 容：市民団体、施設、教育機関からの要請に対し、体操の講師を派遣、DVD等を活用し、年間イベントの際に準備体操、整理運動として体操を実施する。	実施期間：通年 内 容：市民団体、施設、教育機関からの要請に対し、体操の講師を派遣、DVD等を活用し、年間イベントの際に準備体操、整理運動として体操を実施する。	■市民 □団体 □その他	年齢性別を問わず、障がい者でも簡単に取り組める新たな運動としてできた体操であり、市民一人一人が生き生きと充実した生活を送ることを目的としており、今後も浸透を図る。		有 旭川市スポーツ 推進委員会	スポーツ課
2	なるほど健康教室(地域まちづくり推進事業費)	東鷹栖まちづくり推進協議会	回数：年4回 (6/27, 10/31, 1/23, 3/27) 参加者数：延べ144人 内容：健康教室の開催、健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	回数：年4回 (6/26, 10/23, 1/22, 3/26) 参加者数：延べ111名 内容：健康教室の開催、健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	回数：年4回 (6/25, 10/22, 1/28, 3/24) 参加者数：延べ93名 内容：健康教室の開催、健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	回数：年4回 (6/23, 10/27, 1/26, 3/23) 参加者数：延べ132名 内容：健康教室の開催、健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	回数：年4回 (6/22, 10/26, 1/25, 3/22) 参加者：未定 内容：健康教室の開催、健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	■市民 □団体 □その他	健康を地域の課題として、保健所と連携し事業を行ってきた。回数を重ねることで、地域に定着し、健康に対する意識を高め、健康づくりに寄与している。	参加者の固定化や内容のマンネリ化を防ぎ、幅広い世代が参加し交流できるように、周知方法や内容を見直しながら、継続して実施する。	無	東鷹栖まちづくり推進協議会 (東鷹栖支所内)
2	遠隔地介護予防教室事業(H26は江丹別地区介護予防教室事業)(介護予防普及啓発事業費)	旭川市	—	開催回数：12回 参加者数：延べ40人 内容：江丹別公民館を会場に、高齢者を対象とした認知症予防の脳トレーニングと筋力向上運動を実施。	開催回数：10回 内容：嵐山中央会館を会場に、高齢者を対象とした認知症予防の脳トレーニングと筋力向上運動を実施。	—	—	■市民 □団体 □その他	平成28年度からは、神居・江丹別地域包括支援センターが教室を引継ぎ、地区社協と共同で実施するため、介護高齢課としては平成27年度末で廃止。	—	有 市内法人	介護高齢課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	通所型介護予防事業(運動機能向上プログラム) (通所型介護予防事業費)	旭川市	開催回数：360回(12回×30コース+体力測定会20回) 参加者数：延べ5,751人 内容：事前事後アセスメント、ストレッチ、筋力向上運動等の実施。教室修了者を対象に体力測定会を実施。	開催回数：380回(12回×30コース+体力測定会20回) 参加者数：延べ6,905人 内容：事前事後アセスメント、ストレッチ、筋力向上運動等の実施。教室修了者を対象に体力測定会を実施。	開催回数：432回(12回×36コース) 参加者数：延べ7,205人 内容：事前事後アセスメント、ストレッチ、筋力向上運動等の実施。	開催回数：432回(12回×36コース) 参加者数：延べ6,924人 内容：事前事後アセスメント、ストレッチ、筋力向上運動等の実施。	—	■市民 (基本チェックリスト又は旭川市シニアライフ実態把握調査票のうち二次予防事業対象者と判定された方) <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	介護保険制度の改正に伴い、平成28年度末で事業を廃止。	—	有 市内法人	介護高齢課 地域支援担当
2	通所型介護予防事業(口腔機能向上プログラム) (通所型介護予防事業費)	旭川市	開催回数：120回(6回×18コース+同窓会12回) 参加者数：延べ1,273人 内容：事前事後アセスメント、口腔チェックや口腔運動の実施。教室修了者を対象に同窓会を実施。	開催回数：120回(6回×18コース+体力測定会12回) 参加者数：延べ1,648人 内容：事前事後アセスメント、口腔チェックや口腔運動を通じて口腔機能を維持・向上させる。	開催回数：112回(8回×14コース) 参加者数：延べ1,815人 内容：事前事後アセスメント、口腔チェックや口腔運動を通じて口腔機能を維持・向上させる。	開催回数：112回(7回×16コース) 参加者数：延べ1,493人 内容：事前事後アセスメント、口腔チェックや口腔運動を通じて口腔機能を維持・向上させる。	—	■市民 (基本チェックリスト又は旭川市シニアライフ実態把握調査票のうち二次予防事業対象者と判定された方) <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	介護保険制度の改正に伴い、平成28年度末で事業を廃止。	—	有 市内法人	介護高齢課 地域支援担当
2	一次予防運動教室事業 (介護予防普及事業費)	旭川市	開催回数：324回(12回×27コース) 参加者数：延べ7,541人 内容：高齢者を対象とした健康講話や筋力向上運動の実施	開催回数：324回(12回×27コース) 参加者数：延べ7,778人 内容：高齢者を対象とした健康講話や筋力向上運動の実施	開催回数：312回(12回×26コース) 参加者数：延べ8,702人 内容：高齢者を対象とした健康講話や筋力向上運動の実施	開催回数：300回(12回×25コース) 参加者数：延べ8,123人 内容：高齢者を対象とした健康講話や筋力向上運動の実施	—	■市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	介護保険制度の改正に伴い、平成28年度末で事業を廃止。 (平成29年度からは、地域介護予防運動教室事業として実施する。)	—	有 市内法人	介護高齢課 地域支援担当
2	介護予防運動教室事業 (介護予防普及啓発事業費)	旭川市	開催回数：154回(39回×2コース、38回×2コース) 参加者数：延べ7,400人 内容：高齢者を対象とした筋力向上運動の実施	いきいき運動教室 開催コース数：4コース 開催会場：いきいきセンター神楽、大成市民センター 参加者数：延べ9,937人 内容：高齢者を対象とした筋力向上運動を実施。	いきいき運動教室 開催コース数：5コース 開催会場：いきいきセンター神楽、大成市民センター 参加者数：延べ13,028人 内容：高齢者を対象とした筋力向上運動を実施。	いきいき運動教室 開催コース数：5コース 開催会場：いきいきセンター神楽、大成市民センター 参加者数：延べ11,779人 内容：高齢者を対象とした筋力向上運動を実施。	いきいき運動教室 開催コース数：7コース 開催会場：北部住民センター、いきいきセンター神楽、大成市民センター 参加者数：延べ11,779人 内容：高齢者を対象とした筋力向上運動を実施。	■市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	運動教室の実施により、地域における自発的な介護予防活動の促進が図られた。	定員を設けていないため、参加者数が多い場合、適当な運動スペースを確保することが難しくなるおそれがある。新たな会場で開催することで、参加者の分散化を図り、また、新たな参加者を募りながら事業を継続していく。	有 市内法人	介護高齢課 地域支援担当
2	旭老連パークゴルフ大会 (老人クラブ・高齢者いきいきの家運営費)	旭川市老人クラブ連合会	—	旭老連パークゴルフ大会の開催 開催日：8月21日 参加人数：184人 内容：パークゴルフ	旭老連パークゴルフ大会の開催 回数：1回 参加人数：188人 内容：パークゴルフ	旭老連パークゴルフ大会の開催 回数：1回 参加人数：184人 内容：パークゴルフ	旭老連パークゴルフ大会の開催 回数：1回 参加人数：190人 内容：パークゴルフ	■市民 ■団体 <input type="checkbox"/> その他	パークゴルフ大会を通じて高齢者相互の交流と親睦を図り、併せて健康増進と生きがいを高めることに寄与した。	老人クラブ会員の減少により今後参加人数の減少が懸念されるが、高齢者相互の交流と親睦を図り、健康増進と生きがいを高めるため継続する。	無	介護高齢課 生きがいが係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	旭老連ペタンク大会 (老人クラブ・高齢者い こいの家運営費)	旭川市老 人クラブ 連合会	—	旭老連ペタンク大会の開催 開催日：6月26日 参加人数：129人 内容：ペタンク競技	旭老連ペタンク大会の開催 回数：1回 参加人数：120人 内容：ペタンク競技	旭老連ペタンク大会の開催 回数：1回 参加人数：99人 内容：ペタンク競技	旭老連ペタンク大会の開催 回数：1回 参加人数：108人 内容：ペタンク競技	■市民 ■団体 □その他	ペタンク大会を通じて高齢 者相互の交流と親睦を図 り、併せて健康増進と生き がいを高めることに寄与し た。	老人クラブ会員の減少によ り今後参加人数の減少が懸 念されるが、高齢者相互の 交流と親睦を図り、健康増 進と生きがいを高めるため 継続する。	無	介護高齢課 生きがい係
2	長寿大運動会 (高齢者生きがい対策 費)	旭川市 旭川市老 人クラブ 連合会	開催回数：年1回 参加者数：1,071人 競技数：5種目	—	長寿大運動会の開催 回数：1回 参加人数：1,010人 内容：運動競技5種目	長寿大運動会の開催 回数：1回 参加人数：1,032人 内容：運動競技5種目	長寿大運動会の開催 回数：1回 参加人数：1,018人 内容：運動競技5種目	■市民 □団体 □その他	高齢者の健康増進や親睦を 深めることに寄与した。	参加クラブ、参加人数とも に減少傾向であるため、周 知方法等について検討を行 う必要がある。	有 旭川市老人クラ ブ連合会	介護高齢課 生きがい係
2	【再】健康相談・健康教 育 (介護予防普及事業費)	旭川市	1 健康相談 開催回数：21回 参加人数：延べ238人 2 健康教育 開催回数：108回 参加人数：延べ2,752人 内容：地域からの依頼に応じ て介護予防に関する相談や講 話や体操の実施	・健康相談 開催回数：20回 参加人数：延べ213人 ・健康教育 開催回数：90回 参加人数：延べ2,114人 内容：地域からの依頼に応じ て介護予防に関する相談や講 話や体操の実施	・健康相談 開催回数：17回 参加人数：延べ141人 ・健康教育 開催回数：62回 参加人数：延べ1,440人 内容：地域からの依頼に応じ て介護予防に関する相談や講 話や体操の実施	・健康相談 開催回数：13回 参加人数：延べ142人 ・健康教育 開催回数：39回 参加人数：延べ815人 内容：地域からの依頼に応じ て介護予防に関する相談や講 話や体操の実施	依頼による健康教教育及び健 康相談の開催 内容：老人クラブ、百寿大学 等で健康や介護予防に関する 知識の普及・啓発を図るため の健康教育を実施。	■市民 ■団体 □その他	広く認知症予防や低体力予 防等の介護予防の知識の普 及・啓発が図られた。	今後も老人クラブ等からの 依頼に応じ、健康教育及び 健康相談を実施していく が、地域で活動している団 体に対して継続的に支援を 行う地域包括支援センター と連携を図りながら、必要 に応じて役割分担を行いた いと考えている。	有 老人クラブ等 百寿大学	介護高齢課 地域支援担当
2	地域介護予防運動教室事 業 (介護予防普及啓発事業 費) ※平成28年度までは介護 予防普及事業費、平成29 年度からは介護予防普及 啓発事業費)	旭川市	—	—	—	—	①地域介護予防運動教室事業 (運動器機能向上プログラ ム) 開催回数：576回(16回×36 コース) 内容：地区センター等を会場 に、高齢者を対象とした健康 講話や筋力向上運動の実施 ②地域介護予防運動教室事業 (自主化支援強化プログラ ム) 開催回数：176回(16回×11 コース) 内容：地域の会館等を会場 に、高齢者を対象とした少人 数での運動教室の実施	■市民 □団体 □その他	—	教室終了後における参加 者の介護予防活動の継続が 課題。 地域包括支援センターと 連携を図りながら、自主的 な活動の場である通いの場 への参加を促し、又は通い の場の立ち上げ等を支援す る。	有 市内法人	介護高齢課 地域支援担当
2	【再】健康教育(企画) (保健事業費)	旭川市	回数：77回 参加者数：2,211人 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技及び調理実 習等	回数：59回 参加者数：1,772人 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技及び調理実 習等	回数：56回 参加者数：1,427人 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技等	回数：34回 参加者数：642人 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技等	回数：39回 内容：生活習慣病予防に関 する講話、運動実技等	■市民 ■団体 □その他	経年的に実施回数が減少し ているが、依頼による出前 健講座の多い地区は知識普 及の場が確保されているた め実施を見合わせているこ とが主な理由であり、各地 区の実情に応じた普及啓発 が実施できている。	健診データの分析や各種統 計を基に市の健康課題を整 理し、効果的な内容につい て検討する。	無	保健指導課 地域保健第1・2 係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	【再】健康教育 (依頼による出前健康講座) (保健事業費)	旭川市	回数：90回 参加人数：3,914人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：127回 参加者数：4,199人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：99回 参加者数：4,249人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：85回 参加者数：3,663人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：100回 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	■市民 ■団体 □その他	町内会等の地区組織だけではなく、企業や団体など、様々な依頼元のニーズに応じながら生活習慣病予防について普及啓発ができた。毎年依頼のある町内会や団体もあり、継続的な支援の機会にもなっている。	健診データの分析や各種統計を基に市の健康課題を整理し、効果的な内容について検討する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係
2	旭川市エコ通勤促進事業 (地球温暖化対策推進費)	旭川市	期間：5月1日～9月30日 参加事業所：計12事業所 参加人数：市内事業所411人、市役所818人 計1,229人	期間：5月1日～9月30日 参加事業所：計44事業所 参加人数：市内事業所671人、市役所778人 計1,449人	期間：5月1日～9月30日 参加事業所：計42事業所 参加人数：市内事業所682人、市役所702人 計1,384人	期間：5月1日～9月30日 参加事業所：計15事業所 参加人数：市内事業所400人、市役所1,005人 計1,405人 (平成28年度から市内事業者と庁内向けの取組内容、集計方法等を統一)	促進期間：5月1日～9月30日 強化週間：6月19日～6月30日 対象：市内の事業所及び旭川市役所各部局	■市民 ■団体 ■その他	民間事業者の参加者数は28年度減少したが、市役所庁内の参加者数は事業内容の見直しにより増加し、一定の効果は得られていると考える。	当該事業は地球温暖化対策が主たる目的であり、特に民間事業者については、副次的な要素の健康増進に係る啓発の効果を評価することは困難である。また、「旭川市地球温暖化対策実行計画」に基づき、当該事業の見直しを検討中である。	無	新エネルギー推進課 ※庁内向け健康づくり関係は人事課職員厚生担当
2	若者の郷運動施設開放 (若者の郷施設管理費)	旭川市	球技場やテニスコートなどスポーツ施設の一般開放 利用者数：球技場747人 テニスコート31人 遊歩道の一般開放 利用者数：実績不明	球技場やテニスコートの一般開放 遊歩道の一般開放	球技場やテニスコートの一般開放	球技場やテニスコートの一般開放	球技場やテニスコートの一般開放	■市民 □団体 □その他	運動を通じて農村と都市間の交流を図るとともに、健康増進に役立てた。	今後も継続予定	無	農政課
2	「とみはら自然の森」施設の開放 (林業行政費)	旭川市	野草自然観察会ほか 春・秋2回 21人参加 とみはら自然の森の遊歩道を歩きながら樹木や草花の講習を受け、自然を満喫する。	春の野草自然観察会 ・春(5月) 1回 ・参加者 10人 ・講師とともに野草観察を行う。	春の野草観察会 ・春(5月) 1回 ・参加者 10人 ・講師とともに野草観察を行った。	春の野草観察会 ・春(5月) 1回 ・参加者 14人 ・講師とともに野草観察を行った。	春の野草観察会 ・春(5月) 1回 ・参加者 20人 ・講師とともに野草観察を行う。	■市民 □団体 □その他	この地域にだけ自生する野草もあり、山野草に対する多くの知識を有している講師のファン、リピーターもいて、熱心に観察が行われている。	交通手段が自家用車によるしかなく、参加を断念する市民がいる。とみはら自然の森は狭く、20人程度による開催が適当であり、継続要望もある。	無	農林整備課 耕地林務係
2	花咲スポーツ公園 (公園管理費)	旭川市	硬式野球場 163,870人 軟式野球場 27,467人 陸上競技場 61,603人 馬場 5,119人 洋弓場 2,425人 和弓場 20,412人 球技場 13,687人 硬式テニスコート59,307人 軟式テニスコート83,755人 花咲プール 6,271人 冬期スケート利用 7,109人	硬式野球場 135,280名 軟式野球場 31,890名 陸上競技場 59,933名 馬場 5,119名 洋弓場 2,742名 和弓場 19,176名 球技場 12,290名 硬式テニスコート56,308名 軟式テニスコート82,369名 花咲プール 5,498名 冬期スケート利用 5,648名	硬式野球場 166,715名 軟式野球場 15,640名 陸上競技場 58,134名 馬場 4,928名 洋弓場 2,866名 和弓場 19,314名 球技場 14,398名 硬式テニスコート 67,211名 軟式テニスコート103,901名 花咲プール 5,319名 冬期スケート利用 5,540名	硬式野球場 93,230名 軟式野球場 20,353名 陸上競技場 66,768名 馬場 4,329名 洋弓場 4,317名 和弓場 19,839名 球技場 12,604名 硬式テニスコート 52,590名 軟式テニスコート 85,520名 花咲プール 6,350名 冬期スケート利用 6,471名	各種スポーツ団体による事業計画(プロ野球・陸上競技等各種大会)市としては事業計画なし	■市民 ■団体 □その他	施設として、市民の健康増進に役立っており必要不可欠である。	今後も、健康づくりに関わる施設として、継続して維持管理する。	有 行事主催団体(公財)旭川市公園緑地協会	公園みどり課 管理緑化係
2	石狩川水系緑地：運動公園 (公園管理費)	旭川市	野球場 96,461人 サッカー場 3,105人 ゲートボール場 675人 パークゴルフ場 92,059人	野球場 72,842名 サッカー場 1,919名 ゲートボール場 602名	野球場 81,629名 サッカー場 2,353名 ゲートボール場 724名	野球場 56,766名 サッカー場 1,616名 ゲートボール場 360名	各種スポーツ団体・市民による事業計画(野球・ソフトボール・テニス等)市としては事業計画なし	■市民 ■団体 □その他	〃	〃	有 行事主催団体(公財)旭川市公園緑地協会	公園みどり課 管理緑化係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数, 参加者数, 内容等)	H29事業計画 (回数, 参加者数, 内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	石狩川水系緑地 : 運動公園 (公園管理費)	旭川市	—	パークゴルフ場 132,331名	パークゴルフ場 140,328名	パークゴルフ場 127,312名	団体市民による事業計画 (パークゴルフ) 市としては 事業計画なし	■市民 ■団体 □その他	〃	〃	有 行事主催団体 グリーンテック ス株式会社	公園みどり課 管理緑化係
2	神楽岡公園・末広中央公 園・新富公園 (公園管理費)	旭川市	野 球 場 13,667人	野球場 12,801名	野球場 11,983名	野球場 12,181名	市民による事業計画(運動会 等) 市としては事業計画なし	■市民 □団体 □その他	〃	〃	有 行事主催団体 (公財)旭川市 公園緑地協会	公園みどり課 管理緑化係
2	忠和公園 (公園管理費)	旭川市	体 育 館 135,736人 パークゴルフ場 12,567人 多目的コート 778人 多目的広場 21,960人	体育館 150,253名 パークゴルフ場 11,291名 多目的コート 830名 多目的広場 1,990名	体 育 館 153,127名 パークゴルフ場 11,062名 多目的コート 556名 多目的広場 3,465名	体 育 館 158,168名 パークゴルフ場 9,001名 多目的コート 929名 多目的広場 4,760名	各種スポーツ団体による事業計 画各, 種行事(ヨガ教室な ど) 市としては事業計画なし	■市民 □団体 □その他	〃	〃	有 行事主催団体 (公財)旭川市 公園緑地協会	公園みどり課 管理緑化係
2	東豊公園 (公園管理費)	旭川市	体 育 館 17,783人 パークゴルフ場 10,113人	体育館 16,102名 パークゴルフ場 8,582名	体 育 館 17,983名 パークゴルフ場 8,073名	体 育 館 16,713名 パークゴルフ場 7,248名	各種スポーツ団体・市民によ る事業計画各種行事(遠足な ど) 市としては事業計画なし	■市民 □団体 □その他	〃	〃	有 行事主催団体 (公財)旭川市 公園緑地協会	公園みどり課 管理緑化係
2	その他の公園 (公園管理費)	旭川市	カムイの杜 テニスコート(夜間) 44人 多目的運動広場 9,580人 旭神・永山みず辺・春光台 パークゴルフ場 30,058人	カムイの杜 テニスコート(夜間) 122名 多目的運動広場 3,234名 春光台 パークゴルフ場 7,675名	カムイの杜 テニスコート(夜間) 162名 多目的運動広場 5,863名 春光台 パークゴルフ場 6,607名	カムイの杜 テニスコート(夜間) 232名 多目的運動広場 3,140名 春光台 パークゴルフ場 6,204名	市民による事業計画(運動会 等) 市としては事業計画なし	■市民 □団体 □その他	〃	〃	有 行事主催団体 (公財)旭川市 公園緑地協会	公園みどり課 管理緑化係
2	常磐公園・新富公園・千 代の山公園のプール (公園管理費)	旭川市	常磐プール 11,506人 新富プール 7,013人 千代の山プール 10,654人	常磐プール 10,661名 新富プール 5,840名 千代の山プール 10,276名	常磐プール 9,259名 新富プール 6,090名 千代の山プール 9,365名	常磐プール 9,560名 新富プール 5,883名 千代の山プール 10,091名	—	■市民 □団体 □その他	〃	〃	有 行事主催団体 (公財)旭川市 公園緑地協会	公園みどり課 管理緑化係
2	東光スポーツ公園 (公園管理費)	旭川市	軟式野球場 15,950人 同サブ球場 9,027人 パークゴルフ場 37,877人	軟式野球場(第一) 22,755名 軟式野球場(第二) 12,199名 パークゴルフ場 29,918名 球技場 63,056名	軟式野球場(第一) 19,039 名 軟式野球場(第二) 10,989 パークゴルフ場 32,420 名 球技場 91,374 名	軟式野球場(第一) 15,463名 軟式野球場(第二) 9,540名 パークゴルフ場 38,394名 球技場 68,313名	各種スポーツ団体・市民によ る事業計画(野球・サッカー 等等) 市としては事業計画な し	■市民 ■団体 □その他	〃	〃	有 行事主催団体 (公財)旭川市 公園緑地協会	公園みどり課 管理緑化係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数, 参加者数, 内容等)	H29事業計画 (回数, 参加者数, 内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
2	高齢者の健康問題・運動等 (公民館事業活動費)	旭川市	事業回数：91回 参加者数：高齢者3,825人 内容：市内各公民館の百寿大学, シニア大学におけるカリキュラム内での実施(健康に関する講話, 軽運動, 体操等)	事業回数：101回 参加者数：高齢者 3,972人 内容：市内各公民館の百寿大学, シニア大学におけるカリキュラム内での実施(健康に関する講話, 軽運動, 体操など)	事業回数：107回 参加者数：高齢者 4,315人 内容：市内各公民館の百寿大学, シニア大学におけるカリキュラム内での実施(健康に関する講話, 軽運動, 体操など)	事業回数：110回 参加者数：高齢者4,407人 内容：市内各公民館の百寿大学, シニア大学におけるカリキュラム内での実施(健康に関する講話, 軽運動, 体操など)	事業予定回数：100回 参加者予定数：高齢者4,300人 内容：市内各公民館の百寿大学, シニア大学におけるカリキュラム内での実施(健康に関する講話, 軽運動, 体操など)	■市民 □団体 □その他	健康の維持, 増進に対する市民意識の高まりに応じ, 各公民館及びシニア大学において健康づくりや軽運動に関する講座を積極的に実施し, 市民に多様な学習機会を提供することができた。	より多くの市民に健康に関する学習機会を提供できるよう, 今後も市の各部署や地域団体, 高等教育機関等と連携しながら, 市民の健康への意識を高め, 健康を維持, 増進するための公民館事業を実施していく。	有 旭川医大, 旭川大学, 地域包括支援センター等	公民館事業課 事業係
2	市民講座・健康教室等 (公民館事業活動費)	旭川市	実施回数：140回 参加者数：成人2,354人 内容：市内各公民館の成人向け講座において実施(健康に関する講話, 軽運動, ヨガ等)	実施回数：225回 参加者数：成人 3,750人 内容：市内各公民館の成人向け講座において実施(健康に関する講話, 軽運動, ヨガなど)	実施回数：153回 参加者数：成人 2,597人 内容：市内各公民館の成人向け講座において実施(健康に関する講話, 軽運動, ヨガなど)	実施回数：283回 参加者数：成人5,093人 内容：市内各公民館の成人向け講座において実施(健康に関する講話, 軽運動, ヨガなど)	実施予定回数：200回 参加者予定数：成人3,800人 内容：市内各公民館の成人向け講座において実施(健康に関する講話, 軽運動, ヨガなど)	■市民 □団体 □その他	健康の維持, 増進に対する市民意識の高まりに応じ, 各公民館及びシニア大学において健康づくりや軽運動に関する講座を積極的に実施し, 市民に多様な学習機会を提供することができた。	より多くの市民に健康に関する学習機会を提供できるよう, 今後も市の各部署や地域団体, 高等教育機関等と連携しながら, 市民の健康への意識を高め, 健康を維持, 増進するための公民館事業を実施していく。	有 旭川医大, 旭川大学, 地域包括支援センター等	公民館事業課 事業係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
3	【再】高齢者の生きがいづくりと世代間交流 (地域まちづくり推進事業費)	東旭川まちづくり推進協議会	—	—	回数：年1回 平成27年9月27日 参加者：親子25名 高齢者20名 地場産食材を活かした料理教室、食と健康をテーマとした講座を開催。	—	—	■市民 □団体 □その他	限りある補助金、人員の中で地域の様々な課題解決等のために事業実施する必要があり、H28は地域の記念誌作成や歴史資料の整理・保存事業を行うこととしたため。	継続して実施していくためには財源、地域の企画運営能力、人員等を必要とする。	無	東旭川まちづくり推進協議会事務局(東旭川支所内)
3	【再】健康で楽しく暮らせる東旭川 (地域まちづくり推進事業費)	東旭川まちづくり推進協議会	—	—	回数：年1回 平成27年8月4日 参加者：児童27名 高齢者25名 介護予防講座、昔遊びによる世代間交流を実施。	—	—	■市民 □団体 □その他	限りある補助金、人員の中で地域の様々な課題解決等のために事業実施する必要があり、H28は地域の記念誌作成や歴史資料の整理・保存事業を行うこととしたため。	継続して実施していくためには財源、地域の企画運営能力、人員等を必要とする。	無	東旭川まちづくり推進協議会事務局(東旭川支所内)
3	長寿社会生きがい振興事業 (長寿社会生きがい振興費)	旭川市社会福祉協議会 特定非営利活動法人カタクリの会	ふれあいのまちづくり事業(高齢者への会食サービス) 市民の地域貢献を基本に、高齢者の社会参加や生きがいづくり並びに生活援助等の事業を実施する団体等に対し補助を行った。	【地域支えあいのまちづくり推進事業】 【高齢者への会食サービス】 市民の地域貢献を基本に、高齢者の社会参加や生きがいづくり並びに生活援助等の事業を実施する団体等に対し補助を行う。	【ふれあいのまちづくり事業】 【高齢者への会食サービス】 市民の地域貢献を基本に、高齢者の社会参加や生きがいづくり並びに生活援助等の事業を実施する団体等に対し補助を行う。	【ふれあいのまちづくり事業】 【高齢者への会食サービス】 市民の地域貢献を基本に、高齢者の社会参加や生きがいづくり並びに生活援助等の事業を実施する団体等に対し補助を行った。	【ふれあいのまちづくり事業】 【高齢者への会食サービス】 市民の地域貢献を基本に、高齢者の社会参加や生きがいづくり並びに生活援助等の事業を実施する団体等に対し補助を行う。	■市民 ■団体 □その他	高齢者の生きがいの高揚や地域福祉の向上に資することができた。	全高齢者に対する受益者数が少ないことから、補助事業としてより効率的・効果的なものとなるよう、補助額を含めて事業内容を見直す必要がある。	有 市内法人	介護高齢課 生きがい係
3	高齢者ふれあい入浴事業 (高齢者ふれあい入浴事業補助金)	旭川浴場組合	旭川浴場組合が実施する「高齢者ふれあい入浴事業」のための必要な経費に対し補助金を交付した。 入浴客数：31,375人	旭川浴場組合が実施する「高齢者ふれあい入浴事業」のための必要な経費に対し補助金を交付した。 入浴客数：30,833人	旭川浴場組合が実施する「高齢者ふれあい入浴事業」のための必要な経費に対し補助金を交付する。	旭川浴場組合が実施する「高齢者ふれあい入浴事業」のための必要な経費に対し補助金を交付した。	旭川浴場組合が実施する「高齢者ふれあい入浴事業」のための必要な経費に対し補助金を交付する。	■市民 □団体 □その他	高齢者の心身の健康保持、世代間交流の促進、あわせて公衆浴場の入浴需要の喚起に繋がった。	今後、入浴料金統制額の変更等がある場合、利用者負担額や補助基準等の見直しについて、旭川浴場組合と協議を行う必要がある。	有 旭川浴場組合	介護高齢課 生きがい係
3	旭老連カラオケ交流会 (老人クラブ・高齢者いこいの家運営費)	旭川市老人クラブ連合会	—	旭老連カラオケ交流会の開催 開催日：7月18日 出場者：75人 来場者：690人 内容：カラオケ	旭老連カラオケ交流会の開催 回数：1回 出場者：77人 来場者：644人 内容：カラオケ	旭老連カラオケ交流会の開催 回数：1回 出場者：75人 来場者：596人 内容：カラオケ	旭老連カラオケ交流会の開催 回数：1回 出場者：80人 来場者：600人 内容：カラオケ	■市民 ■団体 □その他	カラオケ交流会を通じて高齢者相互の交流と親睦を図り、併せて健康増進と生きがいを高めることに寄与した。	老人クラブ会員の減少により今後参加人数の減少が懸念されるが、高齢者相互の交流と親睦を図り、健康増進と生きがいを高めるため継続する。	無	介護高齢課 生きがい係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
3	【再】健康相談・健康教育 (介護予防普及事業費)	旭川市	・健康相談 開催回数：21回 参加人数：延べ238人 ・健康教育 開催回数：108回 参加人数：延べ2,752人 内容：地域からの依頼に応じて介護予防に関する相談や講話や体操の実施	・健康相談 開催回数：20回 参加人数：延べ213人 ・健康教育 開催回数：90回 参加人数：延べ2,114人 内容：地域からの依頼に応じて介護予防に関する相談や講話や体操の実施	・健康相談 開催回数：17回 参加人数：延べ141人 ・健康教育 開催回数：62回 参加人数：延べ1,440人 内容：地域からの依頼に応じて介護予防に関する相談や講話や体操の実施	・健康相談 開催回数：13回 参加人数：延べ142人 ・健康教育 開催回数：39回 参加人数：延べ815人 内容：地域からの依頼に応じて介護予防に関する相談や講話や体操の実施	—	■市民 ■団体 □その他	依頼による健康教育及び健康相談の開催 内容：老人クラブ、百寿大学等で健康や介護予防に関する知識の普及・啓発を図るための健康教育を実施。	今後も老人クラブ等からの依頼に応じ、健康教育及び健康相談を実施していくが、地域で活動している団体に対して継続的に支援を行う地域包括支援センターと連携を図りながら、必要に応じて役割分担を行いたいと考えている。	有 老人クラブ等 百寿大学	介護高齢課 地域支援担当
3	【再】一次予防運動教室 (介護予防普及事業費)	旭川市	開催回数：324回(12回×27コース) 参加者数：延べ7,541人 内容：高齢者を対象とした健康講話や筋力向上運動の実施	開催回数：324回(12回×27コース) 参加者数：延べ7,778人 内容：高齢者を対象とした健康講話や筋力向上運動の実施	開催回数：312回(12回×26コース) 参加者数：延べ8,702人 内容：高齢者を対象とした健康講話や筋力向上運動の実施	開催回数：300回(12回×25コース) 参加者数：延べ8,123人 内容：高齢者を対象とした健康講話や筋力向上運動の実施	—	■市民 □団体 □その他	介護保険制度の改正に伴い、平成28年度末で事業を廃止。 (平成29年度からは、地域介護予防運動教室事業として実施する。)	—	有 市内法人	介護高齢課 地域支援担当
3	【再】旭老連パークゴルフ大会 (老人クラブ・高齢者いきいの家運営費)	旭川市老人クラブ連合会	—	旭老連パークゴルフ大会の開催 開催日：8月21日 参加人数：184人 内容：パークゴルフ	旭老連パークゴルフ大会の開催 回数：1回 参加人数：188人 内容：パークゴルフ	旭老連パークゴルフ大会の開催 回数：1回 参加人数：184人 内容：パークゴルフ	旭老連パークゴルフ大会の開催 回数：1回 参加人数：190人 内容：パークゴルフ	■市民 ■団体 □その他	パークゴルフ大会を通じて高齢者相互の交流と親睦を図り、併せて健康増進と生きがいを高めることに寄与した。	老人クラブ会員の減少により今後参加人数の減少が懸念されるが、高齢者相互の交流と親睦を図り、健康増進と生きがいを高めるため継続する。	無	介護高齢課 生きがい係
3	【再】旭老連ペタンク大会 (老人クラブ・高齢者いきいの家運営費)	旭川市老人クラブ連合会	—	旭老連ペタンク大会の開催 開催日：6月26日 参加人数：129人 内容：ペタンク競技	旭老連ペタンク大会の開催 回数：1回 参加人数：120人 内容：ペタンク競技	旭老連ペタンク大会の開催 回数：1回 参加人数：99人 内容：ペタンク競技	旭老連ペタンク大会の開催 回数：1回 参加人数：108人 内容：ペタンク競技	■市民 ■団体 □その他	ペタンク大会を通じて高齢者相互の交流と親睦を図り、併せて健康増進と生きがいを高めることに寄与した。	老人クラブ会員の減少により今後参加人数の減少が懸念されるが、高齢者相互の交流と親睦を図り、健康増進と生きがいを高めるため継続する。	無	介護高齢課 生きがい係
3	【再】長寿大運動会 (高齢者生きがい対策費)	旭川市老人クラブ連合会	開催回数：年1回 参加者数：1,071人 競技数：5種目	—	長寿大運動会の開催 回数：1回 参加人数：1,010人 内容：運動競技5種目	長寿大運動会の開催 回数：1回 参加人数：1,032人 内容：運動競技5種目	長寿大運動会の開催 回数：1回 参加人数：1,018人 内容：運動競技5種目	■市民 □団体 □その他	高齢者の健康増進や親睦を深めることに寄与した。	参加クラブ、参加人数ともに減少傾向であるため、周知方法等について検討を行う必要がある。	有 旭川市老人クラブ連合会	介護高齢課 生きがい係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
3	【再】地域介護予防運動教室事業 (介護予防普及啓発事業費) ※平成28年度までは介護予防普及事業費、平成29年度からは介護予防普及啓発事業費)	旭川市	—	—	—	—	①地域介護予防運動教室事業 (運動器機能向上プログラム) 開催回数：576回(16回×36コース) 内容：地区センター等を会場に、高齢者を対象とした健康講話や筋力向上運動の実施 ②地域介護予防運動教室事業 (自主化支援強化プログラム) 開催回数：176回(16回×11コース) 内容：地域の会館等を会場に、高齢者を対象とした少人数での運動教室の実施	■市民 □団体 □その他	—	教室終了後における参加者の介護予防活動の継続が課題。 地域包括支援センターと連携を図りながら、自主的な活動の場である通いの場への参加を促し、又は通いの場の立ち上げ等を支援する。	有 市内法人	介護高齢課 地域支援担当
3	青少年補導活動 (青少年事業費)	旭川市	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数：927回)	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数945回)	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数936回)	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数955回)	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数850回予定)	□市民 □団体 ■その他 (青少年とその保護者)	補導、呼びかけを行い、青少年の非行防止を図るとともに、未成年者の飲酒・喫煙防止を図った。	補導件数に占める飲酒・喫煙の割合は例年9割近くを占めており、今後も継続して取り組む必要がある。	有 道警サポートセンター、生徒補導協会等	子育て支援課 青少年係
3	【再】乳幼児健康診査 (母子保健推進費)	旭川市	4か月児健診 77回 2,261人/2,375人 受診率95.2% 1歳6か月児健診 72回 2,326人/2,419人 受診率96.2% 3歳児健診 70回 2,083人/2,227人 受診率93.5% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導、OT相談、ST相談等	実施回数・受診者数・受診率： 4か月児健診77回・2,322人・96.6% 1歳6か月児健診75回・2,338人・94.9% 3歳児健診67回・1,671人・95.3% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健康診査：回数77回、参加者数2,245人、受診率98.2% 1歳6か月児健康診査：回数71回、参加者数2,214人、受診率96.1% 3歳6か月児健康診査：回数69回、参加者数2,022人、受診率92.4% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健診：76回、2,260人、受診率98.3% 1歳6か月児健診：71回、2,265人、受診率97.3% 3歳6か月児健診：72回、2,300人、96.4% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健診：77回 1歳6か月児健診：73回 3歳6か月児健診：73回 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	■市民 □団体 □その他	例年、受診率は90%台を維持しており、児の健康状態の確認及び保護者支援の場として寄与している。	小児科医師をはじめとする専門職スタッフの恒常的な人材確保。継続した精度管理。	有 旭川市医師会、旭川医科大学病院口腔外科等	母子保健課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
3	【再】健康相談 (母子保健推進費)	旭川市	乳幼児健康相談 37回 525人/897人 幼児健康相談 45回 626人/858人 内容：身体計測、保健指導、 栄養指導、歯科指導、小児科 診察、OT相談、ST相談等	実施回数・受診者数(実/ 延)： 乳幼児健康相談37回・543人 /949人 幼児健康相談46回・479人/ 536人 内容：身体計測、保健指導、 栄養指導、歯科指導、小児科 診察、OT相談、ST相談	子育て相談実施回数：37回 来所者数：実509/延1,066人 内容：身体計測、発育・発達 相談、育児相談、栄養相談、 歯科相談 幼児健康相談実施回数：43回 来所者数：実420/延496人 内容：問診、身体計測、小児 科診察、心理士相談、栄養相 談、作業療法士相談、言語聴 覚士相談 電話健康相談 実施回数：243回 相談件数：456件	子育て相談実施回数：37回 来所者数：実547/延1,098人 内容：身体計測、発育・発達 相談、育児相談、栄養相談、 歯科相談 幼児健康相談実施回数：44回 来所者数：実501/延562人 内容：問診、身体計測、小児 科診察、心理士相談、栄養相 談、作業療法士相談、言語聴 覚士相談 電話健康相談 実施回数：244回 相談件数：461件	子育て相談：37回 内容：身体計測、発育・発達 相談、育児相談、栄養相談、 歯科相談 幼児健康相談：45回 内容：問診、身体計測、小児 科診察、心理士相談、栄養相 談、作業療法士相談、言語聴 覚士相談 電話健康相談：244回	■市民 □団体 □その他	子育て相談は利用希望者が 多く、申込断り者も多い現 状がある。専門的な相談が できる機会は少ないと考え られ、有益な機会になって いると考える。電話相談に ついては市民の相談に応じ ることで相談の解消に繋 げることができている。幼 児健康相談は、主に精神発 達や社会性について支援が 必要な幼児に対し、専門職 種の相談を実施しており、 早期に関係機関等に繋げる 機会として貴重な場となっ ている。	子育て相談については、利 用者のニーズに対応するた めに、会場・実施回数・定 員数・スタッフ数の確保に 向けた検討を継続してい く。幼児健康相談について も、専門職種の確保に向け た体制整備を行っていく。 電話相談については、今後 も引き続き適切な情報提供 や相談の解消等に向けて 職員の知識等の研鑽に努め ていく必要がある。(継続 実施)	有 旭川市医師会、旭 川医科大学病院 等	母子保健課
3	【再】妊婦健康相談 (母子保健推進費)	旭川市	相談者：166件 内容：母子健康手帳交付時に 相談のあった妊婦や、相談の 希望がなくても、ハイリス ク妊婦と判断した場合に面接 を実施	相談者：193件 内容：母子健康手帳交付時に 相談希望のあった妊婦及び 相談希望がない場合でもハイ リスク妊婦と判断した場合に 相談を実施	相談件数：185件 内容：母子健康手帳交付時の 妊婦の相談体制の強化を図 り、支援が必要な妊婦を早期 に把握し、支援につなげる。	相談件数：1,534件	妊婦健康相談：1,534件	■市民 □団体 □その他	H28より第二庁舎で妊娠届 出及び転入の手続きをした 妊婦については、保健師も しくは保育士と面接を行っ ているため相談者数が大幅 に増加している。届出時の 相談は、妊娠期からの切れ 目ない支援として対象者の 早期把握の機会として重要 な取組となっている。	継続支援を必要としない妊 婦についても何らかの不安 等は少なからず抱えている 場合が多く、届出時に気軽 に相談のできる体制整備は 必要である。(継続実施)	無	母子保健課
3	【再】妊婦健康診査 (すこやか親子事業費)	旭川市	回数：妊婦1人当たり14回 超音波健診4回 内容：母子健康手帳交付時に 妊婦健康診査受診票を発行 し、当該検査の助成を行う。	回数：妊婦1人当たり14回 超音波健康診査4回 内容：母子健康手帳交付時に 妊婦健康診査受診票を発行 し、当該検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14 回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,429件(実) 超音波検査2,197件(実) 内容：母子健康手帳交付時に 健康診査受診票を発行し当該 検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14 回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,342件(実) 超音波検査2,075件(実) 内容：母子健康手帳交付時に 健康診査受診票を発行し当該 検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14 回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,600件(実) 超音波検査2,600件(実) 内容：母子健康手帳交付時に 健康診査受診票を発行し当該 検査の助成を行う。	■市民 □団体 □その他	受診率は90%台を維持して おり、安心して妊娠・出産 ができる環境が整備されて いる。	保険外診療である妊婦健康 診査の受診料を助成し市民 の経済負担を解消すること で、定期的な受診を促し、 安心で安全な出産につなげ ていく必要がある。(継続 実施)	有 旭川市医師会、旭 川医科大学病 院、助産所	母子保健課
3	心の健康づくり相談 (地域精神保健活動費)	旭川市	1 定例精神保健相談(予約 制) 2件※医師・保健師が対応 2 定例外精神保健相談(来所 及び電話) 1,245件※保健師が対応 3 酒害相談 定例酒害相談 3件※断酒会会員が対応	1 定例精神保健相談(予約 制) 4件※医師・保健師が担当 2 定例外精神保健相談(来所 及び電話) 1,931件※保健師が対応 3 酒害相談 断酒会会員が対応	1 定例精神保健相談 (予約制) 4件※医師・保健師が担当 2 定例外精神保健相談 (来所及び電話) 2,074件※保健師が対応	1 定例精神保健相談 (予約制) 25件※医師・保健師が担当 2 定例外精神保健相談 (来所及び電話) 2,472件※保健師が対応	1 定例精神保健相談 (予約制) ※医師・保健師が担当 2 定例外精神保健相談 (来所及び電話) ※保健師が対応	■市民 □団体 □その他	精神保健相談件数について は年々増加しており、多様 化する現代の中で市民から の需要は高まっている。当 相談を実施することにより 市民の精神的健康の保持増 進に寄与することができて いる。	近年相談内容が複雑化して おり、また、多岐に渡るた め、対応する職員のスキル の向上及び庁内外の関係機 関との綿密な連携が重要と なっている。	有 精神科医療機関	健康推進課 こころの健康係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
3	訪問指導 (地域精神保健活動費)	旭川市	精神保健相談等、医療機関からの依頼、家族等の了解のもと、保健師が実施する。 92件	精神保健相談等、医療機関からの依頼、家族等の了解のもと、保健師が実施する。 97件	精神保健相談等、医療機関からの依頼、家族等の了解のもと、保健師が実施する。 67件	精神保健相談等、医療機関からの依頼、家族等の了解のもと、保健師が実施する。 118件	精神保健相談等、医療機関からの依頼、家族等の了解のもと、保健師が実施する。	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	訪問による相談指導が必要な精神障害者及び家族について実施し、精神的健康の保持増進を図るための助言等を行うことができています。	本人や家族に対する十分な説明と同意の下、訪問指導を必要とする対象者には継続し実施する。また、関係部署、関係機関との同伴訪問が増加している傾向にあり、協力して効果的な支援に努めていく。	無	健康推進課 こころの健康係
3	普及啓発活動 (地域精神保健活動費)	旭川市	1 精神保健講演会(自殺対策講演会を含む) 年2回 2 精神保健福祉家族学習会 年1回 3 健康教育 14回 4 自殺対策・各種啓発物品作成及び配布等の実施	1 精神保健講演会(自殺対策講演会を含む) 年2回 2 精神保健福祉家族学習会 年1回 3 健康教育 7回 4 自殺対策・各種啓発物品作成及び配布等の実施 5 自殺対策研修会 2回	1 精神保健講演会(自殺対策講演会を含む) 1回 2 精神保健福祉家族学習会 2回 3 健康教育 9回 4 自殺対策・各種啓発物品作成及び配布等の実施 5 自殺対策研修会 9回	1 精神保健福祉家族学習会 2回 2 健康教育 17回 3 自殺対策・各種啓発物品作成及び配布等の実施 4 自殺対策研修会 10回	1 精神保健福祉家族学習会 2回 2 健康教育 3 自殺対策研修会 10回	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	精神保健講演会では、多様化する社会の中で市民のニーズに合ったテーマを選定し実施することができています。H26年より若年層への自殺対策として市内大学、専門学校への理解、協力を得て自殺対策研修会を実施しており、H27～28年はより多くの学校、学生を対象に普及啓発できた。内容についても、学生が身近な問題として自殺予防を考え実践できるものとなるよう検討、工夫し実施できた。	精神保健講演会についてはH28年より精神衛生協会の予算で実施となっているが、今後も社会情勢や市民のニーズに応じたテーマの選定に努める。その他精神保健事業において、精神障害に関わる正しい知識の普及、理解を深めるため一般の方向けの出前講座などを継続して実施する。自殺対策研修会についてはより多くの学生の参加をねらい、教育機関等への理解や協力を得ていく必要がある。	有 北海道家庭生活 カウンセラー旭 川クラブ、 北・ほっかいど う総合カウンセ リング支援セン ター	健康推進課 こころの健康係
3	各種団体への支援 (旭川いのちの電話相談員養成事業補助金)	旭川市	社会福祉法人旭川いのちの電話に対して、相談員養成事業補助金を交付する。	社会福祉法人旭川いのちの電話に対して、相談員養成事業補助金を交付する。	社会福祉法人旭川いのちの電話に対して、相談員養成事業補助金を交付する	社会福祉法人旭川いのちの電話に対して、相談員養成事業補助金を交付する	社会福祉法人旭川いのちの電話に対して、相談員養成事業補助金を交付する	<input type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	年度ごとに、相談員養成事業に対して600,000円の補助金を交付し、団体の維持に貢献した。また、市民広報誌に相談員募集の記事を掲載する等をして、相談員確保のための方策をとった。	相談員の減少により、24時間相談体制の維持が難しくなっているため、相談員確保のための方策を旭川いのちの電話と協議する。	有 社会福祉法人旭 川いのちの電話	健康推進課 こころの健康係
3	【再】健康教育(企画) (保健事業費)	旭川市	回数：77回 参加者数：2,211人 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技及び調理実習等	回数：59回 参加者数：1,772人 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技及び調理実習等	回数：56回 参加者数：1,427人 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技等	回数：34回 参加者数：642人 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技等	回数：39回 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技等	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	経年的に実施回数が減少しているが、依頼による出前健診の多い地区は知識普及の場が確保されているため実施を見合わせていることが主な理由であり、各地区の実情に応じた普及啓発が実施できている。	健診データの分析や各種統計を基に市の健康課題を整理し、効果的な内容について検討する。	無	保健指導課 地域保健第1・2 係
3	【再】健康教育 (依頼による出前健康講座) (保健事業費)	旭川市	回数：90回 参加人数：3,914人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：127回 参加者数：4,199人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：99回 参加者数：4,249人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：85回 参加者数：3,663人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：100回 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	町内会等の地区組織だけではなく、企業や団体など、様々な依頼元のニーズに応じて生活習慣病予防について普及啓発ができた。毎年依頼のある町内会や団体もあり、継続的な支援の機会にもなっている。	健診データの分析や各種統計を基に市の健康課題を整理し、効果的な内容について検討する。	無	保健指導課 地域保健第1・2 係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
4	【再】通所型介護予防事業 (口腔機能向上プログラム) (通所型介護予防事業費)	旭川市	開催回数：120回(6回×18コース+同窓会12回) 参加者数：延べ1,273人 内容：事前事後アセスメント、口腔チェックや口腔運動の実施。教室修了者を対象に同窓会を実施。	開催回数：120回(6回×18コース+体力測定会12回) 参加者数：延べ1,648人 内容：事前事後アセスメント、口腔チェックや口腔運動を通じて口腔機能を維持・向上させる。	開催回数：112回(8回×14コース) 参加者数：延べ1,815人 内容：事前事後アセスメント、口腔チェックや口腔運動を通じて口腔機能を維持・向上させる。	開催回数：112回(7回×16コース) 参加者数：延べ1,493人 内容：事前事後アセスメント、口腔チェックや口腔運動を通じて口腔機能を維持・向上させる。	—	■市民 (基本チェックリスト又は旭川市シニアライフ実態把握調査票のうち二次予防事業対象者と判定された方) <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	介護保険制度の改正に伴い、平成28年度末で事業を廃止。	—	有 市内法人	介護高齢課 地域支援担当
4	【再】乳幼児健康診査 (母子保健推進費)	旭川市	4か月児健診 77回 2,261人/2,375人 受診率95.2% 1歳6か月児健診 72回 2,326人/2,419人 受診率96.2% 3歳児健診 70回 2,083人/2,227人 受診率93.5% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導、OT相談、ST相談等	実施回数・受診者数・受診率： 4か月児健診77回・2,322人・96.6% 1歳6か月児健診75回・2,338人・94.9% 3歳児健診67回・1,671人・95.3% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健康診査：回数77回、参加者数2,245人、受診率98.2% 1歳6か月児健康診査：回数71回、参加者数2,214人、受診率96.1% 3歳6か月児健康診査：回数69回、参加者数2,022人、受診率92.4% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健診：76回、2,260人、受診率98.3% 1歳6か月児健診：71回、2,265人、受診率97.3% 3歳6か月児健診：72回、2,300人、96.4% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健診：77回 1歳6か月児健診：73回 3歳6か月児健診：73回 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	■市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	例年、受診率は90%台を維持しており、児の健康状態の確認及び保護者支援の場として寄与している。	小児科医師をはじめとする専門職スタッフの恒常的な人材確保。継続した精度管理。	有 旭川市医師会、旭川医科大学病院口腔外科等	母子保健課
4	【再】健康相談 (母子保健推進費)	旭川市	乳幼児健康相談 37回 525人/897人 幼児健康相談 45回 626人/858人 内容：身体計測、保健指導、栄養指導、歯科指導、小児科診察、OT相談、ST相談等	実施回数・受診者数(実/延)： 乳幼児健康相談37回・543人/949人 幼児健康相談46回・479人/536人 内容：身体計測、保健指導、栄養指導、歯科指導、小児科診察、OT相談、ST相談	子育て相談実施回数：37回来所者数：実509/延1,066人 内容：身体計測、発育・発達相談、育児相談、栄養相談、歯科相談 幼児健康相談実施回数：43回来所者数：実420/延496人 内容：問診、身体計測、小児科診察、心理士相談、栄養相談、作業療法士相談、言語聴覚士相談 電話健康相談 実施回数：243回 相談件数：456件	子育て相談実施回数：37回来所者数：実547/延1,098人 内容：身体計測、発育・発達相談、育児相談、栄養相談、歯科相談 幼児健康相談実施回数：44回来所者数：実501/延562人 内容：問診、身体計測、小児科診察、心理士相談、栄養相談、作業療法士相談、言語聴覚士相談 電話健康相談 実施回数：244回 相談件数：461件	子育て相談：37回 内容：身体計測、発育・発達相談、育児相談、栄養相談、歯科相談 幼児健康相談：45回 内容：問診、身体計測、小児科診察、心理士相談、栄養相談、作業療法士相談、言語聴覚士相談 電話健康相談：244回	■市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	子育て相談は利用希望者が多く、申込断り者も多い現状がある。専門的な相談ができる機会は少ないと考えられ、有益な機会になっていると考える。電話相談についても市民の相談に応じることができている。幼児健康相談は、主に精神発達や社会性について支援が必要な幼児に対し、専門職種の相談を実施しており、早期に関係機関等に繋げる機会として貴重な場となっている。	子育て相談については、利用者のニーズに対応するために、会場・実施回数・定員数・スタッフ数の確保に向けた検討を継続していく。幼児健康相談についても、専門職種の確保に向けた体制整備を行っていく。電話相談については、今後も引き続き適切な情報提供や相談事の解消等に向けて職員の知識等の研鑽に努めていく必要がある。(継続実施)	有 旭川市医師会、旭川医科大学病院等	母子保健課
4	【再】妊婦健康相談 (母子保健推進費)	旭川市	相談者：166件 内容：母子健康手帳交付時に相談のあった妊婦や、相談の希望がなくても、ハイリスク妊婦と判断した場合に面接を実施	相談者：193件 内容：母子健康手帳交付時に相談希望のあった妊婦及び相談希望がない場合でもハイリスク妊婦と判断した場合に相談を実施	相談件数：185件 内容：母子健康手帳交付時の妊婦の相談体制の強化を図り、支援が必要な妊婦を早期に把握し、支援につなげる。	相談件数：1,534件	妊婦健康相談：1,534件	■市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	H28より第二庁舎で妊娠届出及び転入の手続きをした妊婦については、保健師もしくは保育士と面接を行っているため相談者数が大幅に増加している。届出時の相談は、妊娠期からの切れ目ない支援として対象者の早期把握の機会として重要な取組となっている。	継続支援を必要としない妊婦についても何らかの不安等は少なからず抱えている場合が多く、届出時に気軽に相談のできる体制整備は必要である。(継続実施)	無	母子保健課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
4	【再】妊婦健康診査 (すこやか親子事業費)	旭川市	回数：妊婦1人当たり14回 超音波健診4回 内容：母子健康手帳交付時に妊婦健康診査受診票を発行し、当該検査の助成を行う。	回数：妊婦1人当たり14回、 超音波健康診査4回 内容：母子健康手帳交付時に妊婦健康診査受診票を発行し、当該検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14回 超音波検査4回 受診者数：妊婦健診2,429件(実) 超音波検査2,197件(実) 内容：母子保健手帳交付時に健康診査受診票を発行し当該検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,342件(実) 超音波検査2,075件(実) 内容：母子保健手帳交付時に健康診査受診票を発行し当該検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,600件(実) 超音波検査2,600件(実) 内容：母子保健手帳交付時に健康診査受診票を発行し当該検査の助成を行う。	■市民 □団体 □その他	受診率は90%台を維持しており、安心して妊娠・出産ができる環境が整備されている。	保険外診療である妊婦健康診査の受診料を助成し市民の経済負担を解消することで、定期的な受診を促し、安心して安全な出産につなげていく必要がある。(継続実施)	有 旭川市医師会、旭川医科大学病院、助産所	母子保健課
4	乳幼児健康相談(乳幼児歯科相談) (歯科保健推進費) (母子保健推進費)	旭川市	実施回数：乳幼児(子育て)健康相談37回、幼児健康相談45回 歯科相談数：延べ436人	実施回数：乳幼児(子育て)健康相談37回、幼児健康相談46回 歯科相談数：延べ424人	実施回数：乳幼児(子育て)健康相談37回、幼児健康相談43回 歯科相談数：延べ449人	実施回数：乳幼児(子育て)健康相談37回 歯科相談数：延べ385人	実施回数：乳幼児(子育て)健康相談37回	■市民 □団体 □その他	個別に口腔状態や歯みがきなどの相談に応じ、必要な情報提供を行うことにより、育児不安の解消やよりよい生活習慣の育成に役立っている。	情報提供資料等については内容の見直しや工夫を行いながら継続して実施。	無	健康推進課 健康推進係
4	乳幼児健康診査(乳幼児歯科健診) (歯科保健推進費) (母子保健推進費)	旭川市	実施回数：4か月児健診77回 1歳6か月児健診72回 3歳児健診70回 歯科健診受診数： 1-6歳 2,326人 3歳 2,065人	実施回数：4か月児健診77回 1歳6か月児健診72回 3歳児健診70回 歯科健診受診数： 1-6歳 2,338人 3歳 1,665人	実施回数：4か月児健診77回 1歳6か月児健診71回 3歳児健診69回 歯科健診受診数： 1-6歳 2,212人 3歳 2,012人	実施回数：4か月児健診77回 1歳6か月児健診71回 3歳児健診71回 歯科健診受診数： 1-6歳 2,264人 3歳 2,273人	実施回数：4か月児健診77回 1歳6か月児健診73回 3歳児健診73回	■市民 □団体 □その他	1歳6か月児・3歳児健診では全受診者への歯科指導を実施し、歯・口の健康づくりについての積極的な情報提供の機会となっている。4か月児健診においても資料配付を実施し情報提供を行っている。	情報提供資料等については内容の見直しや工夫を行いながら継続して実施。	有 旭川医科大学 歯科口腔外科	健康推進課 健康推進係
4	歯科健康教室 (歯科保健推進費)	旭川市	—	—	歯と口の秘密を知ろう！～親子体験歯磨き研究室～ 実施回数：1回 参加数：9人	—	—	■市民 □団体 □その他	平成27年度に「あさひかわ食育推進月間」の取り組みが始まったことに伴い、関連して歯科健康教室を実施した。よく噛むこと、歯や口の健康づくりについて、体験を通じた情報提供が行えた。	よく噛むことへの意識を高め、歯や口の健康づくりについて正しい知識を普及することについて、学童期を含め、平成28年度から、よく噛む健康づくり推進事業として実施。	無	健康推進課 健康推進係
4	歯と口の健康づくりパネル展 (旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ」) (歯科保健推進費)	旭川市	—	歯・口腔の健康づくりに関するパネル・ポスター展の開催 展示期間：3日間	—	—	—	■市民 □団体 □その他	平成26年度の旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ」において、「食と健康」のテーマ展示が行われたことから、歯と口の健康づくり、よく噛むことなどを啓発するパネル展を単年度で実施。	パネル展は、北海道歯・口腔の健康づくり8020推進週間関連事業として毎年実施してきており、ほかにも実施可能な機会について検討していく。	無	健康推進課 健康推進係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
4	歯周病ケア普及歯科健診 (歯科保健推進費)	旭川市	満30・40・50・60・70歳及び妊産婦で、職場等で歯科健診を受ける機会のない方を対象に、協力医療機関で歯科健診を行う。 受診数：384人 内容：歯周病の検査、歯周病予防・改善のための指導	満30・40・50・60・70歳及び妊産婦で、職場等で歯科健診を受ける機会のない方を対象に、協力医療機関で歯科健診を行う。 受診数：458人 内容：歯周病の検査、歯周病予防・改善のための指導	満30・40・50・60・70歳及び妊産婦で、職場等で歯科健診を受ける機会のない方を対象に、協力医療機関で歯科健診を行う。 受診数：439人 内容：歯周病の検査、歯周病予防・改善のための指導	満30・40・50・60・70歳及び妊産婦で、職場等で歯科健診を受ける機会のない方を対象に、協力医療機関で歯科健診を行う。 受診数：401人 内容：歯周病の検査、歯周病予防・改善のための指導	満30・40・50・60・70歳の者及び妊産婦で、職場等で歯科健診を受ける機会のない方を対象に、協力医療機関で歯科健診を行う。 内容：歯周病の検査、歯周病予防・改善のための指導	■市民 □団体 □その他	歯周病のリスクが高まる妊娠期間を含め、成人期の口腔疾患やその予防管理方法についての普及啓発につながっている。	受診数が低調なことから、効果的な周知方法等の工夫や、歯・口腔の健康維持と全身の健康との関連などについて普及啓発を継続していくことが必要。	有 旭川歯科医師会	健康推進課 健康推進係
4	歯の健康キャンペーン (歯科保健推進費)	旭川市 旭川歯科医師会	開催回数：年1回 来場数：1,708人 内容：フッ化物塗布、歯科相談、栄養相談、親子のよい歯のコンクール表彰式等	開催回数：年1回 来場数：1,852人 内容：フッ化物塗布、歯科相談、栄養相談、親子のよい歯のコンクール表彰式等	開催回数：年1回 来場数：2,061人 内容：フッ化物塗布、歯科相談、栄養相談、親子のよい歯のコンクール表彰式等	開催回数：年1回 来場数：1,948人 内容：フッ化物塗布、歯科相談、栄養相談、親子のよい歯のコンクール表彰式等	開催回数：年1回 参加予定数：2,000人 内容：フッ化物塗布、歯科相談、栄養相談、フッ化物洗口体験、親子のよい歯のコンクール表彰式等	■市民 □団体 □その他	歯と口の健康週間に関連して啓発事業を実施。毎回800人程のフッ化物塗布利用者があり、幼児期からの予防受診や歯・口の健康づくりに役立っている。	経費の削減が続いており、経費の節減、内容の充実について、工夫を行いながら事業を継続。	有 北海道歯科衛生士会旭川支部、旭川歯科学院専門学校など	健康推進課 健康推進係
4	親子のよい歯のコンクール (歯科保健推進費)	旭川市 旭川歯科医師会	開催回数：年1回 内容：前年度3歳児健康診査を受診した児とその親を対象に公募により審査を行い表彰最優秀賞1組、優秀賞1組	開催回数：年1回 内容：前年度3歳児健康診査を受診した児とその親を対象に公募により審査を行い表彰最優秀賞1組、優秀賞1組	開催回数：年1回 内容：前年度3歳児健康診査を受診した児とその親を対象に公募により審査を行い表彰最優秀賞1組、優秀賞1組	開催回数：年1回 内容：前年度3歳児健康診査を受診した児とその親を対象に公募により審査を行い表彰最優秀賞1組	開催回数：年1回 内容：前年度3歳児健康診査を受診した児とその親を対象に公募により審査を行い表彰最優秀賞1組	■市民 □団体 □その他	歯と口の健康週間に関連して表彰式と受賞者の公表を行うことにより、歯・口の健康づくりを含めたよりよい生活習慣意識の啓発に役立っている。最優秀の親子を道大会に推薦しており、道大会における入賞も多い。	応募数が低調なことから、周知方法の工夫等を行いながら継続して実施。	有 上川中部地域歯科保健推進協議会	健康推進課 健康推進係
4	北海道歯・口腔の健康づくり8020推進週間関連事業 (歯科保健推進費)	旭川市	歯・口腔の健康づくり8020パネル・ポスター展の開催 展示期間：7日間	歯・口腔の健康づくり8020パネル・ポスター展の開催 展示期間：7日間	歯・口腔の健康づくり8020パネル・ポスター展の開催 展示期間：7日間	歯・口腔の健康づくり8020パネル・ポスター展の開催 展示期間：7日間	パネル展等の開催 開催回数：年1回	■市民 □団体 □その他	北海道歯・口腔の健康づくり8020推進週間の取り組みとして啓発事業を実施。パネル・ポスター展にあわせ大人歯みがき教室を開催するなど、効果的な普及啓発を図っている。	内容の見直しや工夫を行いながら継続して実施。	無	健康推進課 健康推進係
4	関係機関・団体と連携した歯科保健啓発事業 (歯科保健推進費)	上川中部地域歯科保健推進協議会	上川中部地域歯科保健推進協議会、その他関係団体と連携し、講演会、研修会などの実施 講演・研修会等実施回数：4回 参加数：延べ357人 ほか、高齢者の歯のコンクール（表彰10名）の開催など	上川中部地域歯科保健推進協議会、その他関係団体と連携し、講演会、研修会などの実施 講演・研修会等実施回数：4回 参加数：延べ431人 ほか、高齢者の歯のコンクール（表彰10名）の開催など	上川中部地域歯科保健推進協議会、その他関係団体と連携し、講演会、研修会などの実施 講演・研修会等実施回数：3回 参加数：延べ323人 ほか、高齢者の歯のコンクール（表彰10名）の開催など	上川中部地域歯科保健推進協議会、その他関係団体と連携し、講演会、研修会などの実施 講演・研修会等実施回数：4回 参加数：延べ592人 ほか、高齢者の歯のコンクール（表彰10名）の開催など	上川中部地域歯科保健推進協議会、その他関係団体と連携し、講演会、8020高齢者の歯のコンクールなどの実施	■市民 □団体 ■その他	食育推進、むし歯・歯周病予防、口腔ケア、医療連携等に関連したテーマで、広く関係機関・団体と連携した啓発・研修事業が実施できた。	歯科保健推進に係る経費の削減が続く、また、口腔保健支援センターについて未設置である中、幅広い啓発事業、歯科医療等業務従事者に対する情報提供や研修が実施できており、引き続き関係機関・団体との連携を密にし、各種事業の充実を図る。	有 旭川歯科医師会、北海道歯科衛生士会旭川支部など	健康推進課 健康推進係
4	幼児むし歯予防（フッ素洗口）事業補助 (歯科保健推進費)	旭川歯科医師会	旭川歯科医師会が行う幼児むし歯予防（フッ素洗口）事業に対し補助 実施施設数：41施設	旭川歯科医師会が行う幼児むし歯予防（フッ素洗口）事業に対し補助 実施施設数：41施設	旭川歯科医師会が行う幼児むし歯予防（フッ素洗口）事業に対し補助 実施施設数：40施設	旭川歯科医師会が行う幼児むし歯予防（フッ素洗口）事業に対し補助 実施施設数：40施設	旭川歯科医師会が行う幼児むし歯予防（フッ素洗口）事業に対し補助 実施予定施設数：40施設	■市民 □団体 ■その他	子どもの歯科保健に対する意識の向上と、口腔の健康づくりに役立っている。むし歯予防事業として浸透してきており、学童期への拡充の基盤となっている。	実施施設数は横這いとなっていることから、むし歯予防のためのフッ化物の利用について普及啓発を継続していくことが必要。	有	健康推進課 健康推進係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数, 参加者数, 内容等)	H29事業計画 (回数, 参加者数, 内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
4	絵本と歯ブラシでコミュニケーション (歯科保健推進費)	旭川市	絵本の読み聞かせと歯みがき指導の実施 実施回数: 1回 参加数: 11組	絵本の読み聞かせと歯みがき指導の実施 実施回数: 1回 参加数: 11組	絵本の読み聞かせと歯みがき指導の実施 実施回数: 1回 参加数: 22組	絵本の読み聞かせと歯みがき指導の実施 実施回数: 1回 参加数: 7組	絵本の読み聞かせと歯みがき指導の実施 実施回数: 1回	■市民 □団体 □その他	歯みがき指導と食生活や図書の利用についての情報提供を行い, 生活習慣育成の土台となる, 幼児と保護者のよりよいコミュニケーションづくりを支援している。	内容の見直しや工夫を行いながら継続して実施。	無	健康推進課 健康推進係
4	子ども歯みがき教室 (歯科保健推進費)	旭川市	むし歯予防についての講話と個別歯みがき指導の実施 実施回数: 12回 参加数: 延べ46人	むし歯予防についての講話と個別歯みがき指導の実施 実施回数: 12回 参加数: 延べ62人	むし歯予防についての講話と個別歯みがき指導の実施 実施回数: 12回 参加数: 延べ61人	むし歯予防についての講話と個別歯みがき指導の実施 実施回数: 12回 参加数: 延べ55人	むし歯予防についての講話と個別歯みがき指導の実施 実施回数: 12回	■市民 □団体 □その他	むし歯予防に係る情報提供や, 個別に口腔状態の観察と歯みがき指導を行うことにより, 育児不安の解消やよりよい生活習慣の育成に役立っている。	内容の見直しや工夫を行いながら継続して実施。	無	健康推進課 健康推進係
4	大人歯みがき教室 (歯科保健推進費)	旭川市	歯の健康維持管理についての講話と歯みがき指導 実施回数: 1回 参加数: 10人	歯の健康維持管理についての講話と歯みがき指導 実施回数: 2回 参加数: 延べ11人	歯の健康維持管理についての講話と歯みがき指導 実施回数: 1回 参加数: 8人	歯の健康維持管理についての講話と歯みがき指導 実施回数: 1回 参加数: 16人	歯の健康維持についての講話と歯みがき指導の実施 実施回数: 1回	■市民 □団体 □その他	北海道歯・口腔の健康づくり8020推進週間等にあわせて実施。歯の健康維持に関するセルフケアの向上に役立っている。	内容の見直しや工夫を行いながら継続して実施。	無	健康推進課 健康推進係
4	よく噛もう推進事業 (歯科保健推進費)	旭川市	—	—	—	啓発リーフレットの作成・配布 市内全中学校ほか	健康教育・出前講座の実施 リーフレット等の作成・配布	■市民 □団体 □その他	啓発リーフレットのほか, 各事業のテーマによく噛むことについて意識的に取り入れるなど, 重点的な普及啓発が図られている。	予算措置のない中で, 実施可能な普及啓発について工夫を行いながら継続して実施。	有 市立中学校など	健康推進課 健康推進係
4	市民からの依頼等による 歯科健康教育 (歯科保健推進費)	旭川市	依頼等による健康教育の実施 実施回数: 12回 参加数: 延べ235人 内容: 健康講話 (歯科講話)	依頼等による健康教育の実施 実施回数: 5回 参加数: 延べ125人 内容: 健康講話 (歯科講話)	依頼等による健康教育の実施 実施回数: 13回 参加数: 延べ290人 内容: 健康講話 (歯科講話)	依頼等による健康教育の実施 実施回数: 8回 参加数: 延べ199人 内容: 健康講話 (歯科講話)	市民からの依頼等による歯科健康教育の実施 内容: 歯科健康講話	■市民 ■団体 □その他	依頼団体の特徴や希望にあわせ, むし歯・歯周病予防, 口腔機能の維持向上などについて情報提供を行い, 歯・口の健康づくりの意識向上に役立っている。	歯・口腔の健康づくりに関する各世代の重点テーマ等を意識しながら継続して実施。	無	健康推進課 健康推進係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
4	歯科相談(窓口における相談・電話相談等) (歯科保健推進費)	旭川市	成人歯科相談、窓口における相談、電話相談等の実施 実施回数：31回 内容：口腔についての相談	成人歯科相談、窓口における相談、電話相談等の実施 実施回数：38回 内容：口腔についての相談	成人歯科相談、窓口における相談、電話相談等の実施 実施回数：22回 内容：口腔についての相談	成人歯科相談、窓口における相談、電話相談等の実施 実施回数：29回 内容：口腔についての相談	歯科相談の実施 内容：歯や口の健康についての相談	■市民 □団体 □その他	個別に口腔状態やセルフケアなどの相談に応じ、必要な情報提供を行うことにより、不安解消やよりよい生活習慣づくりに役立っている。市民健康相談(特定保健指導)との連携実施分については実績が少ないが、資料配付による情報提供を行っている。	情報提供資料等については内容の見直しや工夫を行いながら継続して実施。	無	健康推進課 健康推進係
4	市民健康相談 (保健事業費)	旭川市	総合健康相談 回数：636回 利用者数：延べ1,246人 重点健康相談(歯科) 実施回数：17回 利用者数：延べ17人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：629回 利用者数：延べ1,117人 重点健康相談(歯科) 回数：19回 利用者数：延べ21人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：675回 利用者数：延べ1,336人 重点健康相談(歯科) 回数：12回 利用者数：延べ12人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：616回 利用者数：延べ996人 重点健康相談(歯科) 回数：19回 利用者数：延べ22人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：626回 重点健康相談(歯科) 回数：12回 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	■市民 □団体 □その他	対象者は特定健診受診者の事後支援者が多く、健診受診率や支援基準の変更による対象者数の減が実績減少の要因であり、支援が必要な者への保健指導は実施できている。	健診データの分析や各種統計を基に適宜支援基準を見直し、保健指導が必要な者に対する相談ができるよう、対象者数に応じ回数や会場を検討しながら実施する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係
4	【再】食を育む料理教室 (食育推進費)	旭川市	1 ばくばく！こどもごはん(1歳～未就学児の保護者対象) 3回63人 2 一緒に作ろう！こどものおやつ(3歳～未就学児と保護者対象) 2回59人 3 旭川産野菜を使って！チャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回41人 4 旭川産☆野菜料理教室(市民対象) 3回79人	1 ばくばく！こどもごはん(1歳半～未就学児の保護者対象) 3回51人 2 旭川産りんごDEおやつ作り(3歳～未就学児と保護者対象) 2回58人 3 旭川産DEチャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回42人 4 WA-SHO-KU(市民対象) 3回70人	1 ばくばく！こどもごはん(1歳半～未就学児の保護者対象) 3回58人 2 旭川産りんごDEおやつ作り(3歳～未就学児と保護者対象) 2回75人 3 小学生対象！チャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回60人 4 WA-SHO-KU(市民対象) 3回95人	1 ばくばく！こどもごはん～こどもの野菜料理(1歳半～未就学児の保護者対象) 2回36人 2 りんごを使って親子で作ろう！冬休みチャレンジクッキング(小学1～3年生と保護者対象) 2回65人 3 今年の夏は料理に挑戦！夏休みチャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回59人 4 野菜たっぷり♪減塩料理(市民対象) 2回47人	食を育む料理教室の開催 対象・回数 1 ばくばく！こどもごはん～子供の乳和食(1歳半～未就学児の保護者対象) 2回 2 冬休みチャレンジクッキング(小学校1～3年生と保護者対象) 2回 3 夏休みチャレンジクッキング(小学4～6年生と保護者対象) 2回 4 野菜がおいしい料理教室(市民対象) 2回 内容 調理実習と栄養講話	■市民 □団体 □その他	年代別に実施しており、参加者が調理実習を通じて具体的な調理法や食習慣を学ぶことで、食育の理解をより深める場となっている。申込みが定員を超える教室もあり、参加者アンケート結果からも満足度の高い事業となっている。	今後も、各団体と協力しながら、継続して事業を実施していく。 H27年度栄養調査の結果から野菜不足の解消を図るため、旭川産野菜を活用した料理を紹介し、野菜を食べるきっかけとなるような場としていく。	有 旭川青果物出荷 組合連合会 旭川市果樹協会	保健指導課 栄養係
4	歯の衛生図画・ポスターコンクール (学校保健活動費)	旭川市	開催回数：年1回 参加者数(応募数)：193人 内容：歯科保健に関連した図画・ポスターの募集及び入選者の表彰	開催回数：年1回 参加者数(応募数)：235人 内容：歯科保健に関連した図画・ポスターの募集及び入選者の表彰	開催回数：年1回 参加者数(応募数)：149人 内容：歯科保健に関連した図画・ポスターの募集及び入選者の表彰	開催回数：年1回 参加者数(応募数)：145人 内容：歯科保健に関連した図画・ポスターの募集及び入選者の表彰	開催回数：年1回 参加対象：小学生 内容：歯科保健に関連した図画・ポスターの募集及び入選者の表彰	■市民 □団体 □その他	図画ポスターの作成が児童の口腔保健に関する理解を深める契機となり、歯と口の健康づくりへの意識の高揚につながった。	学校を通じた開催周知に努め、より多くの参加を募りながら継続して実施していく。	有 旭川歯科医師会	学校保健課 保健担当

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数, 参加者数, 内容等)	H29事業計画 (回数, 参加者数, 内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
4	フッ化物洗口の実施 (むし歯予防対策費)	旭川市	フッ化物洗口の実施 実施校：市立小学校 全55校 参加率：83.2% 内容：週1回フッ化物洗口を 実施	フッ化物洗口の実施 実施校：市立小学校 全55校 参加率：81.8% 内容：週1回フッ化物洗口を 実施	フッ化物洗口の実施 実施校：市立小学校 全55校 参加率：80.8% 内容：週1回フッ化物洗口を 実施	フッ化物洗口の実施 実施校：市立小学校 全54校 参加率：79.6% 内容：週1回フッ化物洗口を 実施	フッ化物洗口の実施 実施校：市立小学校 全54校 参加率：83.2% 内容：週1回フッ化物洗口を 実施	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	12歳児のひとり平均むし歯 本数は減少してきており、 児童のむし歯予防と歯と口 の健康づくりへの意識の高 揚につながった。	学校歯科医・学校薬剤師の 協力、保護者の理解を得な がら、参加率の向上を目指 し、継続して実施してい く。	有 旭川歯科医師会 旭川市学校薬剤 師会	学校保健課 保健担当

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
5	【再】青少年補導活動 (青少年事業費)	旭川市	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数：927回)	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数945回)	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数936回)	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数955回)	青少年の問題行動に対する補導、呼びかけの実施 (実施回数850回予定)	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (青少年とその保護者)	補導、呼びかけを行い、青少年の非行防止を図るとともに、未成年者の飲酒・喫煙防止を図った。	補導件数に占める飲酒・喫煙の割合は例年9割近くを占めており、今後も継続して取り組む必要がある。	有 道警サポートセンター、生徒補導協会等	子育て支援課 青少年係
5	【再】乳幼児健康診査 (母子保健推進費)	旭川市	4か月児健診 77回 2,261人/2,375人 受診率95.2% 1歳6か月児健診 72回 2,326人/2,419人 受診率96.2% 3歳児健診 70回 2,083人/2,227人 受診率93.5% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導、OT相談、ST相談等	実施回数・受診者数・受診率： 4か月児健診77回・2,322人・96.6% 1歳6か月児健診75回・2,338人・94.9% 3歳児健診67回・1,671人・95.3% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健康診査：回数77回、参加者数2,245人、受診率98.2% 1歳6か月児健康診査：回数71回、参加者数2,214人、受診率96.1% 3歳6か月児健康診査：回数69回、参加者数2,022人、受診率92.4% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健診：76回、2,260人、受診率98.3% 1歳6か月児健診：71回、2,265人、受診率97.3% 3歳6か月児健診：72回、2,300人、96.4% 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	4か月児健診：77回 1歳6か月児健診：73回 3歳6か月児健診：73回 内容：問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、栄養指導、歯科指導等	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	例年、受診率は90%台を維持しており、児の健康状態の確認及び保護者支援の場として寄与している。	小児科医師をはじめとする専門職スタッフの恒常的な人材確保。継続した精度管理。	有 旭川市医師会、旭川医科大学病院口腔外科等	母子保健課
5	【再】健康相談 (母子保健推進費)	旭川市	乳幼児健康相談 37回 525人/897人 幼児健康相談 45回 626人/858人 内容：身体計測、保健指導、栄養指導、歯科指導、小児科診察、OT相談、ST相談等	実施回数・受診者数(実/延)： 乳幼児健康相談37回・543人/949人 幼児健康相談46回・479人/536人 内容：身体計測、保健指導、栄養指導、歯科指導、小児科診察、OT相談、ST相談	子育て相談実施回数：37回 来所者数：実509/延1,066人 内容：身体計測、発育・発達相談、育児相談、栄養相談、歯科相談 幼児健康相談実施回数：43回 来所者数：実420/延496人 内容：問診、身体計測、小児科診察、心理士相談、栄養相談、作業療法士相談、言語聴覚士相談 電話健康相談 実施回数：243回 相談件数：456件	子育て相談実施回数：37回 来所者数：実547/延1,098人 内容：身体計測、発育・発達相談、育児相談、栄養相談、歯科相談 幼児健康相談実施回数：44回 来所者数：実501/延562人 内容：問診、身体計測、小児科診察、心理士相談、栄養相談、作業療法士相談、言語聴覚士相談 電話健康相談 実施回数：244回 相談件数：461件	子育て相談：37回 内容：身体計測、発育・発達相談、育児相談、栄養相談、歯科相談 幼児健康相談：45回 内容：問診、身体計測、小児科診察、心理士相談、栄養相談、作業療法士相談、言語聴覚士相談 電話健康相談：244回	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	子育て相談は利用希望者が多く、申込断り者も多い現状がある。専門的な相談ができる機会は少ないと考えられ、有益な機会になっていると考える。電話相談についても市民の相談に応じることができている。幼児健康相談は、主に精神発達や社会性について支援が必要な幼児に対し、専門職種の相談を実施しており、早期に関係機関等に繋げる機会として貴重な場となっている。	子育て相談については、利用者のニーズに対応するために、会場・実施回数・定員数・スタッフ数の確保に向けた検討を継続していく。幼児健康相談についても、専門職種の確保に向けた体制整備を行っていく。電話相談については、今後も引き続き適切な情報提供や相談事の解消等に向けて職員の知識等の研鑽に努めていく必要がある。(継続実施)	有 旭川市医師会、旭川医科大学病院等	母子保健課
5	【再】妊婦健康相談 (母子保健推進費)	旭川市	相談者：166件 内容：母子健康手帳交付時に相談のあった妊婦や、相談の希望がなくても、ハイリスク妊婦と判断した場合に面接を実施	相談者：193件 内容：母子健康手帳交付時に相談希望のあった妊婦及び相談希望がない場合でもハイリスク妊婦と判断した場合に相談を実施	相談件数：185件 内容：母子健康手帳交付時の妊婦の相談体制の強化を図り、支援が必要な妊婦を早期に把握し、支援につなげる。	相談件数：1,534件	妊婦健康相談：1,534件	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	H28より第二庁舎で妊娠届出及び転入の手続きをした妊婦については、保健師もしくは保育士と面接を行っているため相談者数が大幅に増加している。届出時の相談は、妊娠期からの切れ目ない支援として対象者の早期把握の機会として重要な取組となっている。	継続支援を必要としない妊婦についても何らかの不安等は少なからず抱えている場合が多く、届出時に気軽に相談のできる体制整備は必要である。(継続実施)	無	母子保健課
5	【再】妊婦健康診査 (すこやか親子事業費)	旭川市	回数：妊婦1人当たり14回 超音波健診4回 内容：母子健康手帳交付時に妊婦健康診査受診票を発行し、当該検査の助成を行う。	回数：妊婦1人当たり14回、 超音波健康診査4回 内容：母子健康手帳交付時に妊婦健康診査受診票を発行し、当該検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,429件(実) 超音波検査2,197件(実) 内容：母子健康手帳交付時に健康診査受診票を発行し当該検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,342件(実) 超音波検査2,075件(実) 内容：母子健康手帳交付時に健康診査受診票を発行し当該検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,600件(実) 超音波検査2,600件(実) 内容：母子健康手帳交付時に健康診査受診票を発行し当該検査の助成を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	受診率は90%台を維持しており、安心して妊娠・出産ができる環境が整備されている。	保険外診療である妊婦健康診査の受診料を助成し市民の経済負担を解消することで、定期的な受診を促し、安心して安全な出産につなげていく必要がある。(継続実施)	有 旭川市医師会、旭川医科大学病院、助産所	母子保健課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
5	禁煙分煙推進事業 ※啓発事業 (健康増進事業費)	旭川市	世界禁煙デー(5月31日)、禁煙週間(5月31日～6月6日)に関する普及啓発こうほう旭川市民「あさひばし」への掲載、公共施設等へのポスターの配付・掲示依頼、街頭放送による周知	世界禁煙デー(5月31日)、禁煙週間(5月31日～6月6日)の時期に合わせた普及啓発事業で、広報旭川市民「あさひばし」への記事掲載、公共施設等へのポスターの配布・掲示依頼、街頭放送による広報を行った。	世界禁煙デー(5月31日)、禁煙週間(5月31日～6月6日)の時期に合わせて普及啓発事業を行った。 ・ポスター掲示 ・街頭放送 等 また、母子手帳交付時に妊産婦向きリーフレットを約2300枚配布した。	世界禁煙デー(5月31日)、禁煙週間(5月31日～6月6日)の時期に合わせて普及啓発事業を実施。 ・ポスター掲示 ・街頭放送 ・職員氏名票の着用 等 また、母子手帳交付時に妊産婦向きリーフレットを配布。	世界禁煙デー及び禁煙週間における普及啓発事業の実施。 ・ポスターの掲示 ・街頭放送の実施 ・職員氏名票の着用 ・広報誌やリーフレットを活用した普及啓発。	■市民 ■団体 □その他	様々な媒体を活用し、幅広い世代への普及啓発を実施している。	継続実施。 より多くの市民に効果的に啓発できるよう、事業内容を工夫する。	無	健康推進課 健康推進係
5	おいしい空気の施設推進事業 (健康増進事業費)	旭川市	禁煙または完全分煙対策を実施している公共施設、飲食店等を「おいしい空気の施設」として登録 ・登録件数(平成26年3月末) 317件	禁煙または完全分煙対策を実施している公共施設、飲食店等を「おいしい空気の施設」として登録。ステッカーの交付や市ホームページで随時紹介することで市民や観光客に対し広報をしている。 ・登録件数(平成27年3月末) 336件	禁煙または完全分煙対策を実施している公共施設、飲食店等を「おいしい空気の施設」として登録の募集を行うとともに、登録施設については、ステッカーの交付や市ホームページを通して市民や観光客に対し広報した。 ・登録件数(平成28年3月末) 354件	禁煙または完全分煙対策を実施している公共施設、飲食店等を「おいしい空気の施設」として登録の募集を行うとともに、登録施設については、ステッカーの交付や市ホームページを通して市民や観光客に対し広報した。 ・登録件数(平成29年3月末) 346件	健康増進法改正の動向を踏まえ、積極的な募集・周知は実施しない。 既存の登録施設については、引き続き市ホームページにて周知する。	■市民 ■団体 □その他	積極的に募集を行い、登録件数を増やしてきたが、登録による施設側のメリットが少ないという課題がある。 また、健康増進法改正内容により、事業の実施自体が左右されるため、国の動向を注視しながら検討する。	事業の実施については、健康増進法改正の動向を注視しながら検討する。	有	健康推進課 健康推進係
5	未成年喫煙防止講座 (健康増進事業費)	旭川市	市内の小学校を対象に喫煙防止に関する講話を実施 ・1小学校	市内の小学校等を対象に喫煙防止講座を実施。 ・5小学校等 6回	市内の小学校を対象に喫煙防止に関する講話を行った。 ・2小学校等 3回	市内の小学校を対象に喫煙防止に関する講話を実施。 ・5小学校等 5回	市内の小学校等を対象に喫煙防止に関する講話を行う。 ・4小学校等	□市民 □団体 ■その他	小学6年生を対象として実施することが多い。知識だけでなく、喫煙に誘われた時の対応を考えることで、自分のこととして捉えることができる。事後アンケートにおいても、「将来たばこを吸いたくない」と回答する児童が9割以上を占めていることから、一定の喫煙防止効果があると考えられる。	未成年の喫煙率については、第2次健康日本21旭川計画における平成34年度の目標値を、国と同じく0%としている。法改正等の動向も鑑みながら、より充実した講話内容の提供に努めていく。	有	健康推進課 健康推進係
5	喫煙・受動喫煙防止キャンペーン (健康増進事業費)	旭川市	健康まつりにて開催 禁煙・受動喫煙防止に関するリーフレット、シャボン玉の配付、たばこクイズの実施、CO濃度測定、禁煙相談等の実施	旭川市健康まつり会場にて開催。禁煙・受動喫煙防止に関するリーフレットやメッセージ入りシャボン玉約400セットをたばこに関するクイズを実施しながら配布した。また、希望者にはCO濃度測定、禁煙相談を実施した。	旭川市健康まつり会場にて開催。禁煙・受動喫煙防止に関するリーフレットや禁煙メッセージ入りグッズを配布する等啓発活動を行った。また、希望者には禁煙相談を実施した。	旭川市健康まつり会場にて、禁煙・受動喫煙防止に関するクイズの実施やリーフレット等を配布した。 また、希望者にはCO濃度測定及び禁煙相談を実施した。	旭川市健康まつり会場にて、禁煙・受動喫煙防止に関するクイズの実施やリーフレット等を配布する また、希望者にはCO濃度測定及び禁煙相談を実施する。	■市民 □団体 □その他	旭川市健康まつりの来場者の多くは乳幼児を含む家族連れであり、未成年者やその保護者に対する禁煙及び受動喫煙防止の啓発の場として効果的である。	継続実施。 より多くの市民に効果的に啓発できるよう、事業内容を工夫する。	有	健康推進課 健康推進係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
5	【再】健康教育 (依頼による出前健康講座) (保健事業費)	旭川市	回数：90回 参加人数：3,914人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：127回 参加者数：4,199人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：99回 参加者数：4,249人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：85回 参加者数：3,663人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：100回 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	町内会等の地区組織だけではなく、企業や団体など、様々な依頼元のニーズに応じながら生活習慣病予防について普及啓発ができた。毎年依頼のある町内会や団体もあり、継続的な支援の機会にもなっている。	健診データの分析や各種統計を基に市の健康課題を整理し、効果的な内容について検討する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係
5	【再】市民健康相談 (保健事業費)	旭川市	総合健康相談 回数：636回 利用者数：延べ1,246人 重点健康相談(歯科) 実施回数：17回 利用者数：延べ17人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：629回 利用者数：延べ1,117人 重点健康相談(歯科) 回数：19回 利用者数：延べ21人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：675回 利用者数：延べ1,336人 重点健康相談(歯科) 回数：12回 利用者数：延べ12人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：616回 利用者数：延べ996人 重点健康相談(歯科) 回数：19回 利用者数：延べ22人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：626回 重点健康相談(歯科) 回数：12回 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	対象者は特定健診受診者の事後支援者が多く、健診受診率や支援基準の変更による対象者数の減が実績減少の要因であり、支援が必要な者への保健指導は実施できている。	健診データの分析や各種統計を基に適宜支援基準を見直し、保健指導が必要な者に対する相談ができるよう、対象者数に応じ回数や会場を検討しながら実施する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係
5	訪問指導 (保健事業費)	旭川市	件数：延べ457件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	件数：延べ575件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	件数：延べ517件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	件数：延べ358件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	件数：延べ500件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	対象者は特定健診受診者の事後支援者が多く、健診受診率や支援基準の変更による対象者数の減が実績減少の要因であり、支援が必要な者への保健指導は実施できている。	保健指導が必要な者に対して、個別の生活状況に合わせ実施する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数, 参加者数, 内容等)	H29事業計画 (回数, 参加者数, 内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
6	【再】高齢者の生きがいづくりと世代間交流 (地域まちづくり推進事業費)	東旭川まちづくり推進協議会	—	—	回数：年1回 平成27年9月27日 参加者：親子25名 高齢者20名 地場産食材を活かした料理教室, 食と健康をテーマとした講座を開催。	—	—	■市民 □団体 □その他	限りある補助金, 人員の中で地域の様々な課題解決等のために事業実施する必要がある, H28は地域の記念誌作成や歴史資料の整理・保存事業を行うこととしたため。	継続して実施していくためには財源, 地域の企画運営能力, 人員等を必要とする。	無	東旭川まちづくり推進協議会事務局(東旭川支所内)
6	【再】健康で楽しく暮らせる東旭川 (地域まちづくり推進事業費)	東旭川まちづくり推進協議会	—	—	回数：年1回 平成27年8月4日 参加者：児童27名 高齢者25名 介護予防講座, 昔遊びによる世代間交流を実施。	—	—	■市民 □団体 □その他	限りある補助金, 人員の中で地域の様々な課題解決等のために事業実施する必要がある, H28は地域の記念誌作成や歴史資料の整理・保存事業を行うこととしたため。	継続して実施していくためには財源, 地域の企画運営能力, 人員等を必要とする。	無	東旭川まちづくり推進協議会事務局(東旭川支所内)
6	【再】旭山をもっと! 知ろう散策会 (地域まちづくり推進事業費)	東旭川まちづくり推進協議会	回数：年1回 平成25年10月12日 参加者：75人 内容：散策会の中で, 保健師による健康講話・指導, 健康相談, 希望者への血圧測定を実施。	—	—	—	—	■市民 □団体 □その他	限りある補助金, 人員の中で地域の様々な課題解決等のために事業実施する必要がある, H28は地域の記念誌作成や歴史資料の整理・保存事業を行うこととしたため。	継続して実施していくためには財源, 地域の企画運営能力, 人員等を必要とする。	有 保健指導課 旭山動物園 旭山を活かす街づくり市民の会 旭川市公園緑地協会	東旭川まちづくり推進協議会事務局(東旭川支所内)
6	【再】なるほど健康教室 (地域まちづくり推進事業費)	東鷹栖まちづくり推進協議会	回数：年4回 (6/27, 10/31, 1/23, 3/27) 参加者数：延べ144人 内容：健康教室の開催, 健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	回数：年4回 (6/26, 10/23, 1/22, 3/26) 参加者数：延べ111名 内容：健康教室の開催, 健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	回数：年4回 (6/25, 10/22, 1/28, 3/24) 参加者数：延べ93名 内容：健康教室の開催, 健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	回数：年4回 (6/23, 10/27, 1/26, 3/23) 参加者数：延べ132名 内容：健康教室の開催, 健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	回数：年4回 (6/22, 10/26, 1/25, 3/22) 参加者：未定 内容：健康教室の開催, 健康カレンダー作成・配布(地域全戸配布)	■市民 □団体 □その他	健康を地域の課題として, 保健所と連携し事業を行ってきた。回数を重ねることで, 地域に定着し, 健康に対する意識を高め, 健康づくりに寄与している。	参加者の固定化や内容のマンネリ化を防ぎ, 幅広い世代が参加し交流できるような事業となるように, 周知方法や内容を見直しながら, 継続して実施する。	無	東鷹栖まちづくり推進協議会(東鷹栖支所内)
6	特定健康診査及び特定保健指導事業 (国保特会：特定健康診査等事業費)	旭川市	法定報告値 ・特定健診受診者：12,400人 ・特定健診受診率：20.7% (H25目標受診率25%) ・特定保健指導対象者：1,178人 (H25目標実施率60%)	法定報告値 ・特定健診受診者：12,880人 ・特定健診受診率：21.8% (H26目標受診率30%) ・特定保健指導対象者：1,245人 (H26目標実施率60%)	法定報告値 ・特定健診受診者：13,007人 ・特定健診受診率：22.7% (H27目標受診率26%) ・特定保健指導対象者：1,298人 (H27目標実施率60%)	・特定健診受診者：12,033人 (H28目標受診率29%) ・特定保健指導対象者：1,160人 (H28目標実施率60%)	・特定健診受診者：20,031人(見込) ※中途加入・75歳到達含む (H29目標受診率32%) ・特定保健指導対象者：2,000人 (H29目標実施率60%)	■市民(国保被保険者) □団体 □その他	平成25年度～平成28年度の特定健診受診率は20%台で推移しており, 目標の受診率を達成していない。受診率向上対策については, 他市町村の取組と比較し, これまで十分な取組を実施しなかったと考える。	特定健診開始の平成20年度以降, 受診率は20%台と低迷しており, 未受診者の中に生活習慣病の予備群が多数いるものと考えられる。特定健診受診率を目標通り伸ばし, 生活習慣病の予防を推進し, ひいては健康寿命の延伸及び医療費の伸びの抑制につなげていく必要性がある。	有 旭川市医師会	国民健康保険課 保健指導課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
6	35歳から39歳までの健康 診査及び保健指導事業 (国保特会：健康診査等 助成事業費)	旭川市	279人 ※中途加入含む	・294人 ※中途加入含む	・258人 ※中途加入含む	・263人 ※中途加入含む	・276人 ※中途加入含む	■市民(国 保被保険 者) □団体 □その他	旭川市国民健康保険加入者 の減少に伴い、当事業の対象 者も減少している中で、 実績としてはここ数年間、 ほぼ200人台で推移してい る。実績数としては少ない ながらも事業のねらいは達 成されているもの考える。	特定健診のデータ分析か ら、加入者の健康課題が明 らかになっているが、特に 健診受診率が低迷している ことは大きな課題である。 健診の対象年齢前から健診 を受診してもらうことによ り早期に健康づくりへの関 心を持っていただき、若い 年代からの健康づくりにつ なげる。	有 旭川市医師会	国民健康保険課 保健指導課
6	健康診査等助成事業 (国保特会：健康診査等 助成事業費)	旭川市	胃がん 3,863人 子宮がん 4,377人 肺がん 4,382人 大腸がん 4,553人 乳がん 2,418人	・胃がん 3,405人 ・子宮がん 4,184人 ・肺がん 3,883人 ・大腸がん 4,253人 ・乳がん 2,204人	・胃がん 3,495人 ・子宮がん 4,162人 ・肺がん 4,067人 ・大腸がん 4,870人 ・乳がん 2,499人	・胃がん 2,667人 ・子宮がん 3,783人 ・肺がん 3,243人 ・大腸がん 4,335人 ・乳がん 2,232人	・胃がん 3,115人 ・子宮がん 3,101人 ・肺がん 3,840人 ・大腸がん 4,738人 ・乳がん 2,630人	■市民(国 保被保険 者) □団体 □その他	受診者数が減少傾向にあ る。	受診率向上が課題であるた め、平成29年度から国保 特定健診と共同でがん検診 の受診率向上の取組を実施 する。	有 旭川市医師会、 北海道対がん協 会、旭川医大病 院	国民健康保険課
6	簡易血液検査事業 (国保特会：健康診査等 助成事業費)	旭川市	—	—	・498人 (30歳～34歳の被保険者)	・493人 (30歳～34歳の被保険者)	実施しない。	■市民(国 保被保険 者) □団体 □その他	本事業が国の保健事業に係 る交付金(特定財源)の対 象外となったため。	—	有 KDDI(株)	国民健康保険課
6	【再】妊婦健康相談 (母子保健推進費)	旭川市	相談者：166件 内容：母子健康手帳交付時に 相談のあった妊婦や、相談の 希望がなくても、ハイリスク 妊婦と判断した場合に面接を 実施	相談者：193件 内容：母子健康手帳交付時に 相談希望のあった妊婦及び相 談希望がない場合でもハイリ スク妊婦と判断した場合に相 談を実施	相談件数：185件 内容：母子健康手帳交付時の 妊婦の相談体制の強化を図 り、支援が必要な妊婦を早期 に把握し、支援につなげる。	相談件数：1,534件	妊婦健康相談：1,534件	■市民 □団体 □その他	H28より第二庁舎で妊娠届 出及び転入の手続きをした 妊婦については、保健師も しくは保育士と面接を行っ ているため相談者数が大幅 に増加している。届出時の 相談は、妊娠期からの切れ 目ない支援として対象者の 早期把握の機会として重要 な取組となっている。	継続支援を必要としない妊 婦についても何らかの不安 等は少なからず抱えている 場合が多く、届出時に気軽 に相談のできる体制整備は 必要である。(継続実施)	無	母子保健課
6	【再】妊婦健康診査 (すこやか親子事業費)	旭川市	回数：妊婦1人当たり14回 超音波健診4回 内容：母子健康手帳交付時に 妊婦健康診査受診票を発行 し、当該検査の助成を行う。	回数：妊婦1人当たり14回、 超音波健康診査4回 内容：母子健康手帳交付時に 妊婦健康診査受診票を発行 し、当該検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14 回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,429件(実) 超音波検査2,197件(実) 内容：母子健康手帳交付時に 健康診査受診票を発行し当該 検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14 回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,342件(実) 超音波検査2,075件(実) 内容：母子健康手帳交付時に 健康診査受診票を発行し当該 検査の助成を行う。	回数：1人当たり妊婦健診14 回 超音波検査4回 受診者数： 妊婦健診2,600件(実) 超音波検査2,600件(実) 内容：母子健康手帳交付時に 健康診査受診票を発行し当該 検査の助成を行う。	■市民 □団体 □その他	受診率は90%台を維持して おり、安心して妊娠・出産 ができる環境が整備されて いる。	保険外診療である妊婦健康 診査の受診料を助成し市民 の経済負担を解消すること で、定期的な受診を促し、 安心で安全な出産につなげ ていく必要がある。(継続 実施)	有 旭川市医師会、旭 川医科大学病 院、助産所	母子保健課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
6	がん検診 (がん検診費)	旭川市	—	実施回数：対象者は1つの検診につき年度内に1人1回 受診者数： 胃がん 10,373人 子宮がん 21,327人 肺がん 12,025人 乳がん 11,438人 大腸がん 16,528人 実施内容：各種がん検診	実施回数：対象者は1つの検診につき年度内に1人1回 受診者数： 胃がん 10,520人 子宮がん 19,457人 肺がん 12,284人 乳がん 10,351人 大腸がん 18,064人 実施内容：各種がん検診	実施回数：対象者は1つの検診につき年度内に1人1回 受診者数： 胃がん 9,115人 子宮がん 18,747人 肺がん 11,303人 乳がん 9,596人 大腸がん 14,724人 実施内容：各種がん検診	実施回数：対象者は1つの検診につき年度内に1人1回 受診者数： 胃がん 9,310人 子宮がん 15,009人 肺がん 11,568人 乳がん 10,887人 大腸がん 17,572人 実施内容：各種がん検診	■市民 (対象年齢以上 (検診種類によって異なる)) <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	医療機関への委託により、個別検診及び巡回検診車による集団検診を実施し、市民に対して広くがん検診の受診機会を提供できている。また、国民健康保険の特定健診と併せてがん検診を受診できる機会を設けるなど、受診率の向上を図っている。 今後も現状の仕組みを維持し、がん検診を継続して実施する。	受診者数が伸び悩んでいるが、今後、リスク検査（HPV検査、ピロリ菌検査）導入等の制度見直しを予定しており、広報誌等による制度見直しの周知を通じて、がん検診受診を勧奨するほか、健康マイレージ、がん予防の啓発（がん予防学級）等の事業により、受診者数の増加に努める。	有 旭川市医師会 北海道対がん協会 旭川医科大学病院	健康推進課 健康推進係
6	【再】禁煙分煙推進事業 ※啓発事業 (健康増進事業費)	旭川市	世界禁煙デー（5月31日）、禁煙週間（5月31日～6月6日）に関する普及啓発こうほう旭川市民「あさひばし」への掲載、公共施設等へのポスターの配付・掲示依頼、街頭放送による周知	世界禁煙デー（5月31日）、禁煙週間（5月31日～6月6日）の時期に合わせた普及啓発事業で、広報旭川市民「あさひばし」への記事掲載、公共施設等へのポスターの配付・掲示依頼、街頭放送による広報を行った。	世界禁煙デー（5月31日）、禁煙週間（5月31日～6月6日）の時期に合わせて普及啓発事業を実施。 ・ポスター掲示 ・街頭放送 等 また、母子手帳交付時に妊産婦向きリーフレットを約2300枚配布した。	世界禁煙デー（5月31日）、禁煙週間（5月31日～6月6日）の時期に合わせて普及啓発事業を実施。 ・ポスター掲示 ・街頭放送 ・職員氏名票の着用 等 また、母子手帳交付時に妊産婦向きリーフレットを配布。	世界禁煙デー及び禁煙週間における普及啓発事業の実施。 ・ポスターの掲示 ・街頭放送の実施 ・職員氏名票の着用 ・広報誌やリーフレットを活用した普及啓発。	■市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	様々な媒体を活用し、幅広い世代への普及啓発を実施している。	継続実施。 より多くの市民に効果的に啓発できるよう、事業内容を工夫する。	無	健康推進課 健康推進係
6	【再】喫煙・受動喫煙防止キャンペーン (健康増進事業費)	旭川市	健康まつりにて開催 禁煙・受動喫煙防止に関するリーフレット、シャボン玉の配付、たばこクイズの実施、CO濃度測定、禁煙相談等の実施	旭川市健康まつり会場にて開催。禁煙・受動喫煙防止に関するリーフレットやメッセージ入りシャボン玉約400セットをたばこに関するクイズを実施しながら配布した。 また、希望者にはCO濃度測定、禁煙相談を実施した。	旭川市健康まつり会場にて開催。禁煙・受動喫煙防止に関するリーフレットや禁煙メッセージ入りグッズを配布する等啓発活動を行った。 また、希望者には禁煙相談を実施した。	旭川市健康まつり会場にて、禁煙・受動喫煙防止に関するクイズの実施やリーフレット等を配布した。 また、希望者にはCO濃度測定及び禁煙相談を実施した。	旭川市健康まつり会場にて、禁煙・受動喫煙防止に関するクイズの実施やリーフレット等を配布する また、希望者にはCO濃度測定及び禁煙相談を実施する。	■市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	旭川市健康まつりの来場者の多くは乳幼児を含む家族連れであり、未成年者やその保護者に対する禁煙及び受動喫煙防止の啓発の場として効果的である。	継続実施。 より多くの市民に効果的に啓発できるよう、事業内容を工夫する。	有	健康推進課 健康推進係
6	健康手帳 (保健事業費)	旭川市	手帳交付数：654冊 内容：保健指導、健康教育等の事業を通じて交付	手帳交付数：616冊 内容：健康相談及び訪問指導等の保健事業を通じて交付	手帳交付数：937冊 内容：健康相談及び訪問指導等の保健事業を通じて交付	手帳交付数：620冊 内容：健康相談及び訪問指導等の保健事業を通じて交付 ※平成29年3月からホームページからのダウンロードも可能とした。	手帳交付数：900冊 内容：健康相談及び訪問指導等の保健事業を通じて交付	■市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	保健指導時の交付が大多数を占めており、健康手帳の活用により効果的な指導が実施できている。	平成29年度から厚生労働省ホームページからのダウンロードによる交付が原則となり、市ホームページからも市独自の手帳の交付を可能とした。しかし、対象者の多くはその方式で対応可能とは考え難いため、掲載内容の検討を行いながら冊子での交付も継続する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係
6	【再】訪問指導 (保健事業費)	旭川市	件数：延べ457件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	件数：延べ575件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	件数：延べ517件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	件数：延べ358件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	件数：延べ500件 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談等	■市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	対象者は特定健診受診者の事後支援者が多く、健診受診率や支援基準の変更による対象者数の減が実績減少の要因であり、支援が必要な者への保健指導は実施できている。	保健指導が必要な者に対して、個別の生活状況に合わせ実施する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
6	生活保護受給者等健康診査 (保健事業費)	旭川市	対象者数：1,498人 受診者数：72人 受診率：4.8% 内容： 「基本健診項目」 問診、診察、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査 「詳細健診項目」 心電図検査、眼底検査、貧血検査	対象者数：1,525人 受診者数：86人 受診率：5.6% 内容： 「基本健診項目」 問診、診察、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査 「詳細健診項目」 心電図検査、眼底検査、貧血検査	対象者数：1,545人 受診者数：61人 受診率：3.9% 内容： 「基本健診項目」 問診、診察、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査 「詳細健診項目」 心電図検査、眼底検査、貧血検査	対象者数：1,584人 受診者数：73人 受診率：4.6% 内容： 「基本健診項目」 問診、診察、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査 「詳細健診項目」 心電図検査、眼底検査、貧血検査	対象者数：1,657人 受診者数：75人 受診率：4.5% 内容： 「基本健診項目」 問診、診察、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査 「詳細健診項目」 心電図検査、眼底検査、貧血検査	■市民 □団体 □その他	受診率は4%前後を推移しており、低い状況である。	保護課と連携を図りながら、適切な対象者数の把握に努め、必要な対象が健診を受診できるよう周知を行っていく。	有 旭川市医師会	保健指導課 地域保健第1・2係
6	【再】健康教育(企画) (保健事業費)	旭川市	回数：77回 参加者数：2,211人 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技及び調理実習等	回数：59回 参加者数：1,772人 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技及び調理実習等	回数：56回 参加者数：1,427人 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技等	回数：34回 参加者数：642人 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技等	回数：39回 内容：生活習慣病予防に関する講話、運動実技等	■市民 ■団体 □その他	経年的に実施回数が減少しているが、依頼による出前健講座の多い地区は知識普及の場が確保されているため実施を見合わせていることが主な理由であり、各地区の実情に応じた普及啓発が実施できている。	健診データの分析や各種統計を基に市の健康課題を整理し、効果的な内容について検討する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係
6	【再】健康教育 (依頼による出前健康講座) (保健事業費)	旭川市	回数：90回 参加人数：3,914人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：127回 参加者数：4,199人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：99回 参加者数：4,249人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：85回 参加者数：3,663人 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	回数：100回 内容：生活習慣病予防に関する講話及び運動実技等	■市民 ■団体 □その他	町内会等の地区組織だけではなく、企業や団体など、様々な依頼元のニーズに応じながら生活習慣病予防について普及啓発ができた。毎年依頼のある町内会や団体もあり、継続的な支援の機会にもなっている。	健診データの分析や各種統計を基に市の健康課題を整理し、効果的な内容について検討する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係
6	【再】成人栄養相談・訪問指導 (保健事業費)	旭川市	実施回数及び栄養相談件数： 定例健康相談179回307人、定例外33回57人、各種教室・イベント時26回213人、電話109人、訪問12人 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	実施回数及び栄養相談件数： 定例健康相談186回314人、定例外21回34人、各種教室・イベント時26回164人、電話40人、訪問14人 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	実施回数及び栄養相談件数： 定例健康相談207回399人、定例外18回28人、各種教室・イベント時32回204人、電話62件、訪問13人 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	実施回数及び栄養相談件数： 定例健康相談155回269人、定例外18回25人、各種教室・イベント時25回235人、電話22件、訪問11人 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	定例健康相談、ほか定例外、各種健康教室、イベント等の開催時の実施 内容：健診事後で栄養相談が必要な者(特定保健指導対象者除く)、健康に関する不安や相談を有する者への支援	■市民 □団体 □その他	特定健診後の特定保健指導や情報提供者等を行う栄養相談において、健診結果のデータから、対象者の嗜好・食生活の状況を参考に、食事摂取基準に基づき個人に必要なエネルギーや栄養摂取量について指導・助言し、望ましい食習慣へ改善するよう支援を行うことができた。	特定健診後や電話、来所等による相談も含めて、受診勧奨が必要な場合や既に服薬等の治療を受けているケースについては、食事摂取基準より各ガイドラインに沿った数値が望ましい場合も考えられるため数値等の把握もしながら支援を行っていく。 対象者から得られる情報から食生活改善に向けて、引き続き適切な栄養指導を行う。	無	保健指導課 栄養係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
6	【再】市民健康相談 (保健事業費)	旭川市	総合健康相談 回数：636回 利用者数：延べ1,246人 重点健康相談(歯科) 実施回数：17回 利用者数：延べ17人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：629回 利用者数：延べ1,117人 重点健康相談(歯科) 回数：19回 利用者数：延べ21人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：675回 利用者数：延べ1,336人 重点健康相談(歯科) 回数：12回 利用者数：延べ12人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：616回 利用者数：延べ996人 重点健康相談(歯科) 回数：19回 利用者数：延べ22人 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	総合健康相談 回数：626回 重点健康相談(歯科) 回数：12回 内容：健診結果の説明、生活習慣病予防及び疾病に関する相談、歯科相談等	■市民 □団体 □その他	対象者は特定健診受診者の事後支援者が多く、健診受診率や支援基準の変更による対象者数の減が実績減少の要因であり、支援が必要な者への保健指導は実施できている。	健診データの分析や各種統計を基に適宜支援基準を見直し、保健指導が必要な者に対する相談ができるよう、対象者数に応じ回数や会場を検討しながら実施する。	無	保健指導課 地域保健第1・2係
6	【再】健康男子プロジェクト (健康男子プロジェクト推進費) ※企業への出前健康講座は、健康教育(依頼による出前健康講座)の再掲。 ※健康男子コンテスト及びモニター事業の健診、保健指導は、健康教育(企画)の再掲	旭川市	1 企業への出前健康講座 4回(10社)365人 2 健康男子コンテストの実施 (実行委員会運営) メタボ改善者の取組内容を発表 出場者5人、観覧者約300人 3 健診体験モニター事業 (実行委員会運営) 健診受診の機会がない20～30歳代の男性モニターに、特定健診同様の検査及び保健指導を実施し、その経緯等をWebを通じて発信することで、市民の健康意識の向上を図った。 参加者：52人 健診：3回延べ52人 保健指導：延べ52人 4 Webを中心とした健康情報の発信 認定数(累計) ・健康男子 366人 ・健康男子応援サポーター 567人 ・健康男子応援企業 13社	1 企業への出前健康講座 12回(10社)784人 2 健康男子コンテストの実施 (実行委員会運営) メタボを改善したい方を募集し、約3か月間の取組とその成果を発表。 健診や保健指導を実施し取組支援を行った。 出場者7人、観覧者約400人 3 健康男子モニター事業 個人及び企業を対象にH25と同内容で実施。 参加者：個人9人 (コンテスト出場者含む)、 企業：2社8人 延べ17人 健診：5回延べ27人 保健指導：延べ48人 4 Webを中心とした健康情報の発信 認定数(累計) ・健康男子 522人 ・健康男子応援サポーター 957人 ・健康男子応援企業 13社	1 企業への出前健康講座 27回 2,143人 2 健康男子コンテストの実施 (実行委員会運営) 出場者を個人から企業對抗に変更して実施。 出場者：4企業 14人 観覧者：約400人 健診：2回延べ10人 保健指導：12回延べ50人 3 企業への健康づくりに関するアンケート調査 アンケート回収数：260社 4 Webを中心とした健康情報の発信 認定数(累計) ・健康男子 523人 ・健康男子応援サポーター 958人 ・健康男子応援企業 16社	1 企業への出前健康講座の実施 18回 1,492人 2 健康男子コンテストの実施 (実行委員会運営) H27と同内容で実施。 出場者：3企業 10人 観覧者：約400人 健診：3回延べ16人 保健指導：16回延べ81人 3 企業への健康づくりに関するアンケート調査の集計・分析 4 Webを中心とした健康情報の発信 H27と同じ	1 企業への出前健康講座の実施 20回 2 健康男子コンテストの実施 (実行委員会運営) H28と同内容で実施のほか、過去の出場者の取組内容や現在の様子をまとめ、冊子やWebで周知し、市民の健康意識の向上を図る。 3 企業への健康づくりに関するアンケート調査の実施 4 Webを中心とした健康情報の発信 H28と同じ	■市民 ■団体 □その他	健康男子コンテストを通じて、出場者のデータ改善のみならず、周囲の者に対する健康意識の向上や、健康行動への動機付けという波及効果が見られた。また、企業への出前健康講座の新規依頼企業が増加傾向にあるなど、本プロジェクトの取組により、社員の健康づくりに関心を持つ企業増加に寄与している。	企業を通じて青・壮年期層へのアプローチは継続するが、より多くの市民の健康増進に波及する手法を検討する。	有 健康男子コンテスト実行委員会	保健指導課 地域保健第1・2係
6	水の飲みくらべ (水道週間イベント関連費)	旭川市	—	—	—	回数：年1回 平成28年6月4日 (土) 来場者数：266人 内容：市販のミネラルウォーターと水道水の飲みくらべ体験・水分補給促進のパネル展示	回数：年1回 平成29年6月10日 (土) 来場者数：300人 内容：市販のミネラルウォーターと水道水の飲みくらべ体験・水分補給促進のパネル展示	■市民 □団体 □その他	—	飲みくらべ体験により集客は上々な様子であるがもっと広報活動へ力を入れる必要がある。	無	水道局総務課 管理係

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
6	市立旭川病院市民公開講座	旭川市	回数：年1回 平成25年11月30日 (土) 参加者数：113人 内容：市立旭川病院医師3名による講演(テーマ：知っておきたい肺がんの診断と治療～増える肺がんへの対策～)	回数：年1回 平成26年11月22日 (土) 参加者数：124人 内容：市立旭川病院医師3名による講演(テーマ：泌尿器疾患の最前線～あなたのおしっこは大丈夫?～)	回数：年1回 平成27年11月21日 (土) 参加者数：140人 内容：市立旭川病院医師3名による講演(テーマ：知っておきたい心臓・血管疾患～あなたの心臓・血管は大丈夫?)	回数：年1回 平成28年11月12日 (土) 参加者数：56人 内容：市立旭川病院医師3名による講演(テーマ：胃癌/大腸癌を克服する・共に生きる)	回数：年1回 平成29年11月中 参加者数：100人程度 内容：市立旭川病院医師3名による講演	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	毎年100人近くの市民に参加いただいております。市民の健康に対する意識の高さが窺えるとともに、本事業がそれに寄与することができていると考える。	毎年参加者にアンケートを実施しており、講演会の感想や、今後聴いてみたい内容等を記入いただいている。これをもとに、より参加者のニーズに合った講演会を開催していく。	無	市立旭川病院 地域医療連携課
6	市立旭川病院出張健康講座	旭川市	—	—	回数：17回 参加人数：708人(1回当たり10～90人で実施した。) 内容：依頼団体の希望に応じて、医師・看護師・薬剤師・理学療法士等のスタッフが専門分野に関する内容を講話した。	回数：22回 参加人数：717人(1回当たり12～89人で実施した。) 内容：依頼団体の希望に応じて、医師・看護師・薬剤師・理学療法士等のスタッフが専門分野に関する内容を講話した。	回数：25回 参加人数：H28の実績を上回る人数を目標とする。 内容：依頼団体の希望に応じて、医師・看護師・薬剤師・理学療法士等のスタッフが専門分野に関する内容を講話する。	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	平成27年5月から事業開始。以後、新規の依頼とともに再度の依頼も多く、健康づくりに対する関心の高さを認識した。地域の期待に応えることで住民の健康づくりに貢献できたと考える。	事業を通じて地域に貢献し、当院に親しみ・信頼を感じていただくことが選ばれる病院につながるものであり、取組を進めて一層の利用促進を図る。	無	市立旭川病院 地域医療連携課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
各分野全般	男女共同参画研修会 「もっと知りたい！わたしのカラダin旭川～上手にわたしのカラダと付き合うために～」 (男女共同参画推進費)	旭川市・ ウィメンズセンター大阪 (共催)	—	平成26年9月7日 回数：1回 参加者：53人 内容： 第一部 講演「女性のからだ・変化とホルモンバランス」 講師 長島 香氏(勤医協札幌病院 産婦人科医) 笛子ミニコンサート 演奏者 森本 有紀子氏 第二部 講演「一生つきあう自分のからだ」 国安 澄江氏(ウィメンズセンター大阪 スタッフ) 第三部 <市民活動の紹介> 北・ほっかいどう総合カウンセリング支援センター ウィメンズネット旭川 <リラクゼーション体操> 講師 工藤 晴美氏(NPO法人 生命の貯蓄体操普及会旭川支部長)	—	—	—	■市民 □団体 □その他 周辺町の方	男女共同参画に関わる様々なテーマを題材に研修会を実施している。平成26年度は「生涯を通じた男女の健康支援」という男女共同参画基本計画の目標に基づき、女性特有の健康問題についての意識啓発を行った。今後も、男女の健康の維持・増進などに関するテーマの研修会を必要に応じて実施していく。	市民ニーズに応じた研修会を実施していく。高齢化が進んでいる現在、「健康」に関する興味関心は高まっているため、健康や介護に関するテーマでの研修については、適宜開催を検討していく。	有 ウィメンズセンター大阪	政策調整課
各分野全般	二次予防事業対象者把握事業 (二次予防事業対象者把握事業費)	旭川市	二次予防事業対象者把握数： 1 平成25年3月末日までの事業対象者：11,974人 2 平成26年4月1日からの事業対象者で平成25年度に実施した旭川市シニアライフ実態把握調査にて把握：13,183人	二次予防事業対象者把握数： ①平成26年3月末日までの事業対象者：12,451人	二次予防事業対象者把握数： ①平成28年3月末日までの事業対象者：11,165人	二次予防事業対象者把握数： 平成29年3月末日までの事業対象者：10,311人	—	■市民 □団体 □その他	介護保険制度の改正に伴い、平成28年度末で事業を廃止。	—	無	介護高齢課 地域支援担当
各分野全般	健康保養フォーラム (企画開発費※H27まで政策推進課が主管。H28から保健総務課に業務移管。)	旭川市	日時 平成25年10月5日 (土) 13:30～15:30 参加者 26人 内容：「身近なアレレギーのおはなし」をテーマとして、子どもの食の安全に関する講演を行った。	日時 平成26年10月4日 (土) 13:30～16:00 参加者 31人 内容：「介護の現状・家族の思い～食を通してQOLを守りたい」をテーマとして、介護と食に関する講演を行った。	日時 平成27年10月4日 (日) 10:00～12:30 参加者 28人 内容 「すてきなシニアライフのすすめ」をテーマとして、介護予防の観点から3名の講師が講演、質疑応答等を行った。	日時 平成28年10月22日 (土) 13:30～16:00 参加者 46人 内容 「食べてつなぐ福祉と医療」をテーマとして、食をべることの大切さを改めて考える機会となる講演を行った。	—	■市民 ■団体 ■その他	ここ数年の参加状況を鑑みると、事業目的に見合った成果が得られているとは言えない状況であり、共催者である旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと協議の結果、廃止することとなった。	事業廃止とする。	有 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム	保健総務課

第2次健康日本21旭川計画に係る市の取組一覧(平成25年度～平成28年度)

分野	事業名 (予算事業名)	実施主体	H25事業実績	H26事業実績	H27事業実績	H28事業実績 (回数、参加者数、内容等)	H29事業計画 (回数、参加者数、内容等)	対象	H25～H28事業の評価・総括 (事業を終了・廃止した場合はその理由)	課題及び今後の方向性	外部の団体 との連携	担当課
各分野全般	旭川市健康まつり (健康増進事業費)	旭川市	回数：年1回 平成25年6月8日(土) 入場者数：3,270人 内容：庁内関係各課及び外部団体による展示コーナー、体験コーナー等	回数：年1回 平成26年6月21日(土) 来場者数：2,920人 内容：庁内関係各課及び外部団体による展示・体験コーナー等	回数：年1回 平成27年6月6日(土) 来場者数：3,186人 内容：庁内関係各課及び外部団体による展示・体験・相談コーナー	回数：年1回 平成28年6月4日(土) 来場者数：2,910人 内容：庁内関係各課及び外部団体による展示・体験・相談コーナー	回数：年1回 平成29年6月10日(土) 内容：庁内関係各課及び外部団体による展示・体験・相談コーナー、医師のミニ講話等	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	新たな関係団体・庁内関係部局の参加も得て、健康づくりに係る様々な角度・視点から普及啓発を行うことができている。 保健所と関係団体とが一体となって普及啓発を行うことで、相乗効果をもたらしており、継続して取り組んでいくべき事業である。	内容のマンネリ化防止や経費節減が課題である。経費については、これ以上の削減は見込めない状況であるが、北海道健康づくり団体が行う助成金の申請など、活用可能な財源を確保するよう努めていく。実施内容については、ステージの設置により、一層の普及啓発効果を高めるほか、来場者に対するアンケート等を行うなどニーズの把握に努め、適宜内容の見直しや工夫を行う。	有 旭川薬剤師会等	健康推進課 健康推進係
各分野全般	「健康かわら版あさひかわ」の発行 (健康増進事業費)	旭川市	—	—	内容：各種検診や、市民の健康づくりに関する情報を掲載した「健康かわら版あさひかわ」を発行する。 年4回発行(4,7,10,1月)	内容：各種検診や、市民の健康づくりに関する情報を掲載した「健康かわら版あさひかわ」を発行する。 年4回発行(4,7,10,1月)	内容：各種検診や、市民の健康づくりに関する情報を掲載した「健康かわら版あさひかわ」を発行する。 年4回発行(4,7,10,1月)	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	年4回発行し、季節に合わせた情報提供や注意喚起に努めている。	市民への周知方法や掲載内容のマンネリ化防止が課題である。発行形態を見直し、配布場所を拡大する。	有 第一生命 (配布等)	健康推進課 健康推進係
各分野全般	あさひかわ健康マイレージ	旭川市 北海道	—	—	—	内容：北海道健康マイレージ事業として実施。健(検)診受診や健康づくり・スポーツ関連の事業に参加することでポイントを付与し、6ポイント達成した応募者に対し、特典を贈呈する。 対象：20歳以上の市民 応募者：38人	内容：北海道健康マイレージ事業として実施。健(検)診受診や健康づくり・スポーツ関連の事業に参加することでポイントを付与し、6ポイント達成者した応募者に対し、特典を贈呈する。 対象：20歳以上の市民	<input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	北海道との協働事業として、初年度は開始時期が10月となった。周知不足や対象事業が限られていたこともあり、応募数が想定より少なかった。	対象事業数や応募期間の拡大を図る。今後市の独自事業として、市民が参加しやすい仕組みづくりを検討し、実施する。	有 北海道	健康推進課 健康推進係

第2次健康日本21旭川計画に係る団体等の取組一覧（平成25年度～平成28年度）

取組分野	事業実績	実施団体
栄養・食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・地域講習会 ・移動食生活展 ・おやこの食育教室 ・男性のための料理教室 ・機関紙発行 ・高齢者ふれあい料理教室 ・旭川市健康まつり参加 ・繋ぐパートナーシップ事業 ・食育推進事業(食育の日PR) ・乳製品普及啓発事業 	旭川食生活改善協議会
	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 ・歯の健康キャンペーン(共催) ・すこやか北海道21(ヤクルト協賛事業) ・日栄委託事業(大塚製薬協賛事業) ・イブニングセミナー ・サテライト事業 ・道栄医療栄養士協議会(支部研修会) ・道栄福祉栄養士協議会(支部研修会) ・支部研修会 	(公社)北海道栄養士会 旭川支部
身体活動・運動	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の推進 ・いきいきセンター新旭川健康相談等 ・いきいきセンター永山健康相談等 ・いきいきセンター神楽健康相談等 ・トレーニングルーム運営事業 	(社福)旭川市社会福祉協議会
	<ul style="list-style-type: none"> ・市民サイクリング 	旭川サイクリング協会
	<ul style="list-style-type: none"> ・バーサーロペット・ジャパンの開催 ・旭川ハーフマラソンの開催 	(公財)旭川市体育協会
	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドゴルフ大会 ・ラジオ体操指導者講習会 ・冬を楽しむ集い 歩きスキー大会 	永山体育協会
	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 ・集い ・「ノルディックウォーキングの集いin旭川」 ・ノルディックウォーキング教室 ・特別例会 ・講師派遣 ・ノルディックウォーキングin旭川 ・行事運営役員派遣 	旭川ノルディックウォーキングクラブ
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回旭川北彩都ウォーキングの集い ・第1回旭川レク・ポッチャ選手権大会 	旭川障害者スポーツ協会
休養・心の健康づくり・アルコール	<ul style="list-style-type: none"> ・たくけんウォーク 	(公社)北海道宅地建物取引業協会 旭川支部
歯の健康	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健普及啓発事業 	旭川精神衛生協会
	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の健康キャンペーン(共催事業) ・市民公開講座(共催事業) ・8020高齢者の歯のコンクール 	(一社)旭川歯科医師会
	<ul style="list-style-type: none"> ・歯の健康キャンペーン歯科相談コーナー 	(一社)北海道歯科衛生士会旭川支部
糖尿病・循環器病・がん	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への巡回歯科指導 ・8020高齢者の歯のコンクール ・講演会・研修会 ・資料作成・配布等 ・会報発行 ・講師派遣等に係る協力 ・啓発事業への共催・後援 	上川中部地域歯科保健推進協議会
	<ul style="list-style-type: none"> ・健康日本21旭川 ・旭川健康まつりへの参加 ・薬と健康の週間 ・あさひかわキッズタウンへの参加 ・FMリバー番組「ひらけ！くすり箱」制作 ・クスリのはてな知っトクライフ(CATVポテト) 	(一社)旭川薬剤師会
	<ul style="list-style-type: none"> ・「看護の日」 ・ふれあい看護体験 ・上川南支部ニュース「たいせつ」発行 ・夏期研修会 	(公社)北海道看護協会 上川南支部
	<ul style="list-style-type: none"> ・がん予防学級 ・がん征圧月間に係る啓発活動 ・旭川市健康まつりへの参加 	(公財)北海道対がん協会 旭川がん検診センター
	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会 ・歯の健康キャンペーン(共催) ・すこやか北海道21(ヤクルト協賛事業) ・日栄委託事業(大塚製薬協賛事業) ・イブニングセミナー ・サテライト事業 ・道栄医療栄養士協議会(支部研修会) ・道栄福祉栄養士協議会(支部研修会) ・支部研修会 	(公社)北海道栄養士会 旭川支部

健康日本2 1 旭川計画庁内推進会議設置要綱

(設置)

第1条 市民一人ひとりの健康の実現に向けて、健康日本2 1 旭川計画（以下「計画」という。）の効果的な推進を図るため、「健康日本2 1 旭川計画庁内推進会議（以下「推進会議」という。）」を設置する。

(協議事項)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項について協議する。

- (1) 計画の推進に係る庁内調整に関すること。
- (2) 計画に関連する事業の進行管理に関すること。
- (3) 計画の見直しに関すること。
- (4) その他計画推進に関すること。

(組織)

第3条 推進会議の構成は、別表1に掲げる職にある者をもって充てる。

- 2 座長は保健所長を、副座長は健康推進課長をもって充てる。
- 3 座長は、推進会議を代表し、会務を総括する。
- 4 座長に事故があるときは、副座長がその職務を代理する。

(会議)

第4条 推進会議は必要に応じ座長が招集する。

- 2 座長は推進会議の議長となり議事を整理する。

(専門部会の設置)

第5条 推進会議の下で、協議事項に係る6分野における作業を円滑に進めるため、次の専門部会を設置する。

- (1) 栄養・食生活部会
 - (2) 心の健康づくり・アルコール部会
 - (3) 歯の健康部会
 - (4) たばこ・がん部会
 - (5) メタボ部会
- 2 専門部会の部会長は別表2のとおりとし、構成員は部会長が決定する。
 - 3 専門部会は、部会長が招集し、会務を総括する。

(庁議の報告)

第6条 庁内推進会議の検討結果については、直近の庁議に報告し、意見を徴するものとする。

(庶務)

第7条 推進会議の庶務は、保健所健康推進課において行う。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

附則

この要綱は、平成14年7月12日から施行する。

附則

この要綱は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この要綱は、平成20年5月1日から施行する。

附則
この要綱は、平成22年4月1日から施行する。

附則
この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附則
この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附則
この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

附則
この要綱は、平成29年6月16日から施行する。

別表1

保健所担当副市長，政策調整課長，職員厚生課長，市民生活課長，スポーツ課長，福祉保険課長，国民健康保険課長，介護高齢課長，障害福祉課長，子育て支援課長，母子保健課長，保健所長，保健総務課長，健康推進課長，保健指導課長、環境政策課長，経済総務課長，公園みどり課長，学校保健課長，社会教育課長

計20名

別表2

専 門 部 会 名	部 会 長
栄養・食生活部会	栄養係長
心の健康づくり・アルコール部会	こころの健康係長
歯の健康部会	健康推進係長
たばこ・がん部会	健康推進係長
メタボ部会	地域保健第2係長

6 中間評価実施経過

年月日	項目	内容
平成28年6月	健康日本21旭川計画アンケート調査	市民2,800人にアンケート調査を実施
平成29年6月29日	平成29年度第1回健康日本21旭川計画庁内推進会議	中間評価の実施に当たり、アンケート調査結果の報告、計画における施策体系及び健康指標等の状況説明、作業スケジュールの確認
平成29年7月10日	市長から旭川市保健所運営協議会に対し、第2次健康日本21旭川計画の中間評価に係る調査審議について諮問	
平成29年7月10日	平成29年度第1回旭川市保健所運営協議会	市長からの諮問を受けた中間評価に係る審議を行うための「第2次健康日本21旭川計画中間評価部会」を設置
平成29年8月3日	第2次健康日本21旭川計画中間評価部会（第1回）	中間評価に係る審議
平成29年8月	健康日本21旭川計画庁内推進会議専門部会	中間評価部会資料の作成
平成29年9月6日	第2次健康日本21旭川計画中間評価部会（第2回）	中間評価に係る審議
平成29年10月5日	第2次健康日本21旭川計画中間評価部会（第3回）	中間評価に係る審議
平成29年11月13日	第2次健康日本21旭川計画中間評価部会（第4回）	中間評価に係る審議
平成29年12月8日	第2次健康日本21旭川計画中間評価部会（第5回）	中間評価に係る審議
平成29年12月22日	平成29年度第3回旭川市保健所運営協議会	中間評価部会から旭川市保健所運営協議会への審議結果報告及び協議会から市長への答申内容の決定
平成29年12月22日	旭川市保健所運営協議会から市長に対し、第2次健康日本21旭川計画の中間評価に係る調査審議結果について答申	
平成29年12月27日	平成29年度第2回健康日本21旭川計画庁内推進会議	旭川市保健所運営協議会からの答申内容の報告及び内容に対する意見聴取
平成30年3月1日	健康日本21旭川計画庁内推進会議専門部会	第2次健康日本21旭川計画中間評価報告書（案）の作成
平成30年3月20日	第2次健康日本21旭川計画中間評価報告書（案）の決定	
平成30年3月28日	平成29年度第3回健康日本21旭川計画庁内推進会議	第2次健康日本21旭川計画中間評価報告書（案）に基づく審議
平成30年3月29日	第2次健康日本21旭川計画中間評価報告書の決定	

第2次健康日本21旭川計画 中間評価報告書

平成30年（2018年）3月

発行 旭川市保健所健康推進課

〒070-8525 旭川市7条通10丁目

電話 0166-25-6315